



オンラインユーザーズガイド

MFC-L8730CDW

MFC-L8970CDW

目次

本ガイドの使い方	1
注意事項の定義	2
商標	3
オープンソースライセンスについて	4
著作権とライセンスについて	5
重要事項	6
本製品を廃棄するときは	7
本製品のご案内	8
本製品をご使用になる前に	9
操作パネルの概要	10
タッチパネル画面の概要	12
タッチパネル画面の操作方法	20
本製品にテキストを入力するには	21
メインホーム画面の設定	23
本製品のカスタマイズ	24
Brother ユーティリティへのアクセス (Windows)	25
ソフトウェアとドライバーをアンインストールする (Windows)	26
Brother iPrint&Scan へのアクセス (Windows/Mac)	27
本製品の入出力ポートの場所	29
紙の取り扱い	30
用紙のセット	31
用紙トレイに用紙をセットする	32
多目的トレイ (MP トレイ) に用紙をセットする	35
多目的トレイにラベルをセットして印刷する	38
多目的トレイに封筒をセットして印刷する	40
用紙設定	42
用紙サイズと用紙タイプを変更する	43
印刷に使う用紙トレイを選択する	44
トレイ確認の設定を変更する	45
原稿のセット	46
ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする	47
原稿台ガラスに原稿をセットする	49
読み取りできない範囲および印刷できない範囲	50
特殊用紙を使用する	51
印刷	52
パソコンから印刷する (Windows)	53
文書を印刷する (Windows)	54
用紙の両面に印刷する (Windows)	56
セキュリティ印刷 (Windows)	59
初期値の印刷設定を変更する (Windows)	60
印刷設定 (Windows)	62
BR-Script3 プリンタードライバー (PostScript® 3™ 言語エミュレーション) を使用して文書を印刷する (Windows)	66
パソコンから印刷する (Mac)	67
多目的トレイに封筒をセットして印刷する	68

■ ホーム > 目次

Eメールの添付ファイルを印刷する	70
USB フラッシュメモリーを使用したセキュリティ印刷	71
マストストレージをサポートする USB フラッシュメモリーまたはデジタルカメラからデータを直接印刷する	73
副本を印刷する	75
印刷ジョブをキャンセルする	76
ユニバーサルプリント	77
ユニバーサルプリントの概要	78
ユニバーサルプリントを設定する	79
パソコンにユニバーサルプリント対応プリンターを追加する	80
ユニバーサルプリントから本製品の登録を解除する	81
スキャン	82
本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする	83
写真やグラフィックをスキャンする	84
原稿を単一の PDF ファイルとしてスキャンする	86
スキャンしたデータを USB フラッシュドライブに保存する	88
複数の名刺および写真をスキャンする（おまかせ一括スキャン）	90
編集可能テキストファイルとしてスキャンする（OCR）	91
スキャンしたデータをメールの添付ファイルとして保存する	93
スキャンしたデータを E メール受信者に送信する	95
スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する	97
スキャンしたデータを SSH サーバー（SFTP）に保存する	101
スキャンしたデータをネットワークサーバーに保存する（Windows）	108
スキャンしたデータを SharePoint サーバーに保存する	112
Web サービスプロトコルを使用してネットワークスキャンを行う（Windows）	116
Brother iPrint&Scan からスキャンボタン設定を変更する	120
署名入り PDF 用の証明書を設定する	121
お使いのコンピューターからスキャンを無効にする	122
お使いのパソコンからスキャンする（Windows）	123
Brother iPrint&Scan を使用してスキャンする（Windows/Mac）	124
Kofax PaperPort™ 14SE またはその他の Windows アプリケーションを使用してスキャンする	125
Windows FAX とスキャンを使ってスキャンする	130
お使いのパソコンからスキャンする（Mac）	133
セキュアスキャン	134
Web Based Management を使用してスキャン設定を行う	135
Web Based Management を使用してスキャンファイル名称を設定する	136
Web Based Management を使用してスキャンジョブの E メールレポートを設定する	137
コピー	138
用紙の片面をコピーする（片面コピー）	139
用紙の両面をコピーする（両面コピー）	143
コピー画像を拡大または縮小する	145
レイアウトコピー機能を使って N in 1 コピーをする	146
印刷ジョブをコピージョブで中断する	147
ID カードをコピーする	148
コピーオプション	150
ファクス	152
ファクスの初期設定と電話サービス	153

発信元を登録する.....	154
プッシュ回線またはダイヤル回線を設定する.....	155
各ファクス番号に接頭番号を追加する.....	156
ナンバー・ディスプレイとは.....	157
電話回線の種類を設定する.....	159
ファクスを送信する.....	161
ファクスを送信する.....	162
手動でファクスを送信する.....	163
複数の相手先に同じファクスを送る（同報送信）.....	164
IP ファクスの設定をする.....	166
ファクスオプション.....	170
ファクスを受信する.....	171
受信モードの設定.....	172
メモリー受信オプション.....	188
ファクス番号.....	189
ファクス/電話番号を登録する.....	190
同報送信のグループダイヤルを設定する.....	193
ファクスレポート.....	194
送信結果レポートを印刷する.....	195
通信管理レポートを印刷する.....	196
外付け機器.....	197
PC-FAX.....	198
I-Fax（インターネットを使用したファクス）.....	199
ネットワーク.....	200
対応している基本ネットワーク機能について.....	201
ネットワークを設定する.....	202
操作パネルを使用してネットワークの詳細を設定する.....	203
無線ネットワーク設定.....	204
無線ネットワークを使用する.....	205
Wi-Fi Direct®を使用する.....	218
無線 LAN を有効/無効にする.....	222
WLAN レポートを印刷する.....	223
ネットワーク機能.....	227
Web Based Management を使用してプロキシサーバーを設定する.....	228
ネットワーク設定レポートを印刷する.....	229
LDAP 検索を設定および操作する.....	230
Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時間を同期する.....	233
受信ファクスをネットワーク上の保存先に転送する.....	236
ギガビットイーサネット（有線 LAN のみ）.....	239
グローバルネットワーク検出機能を使う.....	240
ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする.....	243
ブラウザ管理ツール.....	244
セキュリティ.....	245
モバイルクラウド接続.....	246
クラウド接続機能.....	247
クラウド接続機能の概要.....	248
クラウド接続機能を使用してアクセスできるオンラインサービス.....	250

クラウド接続機能の設定	251
写真や原稿をスキャンしてアップロードする	258
写真や文書をダウンロードして印刷する	259
ファクスクラウド/E メール転送	260
AirPrint	262
AirPrint の概要	263
AirPrint を使用する前に (macOS)	264
AirPrint を使用して印刷する	265
AirPrint を使用してスキャンを行う (macOS)	268
AirPrint を使用してファクス送信を行う (macOS)	269
Mopria™ Print Service および Mopria™ Scan	270
Brother Mobile Connect	271
トラブルシューティング	272
日常のお手入れ	273
消耗品を交換する	274
トナーカートリッジを交換する	276
ドラムユニットを交換する	279
ベルトユニットを交換する	283
廃トナーボックスを交換する	286
定着ユニットを交換する	290
多目的 (MP) トレイの PF キットを交換する	293
製品の清掃	297
スキャナーを清掃する	299
画面を清掃する	301
コロナワイヤーを清掃する	302
ドラムユニットを清掃する	305
給紙ローラーを清掃する	310
画質を補正する	312
自動補正機能を設定する	313
製品の画質補正設定をリセットする	314
部品の残りの寿命を確認する	315
Brother iPrint & Scan を使用して本製品の状態を確認する (Windows/Mac)	316
本製品の情報を確認する	318
本製品のファームウェアをアップデートする	319
本製品を初期状態に戻す	320
リセット機能の概要	321
本製品を初期状態に戻す	322
本製品を梱包して輸送する	323
製品の設定	326
製品のパスワードを確認する	327
操作パネルから製品の設定を変更する	328
停電になったときは (メモリー保存)	329
基本設定	330
お好みの設定をショートカットとして登録する	344
レポートを印刷する	349
設定と機能一覧	352
Web Based Management を使用して製品の設定を変更する	407

■ ホーム > 目次

Web Based Management とは.....	408
Web Based Management にアクセスする.....	409
Web Based Management を使用しログインパスワードを変更する.....	412
Web Based Management を使用して本製品のアドレス帳を設定する.....	413

付録..... 414








仕様.....	415
消耗品.....	423
トナーカートリッジの交換時期に関する重要な情報.....	425
アクセサリ.....	426
消耗品の購入方法.....	427
アフターサービスのご案内.....	428

本ガイドの使い方

- [注意事項の定義](#)
- [商標](#)
- [オープンソースライセンスについて](#)
- [著作権とライセンスについて](#)
- [重要事項](#)
- [本製品を廃棄するときは](#)

注意事項の定義

本ガイドでは、以下の記号が使用されます。

 警告	警告は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	注意は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。
重要	重要は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
お願い	お願いは、ご使用していただく上での注意事項、制限事項などの内容を示しています。
	有益なヒントや補足情報を示しています。
	「感電の危険があること」を示しています。
	「火災の危険があること」を示しています。
	「やけどの危険があること」を示しています。
	「してはいけないこと」を示しています。
太字	本製品の操作パネルやパソコン画面に表示されるボタンを示しています。
[あいうえお]	括弧で囲まれたテキストは、本製品の画面に表示されるメッセージを示しています。

✓ 関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

商標

Apple、App Store、AirPrint、Mac、macOS、iPadOS、iPad、iPhone、iPod touch および Safari は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

Kofax および Kofax PaperPort は、米国および/またはその他の国における Tungsten Automation およびその子会社の商標または登録商標です。

Adobe®、Reader®、PostScript、および PostScript 3 は、米国および/またはその他の国におけるアドビシステムズ社の登録商標または商標です。

Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、および Wi-Fi Direct®は、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。

WPA™、WPA2™、WPA3™、Wi-Fi CERTIFIED™、および Wi-Fi Protected Setup™は、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。

Android、Google Drive、Google Play および ChromeOS™は、Google LLC の商標です。これらの商標の使用は、Google 使用許諾の対象となります。

Mopria™ および Mopria™のロゴは、米国およびその他の国における Mopria Alliance, Inc.の登録商標および/または未登録商標およびサービスマークです。不正使用は固く禁じられています。

EVERNOTE は、Evernote Corporation の登録商標であり、使用許諾を得て使用しています。

Bluetooth® ワードマークは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。ブラザー工業株式会社は使用許諾の下でこれらのマークを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

Linux®は、米国およびその他の国における Linus Torvalds の登録商標です。

本ガイドに記載されているソフトウェアの各社は、各プログラムに固有のソフトウェアライセンス契約を有しています。

ソフトウェアの商標

FlashFX® is a registered trademark of Datalight, Inc.

FlashFX® Pro™ is a trademark of Datalight, Inc.

FlashFX® Tera™ is a trademark of Datalight, Inc.

Reliance™ is a trademark of Datalight, Inc.

Reliance Nitro™ is a trademark of Datalight, Inc.

Datalight® is a registered trademark of Datalight, Inc.

ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

✔ 関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

オープンソースライセンスについて

この製品にはオープンソースソフトウェアが含まれています。

オープンソースライセンスに関する記述と著作権情報を参照するには、support.brother.com/manuals でお使いのモデルの**製品マニュアル**ページにアクセスしてください。

✓ 関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

著作権とライセンスについて

©2025 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

This product includes software developed by the following vendors:

This product includes the “KASAGO TCP/IP” software developed by ZUKEN ELMIC, Inc.

Copyright 1989-2020 Datalight, Inc., All Rights Reserved.

FlashFX® Copyright 1998-2020 Datalight, Inc.



関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

重要事項

- ブラザードライバーとソフトウェアの更新情報については、support.brother.com/downloads を確認してください。
- 本製品の性能を最新の状態に保つため、最新のファームウェアの更新がないか、support.brother.com/downloads をご確認ください。ファームウェアが最新でないと、製品の機能の一部がご利用になれない場合があります。
- 購入された国以外で本製品を使用しないでください。海外各国における無線通信および電力規制に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品で適切に使用できない恐れがあります。
- 国によっては利用できないモデルがあります。
- 本製品を他の人に譲渡したり、交換または廃棄するときは、お買い上げ時の設定にリセットして個人情報をすべて削除することを強くお勧めします。
- 本文中の Windows 10 は、Windows 10 Home、Windows 10 Pro、Windows 10 Education、および Windows 10 Enterprise を指します。
- 本文中の Windows 11 は、Windows 11 Home、Windows 11 Pro、Windows 11 Education、および Windows 11 Enterprise を指します。
- macOS v15 ユーザーの場合：
本製品は macOS v15 に対応しています。
本製品のセットアップおよびソフトウェアのインストールについては、同梱されている「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
macOS v13 と macOS v14 のすべての機能は、macOS v15 の環境でも利用可能で、同様の動作をします。
- 本ガイドでは、主に MFC-L8730CDW/MFC-L8970CDW の画面メッセージが使用されています。
- 本ガイドでは、主に MFC-L8730CDW/MFC-L8970CDW のイラストが使用されています。
- 本ガイド内の画面またはイラストはイメージであるため、実際の形状とは異なる場合があります。
- お使いのオペレーティングシステムによっては、本ガイドの画面がお使いのパソコンの画面と異なる場合があります。
- 本ガイドならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。



関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

本製品を廃棄するときは

本製品を廃棄する場合は、使用される環境により処理方法が異なります。

- 事業所
産業廃棄物処理業者に委託してください。またはブラザーホームページを参照してください。
- 一般家庭
小型家電リサイクル法に基づいて収集を実施している市町村にお住まいの方は、「小型家電回収市町村マーク」を表示している市町村の窓口や、「小型家電認定事業者マーク」を表示している事業者に引き渡してください。また、市町村の小型家電リサイクルの対象となっていない家電製品については、従来どおり、お住まいの市町村の廃棄方法に従って廃棄してください。

対象品目や回収方法に関する詳しい情報は、お住まいの市町村におたずねください。

✓ 関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

本製品のご案内

- 本製品をご使用になる前に
- 操作パネルの概要
- タッチパネル画面の概要
- タッチパネル画面の操作方法
- 本製品にテキストを入力するには
- メインホーム画面の設定
- 本製品のカスタマイズ
- Brother ユーティリティへのアクセス (Windows)
- Brother iPrint&Scan へのアクセス (Windows/Mac)
- 本製品の入出力ポートの場所

本製品をご使用になる前に

印刷操作を行う前に以下の内容を確認してください。

- 本製品に適切なソフトウェアおよびドライバーがインストールされていることを確認します。
- USB ユーザーまたはネットワークケーブルユーザーの場合：インターフェースケーブルが安全に接続されていることを確認します。

印刷、スキャン、およびファクス送信を同時に行う

メモリーにファクスを送受信している間やパソコンに原稿をスキャンしている間も、パソコンから印刷することができます。パソコンからの印刷中にファクス送信が中断されることはありません。しかし、コピーや受信したファクスを紙に印刷している場合は、印刷操作は中止され、コピーやファクス受信が完了すると再開されます。

ファイアウォール (Windows)

お使いのパソコンがファイアウォールによって保護されており、ネットワーク印刷やネットワークスキャン、PC-FAX が使えない場合は、ファイアウォールの設定を変更する必要があります。Windows ファイアウォールを使用しており、インストーラーからドライバーをインストールした場合、必要なファイアウォールはすでに設定されています。別のファイアウォールを使用している場合は、お使いのファイアウォールのユーザーズガイドを参照するかメーカーにお問い合わせください。

✓ 関連情報

- [本製品のご案内](#)

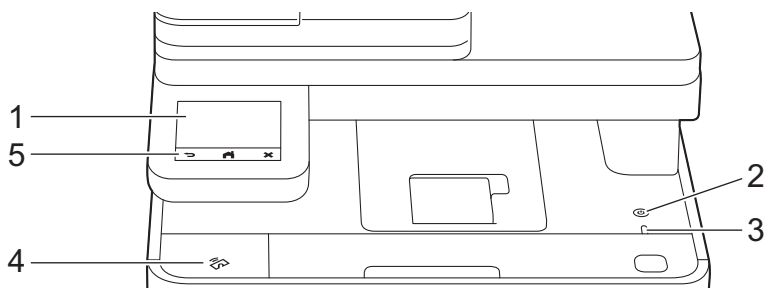
操作パネルの概要

>> MFC-L8730CDW

>> MFC-L8970CDW

MFC-L8730CDW

操作パネルはお使いのモデルによって異なることがあります。



1. タッチパネル液晶ディスプレイ (LCD)

画面に直接タッチして各設定を行います。

2. 電源ボタン

- 電源ボタンを押して本製品の電源を入れます。
- 電源ボタンを長押しして本製品の電源を切ります。画面に「電源をオフにします」と数秒間表示されてから電源が切れます。外付け電話や TAD (留守番電話機) を接続している場合、それらは引き続き有効です。

3. LED 電源ランプ

本製品の電源のオン・オフ状態を表示します。

4. 近距離無線通信 (NFC) リーダー (MFC-L8730CDW)

該当する場合は、集積回路カード (IC カード) を本製品の NFC タッチ部分にタッチすることで、カード認証を使用します。

5. タッチパネル

← (戻る)

前のメニューに戻るときに押します。

🏠 (ホーム)

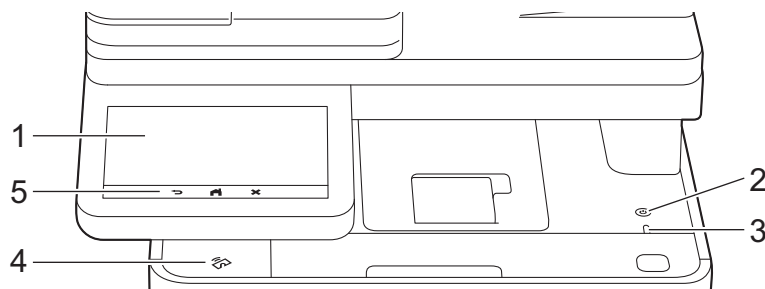
メインホーム画面に戻るときに押します。

✖ (キャンセル)

処理中の動作を中止するときには押します。

MFC-L8970CDW



操作パネルはお使いのモデルによって異なることがあります。



1. タッチパネル液晶ディスプレイ (LCD)

画面に直接タッチして各設定を行います。

2. 電源ボタン

-  を押して本製品の電源を入れます。
-  を長押しして本製品の電源を切ります。画面に「電源をオフにします」と数秒間表示されてから電源が切れます。外付け電話や TAD (留守番電話機) を接続している場合、それらは引き続き有効です。

3. LED 電源ランプ

本製品の電源のオン・オフ状態を表示します。

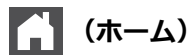
4. 近距離無線通信 (NFC) リーダー (MFC-L8970CDW)

該当する場合は、集積回路カード (IC カード) を本製品の NFC タッチ部分にタッチすることで、カード認証を使用します。

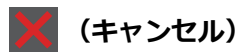
5. タッチパネル



前のメニューに戻るときに押します。



メインホーム画面に戻るときに押します。



処理中の動作を中止するときには押します。

関連情報

- [本製品のご案内](#)

関連トピック :

- [本製品のカスタマイズ](#)

タッチパネル画面の概要

>> [MFC-L8730CDW](#)

>> [MFC-L8970CDW](#)

MFC-L8730CDW

2種類の画面（ホーム画面またはショートカット画面）のいずれかを選択してメインホーム画面として設定できます。ホーム画面が表示されたら、左右にフリックするか、◀または▶を押すと、ホーム画面の他のページを表示できます。

本製品のアイドル中、メインホーム画面には本製品の状態が表示されます。この画面が表示されているとき、製品は次の操作の準備ができています。

Active Directory 認証または LDAP 認証が有効になっている場合、本製品の操作パネルがロックされます。

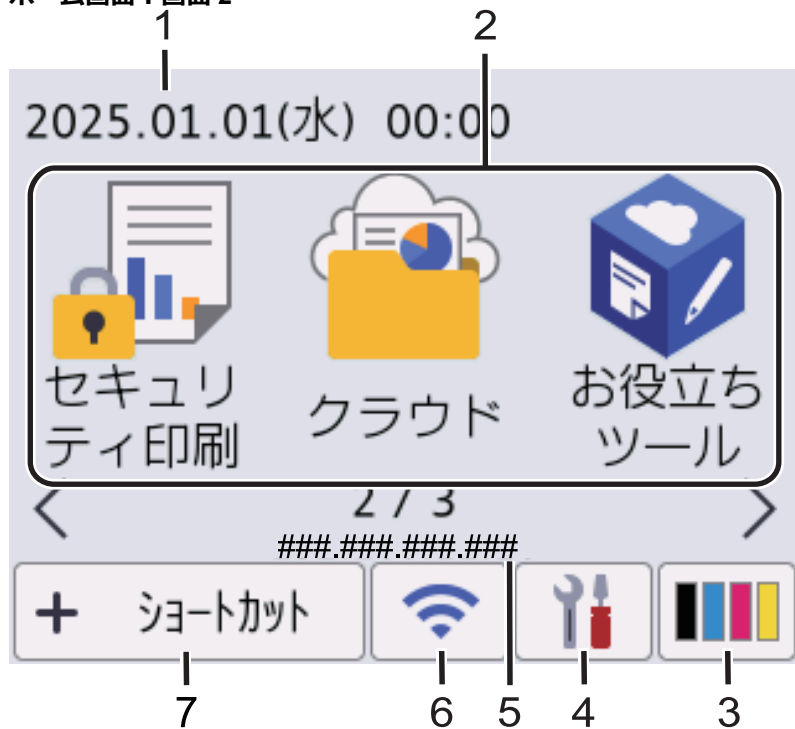
使用可能な機能はお使いのモデルによって異なります。

ホーム画面から、さまざまな設定にアクセスできます。

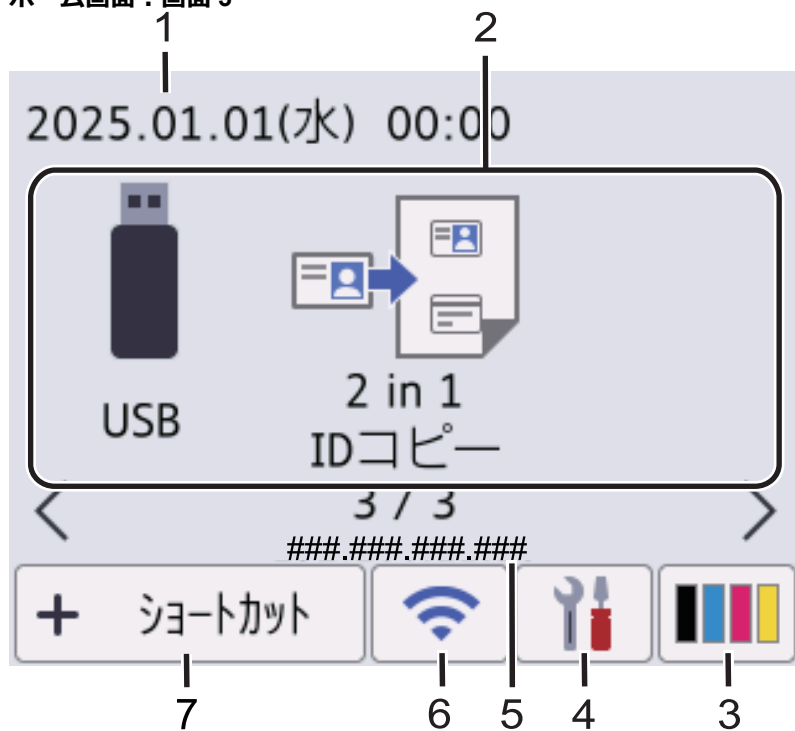
ホーム画面：画面 1



ホーム画面：画面2



ホーム画面：画面3

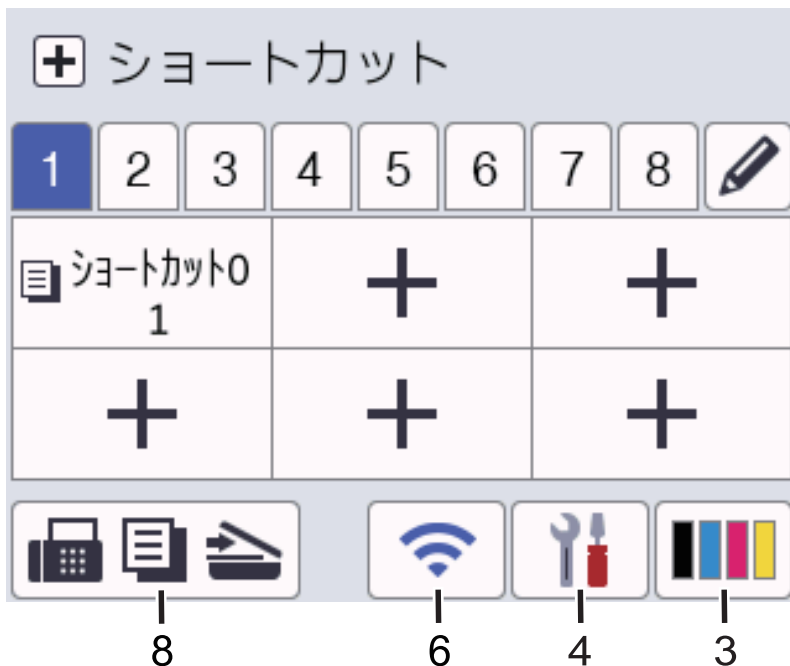


ショートカット画面

ファクス送信、コピー、スキャン、クラウド接続など、よく使用する機能のショートカットを作成します。











8つのショートカットタブを使うことができ、それぞれのショートカットタブに6つのショートカットを設定することができます。合計48個のショートカットを使用できます。



1. 日付と時刻

本製品に設定された日付と時刻が表示されます。

2. 機能アイコン

-  **[ファクス]** (MFC モデルの場合)
ファクスモードにアクセスするときに押します。
-  **[コピー]**
コピーモードにアクセスするときに押します。
-  **[スキャン]**
スキャンモードにアクセスするときに押します。
-  **[セキュリティ印刷]**
[セキュリティ印刷] オプションにアクセスするときに押します。
-  **[クラウド]**
本製品をウェブサービスに接続するときに押します。
-  **[お役立ちツール]**
本製品をお役立ちツールに接続するときに押します。
-  **[USB]**
USB メニューにアクセスし、[スキャン to USB] または [USB ダイレクトプリント] オプションを選択するときに押します。
-  **[2 in 1 ID コピー]**
2in1 ID コピーオプションにアクセスするときに押します。


3. (トナー)

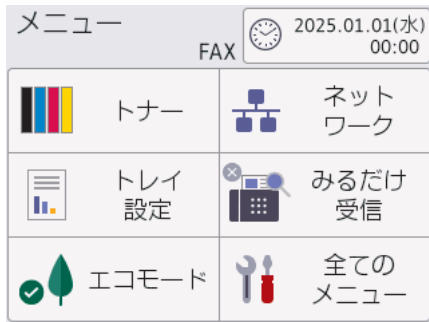
トナーの残量を表示します。押すと [トナー] メニューにアクセスすることができます。

4. (メニュー)

[メニュー] にアクセスするときに押します。



ロック設定機能がオンになっている場合、ロックアイコン  が画面に表示されます。設定を変更するには、本製品のロック解除が必要です。




-  **トナー**


- トナーの残量を表示します。
- 押すと「トナー」メニューにアクセスすることができます。

-  **ネットワーク**

- ネットワーク接続を設定するときに押します。
- 無線接続をご使用の場合、4段階のレベル表示で無線信号の現在の強度を表します。

-  **みるだけ受信 (MFC モデルの場合)**


押すと「みるだけ受信」メニューにアクセスすることができます。

-  **Wi-Fi Direct (DCP モデルの場合)**

押すと「Wi-Fi Direct」メニューにアクセスすることができます。

-  **トレイ設定**

押すと「トレイ設定」メニューにアクセスすることができます。

-  **エコモード**

押すと「エコモード」メニューにアクセスすることができます。

-  **全てのメニュー**

本製品のすべての設定にアクセスするときに押します。

-  **日付と時刻**

- 本製品に設定された日付と時刻が表示されます。
- 押すと「時計セット」メニューにアクセスすることができます。

5. IP アドレス

[情報の表示]メニューで[IP アドレス]設定がオンになっている場合、本製品の IP アドレスがホーム画面に表示されます。

6. または (無線 LAN 状態)

無線 LAN を設定するときに押します。

無線接続をご使用の場合、4段階の表示で現在の無線信号の強度が示されます。



7. + [ショートカット]

[ショートカット]画面にアクセスするときに押します。

8. (ホーム画面)

ホーム画面にアクセスするときに押します。



- **新着ファクス** (MFC モデルの場合)



[みるだけ受信]を [オン] に設定すると、メモリーに受信した新着ファクスの数が画面の上部に表示されます。

- **警告アイコン**



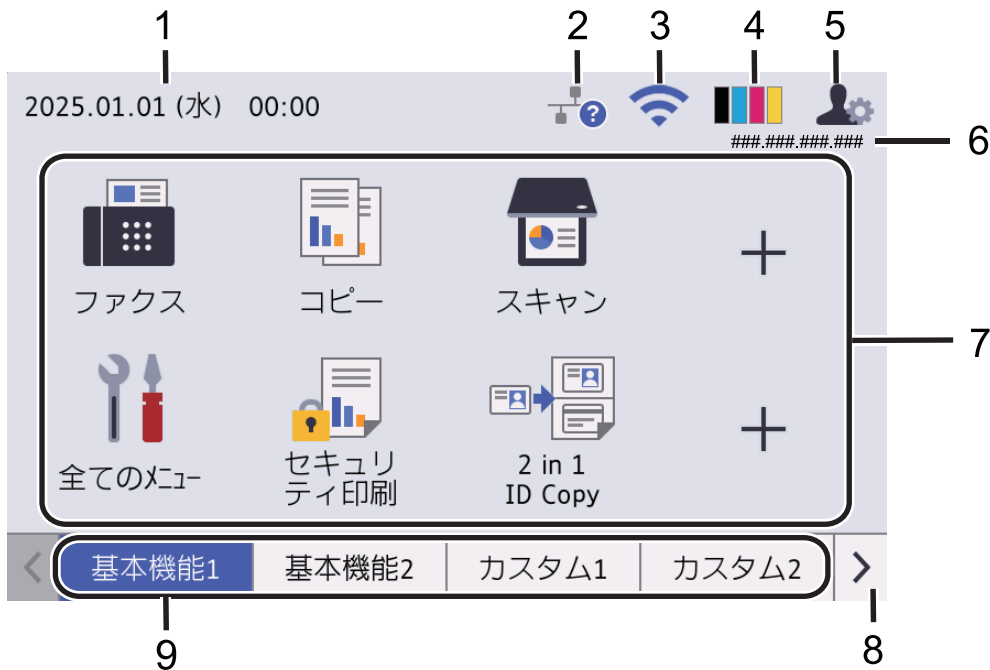
エラーまたはメンテナンスメッセージがあるときに、警告アイコン  が表示されます。メッセージを表示するには、メッセージ領域を押します。  を押すと、メインホーム画面に戻ります。

MFC-L8970CDW

本製品には、8つのタブ付き画面（ホーム画面と呼ばれます）があります。各ホーム画面には、各機能、本製品の設定、ショートカットに使用できる最大8個のアイコンをセットできます。必要に応じて、合計64個のアイコンをホーム画面に配置できます。

メインホーム画面は、ホーム画面から選択できます。

タブの名前を変更し、アイコンを再配置するには、[管理者メニュー]を使用します。



1. 日付と時刻

本製品に設定された日付と時刻が表示されます。

この領域は、エラーメッセージまたはメンテナンスメッセージの表示にも使用します。

2. (有線 LAN 状態)

有線 LAN の設定を行うときに押します。

このアイコンは、現在の有線 LAN 状態を表します。



有線 LAN 無効
(グレー)



有線 LAN 状態
(ブルー)



ケーブルが接続されていません

3. (無線 LAN 状態)

無線 LAN を設定するときに押します。

無線接続をご使用の場合、4 段階の表示で現在の無線信号の強度が示されます。



0



Max



無線 LAN 無効

4. (トナー)

トナーの残量を表示します。押すと [トナー] メニューにアクセスすることができます。

5. (管理者設定)

押すと [管理者メニュー] にアクセスすることができます。














必要に応じて、本製品を管理する際に使用するパスワードを入力し、[OK] を押します。

6. IP アドレス

[情報の表示]メニューで[IP アドレス]設定がオンになっている場合、本製品の IP アドレスがホーム画面に表示されます。

7. 機能アイコン、設定アイコン、ショートカットアイコン

基本的なアイコンと機能について、以下に説明します。使用可能な機能はお使いのモデルによって異なります。

-  **[全てのメニュー]**
本製品の設定メニューにアクセスするときに押します。
-  **[ファクス]**
ファクスモードにアクセスするときに押します。
-  **[コピー]**
コピーモードにアクセスするときに押します。
-  **[スキャン]**
スキャンモードにアクセスするときに押します。
-  **[セキュリティ印刷]**
[セキュリティ印刷] オプションにアクセスするときに押します。
-  **[USB]**
USB メニューにアクセスし、[スキャン to USB] または [USB ダイレクトプリント] オプションを選択するときに押します。
-  **[クラウド]**
本製品をウェブサービスに接続するときに押します。
-  **[お役立ちツール]**
本製品をお役立ちツールに接続するときに押します。
-  **[2 in 1 ID Copy]**
2in1 ID コピーオプションにアクセスするときに押します。
-  **[エコモード]**
[エコモード] メニューにアクセスするときに押します。
-  **(ショートカット)**
ファクス送信、コピー、スキャン、クラウド接続など、よく使用する機能のショートカットを作成するときに押します。

8. タブスクロールボタン

ホーム画面を切り替えるときに押します。

9. ホームタブ

押すと、ホームの画面を表示することができます。



- **新着ファクス**



「みるだけ受信」を「オン」に設定すると、メモリーに受信した新着ファクスの数が画面の上部に表示されます。

- **警告アイコン**



エラーまたはメンテナンスメッセージがあるときに、警告アイコン  が表示されます。メッセージを表示するには、メッセージ領域を押します。  を押すと、メインホーム画面に戻ります。

関連情報

- [本製品のご案内](#)

タッチパネル画面の操作方法

液晶ディスプレイに指を置いて操作します。すべてのオプションを表示してアクセスするには、上下左右にフリックするか、画面上の ◀、▶、▲ または ▼ を押してスクロールします。

重要

ペンや針等のとがったもので画面を押さないでください。製品が損傷するおそれがあります。

お願い

電源コードを差し込んだ直後、または電源を入れた直後は、すぐには画面に触らないでください。エラーを起こすおそれがあります。



本製品は、ARPHIC TECHNOLOGY CO., LTD.が所有するフォントを使用しています。




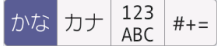

関連情報

- [本製品のご案内](#)

本製品にテキストを入力するには

- 本製品にテキストを入力する必要がある場合、液晶ディスプレイにキーボードが表示されます。
- 使用できる文字は、国によって異なる場合があります。
- キーボードのレイアウトは、操作によって異なる場合があります。
- キーボードのディスプレイはお使いのモデルによって異なる場合があります。






- (MFC-L8730CDW) を押して文字、数字、特殊記号を切り替えます。
- (MFC-L8970CDW) を押して文字、数字、特殊記号を選択します。
- を押して小文字と大文字を選択します。
- カーソルを左右に動かすには、◀または▶を押します。

スペースを挿入する

- スペースを入力するには、「スペース」または▶を押します。

訂正する

- 間違えて文字を入力し、これを変更したい場合、◀または▶を押して、カーソルを間違えた文字のところまで移動し、を押します。正しい文字を入力します。
- 文字を挿入するには、◀または▶を押し、カーソルを正しい場所まで移動してから文字を入力します。
- 1文字削除する場合はを押します。すべての文字を削除する場合はを長押しします。

漢字を入力する

- 画面に「変換」が表示されている場合は、漢字で入力することができます。

例：「鈴木」と入力する場合

操作のしかた	画面表示
[さ]を3回押す	す
▶を1回押す	す
[さ]を3回押す	すす
[` °]を1回押す	すず
[か]を2回押す	すずき
[変換]を1回押す	スズキ すずき 鈴木

操作のしかた	画面表示
	画面に変換候補が表示されます。
[鈴木]を押す	鈴木 入力が確定します。

関連情報



- [本製品のご案内](#)
-

メインホーム画面の設定

関連モデル: MFC-L8730CDW

画面を変更して、特定のホーム画面またはショートカット画面を表示できます。

本製品が無操作で一定の時間が経過したり、を押すと、画面は設定した画面に戻ります。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [画面設定] > [待機画面] を押します。
2. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して画面設定を表示し、使用する設定を押します。
3.  を押します。

液晶ディスプレイに、選択した画面が表示されます。このメイン画面は、必要に応じて変更できます。

関連情報

- [本製品のご案内](#)

本製品のカスタマイズ

関連モデル: MFC-L8970CDW

[管理者メニュー]では、ホーム画面の名前を変更したり、アイコンを並べ替えたりすることができます。

[ホーム画面設定]メニューと[その他画面設定]メニューは次の機能を提供します。

- ホーム画面のタブ名の変更
- ホーム画面に表示されるアイコンの追加、削除、位置の変更
- メインホーム画面の設定
- 画面の背景色の選択
- 製品の IP アドレスをホーム画面に表示するかどうかの選択
- コピー画面とスキャン画面のデフォルト機能の変更

[管理者メニュー]では、権限と制限を管理できます。

[制限管理]メニューは次の機能を提供します。

- [制限機能]
 - [セキュリティ機能ロック]
 - [AD 認証機能]
 - [LDAP 認証機能]
- [セキュリティ設定ロック]

詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。

✓ 関連情報

- [本製品のご案内](#)

関連トピック：

- [セキュリティ](#)
- [本製品の設定をロックする](#)
- [操作パネルの概要](#)

Brother ユーティリティへのアクセス (Windows)

Brother Utilities は、お使いのパソコンにインストールされたブラウザアプリケーションに簡単にアクセスできるアプリケーションランチャーです。

1. 次のいずれかを行ってください：

- (Windows 11)

 > **すべて** > **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。

- (Windows 10)

 > **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。

2. 本製品を選択します。



3. セットしたいオプションを選択します。

✓ 関連情報

- 本製品のご案内
 - ソフトウェアとドライバーをアンインストールする (Windows)

ソフトウェアとドライバーをアンインストールする (Windows)

1. 次のいずれかを行ってください：

- Windows 11



> **すべて** > **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。

- Windows 10



> **Brother** > **Brother Utilities** をクリックします。

2. 使用モデルが選択されていない場合、ドロップダウンリストから選択します。

3. 左側にあるナビゲーションバーの**ツール**をクリックします。

- **ソフトウェア更新通知**アイコンが表示されている場合は、それを選択して、**今すぐ確認する** > **ソフトウェア更新確認** > **更新**をクリックします。画面の指示に従います。
- **ソフトウェア更新通知**アイコンが表示されていない場合は、次のステップへ進みます。

4. **Brother Utilities** の**ツール**セクションの**アンインストール**をクリックします。

ダイアログボックスの指示に従い、ソフトウェアやドライバーをアンインストールします。



関連情報

- [Brother ユーティリティへのアクセス \(Windows\)](#)

Brother iPrint&Scan へのアクセス (Windows/Mac)

Windows および Mac 向けの Brother iPrint&Scan を使用して、お使いのパソコンから印刷およびスキャンします。

最新のバージョンをダウンロードするには：

- Windows の場合：

support.brother.com/downloads でお使いのモデルのソフトウェアダウンロードページに進み、Brother iPrint&Scan をダウンロードしてインストールします。

- Mac の場合：

Apple App Store から、Brother iPrint&Scan をダウンロードして、インストールします。

指示が表示された場合は、本製品を使用するために必要なドライバーとソフトウェアをインストールします。製品の最新のドライバーとソフトウェアを、support.brother.com/downloads でお使いのモデルのソフトウェアダウンロードページからダウンロードします。

1. Brother iPrint&Scan を起動します。

- Windows

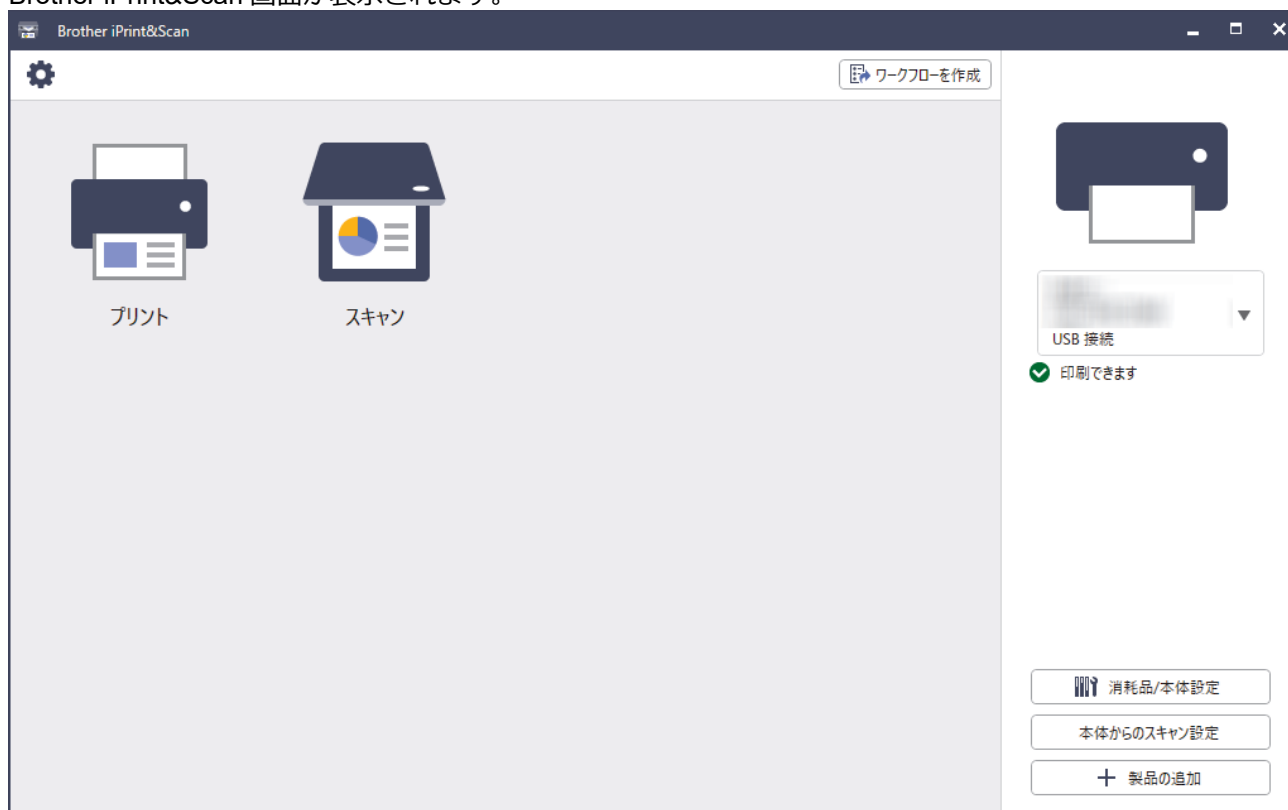


(Brother iPrint&Scan) アイコンをダブルクリックします。

- Mac

Finder メニューバーで移動 > アプリケーションをクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。

Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。



アプリケーションのバージョンによって、実際の画面と異なる場合があります。

✓ 関連情報

- [本製品のご案内](#)

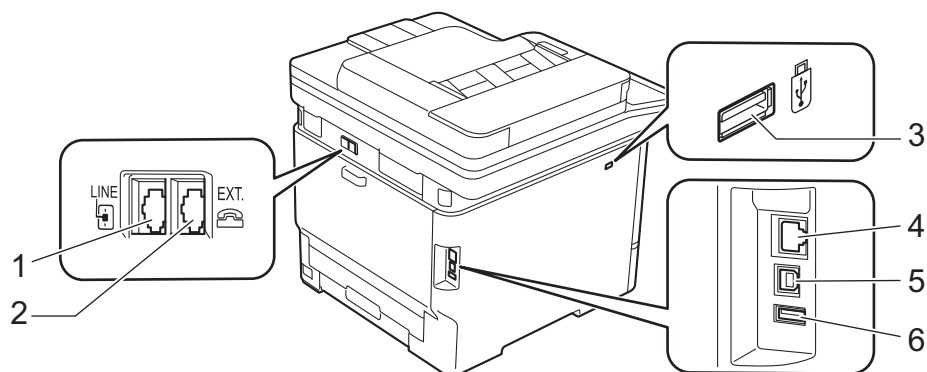
関連トピック：

- [Brother Mobile Connect](#)

-
- Brother iPrint&Scan を使用してスキャンする (Windows/Mac)
-

本製品の入出力ポートの場所

ポートは本製品の前面または背面にあります。



1. LINE ジャック (MFC モデル)
2. EXT.ジャック (MFC モデル)
3. USB アクセサリーポート (前面)
4. 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート (ネットワークモデル用)
5. USB ポート
6. USB アクセサリーポート (背面)
(MFC-L8970CDW)

USB ケーブルまたはネットワークケーブルを接続する場合は、ソフトウェアドライバーインストーラーに表示される指示に従ってください。

本製品の操作に必要なドライバーとソフトウェアをインストールするには、support.brother.com/downloads で、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページをご覧ください。

✓ 関連情報

- [本製品のご案内](#)

紙の取り扱い

- 用紙のセット
- 用紙設定
- 原稿のセット
- 読み取りできない範囲および印刷できない範囲
- 特殊用紙を使用する

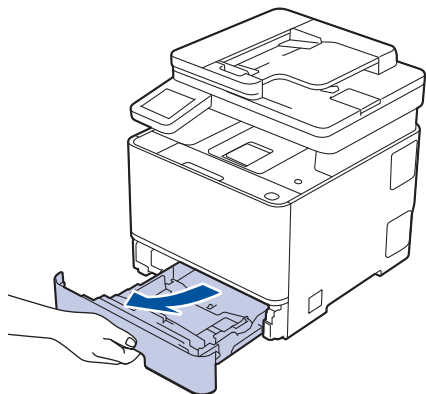
用紙のセット

- 用紙トレイに用紙をセットする
- 多目的トレイ（MPトレイ）に用紙をセットする
- 多目的トレイにラベルをセットして印刷する
- 多目的トレイに封筒をセットして印刷する

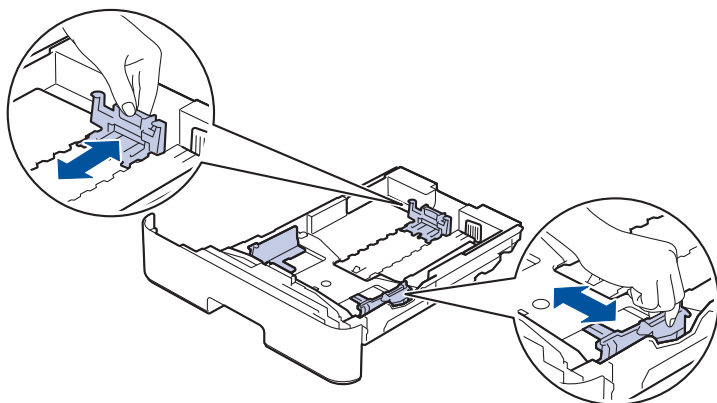
用紙トレイに用紙をセットする


- 用紙確認設定がオンに設定されているときに、製品から用紙トレイを引き出し、画面に用紙タイプと用紙サイズを変更するか尋ねるメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って、必要に応じてこれらの設定を変更します。
- サイズとタイプの異なる用紙をトレイにセットした場合、本製品かお持ちのパソコンでも用紙サイズと用紙タイプの設定を変更する必要があります。

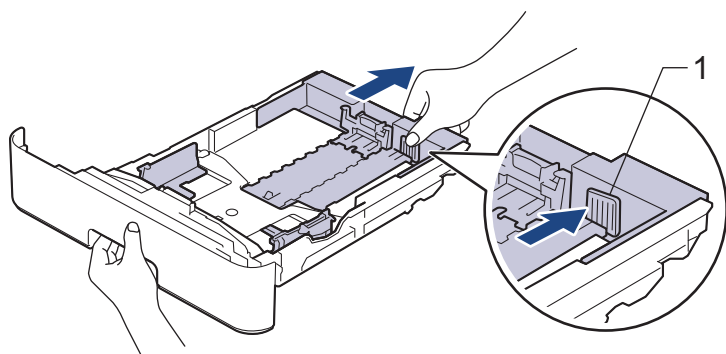
1. 用紙トレイを本製品から完全に引き出します。



2. 緑色のレバーを押して用紙ガイドをスライドさせ、用紙に合わせます。




 リーガルまたはフォリオ用紙では、用紙トレイの背面にあるリリースレバー (1) を押し、トレイの背面を引き出します。(地域により、リーガルまたはフォリオの用紙サイズは使用できません。)

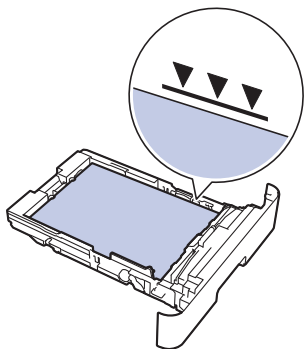


3. 用紙をよくさばきます。

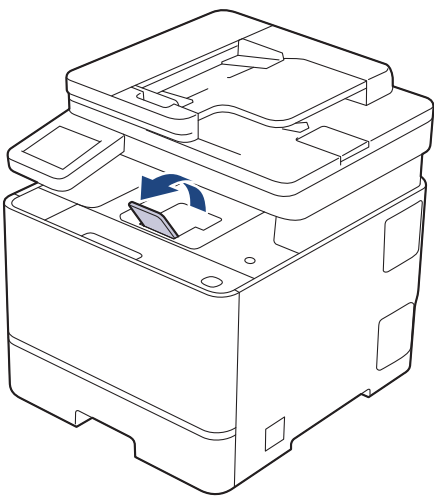
4. 用紙の印刷面を下にして、用紙トレイにセットします。

 レターヘッド紙や印刷済み用紙を使用する場合、用紙を正しい向きにセットします。「関連情報」をご覧ください：用紙トレイを使用してレターヘッドまたは印刷済み用紙に印刷するように本製品の設定を変更する

-
5. 用紙の束が最大用紙容量マーク (▼▼▼) よりも下になっていることを確認します。
用紙トレイに用紙を入れすぎると、紙詰まりの原因となります。



6. 用紙トレイをゆっくと押して、本製品に確実に取り付けます。
7. 排紙ストッパーを持ち上げて、用紙が排紙トレイから滑り落ちないようにします。



✓ 関連情報

- 用紙のセット
 - 用紙トレイを使用してレターヘッドまたは印刷済み用紙に印刷するように本製品の設定を変更する

用紙トレイを使用してレターヘッドまたは印刷済み用紙に印刷するように本製品の設定を変更する

レターヘッドまたは印刷済み用紙を両面印刷に使用するとき、本製品の設定を変更します。



- サイズやタイプの異なる用紙を同時に用紙トレイにセットしないでください。紙詰まりや紙送り異常の原因となる場合があります。
- 印刷位置がレターヘッドや事前に印刷されている用紙とずれている場合、用紙トレイの印刷位置設定で印刷位置を調整することができます。
- 印刷済み用紙は、印刷方法やインクの種類によっては、印刷汚れが発生する場合があります。

向き

	片面印刷の場合 • 下向き • 上端を用紙トレイの手前方向へ
	自動両面印刷（長辺とじ）の場合 • 上向き • 下端を用紙トレイの手前方向へ

1. [メニュー] > [全てのメニュー] > [プリンター] > [両面印刷] > [片面データ搬送方式] > [両面搬送経路] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. を押します。



関連情報

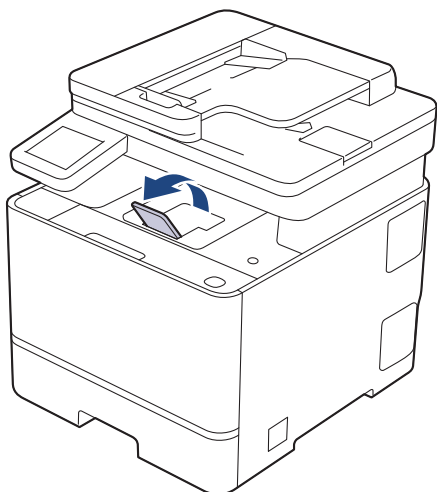
- [用紙トレイに用紙をセットする](#)

多目的トレイ (MP トレイ) に用紙をセットする

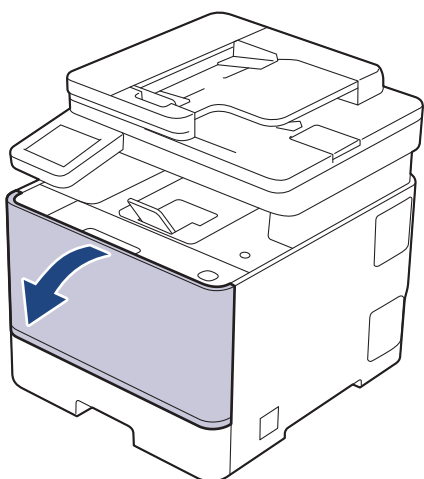
サイズとタイプの異なる用紙をトレイにセットした場合、本製品かお持ちのパソコンでも用紙サイズと用紙タイプの設定を変更する必要があります。

- 普通紙
- レターヘッド
- カラー用紙
- 薄紙
- 厚紙
- 再生紙
- ボンド紙
- 光沢紙
- はがき

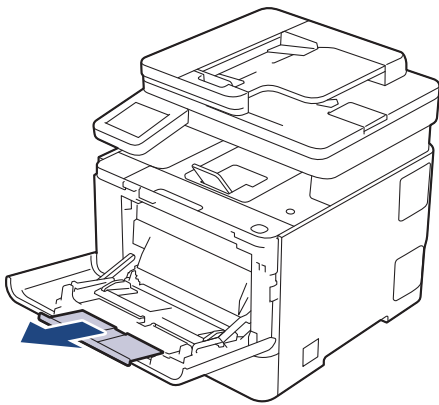
1. 排紙ストッパーを持ち上げて、用紙が上面排紙トレイから滑り落ちないようにします。



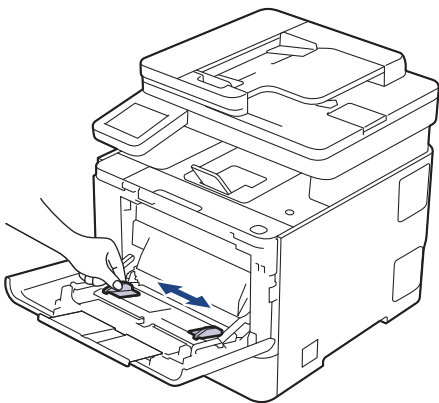
2. 多目的トレイを開き、静かに下げます。



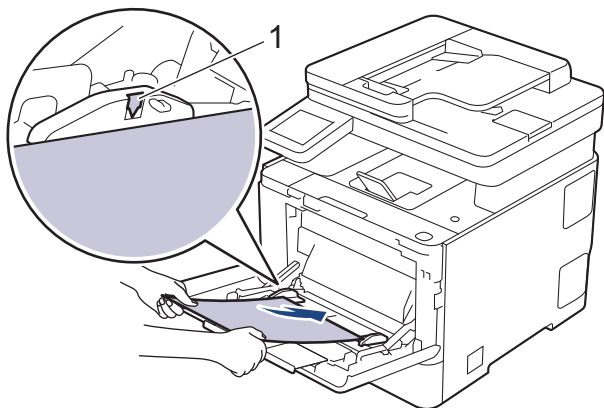
3. 多目的トレイサポートを引き伸ばします。



4. 使用する用紙サイズの幅に合わせて、多目的トレイの用紙ガイドを調整します。



5. 用紙の印刷面を上にして、多目的トレイにセットします。



- 用紙が最大積載枚数のマーク（1）を超えていないことを確認します。
- 光沢紙を使用する場合、多目的トレイには1度に1枚のみをセットして、紙詰まりを起こさないようにします。
- レターヘッド紙や印刷済み用紙を使用する場合、用紙を正しい向きにセットします。「関連情報」をご覧ください：多目的トレイを使用してレターヘッドまたは印刷済み用紙に印刷するように本製品の設定を変更する

✓ 関連情報

- 用紙のセット
 - 多目的トレイを使用してレターヘッドまたは印刷済み用紙に印刷するように本製品の設定を変更する

▲ホーム > 紙の取り扱い > 用紙のセット > 多目的トレイ (MPトレイ) に用紙をセットする > 多目的トレイを使用してレターヘッドまたは印刷済み用紙に印刷するように本製品の設定を変更する

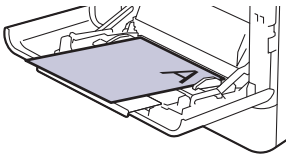
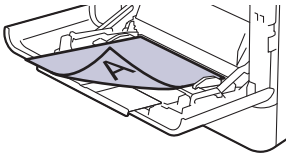
多目的トレイを使用してレターヘッドまたは印刷済み用紙に印刷するように本製品の設定を変更する


レターヘッドまたは印刷済み用紙を両面印刷に使用するとき、本製品の設定を変更します。



- サイズやタイプの異なる用紙を同時に用紙トレイにセットしないでください。紙詰まりや紙送り異常の原因となる場合があります。
- 印刷位置がレターヘッドや事前に印刷されている用紙とずれている場合、多目的トレイの印刷位置設定で印刷位置を調整することができます。
- 印刷済み用紙は、印刷方法やインクの種類によっては、印刷汚れが発生する場合があります。

向き

	片面印刷の場合 • 上向き • 上端を合わせる
	自動両面印刷 (長辺とじ) の場合 • 下向き • 下端を合わせる

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [プリンター] > [両面印刷] > [片面データ搬送方式] > [両面搬送経路]を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2.  を押します。



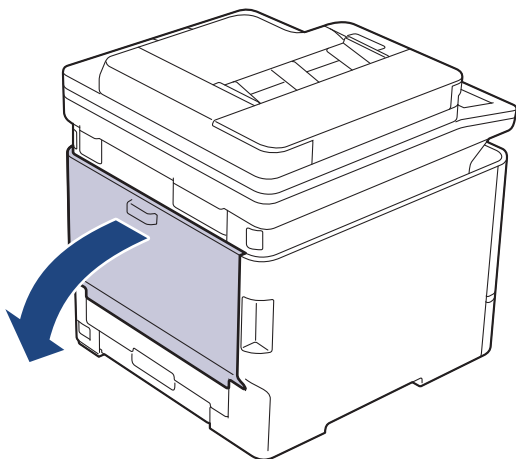
関連情報

- 多目的トレイ (MPトレイ) に用紙をセットする

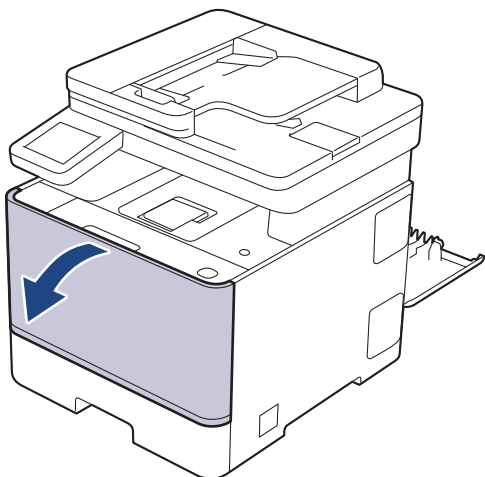
多目的トレイにラベルをセットして印刷する

ラベルに印刷する場合は、バックカバー（背面排紙トレイ）を開け、多目的トレイを使用します。
サイズとタイプの異なる用紙をトレイにセットした場合、本製品かお持ちのパソコンでも用紙サイズと用紙タイプの設定を変更する必要があります。

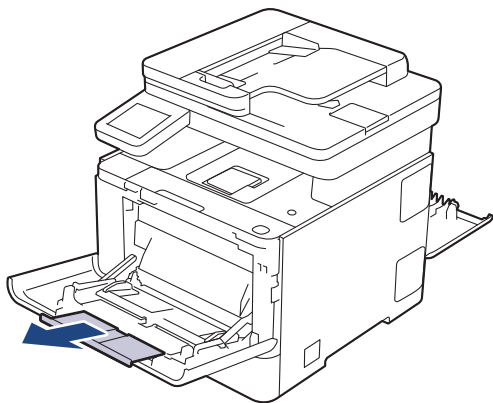
1. 本製品のバックカバー（背面排紙トレイ）を開けます。



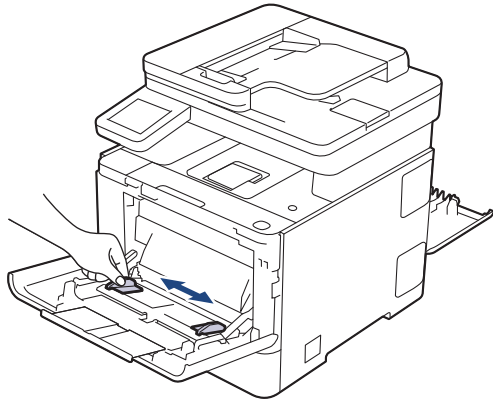
2. 本製品の前面にある多目的トレイを開け、静かに下げます。



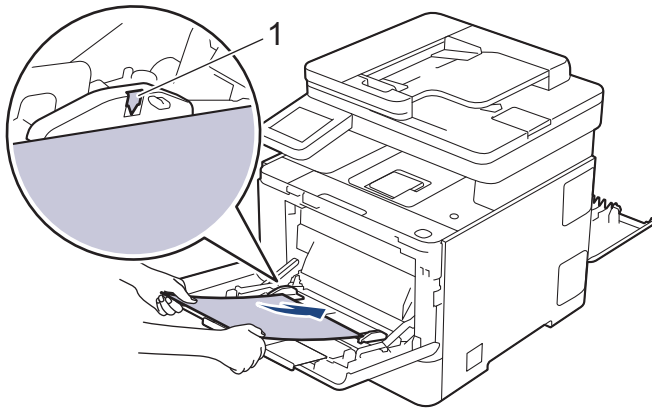
3. 多目的トレイサポートを引き伸ばします。



4. 使用するラベルの幅に合わせて、多目的トレイの用紙ガイドを調整します。



5. ラベルの印刷面を上にして、多目的トレイにセットします。



ラベルが最大積載枚数のマーク (1) を超えていないことを確認します。

6. 印刷画面で印刷設定を変更します。
7. 印刷ジョブを本製品に送信します。
8. 完了したら、本製品のバックカバー（背面排紙トレイ）が閉位置に固定されるまで完全に閉じます。

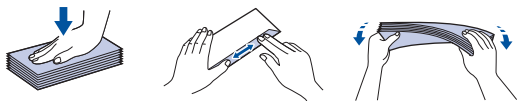


関連情報

- 用紙のセット

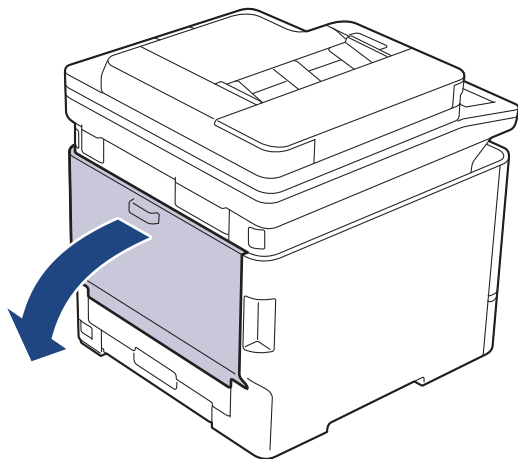
多目的トレイに封筒をセットして印刷する

封筒の角や側面を押して平らにしてからセットします。

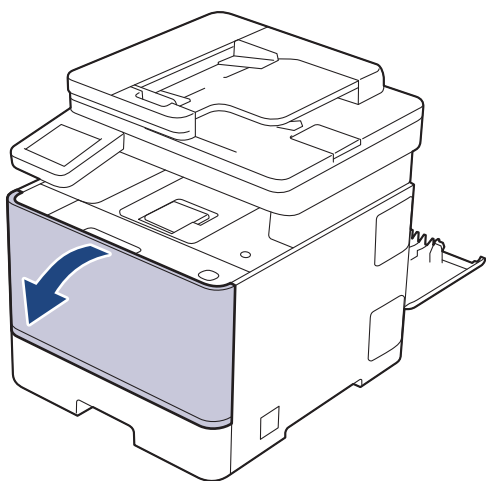


サイズとタイプの異なる用紙をトレイにセットした場合、本製品かお持ちのパソコンでも用紙サイズと用紙タイプの変更する必要があります。

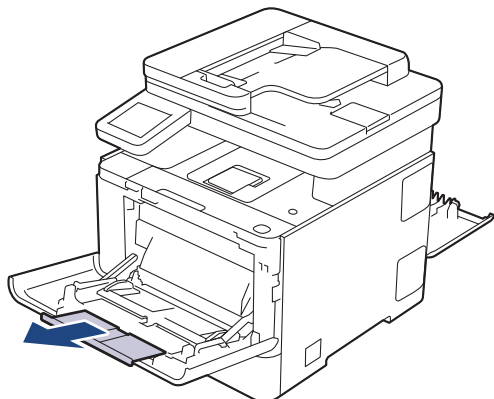
1. 本製品のバックカバー（背面排紙トレイ）を開けます。



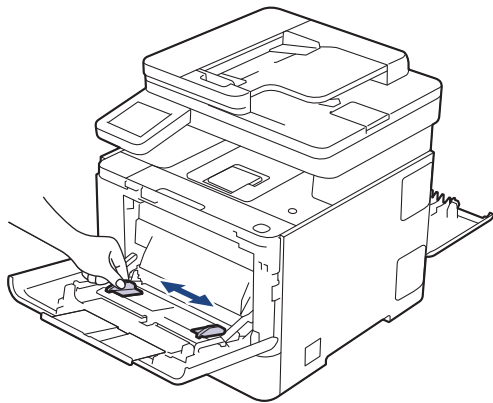
2. 本製品の前面にある多目的トレイを開け、静かに下げます。



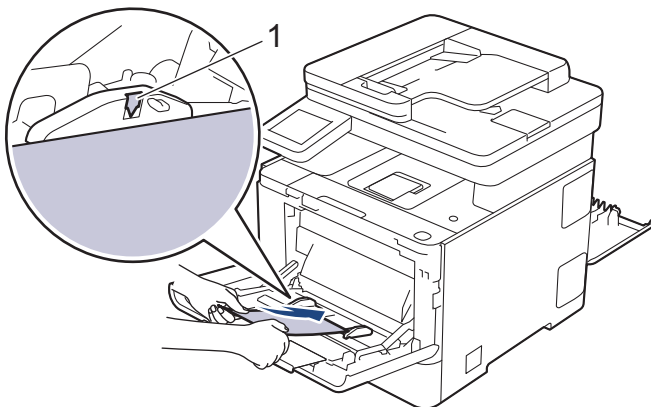
3. 多目的トレイサポートを引き伸ばします。



4. 使用する封筒の幅に合わせて、多目的トレイの用紙ガイドを調整します。



5. 封筒の印刷面を上にして、多目的トレイにセットします。



印刷面を上にして、封筒を多目的トレイにセットします。封筒が最大積載枚数のマーク（1）を超えていないことを確認します。

6. 印刷ダイアログボックスでお好みの設定を変更します。

設定	封筒に使用するオプション
用紙サイズ	長形 3 号封筒 長形 4 号封筒 洋形 4 号封筒
用紙種類	封筒 封筒 (厚め) 封筒 (薄め)

7. 印刷ジョブを本製品に送信します。

8. 完了したら、本製品のバックカバー（背面排紙トレイ）が閉位置に固定されるまで完全に閉じます。



関連情報


- 用紙のセット
- 印刷

用紙設定

- 用紙サイズと用紙タイプを変更する
- 印刷に使う用紙トレイを選択する
- トレイ確認の設定を変更する



用紙サイズと用紙タイプを変更する

トレイにセットする用紙のサイズと用紙タイプを変更した場合、画面でも用紙サイズと用紙タイプの設定を変更する必要があります。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [用紙トレイ設定] > [用紙タイプ] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. セットしたいオプションを押します。
3. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して用紙タイプオプションを表示させ、使用したいオプションを押します。
4.  を押します。
5. [用紙サイズ] を押します。
6. セットしたいオプションを押します。
7. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して用紙サイズオプションを表示させ、設定したいオプションを押します。
8.  を押します。




関連情報

- [用紙設定](#)


印刷に使う用紙トレイを選択する

コピー、受信したファクス、パソコンからの印刷ジョブを印刷するための、本製品のお買い上げ時に設定されている用紙トレイを変更します。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [用紙トレイ設定] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して [コピー]、 [ファクス]、または [プリント] を表示させ、希望のオプションを押します。
3. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して希望のオプションを表示し、それを押します。たとえば、 [多目的トレイ>トレイ 1] オプションを選択すると、本製品は多目的トレイから紙がなくなるまで給紙し、紙がなくなるとトレイ 1 から給紙します。
4.  を押します。



- ADF（自動原稿送り装置）を使用してコピーを取り、複数のトレイを優先設定している場合、本製品は最適な用紙がセットされているトレイを探し、そこから給紙します。
- 原稿台ガラスに紙をセットしてコピーをとる場合、最適な用紙が別の用紙トレイにセットされている場合でも、より高い優先度が設定されているトレイから給紙します。
- ファクスを印刷するには、A4 またはレターサイズの用紙を使用します。適切なサイズの用紙がトレイにセットされていない場合、本製品は受信したファクスを保管し、画面に [用紙サイズが合いません] が表示されます。
- トレイに用紙がセットされていない場合、受信したファクスを本製品のメモリーに保管し、画面に [用紙を送れません] が表示されます。用紙トレイに用紙をセットしてください。



関連情報

- [用紙設定](#)

トレイ確認の設定を変更する


用紙確認設定がオンに設定されているときに、本製品から用紙トレイを引き出したり、多目的トレイに用紙をセットすると、画面に用紙サイズと用紙タイプの設定を変更するか尋ねるメッセージが表示されます。

お買い上げ時の設定はオンです。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [用紙トレイ設定] > [トレイ確認] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. [オン] または [オフ] を押します。
3.  を押します。



関連情報

- [用紙設定](#)

原稿のセット

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする
- 原稿台ガラスに原稿をセットする

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

複数ページの一般的なサイズの原稿をコピーまたはスキャンするときは、ADF（自動原稿送り装置）を使用します。

- ADF（自動原稿送り装置）では、次の枚数をセットして1枚ずつ送ることができます。

最大 80 枚まで

- 坪量 80 g/m² の標準用紙を使用します。
- 原稿の修正液またはインクが完全に乾いたことを確認してください。

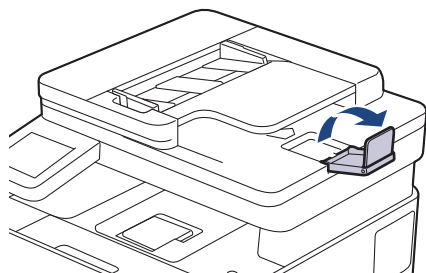
重要

- 原稿台ガラスの上に厚手の原稿を放置したままにしないでください。ADF(自動原稿送り装置)に紙が詰まる場合があります。
- カールした紙、しわのある紙、折ってある紙、破れた紙、ホチキスで閉じてある紙、クリップの付いた紙、のりが付いた紙、またはテープが付いた紙は使わないでください。
- ボール紙、新聞紙、または布は使わないでください。
- ADF(自動原稿送り装置)使用时、本製品の損傷を防ぐため、原稿の給紙中に原稿を引き出さないでください。

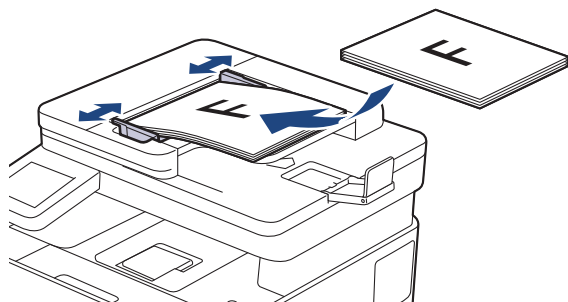
サポートされている原稿サイズ

長さ:	148 mm～355.6 mm
幅:	105 mm～215.9 mm
重さ:	60～105 g/m ²

1. ADF(自動原稿送り装置)原稿排紙トレイのフラップを開きます。



2. 用紙をよくさばきます。
3. イラストのように原稿のページをずらし、原稿を上向きにして上端を先に ADF（自動原稿送り装置）にセットします。



4. 原稿の幅に合わせて原稿ガイドを調整します。



関連情報

- 原稿のセット

原稿台ガラスに原稿をセットする

原稿台ガラスを使用して、1 ページずつファクス、コピー、またはスキャンします。

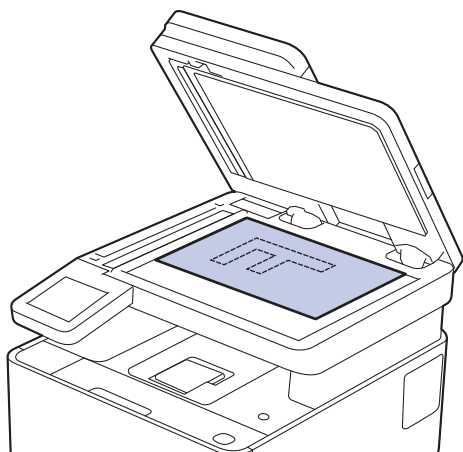
サポートされている原稿サイズ

長さ:	<ul style="list-style-type: none">• (MFC-L8730CDW) 最大 297 mm• (MFC-L8970CDW) 最大 355.6 mm
幅:	最大 215.9 mm
重さ:	最大 2 kg

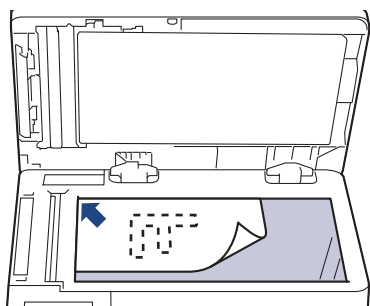
お願い

(ADF(自動原稿送り装置)搭載モデルの場合) 原稿台ガラスを使用する場合は、ADF (自動原稿送り装置) に何もセットしないでください。

1. 原稿台カバーを持ち上げます。
2. 原稿台ガラスに原稿を下向きに置きます。



3. 原稿台ガラスの左上隅にページの隅を合わせて置きます。



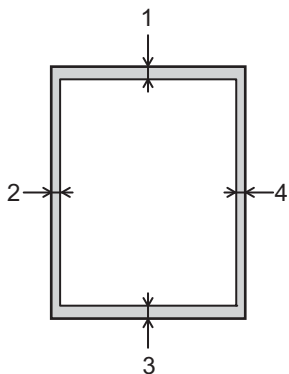
4. 原稿台カバーを閉じます。
原稿が本や厚い場合は、原稿台カバーを軽く押し付けます。

✓ 関連情報

- [原稿のセット](#)

読み取りできない範囲および印刷できない範囲

以下の表の数値は、一般的に使用される用紙サイズでの、端からの読み取り不可および印刷不可の最大値を示しています。この数値は、お使いのアプリケーションの用紙サイズや設定によって変わる場合があります。



これらの領域でスキャン、コピー、または印刷しようとしないでください。これらの領域は、出力に反映されません。

用途	原稿サイズ	上部 (1) 下部 (3)	左 (2) 右 (4)
ファクス (送信)	レター、リーガル	2.9 mm	3.9 mm
	A4	2.9 mm	(ADF (自動原稿送り装置)) 1.0 mm (原稿台ガラス) 3.0 mm
コピー ¹	レター	4.0 mm	4.0 mm
	A4	4.0 mm	3.0 mm
	はがき	4.0 mm	3.0 mm
スキャン	レター	3.0 mm ²	3.0 mm ²
	A4	3.0 mm ²	3.0 mm ²
	リーガル	3.0 mm ²	3.0 mm ²
印刷	レター	4.2 mm	4.2 mm
	A4	4.2 mm	4.2 mm
	はがき	4.2 mm	4.2 mm

¹ 1 in 1 コピーおよび 100%原稿サイズコピー

² 表示されている数値は初期値です。この数値は 0mm に調整可能です。数値を 0mm に設定すると、スキャンした画像の端に黒い影ができることがあります。



関連情報

- 紙の取り扱い

特殊用紙を使用する

用紙を購入する前に、サンプル用紙を使用して正しく印刷できるかを確認してください。

- 紙詰まりや製品損傷の原因となりますので、インクジェット紙は使用しないでください。
- ボンド紙、粗面紙、しわのある/しわ加工紙を使用すると、印字品質が低下することがあります。

印刷用紙は購入時のパッケージに封をして保管してください。平らな場所に置いて、多湿、直射日光、高温を避けてください。

重要

一部の用紙は印字品質を低下させ、製品損傷の原因となる場合があります。

次に該当する用紙は使用しないでください:

- 表面が極めてざらついている
- 表面が極めてつるつるしている、または光沢がある
- 丸まっている、または反っている
- コーティング加工または化学薬品で仕上げされている
- 破損、しわ、または折り曲げがある
- 本ガイドで指定する推奨重量を超えている
- タブやホチキスが留められている
- 低温染料使用またはサーモグラフィ加工されたレターヘッド
- マルチパートまたはノーカーボン紙
- インクジェット専用紙
- 表面に接着剤が塗布された用紙

上記いずれかに該当する用紙をご使用になった場合、製品損傷の原因となる場合があります。これが起因の損傷は、保証またはサービス契約の対象外となります。

✓ 関連情報

- [紙の取り扱い](#)

印刷

- パソコンから印刷する (Windows)
- パソコンから印刷する (Mac)
- 多目的トレイに封筒をセットして印刷する
- Eメールの添付ファイルを印刷する
- USB フラッシュメモリーを使用したセキュリティ印刷
- マスストレージをサポートする USB フラッシュメモリーまたはデジタルカメラからデータを直接印刷する
- 副本を印刷する
- 印刷ジョブをキャンセルする
- ユニバーサルプリント

パソコンから印刷する (Windows)

- 文書を印刷する (Windows)
- 用紙の両面に印刷する (Windows)
- セキュリティ印刷 (Windows)
- 初期値の印刷設定を変更する (Windows)
- 印刷設定 (Windows)
- BR-Script3 プリンタードライバー (PostScript® 3™ 言語エミュレーション) を使用して文書を印刷する (Windows)

文書を印刷する (Windows)

アプリケーションの印刷設定を変更した場合、その変更はそのアプリケーションで印刷される文書にのみ適用されます。



- お使いのモデルによっては両面印刷が初期設定であることがあります。片面印刷時の場合は、プリンタードライバーの両面印刷設定をオフにします。
- すべての Windows アプリケーションの印刷設定を変更するには、プリンタードライバーのプロパティを設定する必要があります。

詳しい説明は「関連情報」をご覧ください：初期値の印刷設定を変更する (Windows)

- 用紙トレイに用紙をセットします。
- アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
- お使いのモデル名を選択し、プリンターのプロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。プリンタードライバーの設定画面が表示されます。



- 用紙トレイに正しいサイズの用紙がセットされているかを確認します。
- 用紙サイズのリストから用紙サイズを選択します。
- 印刷の向き欄で縦または横オプションを選択し、印刷物の向きを設定します。



お使いのアプリケーションに同様の設定が備わっている場合は、アプリケーションを使用して印刷物の向きを設定することをお勧めします。

- 部数欄に、印刷したい部数 (1~999 部) を入力します。
- 用紙種類のドロップダウンリストからお使いになる用紙の種類を選択します。
- 複数ページの内容を 1 枚に印刷したいとき、または 1 ページの内容を複数枚にわたって印刷したいときは、レイアウトのドロップダウンリストからお好みの設定を選択します。
- 両面印刷/小冊子印刷ドロップダウンリストをクリックし、使用するオプションを選択します。
- 給紙方法のドロップダウンリストから給紙方法を選択します。



- 製品の操作パネルを使用すると、トレイごとに用紙サイズと用紙タイプを設定できます。
- 製品の操作パネルを使用すると、トレイごとに優先順位を設定できます。

詳しい説明は「関連情報」をご覧ください：用紙設定

12. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。

13. **OK** をクリックします。

14. 印刷操作を完了します。



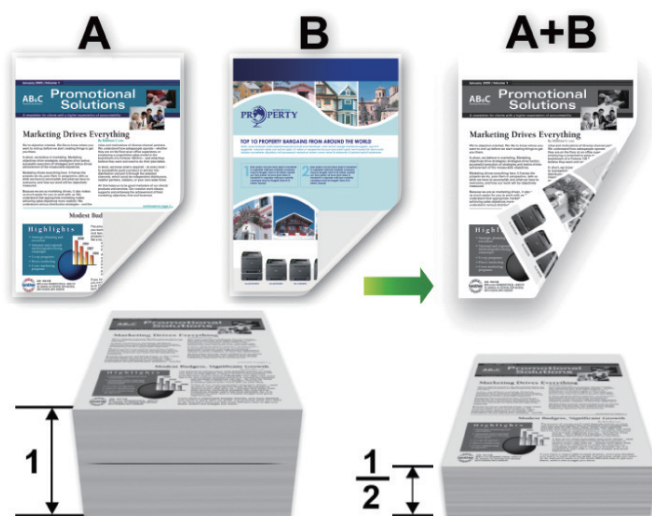
関連情報

- [パソコンから印刷する \(Windows\)](#)

関連トピック：

- [初期値の印刷設定を変更する \(Windows\)](#)
- [用紙設定](#)
- [印刷設定 \(Windows\)](#)

用紙の両面に印刷する (Windows)



- 用紙がカールしている場合は、真っ直ぐに伸ばしてから用紙トレイに戻します。
- 普通紙または薄紙を使用します。ボンド紙は使用しないでください。
- 用紙が薄過ぎると、しわになることがあります。
- 手動の両面印刷機能を使用する場合、紙詰まりが発生したり、印刷品質が悪くなる場合があります。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. お使いのモデル名を選択し、プリンターのプロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **印刷の向き**欄で縦または横オプションを選択し、印刷物の向きを設定します。



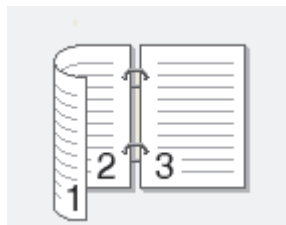
お使いのアプリケーションに同様の設定が備わっている場合は、アプリケーションを使用して印刷物の向きを設定することをお勧めします。

4. **両面印刷/小冊子印刷**ドロップダウンリストをクリックし、**両面印刷**を選択します。
5. **両面印刷設定**ボタンをクリックします。
6. **とじ方**メニューからオプションのいずれかを選択します。
両面印刷が選択された場合、それぞれの向きで、4種類の両面印刷の綴じ方から選択できます。

縦向き

詳細

長辺とじ (左)

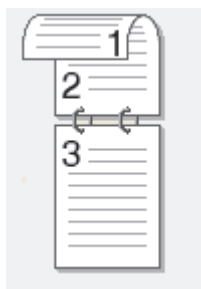


長辺とじ (右)

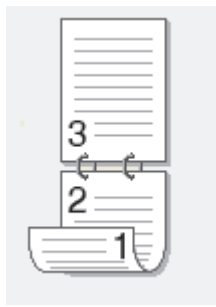


縦向き	詳細
-----	----

短辺とじ (上)



短辺とじ (下)



横向き	詳細
-----	----

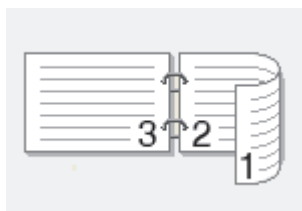
長辺とじ (上)



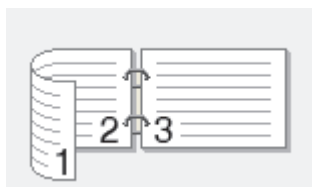
長辺とじ (下)



短辺とじ (右)



短辺とじ (左)



7. 綴じるための余白をインチまたはミリメートルで指定したいときは、**とじしろ**チェックボックスを選択します。
8. **OK** をクリックします。
9. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
10. **OK** をクリックします。
11. 印刷操作を完了します。

用紙が正しくセットされていないと、用紙がカールすることがあります。用紙を取り出し、真っ直ぐに伸ばしてから用紙トレイに戻します。

関連情報

- [パソコンから印刷する \(Windows\)](#)
-

セキュリティ印刷 (Windows)

セキュリティ印刷を使用して、本製品の操作パネルでパスワードを入力するまで機密文書や取り扱い注意の文書が印刷されないようにします。

本製品の電源を切ると、セキュリティデータは本製品から削除されます。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. お使いのモデル名を選択し、プリンターのプロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. **拡張機能**タブをクリックします。
4. **セキュリティ印刷**欄の**設定**ボタンをクリックします。
5. **セキュリティ印刷**チェックボックスを選択します。
6. **パスワード**欄で4桁のパスワードを入力します。
7. 必要に応じて、**ユーザー名**および**印刷ジョブ名**欄にユーザー名とジョブ名を入力します。
8. **OK**をクリックし、**セキュリティ印刷設定**画面を閉じます。
9. **OK**をクリックします。
10. 印刷操作を完了します。
11. 本製品の操作パネルで、左右にフリックするか、◀または▶を押して[セキュリティ印刷]を表示し、それを押します。
12. 上下にフリックするか、▲または▼を押してユーザー名を表示し、お使いのユーザー名を押します。
13. 4桁のパスワードを入力し、[OK]を押します。
14. 上下にフリックするか、▲または▼を押して印刷ジョブを表示し、表示した印刷ジョブを押します。
15. 印刷枚数を入力し、[OK]を押します。
16. [スタート]を押します。



セキュリティで保護されたデータは印刷後、本製品のメモリーから消去されます。

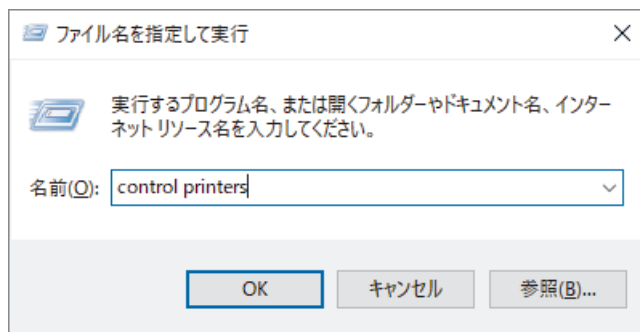
✓ 関連情報

- [パソコンから印刷する \(Windows\)](#)


初期値の印刷設定を変更する (Windows)

アプリケーションの印刷設定を変更した場合、その変更はそのアプリケーションで印刷される文書にのみ適用されます。すべての Windows アプリケーションの印刷設定を変更するには、プリンタードライバーのプロパティを設定する必要があります。


1. パソコンのキーボードで、キーを長押ししながら キーを押して、**ファイル名を指定して実行**を起動します。
2. **"control printers"**を**名前:**欄に入力し、**OK**をクリックします。



デバイスとプリンター画面が表示されます。

 デバイスとプリンター画面が表示されない場合、**デバイス > その他のデバイスとプリンターの設定**をクリックします。

3. お使いのモデルのアイコンを右クリックし、**プリンターのプロパティ**を選択します。(プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。)プリンターのプロパティのダイアログボックスが表示されます。
4. **全般**タブをクリックし、**印刷設定**または**基本設定**ボタンをクリックします。プリンタードライバーのダイアログボックスが表示されます。

 ・ トレイ設定を行うには、**デバイスの設定**タブをクリックします (特定モデルのみ対応)。
・ プリンターポートを変更するには、**ポート**タブをクリックします。

5. すべての Windows プログラムで初期値として使いたい印刷設定を選択します。
6. **OK**をクリックします。
7. プリンタープロパティダイアログボックスを閉じます。

✓ 関連情報

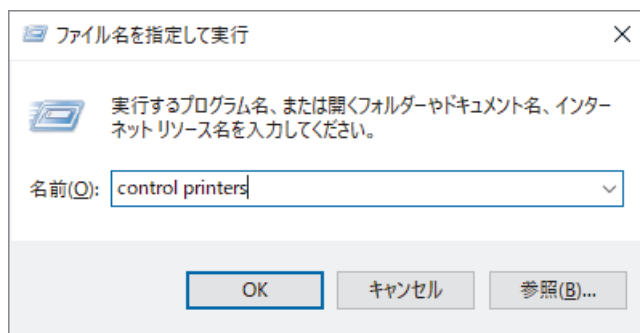
- ・ [パソコンから印刷する \(Windows\)](#)
 - ・ [増設トレイを設定する \(Windows\)](#)

増設トレイを設定する (Windows)


本製品のプロパティにアクセスして、増設トレイを自動検出し、シリアル番号を確認します。

プリンタードライバーのインストール中に、増設トレイがプリンタードライバーにより自動的に検出されます。ドライバーのインストール後に増設トレイを追加する場合は、この手順に従います：

1. パソコンのキーボードで、**Win**キーを長押ししながら**R**キーを押して、**ファイル名を指定して実行**を起動します。
2. **"control printers"**を**名前:**欄に入力し、**OK**をクリックします。



デバイスとプリンター画面が表示されます。

 デバイスとプリンター画面が表示されない場合、**デバイス > その他のデバイスとプリンターの設定**をクリックします。

3. お使いのモデルのアイコンを右クリックし、**プリンターのプロパティ**を選択します。(プリンタードライバーのオプションが表示された場合は、お使いのドライバーを選択します。)プリンターのプロパティのダイアログボックスが表示されます。
4. **デバイスの設定**タブをクリックします。
5. **自動検知**ボタンをクリックします。増設トレイと本製品のシリアル番号は、自動的に検出されます。
6. **適用**ボタンをクリックします。
7. プリンタープロパティダイアログボックスを閉じます。

本製品が以下の状態の場合は、**自動検知**機能は利用できません。

- 本製品の電源がオフになっています。
- プリントサーバーで本製品が共有されています。
- 本製品とお使いのパソコンが接続されていません。

✓ 関連情報

- [初期値の印刷設定を変更する \(Windows\)](#)

印刷設定 (Windows)



- アプリケーションの印刷設定を変更した場合、その変更はそのアプリケーションで印刷される文書にのみ適用されます。
詳しい説明は「関連情報」をご覧ください：文書を印刷する (Windows)
- お買い上げ時の印刷設定を変更するには、プリンタードライバーのプロパティを設定する必要があります。
詳しい説明は「関連情報」をご覧ください：初期値の印刷設定を変更する (Windows)

>> 基本設定タブ

>> 拡張機能タブ

基本設定タブ

1. 用紙サイズ

使用する用紙サイズを選択します。標準の用紙サイズから選択するか、カスタム用紙サイズを作成するかを選択します。

2. 印刷の向き

印刷の向き（縦または横）を選択します。

お使いのアプリケーションに同様の設定が備わっている場合は、アプリケーションを使用して印刷物の向きを設定することを推奨します。

3. 部数

印刷する部数（1～999）を入力します。

部単位

複数ページの文書を元のページの順序に合わせて印刷する場合に、選択します。選択した場合は、文書一式を一部印刷し、設定した部数に応じて残りの部数分だけ同様に印刷が繰り返されます。選択しない場合は、各ページが設定された部数だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。

4. 用紙種類

使用する用紙の種類を選択します。印刷品質保持のため、選択された用紙の種類に合った印刷設定を本製品が自動的に設定します。

5. 印刷品質

印刷の品質を選択します。印刷品質と印刷速度には相互関係があるため、品質が高いほど印刷速度は遅くなります。

6. カラー/モノクロ

使用する カラー/モノクロ設定を選択します。

お願い

- 本製品のカラーセンサーは非常に感度が高いため、薄い黒色のテキストやオフホワイトの背景をカラーとして認識する可能性があります。印刷する文書が白黒で、カラートナーを節約したい場合は、**モノクロモード**を選択してください。
- カラー文書の印刷中に、シアン、マゼンタ、またはイエローのいずれかのトナーが切れると、印刷ジョブは完了できません。ブラックトナーが使用できる場合は、印刷ジョブをキャンセルし、もう一度**モノクロモード**で印刷ジョブを選択して再開してください。

7. 文書種類

印刷する文書の種類を選択します。

設定ボタン

カラーモードなどの詳細設定を指定します。

カラー設定

お好みのカラーモードを選択します。

読み込み

特定の画像の印刷設定を調整するには、**設定**をクリックします。明るさやコントラストなどの画像パラメータの調整を終えたら、それらの設定を印刷設定ファイルとしてインポートします。**書き出し**オプションを使用して、現在の設定値から印刷設定ファイルを作成します。

書き出し

特定の画像の印刷設定を調整するには、**設定**をクリックします。明るさやコントラストなどの画像パラメータの調整を終えたら、それらの設定を印刷設定ファイルとしてエクスポートします。**読み込み**オプションを使用して、以前エクスポートした設定ファイルを読み込みます。

グレーの印刷を改善する

影付きの部分の画像品質を高める場合は、このオプションを選択します。

黒色を強調して印刷する

黒のグラフィックが正しく印刷されない場合は、この設定を選択します。

パターン印刷を改善する

コンピューター画面に表示される塗りつぶしやパターンと異なる印刷がされる場合にパターン印刷を改善するには、このオプションを選択します。

8. レイアウト

複数ページの内容を 1 枚に印刷したいとき、または 1 ページの内容を複数枚にわたって印刷したいときに選択します。

ページの順序

複数ページの内容を 1 枚に印刷するときのページの順序を選択します。

仕切り線

複数ページの内容を 1 枚に印刷するときの仕切り線の種類を選択します。

9. 両面印刷/小冊子印刷（特定のモデルのみ対応）

両面印刷または小冊子印刷をする場合に選択します。

両面印刷設定ボタン

綴じ方を選択するときこのボタンを押します。それぞれの向きごとに 4 タイプの綴じ方があります。

10. 給紙方法

印刷条件や目的に合った給紙方法を選択します。

1 ページ目

1 ページ目を印刷するときに使用する給紙方法を選択します。

2 ページ目以降

2 ページ目以降を印刷するときに使用する給紙方法を選択します。

拡張機能タブ



1. 拡大縮小

印刷したい文書の内容を拡大、または縮小するときに選択します。

印刷用紙サイズに合わせます

印刷に使用する用紙サイズに合わせて文書のサイズを拡大、縮小するときに選択します。選択した場合は、ドロップダウンリストから用紙サイズを選択します。

任意倍率 [25 - 400 %]

文書のページを手動で拡大または縮小する場合は、このオプションを選択します。このオプションを選択した場合は、入力欄に値を入力します。

2. 上下反転

上下を 180 度回転して印刷できます。

3. 透かし印刷を使う

ロゴや文字を透かしとして文書に印刷するときに選択します。あらかじめ設定されている透かしから 1 つを選択するか、新しい透かしを追加するか、または自分で作成した画像ファイルを使用します。

4. 現在の日付・時間・ID を印刷する

日時およびログインユーザー名を文書に印刷する場合に選択します。

5. トナー節約モード

この機能を選択すると、少ない量のトナーで印刷できます。印字は薄くなりますが、読むのに問題はありません。

6. セキュリティ印刷

この機能は、本製品の操作パネルでパスワードを入力するまで機密文書や取り扱い注意の文書が印刷されないようにします。

7. 設定保護管理機能

この機能を使用すると、管理者パスワードを変更したり、さまざまな印刷機能を制限できます。

8. ユーザー認証

この機能を使用すると、各ユーザーに対する制限を確認できます。

9. その他特殊機能ボタン

スリープまでの時間

印刷後すぐにスリープモードに移行するよう設定する場合は、このオプションを選択します。

マクロ/ストリーム設定（特定のモデルのみ対応）

この機能を選択すると、本製品のメモリーに印刷ジョブのオーバーレイとして保存した電子フォーム（マクロ/ストリーム）が印刷されます。

印刷結果の改善

紙の反りを抑えたり、トナーの定着を改善したりする場合に、このオプションを選択します。

文字強調

このオプションを選択すると、文字がよりシャープに表示されます。

白紙ページの節約

プリンタードライバーが自動的に空白ページを検出し、印刷しないようにする場合は、このオプションを選択します。

TrueType 設定

モード

印刷に使用するフォントの処理方法を選択します。

エコ設定

この項目を選択すると印刷時の音が軽減されます。

原稿位置の調整

印刷開始位置を調整するには、このオプションを選択します。

✓ 関連情報

- [パソコンから印刷する \(Windows\)](#)

関連トピック：

- [初期値の印刷設定を変更する \(Windows\)](#)
- [文書を印刷する \(Windows\)](#)

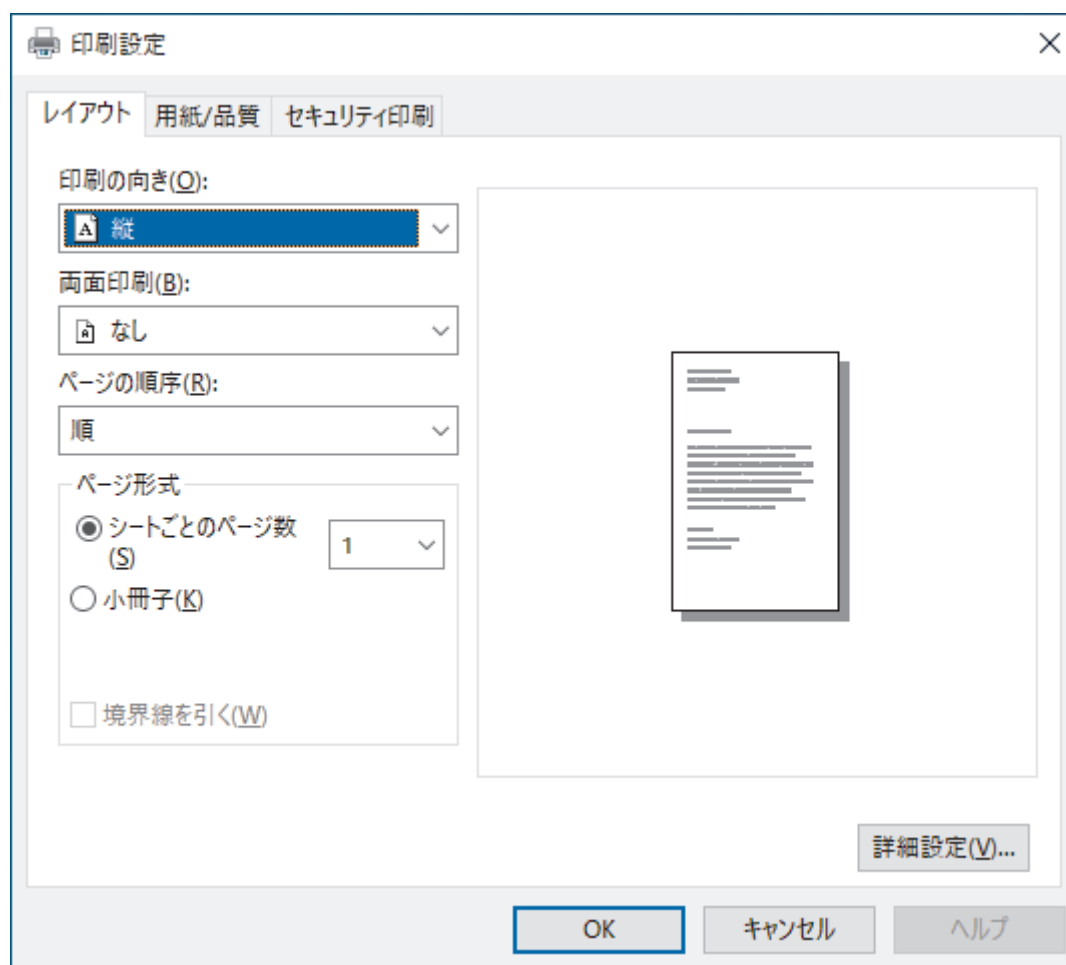
BR-Script3 プリンタードライバー (PostScript® 3™ 言語エミュレーション) を使用して文書を印刷する (Windows)

BR-Script3 プリンタードライバーを使用すると、PostScript®データをより鮮明に印刷できます。

support.brother.com/downloads で、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページに移動し、PS ドライバー (BR-Script3 プリンタードライバー) をインストールします。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **BR-Script3** を含むお使いのモデルを選択し、プリンターのプロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。

プリンタードライバーの設定画面が表示されます。



3. **レイアウト**、**用紙/品質**、または **セキュリティ印刷** タブをクリックして、基本的な印刷設定を変更します。(特定のモデルのみ対応)

レイアウトまたは**用紙/品質**タブをクリックし、**詳細設定**ボタンをクリックして、詳細な印刷設定を変更します。**OK** をクリックします。

4. **OK** をクリックします。
5. 印刷操作を完了します。

✓ 関連情報

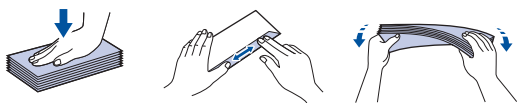
- [パソコンから印刷する \(Windows\)](#)

パソコンから印刷する (Mac)

- AirPrint を使用する前に (macOS)
- AirPrint を使用して印刷する

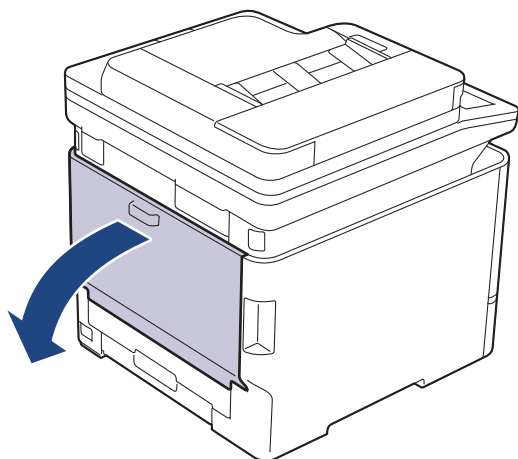
多目的トレイに封筒をセットして印刷する

封筒の角や側面を押して平らにしてからセットします。

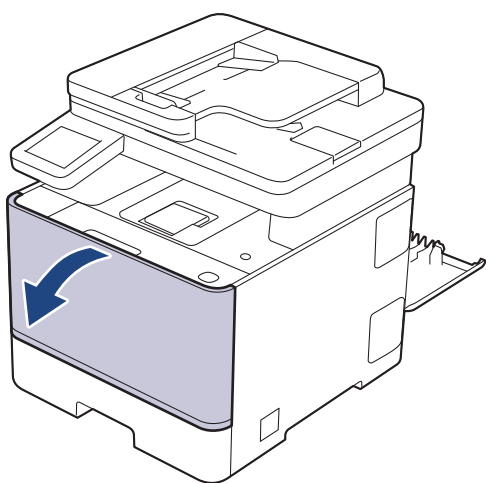


サイズとタイプの異なる用紙をトレイにセットした場合、本製品かお持ちのパソコンでも用紙サイズと用紙タイプの変更する必要があります。

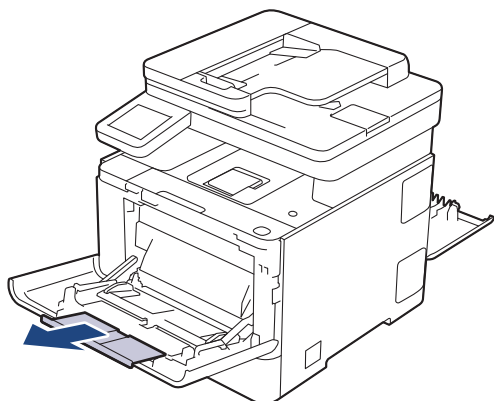
1. 本製品のバックカバー（背面排紙トレイ）を開けます。



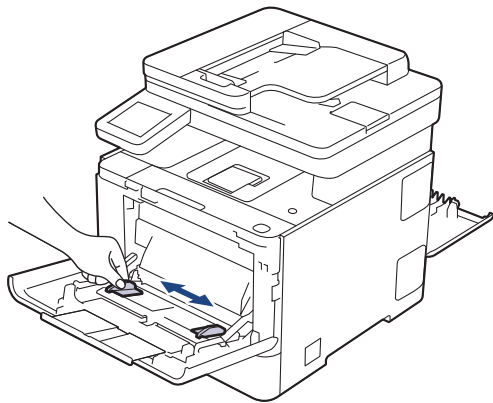
2. 本製品の前面にある多目的トレイを開け、静かに下げます。



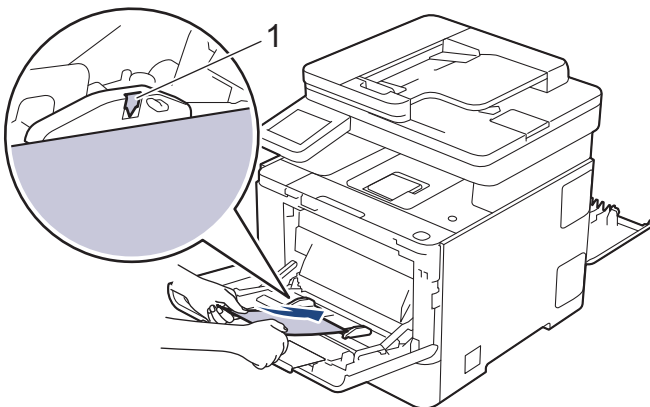
3. 多目的トレイサポートを引き伸ばします。




4. 使用する封筒の幅に合わせて、多目的トレイの用紙ガイドを調整します。



5. 封筒の印刷面を上にして、多目的トレイにセットします。



 印刷面を上にして、封筒を多目的トレイにセットします。封筒が最大積載枚数のマーク（1）を超えていないことを確認します。

6. 印刷ダイアログボックスでお好みの設定を変更します。

設定	封筒に使用するオプション
用紙サイズ	長形 3 号封筒 長形 4 号封筒 洋形 4 号封筒
用紙種類	封筒 封筒 (厚め) 封筒 (薄め)

7. 印刷ジョブを本製品に送信します。

8. 完了したら、本製品のバックカバー（背面排紙トレイ）が閉位置に固定されるまで完全に閉じます。

✓ 関連情報

- 用紙のセット
- 印刷

Eメールの添付ファイルを印刷する

Eメールで本製品にファイルを送信して印刷できます。

- 最大 10 個、計 20MB の文書をメールに添付できます。
- この機能は、次の形式に対応しています。
 - 文書ファイル：PDF、TXT、Microsoft Office ファイル
 - 画像ファイル：JPEG、BMP、GIF、PNG、TIFF
- 本製品は Eメールの文章と添付ファイルの両方を印刷します。Eメールの添付ファイルのみ印刷するには、必要に応じて設定を変更します。

1. Web Based Management を起動します。▶▶ [Web Based Management にアクセスする](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**オンライン機能** > **オンライン機能設定** をクリックします。



- 左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。
- この機能がロックされている場合は、ネットワーク管理者に連絡してアクセスできるように依頼してください。

3. **同意してオンライン機能を有効にする** ボタンをクリックして、画面の指示に従います。
4. パソコンで、**基本設定** をクリックします。
Eメールプリント：基本設定 画面が表示されます。
5. **オンにする** ボタンをクリックします。
説明シートが印刷されます。
6. シートに記載されているメールアドレスに Eメールを送信します。メールの添付ファイルが印刷されます。



- Eメールアドレスや印刷設定などの設定を変更するには、**オンライン機能の設定** ボタンをクリックします。
- 本製品から設定することもできます。[お役立ちツール] > [オンライン機能] を押して、画面の指示に従います。



関連情報

- [印刷](#)

関連トピック：

- [Web Based Management にアクセスする](#)

USB フラッシュメモリーを使用したセキュリティ印刷

関連モデル: MFC-L8970CDW

USB ストレージプリントは、本製品の操作パネルでパスワードを入力することで、USB フラッシュメモリーにセキュリティで保護されたプリントデータを保存し、後からプリントすることができる機能です。

お願い

USB フラッシュメモリーの要件：

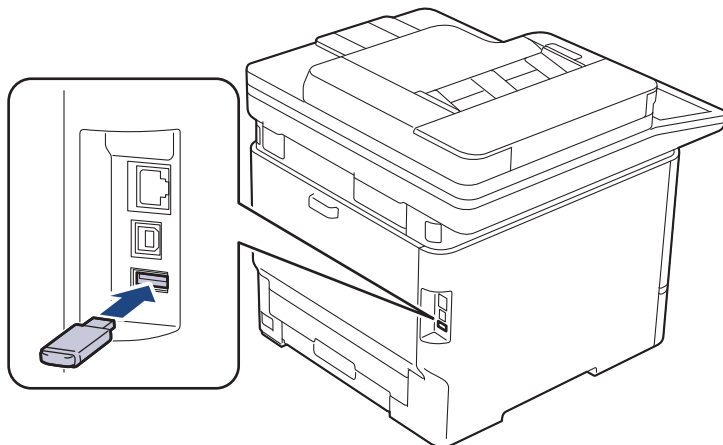
- ・ ストレージサイズ：8 GB 以上
- ・ フォーマット：FAT32/exFAT



USB フラッシュメモリーの推奨事項

ストレージサイズ：16 GB 以上

- ・ USB フラッシュメモリーに保存したデータは暗号化されますが、あらゆる状況で不正なアクセスから保護される訳ではありません。データと USB フラッシュメモリーは、安全に管理および保管してください。
- ・ USB フラッシュメモリーのデータは、そのデータを保存した製品でのみ読み取り可能です。別の製品、機器またはパソコンではデータを読み取ることはできません。
- ・ 本製品からデータを保存するために USB フラッシュメモリーが不要となり、別の目的で USB フラッシュメモリーを使用する場合は、すべての保存されたデータを削除し、パソコンで USB フラッシュメモリーを初期化してください。USB フラッシュメモリーを初期化または空にするには、そのユーザーマニュアルを参照してください。

1. USB フラッシュメモリーを USB ポート（背面）に接続します。



2.  を押します。
3. 本製品の操作パネルで、 [全てのメニュー] > [プリンター] > [印刷ジョブ保存先] を押します。
4. [USB メモリ (後部 USB ポート)] を押します。
USB フラッシュメモリーを初期化するメッセージが表示されます。

お願い

印刷ジョブの保存先を変更すると、本製品のメモリーに保存されているジョブ、マクロ、ストリーム、フォントのデータはすべて削除されます。

5. [OK] を 2 秒間長押しし、初期化します。
本製品が再起動し、USB ストレージプリント機能が有効になります。

お願い

本製品が再起動し、USB ストレージプリント機能が有効になると、マクロ、ストリーム、フォントのデータが USB フラッシュメモリーから削除されます。

6. プリンタードライバーで、セキュリティ印刷オプションの設定を完了し、アプリケーションで印刷コマンドを実行します。
7. 本製品の操作パネルで、左右にフリックするか、◀または▶を押して[セキュリティ印刷]を表示し、それを押します。
8. 上下にフリックするか、▲または▼を押してユーザー名を表示し、お使いのユーザー名を押します。
9. 4桁のパスワードを入力し、[OK]を押します。
10. 上下にフリックするか、▲または▼を押して印刷ジョブを表示し、表示した印刷ジョブを押します。
11. 印刷枚数を入力し、[OK]を押します。
12. [スタート]を押します。

本製品がデータを印刷し、USB フラッシュメモリーから印刷ジョブを削除します。

重要

印刷が終わるまで、USB ポート（背面）から USB フラッシュメモリーを取り外さないでください。

✓ 関連情報

- [印刷](#)

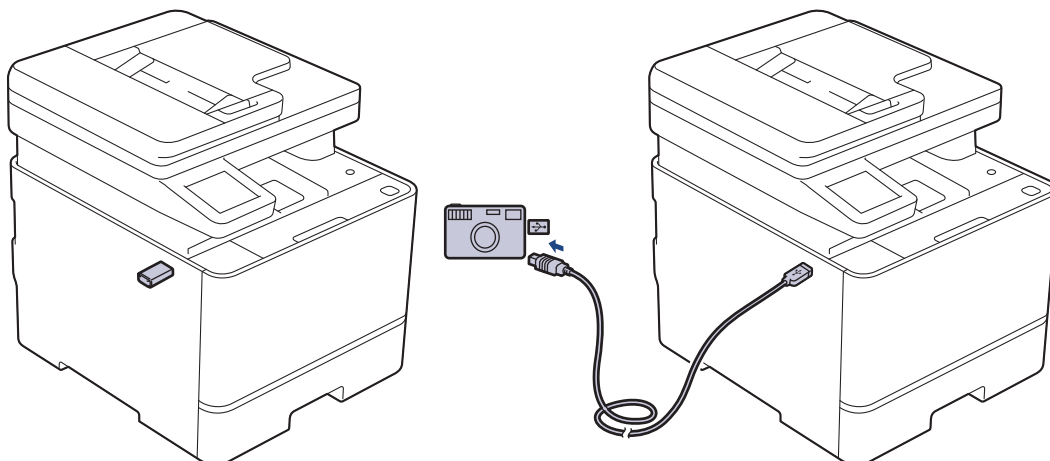
マスストレージをサポートする USB フラッシュメモリまたはデジタルカメラからデータを直接印刷する

- デジタルカメラの電源が入っていることを確認します。
- サポートされているファイルの種類は、PDF、JPEG、TIFF、PRN です。
- デジタルカメラを、PictBridge モードからマスストレージモードに切り替える必要があります。
- USB フラッシュメモリの要件：
 - クラス：USB マスストレージクラス
 - 形式：FAT12/FAT16/FAT32/exFAT

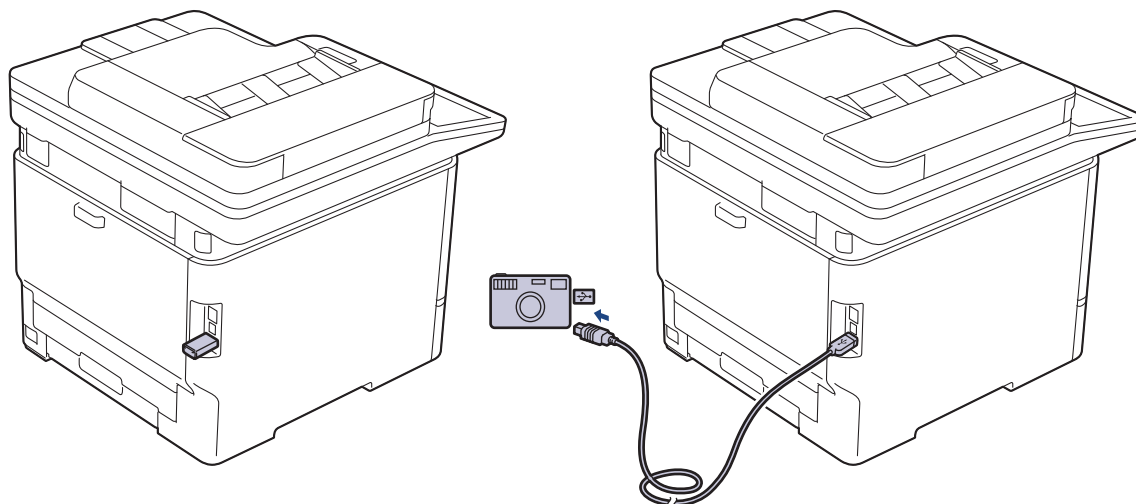
重要

本製品の損傷を防ぐために、USB 差し込み口には、デジタルカメラまたは USB フラッシュメモリ以外の機器を接続しないでください。

USB ポートの場所 (前面)



USB ポートの場所 (背面図) (MFC-L8970CDW)




1. USB フラッシュメモリまたはデジタルカメラを USB 差し込み口に接続します。USB フラッシュメモリまたはデジタルカメラが正しく接続されていることを確認する USB メニューが自動的に表示されます。




- エラーが発生した場合、画面に USB メニューは表示されません。
- 本製品がディープスリープモードの場合、USB フラッシュメモリーを USB 差し込み口に接続しても、画面に情報は表示されません。本製品を起動するにはタッチパネルをタッチします。
- 本製品のセキュリティ機能ロックがオンになっている場合、USB フラッシュメモリーやデジタルカメラからの印刷はできない場合があります。
- (MFC-L8970CDW) USB ポートを選択するよう求められたら、画面で選択します。

2. [USB ダイレクトプリント]を押します。
3. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して印刷するファイルを表示し、そのファイルを選択します。




USB フラッシュメモリーやデジタルカメラに保存されているファイルのインデックスを印刷するには、タッチパネルで  [インデックスプリント]を押します。[モノ スタート]または[カラー スタート]を押してデータを印刷します。

4. 次のいずれかを行ってください：
 - 設定を変更するには、 [テンポラリー印刷設定]を押します。次の手順に進みます。
 - 初期値を使用する場合は、枚数を入力し、[モノ スタート]または[カラー スタート]を押します。
5. 変更する印刷設定を選択します。
 - [プリント画質]
 - [用紙トレイ選択]
 - [用紙タイプ]
 - [用紙サイズ]
 - [レイアウト]
 - [印刷の向き]
 - [両面印刷]
 - [部単位]
 - [PDF 印刷オプション]
 - [用紙に合わせた PDF 印刷]



ファイルの種類によっては、一部の設定が表示されない場合があります。

6. [OK]を押します。
7. コピー部数を入力します。
8. [モノ スタート]または[カラー スタート]を押してデータを印刷します。
9. を押します。

重要

印刷が終わるまで、USB 差し込み口から USB フラッシュメモリーまたはデジタルカメラを取り外さないでください。



関連情報

- [印刷](#)

副本を印刷する

カーボンコピー機能を使用して、カーボン紙に印刷するかのように、同一の印刷データを複数枚印刷します。異なる種類または色の用紙をセットした各用紙トレイにデータを送信します。

例えば、青色用紙をセットしたトレイ 1 へ印刷データを送信した後、テキストの印刷された黄色用紙をセットした多目的トレイの用紙に、同じデータを再度印刷するように本製品を設定するとします。


トレイ 1 に青色の用紙を、多目的トレイに黄色の用紙をセットした場合、トレイ 1 からはシート 1 が、多目的トレイからはシート 2 が自動的に送られます。

カーボンコピー機能を有効にすると、本製品は常に自動的にコピーを作成します。



Windows

カーボンコピー機能を使用すると、ページごとに異なる印刷マクロまたはストリームを選択できます。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [プリンター] > [カーボン メニュー] > [カーボン コピー] > [オン] を押します。




本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して [部数] を表示し、[部数] を押します。
3. 印刷枚数を入力し、[OK] を押します。
4. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して [コピー 1 トレイ] を表示し、[コピー 1 トレイ] を押します。
5. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して、[コピー 1 トレイ] オプションを設定する用紙トレイを表示し、表示された用紙トレイを押して選択します。



Windows

- a. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して [コピー 1 ストリーム] を表示し、それを押します。
- b. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して使用するマクロまたはストリームの ID 番号を表示し、表示された ID 番号を押します。


6. 各コピーに対してトレイの設定値をすべて選択し終わるまで、この手順を繰り返します。
7.  を押します。
8. 印刷ジョブを本製品に送信します。




関連情報

- 印刷

印刷ジョブをキャンセルする

 を押します。



複数の印刷ジョブをキャンセルするには、 を約 4 秒間押します。

✓ 関連情報

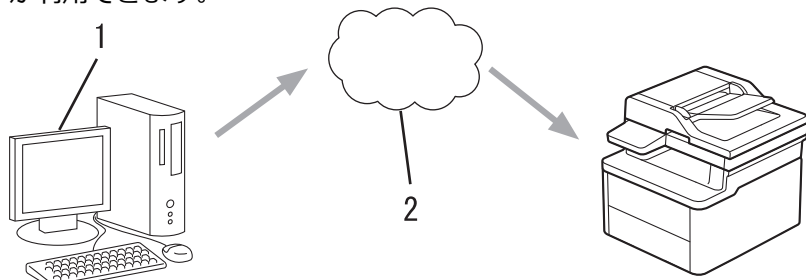
- [印刷](#)

ユニバーサルプリント

- ユニバーサルプリントの概要
- ユニバーサルプリントを設定する
- パソコンにユニバーサルプリント対応プリンターを追加する
- ユニバーサルプリントから本製品の登録を解除する

ユニバーサルプリントの概要

ユニバーサルプリントは、マイクロソフトが提供するクラウドベースのプリントサービスです。プリンタードライバーをインストールすることなく、インターネット上のどこからでも、文書を印刷することができます。ユニバーサルプリントは、Microsoft 365 のサブスクリプションを持つ Azure Active Directory (Azure AD) ユーザーが利用できます。



1. Windows 10 20H1 以降が動作しているパソコン
2. クラウドサーバー

✓ 関連情報

- [ユニバーサルプリント](#)

ユニバーサルプリントを設定する

- タイムゾーンに合った正しい日付と時刻を設定してください。
- ネットワークでプロキシサーバーを使用している場合は、プロキシサーバーの設定を行ってください。

Web Based Management を使用してユニバーサルプリントに本製品を登録する

1. Web Based Management を起動します。▶▶ [Web Based Management にアクセスする](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

3. **ユニバーサル印刷**チェックボックスを選択し、**詳細設定**をクリックします。
4. 必要に応じて、**デバイス名**欄の製品名を変更します。



?、/、\、"、:、<、>、|、*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。

5. **登録**をクリックします。
6. ユニバーサルプリントのユーザーコードが表示されます。**サインイン**ボタンをクリックし、ユーザーコードを入力します。
7. 画面の指示に従って登録を完了します。

Microsoft Azure portal 経由でユニバーサルプリントユーザーを割り当てる

8. Microsoft Azure portal にアクセスします。
URL : portal.azure.com
9. プリンター管理者としてログインします。
10. **ユニバーサルプリント**サービスを選択します。
11. **プリンターオプション**を選択し、一覧から本製品を選択します。
12. **共有**を選択します。
13. ユニバーサルプリントサービスに割り当てるユーザーを選択し、**プリンターの共有**をクリックします。



関連情報




- [ユニバーサルプリント](#)

関連トピック :

- [Web Based Management で日時を設定する](#)
- [Web Based Management を使用してプロキシサーバーを設定する](#)
- [Web Based Management にアクセスする](#)

パソコンにユニバーサルプリント対応プリンターを追加する

1. 次のいずれかを行ってください：

- Windows 11 の場合
 - a.  > 設定 > Bluetooth とデバイス > プリンターとスキャナー > デバイスの追加をクリックします。
 - b. 自分に関連付けられているプリンターとスキャナーを表示するドロップダウンリストから職場または学校を選択します。
- Windows 10 の場合
 - a.  >  > デバイス > プリンターとスキャナー > プリンターまたはスキャナーを追加しますをクリックします。
 - b. ドロップダウンリストから職場または学校のプリンターおよびスキャナーを選択します。

2. 一覧からユニバーサルプリント対応プリンターとして登録した製品を選択し、**デバイスの追加**をクリックします。

ユニバーサルプリント対応プリンターとして登録した製品で印刷が可能となります。

✓ 関連情報

- [ユニバーサルプリント](#)

ユニバーサルプリントから本製品の登録を解除する

本製品の登録を解除するには、Web Based Management から本製品を削除してから、Microsoft Azure portal 上で本製品を削除する必要があります。

1. Web Based Management を起動します。▶▶ [Web Based Management にアクセスする](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク** > **ネットワーク** > **プロトコル**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

3. **ユニバーサル印刷**チェックボックスの横にある**詳細設定**をクリックします。
4. **登録情報削除**をクリックして、画面の指示に従います。
5. Microsoft Azure portal にアクセスします。
URL : portal.azure.com
6. プリンター管理者としてログインします。
7. **ユニバーサルプリント**サービスを選択します。
8. **プリンターオプション**を選択し、一覧から本製品を選択します。
9. **プリンター共有の削除**をクリックして、**OK**をクリックします。
10. **登録解除**をクリックして、**OK**をクリックします。



関連情報

- [ユニバーサルプリント](#)

関連トピック :

- [Web Based Management にアクセスする](#)

スキャン

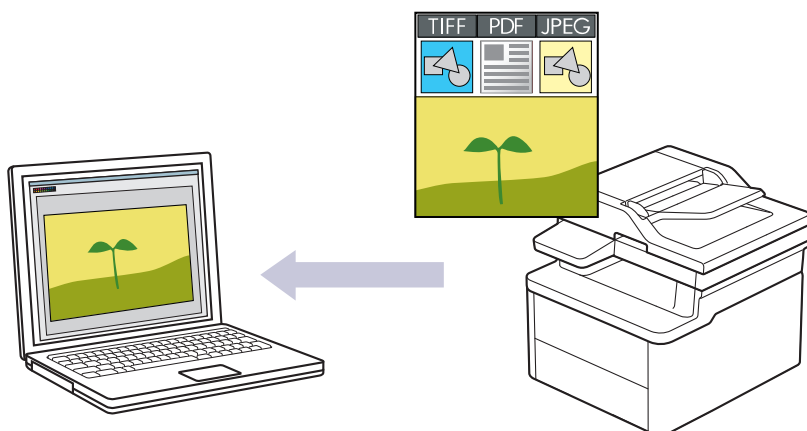
- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする
- お使いのパソコンからスキャンする (Windows)
- お使いのパソコンからスキャンする (Mac)
- セキュアスキャン
- Web Based Management を使用してスキャン設定を行う

本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

- 写真やグラフィックをスキャンする
- 原稿を単一の PDF ファイルとしてスキャンする
- スキャンしたデータを USB フラッシュドライブに保存する
- 複数の名刺および写真をスキャンする（おまかせ一括スキャン）
- 編集可能テキストファイルとしてスキャンする（OCR）
- スキャンしたデータをメールの添付ファイルとして保存する
- スキャンしたデータを E メール受信者に送信する
- スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する
- スキャンしたデータを SSH サーバー（SFTP）に保存する
- スキャンしたデータをネットワークサーバーに保存する（Windows）
- スキャンしたデータを SharePoint サーバーに保存する
- Web サービスプロトコルを使用してネットワークスキャンを行う（Windows）
- Brother iPrint&Scan からスキャンボタン設定を変更する
- 署名入り PDF 用の証明書を設定する
- お使いのコンピューターからスキャンを無効にする

写真やグラフィックをスキャンする

スキャンした写真やグラフィックを、お使いのパソコンに直接送信します。



• 本製品からスキャンするには：

- Brother iPrint&Scan を使用して、製品を選択する必要があります。
- Brother iPrint&Scan を使用し、ファイルの種類やファイルの保存場所などのスキャン設定を変更します。

詳しい説明は「関連情報」をご覧ください： *Brother iPrint&Scan* からスキャンボタン設定を変更する


• お使いのパソコンからスキャンするには：

「関連情報」をご覧ください： *Brother iPrint&Scan* を使用してスキャンする（*Windows/Mac*）

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [PC] > [イメージ] を押します。
3. 本製品がネットワークを介して接続されている場合、データの送信先のパソコン名を選択します。



コンピューターの PIN 入力を要求するメッセージが画面に表示されたら、4桁の PIN を入力して、[OK] を押します。

4. 設定値を変更するには、 [設定変更] を押し、変更するスキャン設定を選択します。初期値を使用する場合は、このステップを飛ばしてください。



お使いのモデルや設定によって使用可能なオプションは異なる場合があります。

- [両面スキャン]
- [スキャン設定]
- [カラー設定]
- [解像度]
- [ファイル形式]
- [原稿サイズ]
- [明るさ]
- [コントラスト]
- [傾き補正]
- [白紙除去]
- [白紙除去レベル調整]

-
- [地色除去]
 - [エッジ調整]
 - [モアレ軽減]
 - [カラー/グレー TIFF 圧縮]
 - [モノクロ TIFF 圧縮]



-
- スキャン設定を変更するには、Brother iPrint&Scan ソフトウェアがインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。
 - 本製品に [OK] ボタンが表示された場合は、[OK] を押します。
 - 設定をショートカットとして保存するには、[ショートカット登録] を押します。
-

5. [スタート] を押します。

本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用する場合、画面に表示される指示に従ってスキャン操作を完了してください。



関連情報

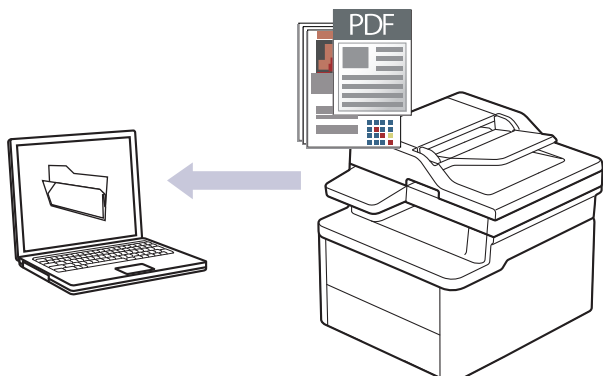
- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

関連トピック：

- [Brother iPrint&Scan からスキャンボタン設定を変更する](#)
 - [Brother iPrint&Scan を使用してスキャンする \(Windows/Mac\)](#)
-

原稿を単一の PDF ファイルとしてスキャンする

複数のページを単一の PDF 原稿にまとめます。



• **本製品からスキャンするには：**

- Brother iPrint&Scan を使用して、製品を選択する必要があります。
- Brother iPrint&Scan を使用し、ファイルの種類やファイルの保存場所などのスキャン設定を変更します。

詳しい説明は「関連情報」をご覧ください： *Brother iPrint&Scan* からスキャンボタン設定を変更する

• **お使いのパソコンからスキャンするには：**

「関連情報」をご覧ください： *Brother iPrint&Scan* を使用してスキャンする (Windows/Mac)




複数のページをスキャンして PDF ファイルにする場合、本製品でファイル形式を [PDF マルチページ] に設定します。

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [PC] > [ファイル] を押します。
3. 本製品がネットワークを介して接続されている場合、データの送信先のパソコン名を選択します。



コンピューターの PIN 入力を要求するメッセージが画面に表示されたら、4桁の PIN を入力して、[OK] を押します。

4. 設定値を変更するには、 [設定変更] を押し、変更するスキャン設定を選択します。初期値を使用する場合は、このステップを飛ばしてください。



お使いのモデルや設定によって使用可能なオプションは異なる場合があります。

- [両面スキャン]
- [スキャン設定]
- [カラー設定]
- [解像度]
- [ファイル形式]
- [原稿サイズ]
- [明るさ]
- [コントラスト]
- [傾き補正]
- [白紙除去]

-
- [白紙除去レベル調整]
 - [地色除去]
 - [エッジ調整]
 - [モアレ軽減]
 - [カラー/グレー TIFF 圧縮]
 - [モノクロ TIFF 圧縮]



- スキャン設定を変更するには、Brother iPrint&Scan ソフトウェアがインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。
- 本製品に [OK] ボタンが表示された場合は、[OK] を押します。
- 設定をショートカットとして保存するには、[ショートカット登録] を押します。

5. [スタート] を押します。

本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用する場合、画面に表示される指示に従ってスキャン操作を完了してください。



関連情報


- [本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする](#)

関連トピック：

- [Brother iPrint&Scan からスキャンボタン設定を変更する](#)
 - [Brother iPrint&Scan を使用してスキャンする \(Windows/Mac\)](#)
-

スキャンしたデータを USB フラッシュドライブに保存する

原稿をスキャンしたデータを USB フラッシュドライブに直接保存します。

1. 原稿をセットします。
2. USB フラッシュメモリーを本製品に差し込みます。
3. [スキャン to USB] を押します。
4. 設定値を変更するには、 [設定変更] を押し、変更するスキャン設定を選択します。初期値を使用する場合は、このステップを飛ばしてください。



お使いのモデルや設定によって、使用可能なオプションは異なる場合があります。

- [両面スキャン]
- [カラー設定]
- [解像度]
- [ファイル形式]
- [原稿サイズ]
- [明るさ]
- [コントラスト]
- [ファイル名]
- [ファイル名項目順序]
- [ファイルサイズ]
- [おまかせ一括スキャン]
- [傾き補正]
- [白紙除去]
- [白紙除去レベル調整]
- [地色除去]
- [エッジ調整]
- [モアレ軽減]
- [ファイル分割]
- [カラー/グレー TIFF 圧縮]
- [モノクロ TIFF 圧縮]



- 本製品に [OK] ボタンが表示された場合は、[OK] を押します。
- 変更した設定を初期値とするには、設定値を変更して [設定を保持する] を押し、[はい] を押します。
- お買い上げ時の設定に戻すには [設定をリセットする] を押し、[はい] を押します。
- 設定をショートカットとして保存するには、[ショートカット登録] を押します。

5. [スタート] を押します。



(MFC-L8970CDW)

メッセージが表示されたら、USB ホストを選択し、次の手順を選択します。

本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用する場合、画面に表示される指示に従ってスキャン操作を完了してください。

重要

データの読み込み中は、画面にメッセージが表示されます。データの読み込み中は、電源コードを抜いたり、USB フラッシュドライブを取り外さないでください。データが消失したり、USB フラッシュメモリードライブが損傷する恐れがあります。



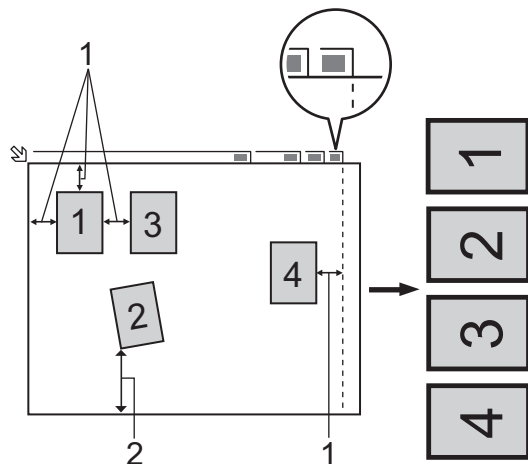
関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

複数の名刺および写真をスキャンする（おまかせ一括スキャン）

原稿台ガラスにセットされた複数の原稿をスキャンすることができます。本製品は各原稿をスキャンし、おまかせ一括スキャン機能を使って複数のファイルまたは1つの複数ページファイルを作成できます。


おまかせ一括スキャンについて



1. 10mm 以上
2. 20mm 以上（下部）
 - この設定は、長方形または正方形の原稿にのみ使用可能です。
 - 原稿の長さが長すぎたり幅が広すぎたりすると、スキャンできないことがあります。
 - 原稿は図のように、原稿台ガラスの端にかからないようセットする必要があります。
 - 各原稿の間隔を最低 10mm 離してセットする必要があります。
 - おまかせ一括スキャンは、原稿台ガラス上の原稿の傾きを調整します。ただし、300 x 300 dpi 以下で原稿が 45 度以上傾いている、または 600 x 600dpi で原稿が 10 度以上傾いている場合は、スキャンできないことがあります。
 - おまかせ一括スキャンを使うときには、ADF（自動原稿送り装置）に原稿を置かないでください。
 - 一度にスキャンできる原稿の枚数は、原稿のサイズに応じて、最大 16 枚です。



おまかせ一括スキャン機能を使用する場合は、原稿台ガラスに原稿をセットする必要があります。

1. 原稿台ガラスに原稿をセットします。
2. USB フラッシュメモリーを本製品に差し込みます。
画面の表示が自動的に変わります。
3. [スキャン to USB] >  [設定変更] > [おまかせ一括スキャン] を押します。
4. [オン] を押します。
5. [OK] を押します。
6. [スタート] を押します。
本製品はスキャンを開始します。画面に表示される指示に従ってスキャン操作を終了してください。

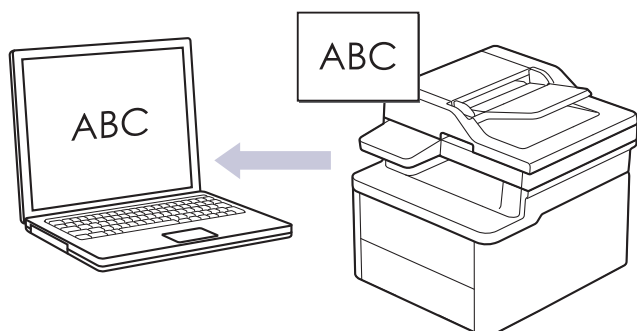


関連情報

- [本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする](#)


編集可能テキストファイルとしてスキャンする (OCR)


本製品は、OCR (光学式文字認識) の技術を使って、スキャンした原稿の文字をテキストに変換することができます。任意のテキスト編集アプリケーションを使ってこのテキストを編集できます。




- スキャン to OCR 機能は、特定の言語にのみ対応しています。
- 本製品のスキャンボタンを使って、スキャン設定を一時的に変更することができます。変更を保持する場合は、Brother iPrint&Scan を使用します。

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [PC] > [OCR] を押します。
3. 本製品がネットワークを介して接続されている場合、データの送信先のパソコン名を選択します。

 コンピューターの PIN 入力を要求するメッセージが画面に表示されたら、4桁の PIN を入力して、[OK] を押します。

4. 設定値を変更するには、 [設定変更] を押し、変更するスキャン設定を選択します。初期値を使用する場合は、このステップを飛ばしてください。

 お使いのモデルや設定によって使用可能なオプションは異なる場合があります。

- [両面スキャン]
- [スキャン設定]
- [カラー設定]
- [解像度]
- [ファイル形式]
- [原稿サイズ]
- [明るさ]
- [コントラスト]
- [傾き補正]
- [白紙除去]
- [白紙除去レベル調整]
- [地色除去]
- [エッジ調整]
- [モアレ軽減]



- スキャン設定を変更するには、Brother iPrint&Scan ソフトウェアがインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。
- 本製品に [OK] ボタンが表示された場合は、[OK] を押します。
- 設定をショートカットとして保存するには、[ショートカット登録] を押します。

5. [スタート] を押します。

本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用する場合、画面に表示される指示に従ってスキャン操作を完了してください。



関連情報

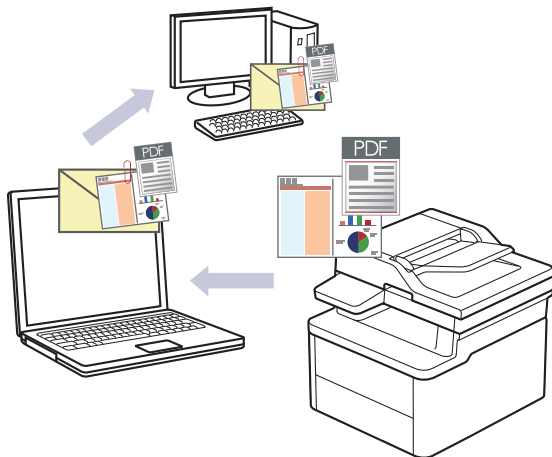
- [本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする](#)

関連トピック：

- [Brother iPrint&Scan からスキャンボタン設定を変更する](#)


スキャンしたデータをメールの添付ファイルとして保存する


スキャンしたデータを本製品からお使いの電子メールアプリケーションに添付ファイルとして送信します。



- 本製品のスキャンボタンを使って、スキャン設定を一時的に変更することができます。変更を保持する場合は、Brother iPrint&Scan を使用します。
- この機能を本製品のスキャンボタンで使用するには、Brother iPrint & Scan で次のアプリケーションのいずれかを選択していることを確認してください。
 - Windows : Microsoft Outlook
 - Mac : Apple Mailその他のアプリケーションやウェブメールサービスの場合は、スキャン to イメージまたはスキャン to ファイル機能を使って原稿をスキャンして、スキャンしたデータを電子メールに添付してください。

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [PC] > [Eメール添付] を押します。
3. 本製品がネットワークを介して接続されている場合、データの送信先のパソコン名を選択します。

 コンピューターの PIN 入力を要求するメッセージが画面に表示されたら、4桁の PIN を入力して、[OK] を押します。

4. 設定値を変更するには、 [設定変更] を押し、変更するスキャン設定を選択します。初期値を使用する場合は、このステップを飛ばしてください。

 お使いのモデルや設定によって使用可能なオプションは異なる場合があります。

- [両面スキャン]
- [スキャン設定]
- [カラー設定]
- [解像度]
- [ファイル形式]
- [原稿サイズ]
- [明るさ]
- [コントラスト]
- [傾き補正]
- [白紙除去]
- [白紙除去レベル調整]

-
- [地色除去]
 - [エッジ調整]
 - [モアレ軽減]
 - [カラー/グレー TIFF 圧縮]
 - [モノクロ TIFF 圧縮]



-
- スキャン設定を変更するには、Brother iPrint&Scan ソフトウェアがインストールされたパソコンを本製品に接続する必要があります。
 - 本製品に [OK] ボタンが表示された場合は、[OK] を押します。
 - 設定をショートカットとして保存するには、[ショートカット登録] を押します。
-

5. [スタート] を押します。

本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用する場合、画面に表示される指示に従ってスキャン操作を完了してください。



関連情報

- [本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする](#)

関連トピック：

- [Brother iPrint&Scan からスキャンボタン設定を変更する](#)
-

スキャンしたデータを E メール受信者に送信する

パソコンを使用せずに、スキャンしたデータを本製品から Eメールの受信者に直接送信します。この機能を使用すると、本製品がパソコンに接続されていなくても、原稿をスキャンして Eメールアドレスに送信することができます。パソコン上の iPrint&Scan ソフトウェアまたは本製品のスキャンボタンを使用して、スキャンしたデータを添付ファイルとしてデフォルトの Eメールアプリケーションに直接送信する場合は、代わりに「スキャン to Eメール添付ファイル」機能を使用します。


- スキャンしたデータを Eメールの受信者に送信するには、ネットワークおよび Eメールの送受信に使用する Eメールサーバーと通信するように本製品を設定する必要があります。
- これらの項目は、本製品の操作パネルまたは Web Based Management から設定します。
- スキャン to Eメールサーバー機能を使用するには、本製品をネットワークに接続し、SMTP サーバーにアクセスします。以下の SMTP Eメール設定を行ってください：
 - サーバーアドレス
 - ポート番号
 - ユーザー名
 - 暗号化タイプ (SSL または TLS)
 - Eメールサーバー証明書 (使用する場合)

これらの設定が不明な場合は、Eメールサービスプロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [Eメール送信] を押します。



- Eメールアドレスをユーザー ID と共に登録している場合、セキュリティ機能ロック、Active Directory、または LDAP 認証を使用して本製品にログインすると、[自分宛] が表示されます。
- お使いの Eメールアドレスにスキャンしたデータを送信するには、[自分宛] を押します。Eメールアドレスが液晶ディスプレイに表示されたら、[次へ] を押します。
- Web Based Management でこの機能を有効にするには、左側のナビゲーションバーで、**スキャン > スキャン to Eメール送信** をクリックします。**自分宛に送信**欄で、**オン** を選択します。**OK** をクリックします。

3. 以下のいずれかを行って、宛先 Eメールアドレスを入力します。
 - Eメールアドレスを手動で入力するには、[手動入力] を押して、画面に表示されるキーボードを使用して入力します。完了したら、[OK] を押します。
 - Eメールアドレスが本製品のアドレス帳に保存されている場合は、[電話帳] を押して、該当のアドレスを選択します。
[OK] を押します。
4. Eメールアドレスを確認し、[次へ] を押します。
5. 設定値を変更するには、 [設定変更] を押し、変更するスキャン設定を選択します。




お使いのモデルや設定によって使用可能なオプションは異なる場合があります。

- [両面スキャン]
- [カラー設定]
- [解像度]
- [ファイル形式]
- [原稿サイズ]
- [メール タイトル]

- [明るさ]
- [コントラスト]
- [ファイル名]
- [ファイル名項目順序]
- [ファイルサイズ]
- [傾き補正]
- [白紙除去]
- [白紙除去レベル調整]
- [地色除去]
- [エッジ調整]
- [モアレ軽減]
- [ファイル分割]
- [カラー/グレース TIFFF 圧縮]
- [モノクロ TIFFF 圧縮]
- [プレビュー]



- スキャンしたデータを保存する前にスキャン結果をプレビューするには、 [プレビュー]を押してから[プレビュー]([スタート])を押します。本製品は原稿をスキャンし、スキャン結果を画面に表示します。スキャン結果に問題がない場合は、[スタート]を押して保存し、処理を終了します。
- 本製品に [OK] ボタンが表示された場合は、[OK]を押します。
- 変更した設定を初期値とするには、設定値を変更して[設定を保持する]を押し、[はい]を押します。
- お買い上げ時の設定に戻すには[設定をリセットする]を押し、[はい]を押します。
- 設定をショートカットとして保存するには、[ショートカット登録]を押します。

6. [スタート]を押します。

本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用する場合、画面に表示される指示に従ってスキャン操作を完了してください。



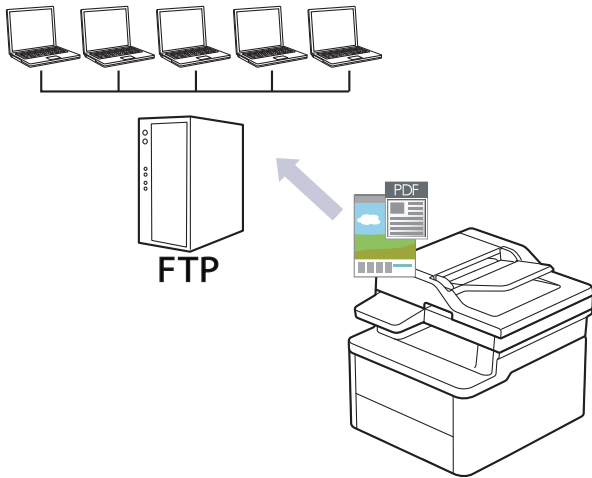
関連情報

- 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする

▲ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする > スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する

スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する

スキャンしたデータを共有する必要がある場合、原稿をスキャンして FTP サーバーに直接送ることができます。プロファイルを設定して、任意のスキャン to FTP の送信先を保存することもできます。



- スキャン to FTP プロファイルを設定する
- スキャンしたデータを FTP サーバーに送信する

スキャン to FTP プロファイルを設定する

スキャン to FTP プロファイルを設定し、スキャンしたデータを指定の FTP サーバーに直接送ることができます。

1. Web Based Management を起動します。▶▶ [Web Based Management にアクセスする](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**スキャン > スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint** をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

3. **FTP** を選択し **OK** をクリックします。
4. **FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint スキャンプロファイルメニュー** をクリックします。
5. 設定または変更したいプロファイルを選択します。



?、/、\、"、:、<、>、|、*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。

オプション	詳細
プロファイル名	このサーバープロファイルの名前を入力します (15 文字以下の英数字)。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
サーバー アドレス	ホストアドレス (例: ftp.example.com、最大 64 文字) または IP アドレス (例: 192.23.56.189) を入力します。
ポート番号	FTP サーバーへアクセスするための ポート番号 を設定します。お買い上げ時の設定は、ポート 21 です。ほとんどの場合この設定を変更する必要はありません。
ユーザー名	FTP サーバーへのデータの書き込みが許可されているユーザーのユーザー名 (32 文字以下) を入力します。
パスワード	ユーザー名 欄に入力したユーザー名のパスワード (32 文字以下) を入力します。 パスワード確認 欄にパスワードを再入力します。
SSL/TLS	SSL/TLS オプションを設定して、SSL/TLS 通信を使用して安全にスキャンします。必要に応じて CA 証明書 設定を変更します。
転送先フォルダー	スキャンしたデータの送信先である FTP サーバー上のフォルダーのパスを入力します。パスの先頭はスラッシュにしないでください。
ファイル名	指定のプリセット名またはユーザー定義の名前から、ファイル名のプレフィックスを選択します。ここで選択した名称が、スキャンしたデータのファイル名の先頭につき、「選択した名称+原稿台/ADF (自動原稿送り装置) の 6 桁カウンター+拡張子」がファイル名となります。(例: 「Mitsumori_098765.pdf」)
画質	品質設定を選択します。 本体で設定 オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
ファイル形式	スキャンした文書に使用するファイル形式を選択します。 本体で設定 オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
原稿サイズ	リストから原稿サイズを選択します。スキャンする原稿のサイズが正しいかどうかを確認します。 本体で設定 オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
ファイルサイズ	リストからファイルサイズを選択します。 本体で設定 オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
傾き補正 (ADF 傾き補正)	自動 オプションを選択すると、原稿を読み取った時に原稿の傾きが自動的に補正されるように本製品を設定します。

オプション	詳細
白紙除去	オン オプションを選択して、スキャン結果から原稿の空白ページを削除します。
白紙除去レベル調整	スキャンしたデータの空白ページを検出する感度を選択します。感度が高いほど、空白ページが検出されやすくなります。
両面読取 (特定モデルのみ対応)	元のレイアウトに応じて 長辺とじ または 短辺とじ オプションを選択して、原稿の両面をスキャンします。
地色除去	除去する地色の量を変更します。
エッジ調整	原稿の余白を調整します。
モアレ軽減	オン を選択して、スキャンした画像のモアレパターン（クロスハッチ）を減らします。
ファイル分割	スキャンした画像を分割します。 複数の原稿をスキャンした場合、この機能を使って原稿を分割し、別々に保存することができます。
カラー/グレー TIFF 圧縮	カラーまたはグレー原稿の TIFF 圧縮オプションを選択します。
モノクロ TIFF 圧縮	白黒原稿の TIFF 圧縮オプションを選択します。
明るさ	明るさレベルを選択します。
コントラスト	コントラストレベルを選択します。
パッシブモード	FTP サーバーおよびネットワークファイアウォール設定に応じて、 パッシブモード のオフ/オン設定を切り替えます。お買い上げ時の設定はオンです。ほとんどの場合この設定を変更する必要はありません。

6. **OK** をクリックします。

✓ 関連情報

- [スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する](#)

関連トピック：


- [Web Based Management にアクセスする](#)

スキャンしたデータを FTP サーバーに送信する

スキャンした情報を FTP サーバーへ保存して共有します。

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [(S) FTP サーバー] を押します。
3. Web Based Management で設定したサーバープロファイルが表示されたら、使用するプロファイルを選択します。プロファイルが完全ではない場合（例えば、ログオンアカウント名およびパスワードが存在しない、または画質やファイル形式が指定されていない）、必要な情報の入力を求められます。



スキャンしたデータを保存する前にスキャン結果をプレビューするには、 [プレビュー] を押してから [プレビュー] ([スタート]) を押します。本製品は原稿をスキャンし、スキャン結果を画面に表示します。スキャン結果に問題がない場合は、[スタート] を押して保存し、処理を終了します。

4. [スタート] を押します。
本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用する場合、画面に表示される指示に従ってスキャン操作を完了してください。

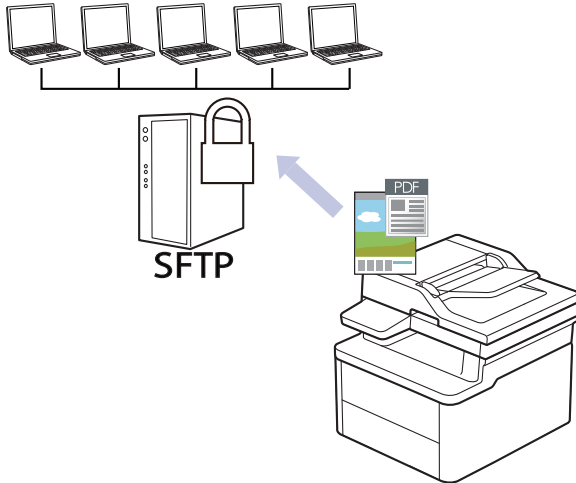
✓ 関連情報

- スキャンしたデータを FTP サーバーに保存する

▲ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする > スキャンしたデータを SSH サーバー（SFTP）に保存する

スキャンしたデータを SSH サーバー（SFTP）に保存する

セキュアシェルプロトコルを使用して、原稿をネットワーク上の宛先にスキャンするときに、プライベートで安全なデータストリームを確立します。さらに便利にするために、異なるプロファイルを設定して、任意のスキャン to SFTP の送信先を保存します。




- スキャン to SFTP プロファイルを設定する
- Web Based Management を使用してクライアント鍵ペアを作成する
- Web Based Management を使用してクライアント鍵ペアをエクスポートする
- Web Based Management を使用してサーバーの公開鍵をインポートする
- スキャンしたデータを SFTP サーバーに送信する


スキャン to SFTP プロファイルを設定する

スキャン to SFTP プロファイルを設定して、スキャンしたデータを SFTP の場所に直接アップロードします。

1. Web Based Management を起動します。▶▶ [Web Based Management にアクセスする](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**スキャン > スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint** をクリックします。

 左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

3. **SFTP** を選択し、**OK** をクリックします。
4. **FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint スキャンプロファイルメニュー** をクリックします。
5. 設定または変更したいプロファイルを選択します。

 ?、/、\、"、:、<、>、|、*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。

オプション	詳細
プロファイル名	このサーバープロファイルの名前を入力します (15 文字以下の英数字)。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
サーバー アドレス	ホストアドレス (例: ftp.example.com、最大 64 文字) または IP アドレス (例: 192.23.56.189) を入力します。
ユーザー名	SFTP サーバーへのデータの書き込みが許可されているユーザーのユーザー名 (32 文字以下) を入力します。
認証方法	パスワード または 公開鍵 を選択します。
パスワード	認証方法 オプションで パスワード を選択した場合は、 ユーザー名 欄に入力したユーザー名のパスワード (最大 32 文字) を入力します。 パスワード確認 欄にパスワードを再入力します。
クライアント鍵ペア	認証方法 オプションで 公開鍵 を選択した場合は、認証の種類を選択します。
サーバー公開鍵	認証の種類を選択します。
転送先フォルダー	スキャンしたデータの送信先である SFTP サーバー上のフォルダーのパスを入力します。パスの先頭はスラッシュにしないでください。
ファイル名	指定のプリセット名またはユーザー定義の名前から、ファイル名のプレフィックスを選択します。ここで選択した名称が、スキャンしたデータのファイル名の先頭につき、「選択した名称+原稿台/ADF (自動原稿送り装置) の 6 桁カウンター+拡張子」がファイル名となります。(例: 「Mitsumori_098765.pdf」)
画質	品質設定を選択します。 本体で設定 オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
ファイル形式	スキャンした文書に使用するファイル形式を選択します。 本体で設定 オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
原稿サイズ	リストから原稿サイズを選択します。スキャンする原稿のサイズが正しいかどうかを確認します。 本体で設定 オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
ファイルサイズ	リストからファイルサイズを選択します。 本体で設定 オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
傾き補正 (ADF 傾き補正)	自動 オプションを選択すると、原稿を読み取った時に原稿の傾きが自動的に補正されるように本製品を設定します。

オプション	詳細
白紙除去	オンオプションを選択して、スキャン結果から原稿の空白ページを削除します。
白紙除去レベル調整	スキャンしたデータの空白ページを検出する感度を選択します。感度が高いほど、空白ページが検出されやすくなります。
両面読取 (特定モデルのみ対応)	元のレイアウトに応じて 長辺とじ または 短辺とじ オプションを選択して、原稿の両面をスキャンします。
地色除去	除去する地色の量を変更します。
エッジ調整	原稿の余白を調整します。
モアレ軽減	オンを選択して、スキャンした画像のモアレパターン（クロスハッチ）を減らします。
ファイル分割	スキャンした画像を分割します。 複数の原稿をスキャンした場合、この機能を使って原稿を分割し、別々に保存することができます。
カラー/グレー TIFF 圧縮	カラーまたはグレー原稿の TIFF 圧縮オプションを選択します。
モノクロ TIFF 圧縮	白黒原稿の TIFF 圧縮オプションを選択します。
明るさ	明るさレベルを選択します。
コントラスト	コントラストレベルを選択します。
ポート番号	SFTP サーバーへアクセスするための ポート番号 を設定します。お買い上げ時の設定は、ポート 22 です。ほとんどの場合この設定を変更する必要はありません。

6. **OK** をクリックします。

✓ 関連情報

- スキャンしたデータを SSH サーバー（SFTP）に保存する

関連トピック：

- [Web Based Management にアクセスする](#)

▲ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする > スキャンしたデータを SSH サーバー (SFTP) に保存する > Web Based Management を使用してクライアント鍵ペアを作成する

Web Based Management を使用してクライアント鍵ペアを作成する

1. Web Based Management を起動します。▶▶ [Web Based Management にアクセスする](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク > セキュリティ > クライアント鍵ペア**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

3. **クライアント鍵ペアの作成**をクリックします。
4. **クライアント鍵ペア名**欄に、任意の名前を入力します (最大 20 文字)。
5. **公開鍵アルゴリズム**ドロップダウンリストをクリックし、使用するアルゴリズムを選択します。
6. **OK** をクリックします。
クライアント鍵ペアが作成され、本製品のメモリーに保存されます。**クライアント鍵ペア一覧**に、クライアント鍵ペア名と公開鍵アルゴリズムが表示されます。



関連情報

- [スキャンしたデータを SSH サーバー \(SFTP\) に保存する](#)

関連トピック :

- [Web Based Management にアクセスする](#)

▲ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする > スキャンしたデータを SSH サーバー（SFTP）に保存する > Web Based Management を使用してクライアント鍵ペアをエクスポートする

Web Based Management を使用してクライアント鍵ペアをエクスポートする

1. Web Based Management を起動します。▶▶ [Web Based Management にアクセスする](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク > セキュリティ > クライアント鍵ペア**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

3. **クライアント鍵ペア一覧**と共に表示される**公開鍵のエクスポート**をクリックします。
4. **OK** をクリックします。

クライアント鍵ペアがパソコンにエクスポートされます。



関連情報

- [スキャンしたデータを SSH サーバー（SFTP）に保存する](#)

関連トピック：

- [Web Based Management にアクセスする](#)

▲ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする > スキャンしたデータを SSH サーバー (SFTP) に保存する > Web Based Management を使用してサーバーの公開鍵をインポートする

Web Based Management を使用してサーバーの公開鍵をインポートする

1. Web Based Management を起動します。▶▶ [Web Based Management にアクセスする](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク > セキュリティ > サーバー公開鍵**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

3. **サーバー公開鍵のインポート**をクリックします。
4. インポートするファイルを指定します。
5. **OK** をクリックします。

サーバー公開鍵が本製品にインポートされます。



関連情報

- [スキャンしたデータを SSH サーバー \(SFTP\) に保存する](#)


関連トピック :

- [Web Based Management にアクセスする](#)

スキャンしたデータを SFTP サーバーに送信する

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [(S)FTP サーバー] を押します。
3. Web Based Management で設定したサーバープロファイルが表示されたら、使用するプロファイルを選択します。プロファイルが完全ではない場合（例えば、ログオンアカウント名およびパスワードが存在しない、または画質やファイル形式が指定されていない）、必要な情報の入力を求められます。



スキャンしたデータを保存する前にスキャン結果をプレビューするには、 [プレビュー] を押してから [プレビュー] ([スタート]) を押します。本製品は原稿をスキャンし、スキャン結果を画面に表示します。スキャン結果に問題がない場合は、[スタート] を押して保存し、処理を終了します。

4. [スタート] を押します。
本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用する場合、画面に表示される指示に従ってスキャン操作を完了してください。



関連情報

- スキャンしたデータを SSH サーバー (SFTP) に保存する

▲ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする > スキャンしたデータをネットワークサーバーに保存する (Windows)

スキャンしたデータをネットワークサーバーに保存する (Windows)

スキャンしたデータを、ネットワーク上の CIFS サーバーに直接送ることができます。プロファイルを設定して、任意のスキャン to ネットワークの送信先を保存することもできます。

- スキャン to ネットワークプロファイルを設定する
- スキャンしたデータを CIFS サーバーに送信する

スキャン to ネットワークプロファイルを設定する

スキャン to ネットワークのプロファイルを設定し、スキャンしたデータを指定の CIFS サーバーに直接送ることができます。

1. Web Based Management を起動します。▶▶ [Web Based Management にアクセスする](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**スキャン > スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint** をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

3. **ネットワーク**を選択し、**OK** をクリックします。



CIFS サーバー上の指定したフォルダーにデータを送信する場合は、**自分のフォルダに送信**で**オン**を選択します。

4. **FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint スキャンプロファイル**メニューをクリックします。
5. 設定または変更したいプロファイルを選択します。



？、/、\、"、:、<、>、|、*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。

オプション	詳細
プロファイル名	このサーバープロファイルの名前を入力します (15 文字以下の英数字)。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
ネットワークフォルダパス	スキャンしたデータの送信先である CIFS サーバー上のフォルダーのパスを入力します。
ファイル名	指定のプリセット名またはユーザー定義の名前から、ファイル名のプレフィックスを選択します。ここで選択した名称が、スキャンしたデータのファイル名の先頭につき、「選択した名称+原稿台/ADF (自動原稿送り装置) の 6 桁カウンター+拡張子」がファイル名となります。(例: 「Mitsumori_098765.pdf」)
画質	品質設定を選択します。 本体で設定 オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
ファイル形式	スキャンした文書に使用するファイル形式を選択します。 本体で設定 オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
原稿サイズ	リストから原稿サイズを選択します。スキャンする原稿のサイズが正しいかどうかを確認します。 本体で設定 オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
ファイルサイズ	リストからファイルサイズを選択します。 本体で設定 オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
傾き補正 (ADF 傾き補正)	自動 オプションを選択すると、原稿を読み取った時に原稿の傾きが自動的に補正されるように本製品を設定します。
白紙除去	オン オプションを選択して、スキャン結果から原稿の空白ページを削除します。
白紙除去レベル調整	スキャンしたデータの空白ページを検出する感度を選択します。感度が高いほど、空白ページが検出されやすくなります。
両面読取 (特定モデルのみ対応)	元のレイアウトに応じて 長辺とじ または 短辺とじ オプションを選択して、原稿の両面をスキャンします。
地色除去	除去する地色の量を変更します。

オプション	詳細
エッジ調整	原稿の余白を調整します。
モアレ軽減	オン を選択して、スキャンした画像のモアレパターン（クロスハッチ）を減らします。
ファイル分割	スキャンした画像を分割します。 複数の原稿をスキャンした場合、この機能を使って原稿を分割し、別々に保存することができます。
カラー/グレー TIFF 圧縮	カラーまたはグレー原稿の TIFF 圧縮オプションを選択します。
モノクロ TIFF 圧縮	白黒原稿の TIFF 圧縮オプションを選択します。
明るさ	明るさレベルを選択します。
コントラスト	コントラストレベルを選択します。
接続時にパスワード認証を行う	このプロファイルを PIN で保護するには、 オン を選択し、 接続パスワード 欄に 4 桁の PIN を入力します。
認証方法	認証方式を設定するには、 自動 、 Kerberos 、または NTLMv2 を選択します。
ユーザー名	ネットワークフォルダパス 欄で指定したフォルダーへのデータの書き込み許可を持つユーザーのユーザー名（最大 96 文字）を入力します。ユーザー名がドメインの一部である場合、以下のいずれかの形式でユーザー名を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • ユーザー名@ドメイン名 • ドメイン名ユーザー名
パスワード	ユーザー名 欄に入力したユーザー名のパスワード（32 文字以下）を入力します。 パスワード確認 欄にパスワードを再入力します。
Kerberos サーバーアドレス	認証方法 オプションで Kerberos を選択した場合は、Kerberos サーバーアドレスを入力する必要があります（例：kerberos.example.com、最大 64 文字）。

6. **OK** をクリックします。
7. SNTP プロトコル（ネットワークタイムサーバー）を設定するか、すべての認証方式に対して操作パネルで日時とタイムゾーンを正確に設定する必要があります。本製品の時刻は、Kerberos サーバーや CIFS サーバーで使用される時刻と一致していなければなりません。

✓ 関連情報

- [スキャンしたデータをネットワークサーバーに保存する（Windows）](#)

関連トピック：

- [Web Based Management にアクセスする](#)
- [Web Based Management で日時を設定する](#)

スキャンしたデータを CIFS サーバーに送信する


1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [ネットワーク] を押します。



- ユーザー ID を登録している場合、Active Directory または LDAP 認証を使用して本製品にログインすると、[自分のフォルダ] が表示されます。
- CIFS サーバー上の指定したフォルダーにスキャンしたデータを送信するには、[自分のフォルダ] を押します。
- Web Based Management でこの機能を有効にするには、左側のナビゲーションバーで、**スキャン > スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint** をクリックします。自分のフォルダに送信 欄で、**オン** を選択します。

3. Web Based Management で設定したサーバープロファイルが表示されたら、使用するプロファイルを選択します。プロファイルが完全ではない場合（例えば、ログオンアカウント名およびパスワードが存在しない、または画質やファイル形式が指定されていない）、必要な情報の入力を求められます。



- コンピューターの PIN 入力を要求するメッセージが画面に表示されたら、4 桁の PIN を入力して、[OK] を押します。
- スキャンしたデータを保存する前にスキャン結果をプレビューするには、 [プレビュー] を押してから [プレビュー] ([スタート]) を押します。本製品は原稿をスキャンし、スキャン結果を画面に表示します。スキャン結果に問題がない場合は、[スタート] を押して保存し、処理を終了します。

4. [スタート] を押します。

本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用する場合、画面に表示される指示に従ってスキャン操作を完了してください。



関連情報

- [スキャンしたデータをネットワークサーバーに保存する \(Windows\)](#)

▲ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする > スキャンしたデータを SharePoint サーバーに保存する

スキャンしたデータを SharePoint サーバーに保存する

スキャンした情報を共有する必要がある場合、原稿をスキャンして、SharePoint サーバーに直接送信します。さらに便利な使用方法として、異なるプロファイルを設定して、任意のスキャン to SharePoint の送信先を保存します。

- [スキャン to SharePoint プロファイルを設定する](#)
- [スキャンしたデータを SharePoint サーバーに送信する](#)

スキャン to SharePoint プロファイルを設定する

スキャン to SharePoint プロファイルを設定してスキャンし、スキャンしたデータを SharePoint の指定先に直接アップロードします。

1. Web Based Management を起動します。▶▶ [Web Based Management にアクセスする](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**スキャン > スキャン to FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint** をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

3. **SharePoint** を選択し、**OK** をクリックします。
4. **FTP/SFTP/ネットワークファイル/SharePoint スキャンプロファイルメニュー** をクリックします。
5. 設定または変更したいプロファイルを選択します。

お願い

?、/、\、"、:、<、>、|、*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。

オプション	詳細
プロファイル名	このサーバープロファイルの名前を入力します (15 文字以下の英数字)。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
SharePoint サイトのアドレス	ブラウザーのアドレスバーに表示された宛先アドレス全て (例: http://SharePointSiteAddress/Shared%20Documents/Forms/AllItems.aspx)、または IP アドレス (例: http://192.168.0.1/Shared%20Documents/Forms/AllItems.aspx) をコピーアンドペーストします。
SSL/TLS	SharePoint サイトのアドレス欄 のアドレスが「https://」で始まる場合は、 サーバー証明書を検証 チェックボックスを選択してサーバー証明書を確認できます。
ファイル名	指定のプリセット名またはユーザー定義の名前から、ファイル名のプレフィックスを選択します。ここで選択した名称が、スキャンしたデータのファイル名の先頭につき、「選択した名称+原稿台/ADF (自動原稿送り装置) の 6 桁カウンター+拡張子」がファイル名となります。(例: 「Mitsumori_098765.pdf」)
画質	品質設定を選択します。 本体で設定 オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
ファイル形式	スキャンした文書に使用するファイル形式を選択します。 本体で設定 オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
原稿サイズ	リストから原稿サイズを選択します。スキャンする原稿のサイズが正しいかどうかを確認します。 本体で設定 オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
ファイルサイズ	リストからファイルサイズを選択します。 本体で設定 オプションを選択した場合、スキャンプロファイルを使用するたびに設定を選択するように要求されます。
傾き補正 (ADF 傾き補正)	自動 オプションを選択すると、原稿を読み取った時に原稿の傾きが自動的に補正されるように本製品を設定します。
白紙除去	オン オプションを選択して、スキャン結果から原稿の空白ページを削除します。
白紙除去レベル調整	スキャンしたデータの空白ページを検出する感度を選択します。感度が高いほど、空白ページが検出されやすくなります。

オプション	詳細
両面読取 (特定モデルのみ対応)	元のレイアウトに応じて 長辺 と じ または 短辺 と じ オプションを選択して、原稿の両面をスキャンします。
地色除去	除去する地色の量を変更します。
エッジ調整	原稿の余白を調整します。
モアレ軽減	オン を選択して、スキャンした画像のモアレパターン（クロスハッチ）を減らします。
ファイル分割	スキャンした画像を分割します。 複数の原稿をスキャンした場合、この機能を使って原稿を分割し、別々に保存することができます。
カラー/グレイ TIFF 圧縮	カラーまたはグレイ原稿の TIFF 圧縮オプションを選択します。
モノクロ TIFF 圧縮	白黒原稿の TIFF 圧縮オプションを選択します。
明るさ	明るさレベルを選択します。
コントラスト	コントラストレベルを選択します。
接続時にパスワード認証を行う	このプロファイルで PIN で保護するには、 オン を選択し、 接続パスワード 欄に 4 桁の PIN を入力します。
認証方法	認証方法を設定するには、 自動 、 NTLMv2 、 Kerberos 、または 基本 を選択します。 自動 を選択した場合、認証方法は自動的に検出されます。
ユーザー名	SharePoint サイトのアドレス 欄で指定したフォルダーへのデータの書き込みが許可されているユーザーのユーザー名（最大 96 文字）を入力します。ユーザー名がドメインの一部である場合、以下のいずれかの形式でユーザー名を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • ユーザー名@ドメイン名 • ドメイン名\ユーザー名
パスワード	ユーザー名 欄に入力したユーザー名のパスワード（32 文字以下）を入力します。 パスワード確認 欄にパスワードを再入力します。
Kerberos サーバーアドレス	認証方法 オプションで Kerberos を選択した場合は、Kerberos サーバーアドレスを入力する必要があります（例：kerberos.example.com、最大 64 文字）。

6. **OK** をクリックします。

✓ 関連情報

- スキャンしたデータを SharePoint サーバーに保存する


関連トピック：

- [Web Based Management にアクセスする](#)

スキャンしたデータを SharePoint サーバーに送信する

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [SharePoint] を押します。
3. Web Based Management で設定したサーバープロファイルが表示されたら、使用するプロファイルを選択します。プロファイルが完全ではない場合（例えば、ログオンアカウント名およびパスワードが存在しない、または画質やファイル形式が指定されていない）、必要な情報の入力を求められます。



- コンピューターの PIN 入力を要求するメッセージが画面に表示されたら、4桁の PIN を入力して、[OK] を押します。
- スキャンしたデータを保存する前にスキャン結果をプレビューするには、 [プレビュー] を押してから [プレビュー] ([スタート]) を押します。本製品は原稿をスキャンし、スキャン結果を画面に表示します。スキャン結果に問題がない場合は、[スタート] を押して保存し、処理を終了します。

4. [スタート] を押します。
本製品はスキャンを開始します。本製品の原稿台ガラスを使用する場合、画面に表示される指示に従ってスキャン操作を完了してください。



関連情報

- スキャンしたデータを SharePoint サーバーに保存する

▲ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする > Web サービスプロトコルを使用してネットワークスキャンを行う (Windows)

Web サービスプロトコルを使用してネットワークスキャンを行う (Windows)



Windows 10 および Windows 11 をお使いの場合、Web サービスプロトコルにより、ネットワーク上の本製品を使ってスキャンすることができます。Web サービス経由でドライバーをインストールする必要があります。

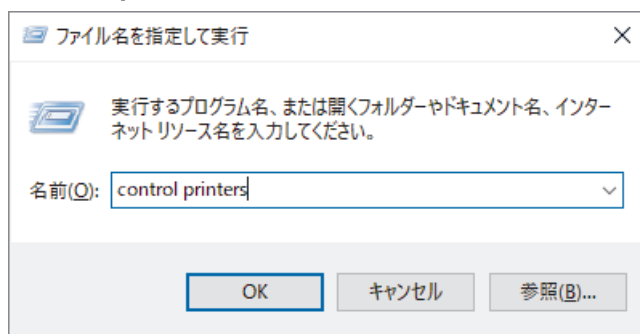
- [Web サービスプロトコルを使用してスキャナードライバーをインストールする \(Windows\)](#)
- [Web サービスプロトコルを使用して本製品からスキャンする \(Windows\)](#)
- [Web サービスプロトコルのスキャンプロファイルを編集する](#)

▲ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする > Web サービスプロトコルを使用してネットワークスキャンを行う (Windows) > Web サービスプロトコルを使用してスキャナードライバーをインストールする (Windows)


Web サービスプロトコルを使用してスキャナードライバーをインストールする (Windows)

- 本製品に適切なソフトウェアおよびドライバーがインストールされていることを確認します。
- ホストパソコンと本製品が同一のサブネット上に存在すること、またはこれら2つの機器間のデータ通信ができるようにルーターが正しく設定されていることを確認します。
- この設定を行う前に、本製品で IP アドレスを設定する必要があります。


1. パソコンのキーボードで、キーを長押ししながら キーを押して、**ファイル名を指定して実行**を起動します。
2. **"control printers"**を**名前:**欄に入力し、**OK**をクリックします。




デバイスとプリンター画面が表示されます。

 デバイスとプリンター画面が表示されない場合、**デバイス > その他のデバイスとプリンターの設定**をクリックします。

3. **デバイスの追加**をクリックします。

 本製品の Web サービス名は、お使いのモデル名と MAC アドレスです。

4. インストール先の製品を選択し、画面の指示に従います。

 ドライバーをアンインストールするには、**デバイスの削除**をクリックします。

✓ 関連情報

- [Web サービスプロトコルを使用してネットワークスキャンを行う \(Windows\)](#)

▲ ホーム > スキャン > 本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする > Web サービスプロトコルを使用してネットワークスキャンを行う (Windows) > Web サービスプロトコルを使用して本製品からスキャンする (Windows)

Web サービスプロトコルを使用して本製品からスキャンする (Windows)

Web サービス経由のスキャンのためのドライバーをインストールしている場合、本製品の画面で Web サービススキャンメニューにアクセスできます。

言語設定がお使いのオペレーティングシステムと本製品間で異なる場合、画面に表示されるメッセージの文字の一部が空白に置き換えられることがあります。

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン] > [Web サービス] を押します。
3. スキャンの種類を選択します。
4. スキャンデータの送信先のパソコン名を選択します。
5. [スタート] を押します。
本製品はスキャンを開始します。

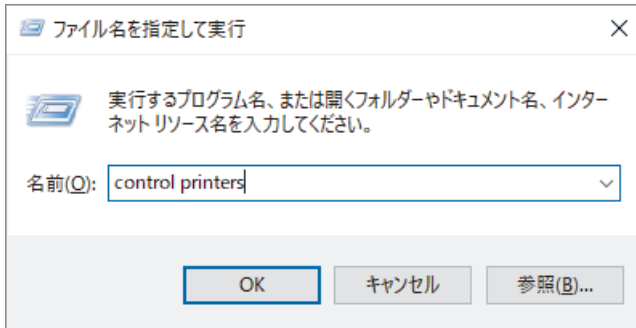
スキャンアプリケーションを選択するよう表示された場合は、一覧から WindowsFAX とスキャンを選択します。

✓ 関連情報


- [Web サービスプロトコルを使用してネットワークスキャンを行う \(Windows\)](#)

Web サービスプロトコルのスキャンプロファイルを編集する

1. パソコンのキーボードで、**[Win]**キーを長押ししながら**[R]**キーを押して、**ファイル名を指定して実行**を起動します。
2. **"control printers"**を**名前:**欄に入力し、**OK**をクリックします。



デバイスとプリンター画面が表示されます。

 デバイスとプリンター画面が表示されない場合、**デバイス > その他のデバイスとプリンターの設定**をクリックします。

3. 本製品のアイコンを右クリックし、**スキャン プロファイル**を選択します。**スキャン プロファイル**ダイアログボックスが表示されます。
4. 目的のスキャンプロファイルを選択します。
5. **スキャナー**一覧で選択されたモデル名が、Web サービスのスキャンに対応している製品であることを確認し、**既定に設定**ボタンをクリックします。
6. **編集**をクリックします。
既定のプロファイルの編集ダイアログボックスが表示されます。
7. **スキャナーの種類、用紙サイズ、色の形式、ファイルの種類、解像度 (DPI)、明るさおよびコントラスト設定**を選択します。(お使いのモデルによって使用可能なオプションは異なります。)
8. **プロファイルの保存**ボタンをクリックします。
Web サービスを使ってスキャンする場合のプロトコルとして適用されます。

スキャンアプリケーションを選択するよう表示された場合は、一覧から Windows FAX とスキャンを選択します。

関連情報

- [Web サービスプロトコルを使用してネットワークスキャンを行う \(Windows\)](#)

Brother iPrint&Scan からスキャンボタン設定を変更する

Brother iPrint&Scan を使用すると、本製品のスキャンの設定を変更できます。

1. Brother iPrint&Scan を起動します。

- Windows :

パソコンのデスクトップにある  (Brother iPrint&Scan) アイコンをダブルクリックします。

詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。

- Mac :

Finder メニューバーで**移動 > アプリケーション**をクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。

Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。

お願い

最新のアプリケーションをダウンロードするには :

- Windows の場合 :

support.brother.com/downloads でお使いのモデルのソフトウェアダウンロードページに進み、Brother iPrint&Scan をダウンロードしてインストールします。

- Mac の場合 :

Apple App Store から、Brother iPrint&Scan をダウンロードして、インストールします。

2. 本製品が選択されていない場合、**製品の追加 / 製品を選択**ボタンをクリックし、画面の指示に従って本製品を選択します。
3. **本体からのスキャン設定**ボタンをクリックし、画面の指示に従って、原稿のサイズ、カラー、解像度などのスキャン設定を変更します。

✓ 関連情報

- [本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする](#)

関連トピック :

- [Brother iPrint&Scan へのアクセス \(Windows/Mac\)](#)
- [写真やグラフィックをスキャンする](#)
- [原稿を単一の PDF ファイルとしてスキャンする](#)
- [編集可能テキストファイルとしてスキャンする \(OCR\)](#)
- [スキャンしたデータをメールの添付ファイルとして保存する](#)

署名入り PDF 用の証明書を設定する

スキャン機能で署名入り PDF を選択した場合（特定モデルのみ対応）、Web Based Management を使用して、本製品に証明書を設定する必要があります。

署名入り PDF を使用するには、本製品とお使いのパソコンに証明書をインストールする必要があります。

1. Web Based Management を起動します。▶▶ [Web Based Management にアクセスする](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**管理者設定 > 電子署名付 PDF** をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

3. **証明書の選択**ドロップダウンリストから証明書を選択します。
4. **OK** をクリックします。

✓ 関連情報

- [本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする](#)

関連トピック：

- [Web Based Management にアクセスする](#)

お使いのコンピューターからスキャンを無効にする

パソコンからのスキャン機能を無効にするには、Web Based Management を使用してプルスキャンの設定を無効にします。

1. Web Based Management を起動します。▶▶ [Web Based Management にアクセスする](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**スキャン > PC からのスキャン**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

3. **PC からのスキャン**欄で、**無効**をクリックします。
4. **OK** をクリックします。



関連情報

- [本製品のスキャンボタンを使用してスキャンする](#)

関連トピック：


- [Web Based Management にアクセスする](#)

お使いのパソコンからスキャンする (Windows)

お使いのパソコンを使用して、写真や文書の本製品でスキャンします。弊社から提供されているソフトウェアやお使いのスキャンアプリケーションを使用します。

- [Brother iPrint&Scan](#) を使用してスキャンする (Windows/Mac)
- [Kofax PaperPort™ 14SE](#) またはその他の Windows アプリケーションを使用してスキャンする
- [Windows FAX](#) とスキャンを使ってスキャンする

Brother iPrint&Scan を使用してスキャンする (Windows/Mac)

1. 原稿をセットします。
2. Brother iPrint&Scan を起動します。
 - Windows :
パソコンのデスクトップにある  (Brother iPrint&Scan) アイコンをダブルクリックします。
詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。
 - Mac :
Finder メニューバーで移動 > アプリケーションをクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。

お願い

最新のアプリケーションをダウンロードするには :

- Windows の場合 :
support.brother.com/downloads でお使いのモデルのソフトウェアダウンロードページに進み、Brother iPrint&Scan をダウンロードしてインストールします。
- Mac の場合 :
Apple App Store から、Brother iPrint&Scan をダウンロードして、インストールします。

3. 本製品が選択されていない場合は、**製品の追加 / 製品を選択** ボタンをクリックし、一覧から本製品のモデル名を選択します。OK をクリックします。
4. **スキャンアイコン**をクリックします。
5. スキャン設定を行い、**スキャン**ボタンをクリックしてスキャンを開始します。
6. すべての文書をスキャンしたら、スキャン済みデータを保存および共有するオプションを選択します。
7. **ファイル名**および**ファイル形式**を含めて詳細設定を行います。



複数のスキャンを 1 つのファイルにまとめるには、**ファイル形式**として PDF を選択します。

8. スキャンプロセスを終了します。




関連情報

- [お使いのパソコンからスキャンする \(Windows\)](#)
- 関連トピック :**
- [Brother iPrint&Scan へのアクセス \(Windows/Mac\)](#)
 - [写真やグラフィックをスキャンする](#)
 - [原稿を単一の PDF ファイルとしてスキャンする](#)

Kofax PaperPort™ 14SE またはその他の Windows アプリケーションを使用してスキャンする

Kofax PaperPort™ 14SE アプリケーションをスキャンに使用することができます。

Kofax PaperPort™ 14SE アプリケーションをダウンロードするには、 (Brother Utilities) をクリックし、左側のナビゲーションバーで**もっと活用する**を選択して、**PaperPort** をクリックします。



これらの手順は、PaperPort™ 14SE を使用してスキャンする場合の指示です。その他の Windows アプリケーションの場合も、手順は同様です。PaperPort™ 14SE は、TWAIN ドライバーと WIA ドライバーをサポートしています。TWAIN ドライバー（推奨）は、本手順で使用されています。

1. 原稿をセットします。
2. PaperPort™ 14SE を起動します。
次のいずれかを行ってください：
 - Windows 11
 > **すべて** > **Kofax PaperPort 14** > **PaperPort** をクリックします。
 - Windows 10
 > **Kofax PaperPort 14** > **PaperPort** をクリックします。
3. デスクトップメニューをクリックして、デスクトップリボンで**スキャン設定**をクリックします。
画面の左側に、**スキャンまたは写真の取り込み**パネルが表示されます。
4. **選択**をクリックします。
5. 利用可能なスキャナー一覧から、名前に **TWAIN: TW** が含まれるお使いのモデルを選択します。
6. **OK** をクリックします。
7. **スキャンまたは写真の取り込み**パネルで**スキャナ ダイアログ ボックスの表示**チェックボックスを選択します。
8. **スキャン**をクリックします。
スキャナーセットアップダイアログボックスが表示されます。



9. 必要に応じて、スキャナーセットアップダイアログボックスで設定値を調整します。

10. **原稿サイズ**ドロップダウンリストから原稿サイズを選択します。



原稿の両面をスキャンするには：

自動両面スキャンは、ADF(自動原稿送り装置)を使用する場合にのみ利用可能です。

プレビュー機能を使用してスキャンした画像をプレビューすることはできません。

11. 画像をプレビューして、スキャンする前に不要な部分を切り取りたい場合は、**プレビュー開始**をクリックします。

12. **スキャン開始**をクリックします。

本製品はスキャンを開始します。



関連情報

- お使いのパソコンからスキャンする (Windows)
 - TWAIN ドライバーの設定 (Windows)

TWAIN ドライバーの設定 (Windows)



- 設定項目名および設定可能な値は、ご使用の製品によって異なります。
- コントラスト**は、**グレー (誤差拡散)**、**256 階調グレー**、または **1677 万色カラー**を**カラー設定**から選択した場合にのみ利用可能です。

1. スキャン設定

スキャンする原稿の種類にあわせて、**写真**、**ウェブ素材**、または**モノクロ文書**を選択します。

スキャン (画像種類)		解像度	カラー設定
写真	写真のスキャンに使用します。	300 x 300 dpi	1677 万色カラー
ウェブ素材	スキャンした画像を Web ページに添付するときを使用します。	100 x 100 dpi	1677 万色カラー
モノクロ文書	テキスト原稿をスキャンするときを使用します。	200 x 200 dpi	モノクロ

2. 解像度

解像度 ドロップダウンリストからスキャン解像度を選択します。解像度を上げると、スキャンしたデータの画質は向上しますが、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンするのに時間がかかります。

3. カラー設定

さまざまな色濃度の中から選択します。

- **モノクロ**

文字原稿または線画に使用します。

- **グレー (誤差拡散)**

写真やグラフィックに使用します。(誤差拡散は、グレーの点を使用せずに、擬似的にグレー画像を作成する手法です。見た目を自然なグレーに見せるために、黒い点を一定の規則で配置しています。)

- **256 階調グレー**

写真やグラフィックに使用します。このモードでは、最大で 256 段階の色調のグレーを使用して、より正確に細部を再現します。

- **1677 万色カラー**

最も正確に色を再現した画像を作成したい場合に適しています。最大で 1680 万色を使って画像をスキャンしますが、最も多くのメモリーが必要とされ、転送時間が最も長くなります。

4. 原稿サイズ

あらかじめ設定されたスキャンサイズから、使用する原稿と同じサイズを選択します。

ユーザー定義サイズを選択すると、**ユーザー定義サイズ設定**ダイアログボックスが表示され、原稿サイズを指定できます。

5. おまかせ一括スキャン

原稿台ガラスにセットされた複数の原稿を一括でスキャンします。複数の原稿を一度にスキャンし、複数のファイルまたは複数ページを含んだ 1 つのファイルが作成されます。

6. 明るさ

つまみを右または左に移動させて明暗レベルを設定し、スキャンしたデータの明暗を調整します。スキャンした画像が明るすぎる場合は、明るさを下げて、再度スキャンします。スキャンした画像が暗すぎる場合は、明るさを上げて、再度スキャンします。数値を入力して明暗レベルを設定することも可能です。

7. コントラスト

つまみを右または左に移動させてコントラストレベルの調整を行います。レベルを上げると画像の明暗が強調され、レベルを下げるとグレー領域がより強調されます。値を入力して、コントラストのレベルを設定することもできます。

8. 両面読取り

原稿の両面をスキャンします。自動両面スキャン機能を使用する場合、ページをめくったときに向きが意図した通りになるように、**両面読取り**ドロップダウンリストから**長辺をとじる**または**短辺をとじる**を選択する必要があります。

9. 詳細設定

スキャン設定ダイアログボックスの**詳細設定**リンクをクリックして、詳細設定を行います。

- **原稿補正**

- **傾き補正**

ページがスキャンされたときに、原稿の歪みが自動的に修正されるように本製品を設定します。

- **原稿後端自動検知 (ADF)**

ADF (自動原稿送り装置) からスキャンした原稿の長さが、選択した原稿サイズよりも短い場合、原稿の端を検知して自動で用紙サイズを調整します。

- **原稿ふち調整**

原稿の余白を調整します。

- **画像回転**

スキャンした画像を回転します。

- **塗りつぶし**

スキャンした画像の四辺の縁を、選択した色と範囲で塗りつぶします。

- **白紙除去**

スキャン結果から原稿の空白ページを取り除きます。

- **定型サイズ出力(レター/リーガル)**

サイズが異なる原稿をスキャンします。本製品は各原稿のサイズを検出し、レターサイズとリーガルサイズのページを含むファイルを作成します。このモードを使用するには、**原稿サイズ**ドロップダウンリストから**自動オプション**を選択します。

- **画質調整**

- **背景スムージング**

- **裏写り・地紋除去**

裏写りや地紋を防止します。

- **地色除去**

原稿の背景にある地色を取り除き、スキャンしたデータを見やすくします。

- **ドロップアウトカラー**

スキャンした画像から取り除きたい色を選択します。

- **エッジ強調**
文字を鮮明にします。
- **ノイズ軽減**
スキャン画像の品質を改善させます。**ノイズ軽減**は、**1677 万色カラー**および **300 x 300 dpi**、**400 x 400 dpi**、または **600 x 600 dpi** のスキャン解像度を選択した場合に利用可能です。
- **モアレ軽減**
スキャン画像の品質を改善させます。**モアレ軽減**は、**100 x 100 dpi**、**150 x 150 dpi**、**200 x 200 dpi**、または **300 x 300 dpi** のスキャン解像度を選択した場合に利用可能です。
- **モノクロ画質調整**
 - **文字補正**
 - **かすれ文字補正**
とぎれた文字や不完全な文字を調整して読みやすくします。
 - **文字強調**
原本の文字を太字にして強調します。
 - **白黒反転**
モノクロ画像の白黒を反転します。
- **搬送制御**
 - **レイアウト**
レイアウトを選択します。
 - **継続スキャン**
複数のページをスキャンするには、このオプションを選択します。1 ページ目がスキャンされた後に、スキャンを続けるか終了するかを選択します。



関連情報

- [Kofax PaperPort™ 14SE またはその他の Windows アプリケーションを使用してスキャンする](#)

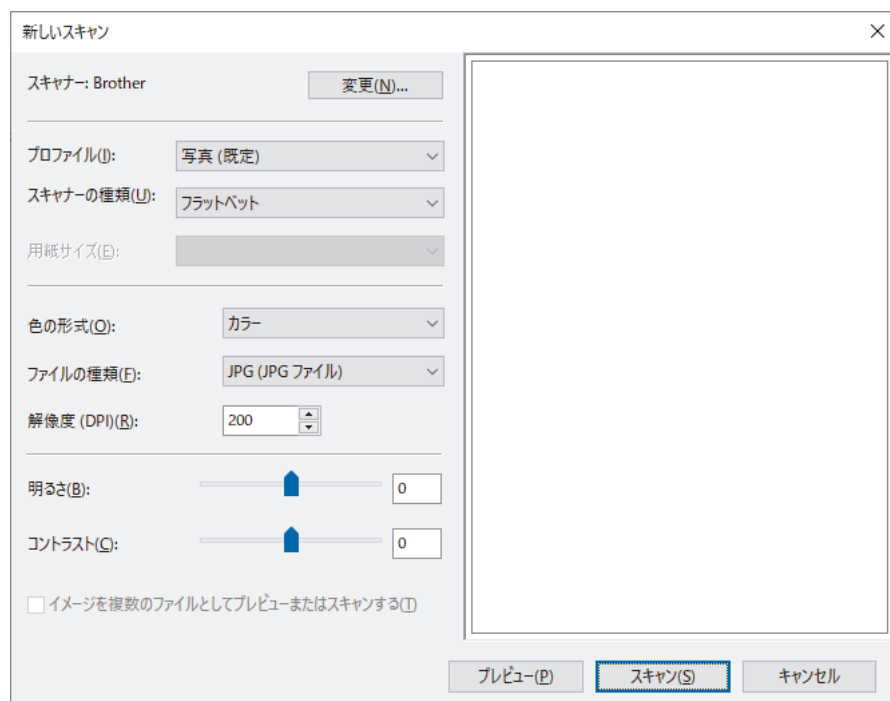
Windows FAX とスキャンを使ってスキャンする

Windows FAX とスキャンアプリケーションは、スキャン時に使用できるもう 1 つのオプションです。

- Windows FAX とスキャンは、WIA スキャナードライバーを使用します。
- スキャンしたページの一部を切り取る場合は、原稿を ADF（自動原稿送り装置）で送るのではなく、原稿台ガラス（フラットベットとも呼ばれます）を使用してスキャンする必要があります。

1. 原稿をセットします。
2. Windows FAX とスキャンを起動します。
3. **ファイル > 新規作成 > スキャン**をクリックします。
4. 利用するスキャナーを選択します。
5. **OK** をクリックします。

新しいスキャンダイアログボックスが表示されます。

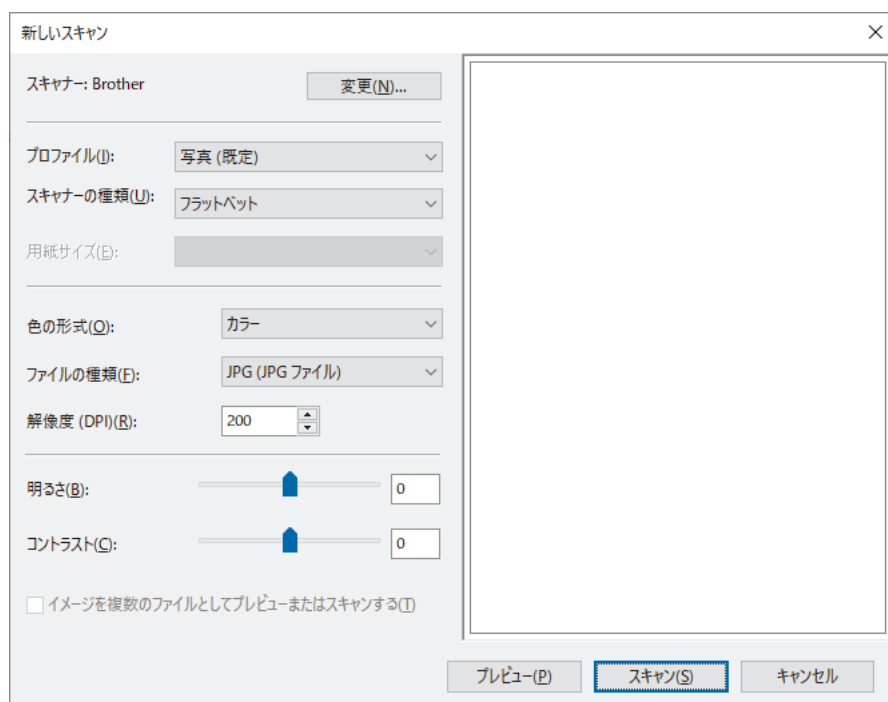


6. 必要に応じて、ダイアログボックスで設定値を調整します。
お使いの製品が両面スキャンに対応していて、原稿の両面をスキャンする場合は、**スキャナーの種類**ドロップダウンリストから**フィーダー（両面スキャン）**を選択します。
7. **スキャン**をクリックします。
原稿のスキャンが開始されます。

✓ 関連情報

- お使いのパソコンからスキャンする (Windows)
 - WIA ドライバー設定 (Windows)

WIA ドライバー設定 (Windows)



プロファイル

プロファイルドロップダウンリストから、使用するスキャンプロファイルを選択します。

スキャナーの種類

ドロップダウンリストから、フラットベット、フィーダー (片面スキャン) またはフィーダー (両面スキャン) オプションを選択します。

用紙サイズ

スキャナーの種類ドロップダウンリストからフィーダー (片面スキャン) またはフィーダー (両面スキャン) オプションを選択した場合は、用紙サイズオプションを使用できます。

色の形式

色の形式ドロップダウンリストから、スキャンする色の形式を選択します。

ファイルの種類

ファイルの種類ドロップダウンリストから、ファイル形式を選択します。

解像度 (DPI)

解像度 (DPI) 欄でスキャン解像度を設定します。解像度を上げると、スキャンしたデータの画質は向上しますが、ファイルサイズが大きくなったり、スキャンするのに時間がかかります。

明るさ

つまみを右または左に移動させて明暗レベルを設定し、スキャンしたデータの明暗を調整します。スキャンした画像が明るすぎる場合は、明るさを下げて、再度スキャンします。スキャンした画像が暗すぎる場合は、明るさを上げて、再度スキャンします。数値を入力して明暗レベルを設定することも可能です。

コントラスト

つまみを右または左に移動させてコントラストレベルの調整を行います。レベルを上げると画像の明暗が強調され、レベルを下げるとグレー領域がより強調されます。数値を入力してコントラストのレベルを設定することも可能です。



関連情報

- Windows FAX とスキャンを使ってスキャンする

お使いのパソコンからスキャンする (Mac)

- [Brother iPrint&Scan](#) を使用してスキャンする (Windows/Mac)
- [AirPrint](#) を使用してスキャンを行う (macOS)

セキュアスキャン

セキュアスキャン機能を使用して、パソコンまたはモバイル端末でユーザー名とパスワードを入力するまで、機密文書や重要な文書がスキャンされないようにします。

- セキュアスキャン機能は、パソコンまたはモバイル端末からのスキャンに対応しています。
- この機能は、特定のアプリケーションおよびオンラインサービスでのみ使用できます。

1. Web Based Management を起動します。▶▶ [Web Based Management にアクセスする](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**を選択します。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

3. **ネットワークスキャン**チェックボックスが選択されていることを確認して、**詳細設定オプション**を選択します。
4. **平文スキャン設定**オプションが**有効**に設定されていることを確認します。
5. **制限機能**を選択します。
6. **セキュリティ機能ロック**を選択します。
7. **OK**を選択します。
8. **機能制限メニュー**を選択します。
9. **一般モード**行で、**スキャン**チェックボックスがオフになっていることを確認します。
10. **ユーザーリスト/機能制限**欄にグループ名を入力し、**スキャン**チェックボックスを選択します。
11. **OK**を選択します。
12. **ユーザーリスト**メニューを選択し、ユーザーリストを設定します。
13. **OK**を選択します。
セキュアスキャンのセットアップが完了しました。
14. **原稿をセット**します。
15. パソコンかモバイル端末で、スキャン操作を開始します。



指示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。

✓ 関連情報

- [スキャン](#)

Web Based Management を使用してスキャン設定を行う

- Web Based Management を使用してスキャンファイル名称を設定する
- Web Based Management を使用してスキャンジョブの E メールレポートを設定する

Web Based Management を使用してスキャンファイル名称を設定する

Web Based Management を使用して、スキャンしたデータのファイル名を設定します。

1. Web Based Management を起動します。▶▶ [Web Based Management にアクセスする](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**スキャン > スキャン ファイル名称**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

3. ドロップダウンリストから**ファイル名項目順序**を選択します。
4. **ファイル名項目順序**欄で日付を含めるオプションを選択した場合、ドロップダウンリストから日付フォーマットを選択します。
5. **時間**欄で、**オン**を選択してファイル名に時間情報を含めます。
6. **カウンタ** 欄で、**自動更新** または **読み取り毎にリセット**を選択します。



読み取り毎にリセットを選択すると、ファイル名の重複が起こることがあります。

7. ファイル名の先頭にユーザー定義の名称をつけたい場合は、各スキャン機能のユーザー定義欄にファイル名を入力します。



？、/、\、*の文字は使用しないでください。

8. **OK** をクリックします。



関連情報

- [Web Based Management を使用してスキャン設定を行う](#)

関連トピック：

- [Web Based Management にアクセスする](#)

Web Based Management を使用してスキャンジョブの E メールレポートを設定する

原稿をスキャンすると、本製品はスキャンジョブの E メールレポートを、登録されている E メールアドレスに自動的に送信します。

1. Web Based Management を起動します。▶▶ [Web Based Management にアクセスする](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**スキャン > スキャン通知レポート**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

3. **管理者メールアドレス**欄で、E メールアドレスを入力します。
4. 利用するスキャン機能に対して**オン**を選択し、スキャンジョブの E メールレポートが送信されるようにします。
5. **OK** をクリックします。



関連情報

- [Web Based Management を使用してスキャン設定を行う](#)

関連トピック：

- [Web Based Management にアクセスする](#)

コピー

- 用紙の片面をコピーする（片面コピー）
- 用紙の両面をコピーする（両面コピー）
- コピー画像を拡大または縮小する
- レイアウトコピー機能を使って N in 1 コピーをする
- 印刷ジョブをコピージョブで中断する
- ID カードをコピーする
- コピーオプション

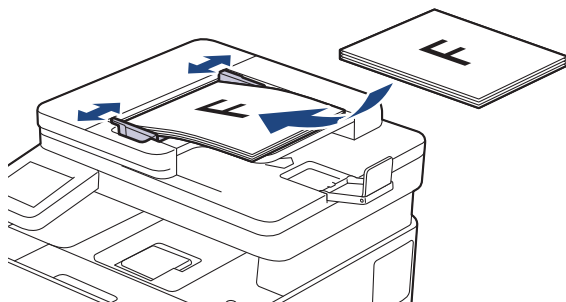
用紙の片面をコピーする（片面コピー）

>> [MFC-L8730CDW](#)

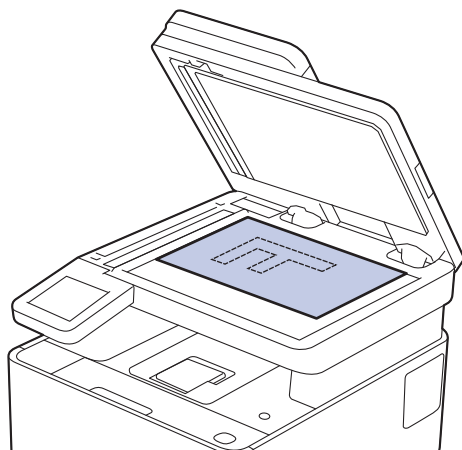
>> [MFC-L8970CDW](#)

MFC-L8730CDW

1. 用紙トレイに正しいサイズ of 用紙がセットされているかを確認します。
2. 次のいずれかを行ってください：
 - ADF（自動原稿送り装置）に原稿を上向きに置きます。
（複数ページをコピーを行う場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使用することを推奨します。）




- 原稿台ガラスに原稿を下向きに置きます。



お願い



重要な原稿や破れやすい原稿には、ADF（自動原稿送り装置）ではなく、本製品の原稿台ガラスを使用してください。

3.  [コピー]を押します。

画面に以下のとおり表示されます。






4. 必要に応じてコピー設定を変更します。

- **x001** (コピーの枚数)
以下のいずれかの方法で部数を入力します：
 - 画面の **+** または **-** を押します。
 - **x001** を押し、液晶ディスプレイにテンキーを表示し、部数を入力します。[OK]を押します。
-  [設定変更]
 を押しと、次のコピーのみ設定が変更されます。
 - 完了したら、[OK]を押します。([OK] ボタンが表示された場合。)
 - 新しいオプションの選択を完了したあと、[ショートカット登録] ボタンを押して設定を保存することができます。




現在の設定

以下の表示領域を押すと、次のコピーのみこれらの設定が変更されます。表示されるアイコンは、モデルによって異なります。

-  [コピー画質]
-  [用紙トレイ選択]
-  [拡大/縮小]

5. [カラー スタート]または[モノクロ スタート]を押します。



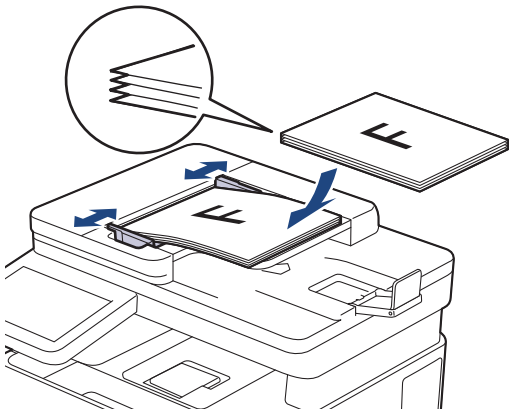
コピーを停止するには、 を押します。

MFC-L8970CDW

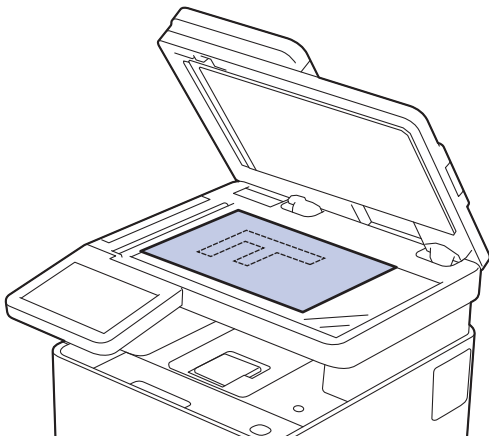
1. 用紙トレイに正しいサイズ of 用紙がセットされているかを確認します。

2. 次のいずれかを行ってください：

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿を上向きに置きます。
（複数ページをコピーを行う場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使用することを推奨します。）




- 原稿台ガラスに原稿を下向きに置きます。



お願い

重要な原稿や破れやすい原稿には、ADF（自動原稿送り装置）ではなく、本製品の原稿台ガラスを使用してください。

3.  [コピー]を押します。

画面に以下のとおり表示されます。



4. 必要に応じてコピー設定を変更します。

- **001**（コピーの枚数）

以下のいずれかの方法で部数を入力します：

- 画面の **+** または **-** を押します。
- **001** を押し、液晶ディスプレイにテンキーを表示し、部数を入力します。[OK]を押します。

- [設定変更]

設定変更

を押すと、次のコピーのみ設定が変更されます。

新しいオプションの選択を完了したあと、[ショートカット登録] ボタンを押して設定を保存することができます。



- クイックコピー

>を押してあらかじめ設定されたコピー設定を確認します。

- 現在の設定

以下の表示領域を押すと、次のコピーのみこれらの設定が変更されます。

- [コピー画質]
- [用紙トレイ選択]
- [拡大/縮小]
- [コピー濃度]

5. [カラー スタート]または[モノクロ スタート]を押します。



コピーを停止するには、を押します。



関連情報

- コピー

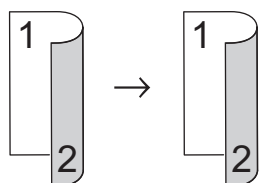
用紙の両面をコピーする（両面コピー）

用紙の両面にコピーして、使用する枚数を減らします。

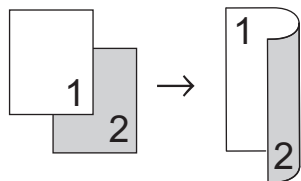
- 両面コピーをする前に、以下の設定から両面コピーのレイアウトを選択する必要があります。
- 元の原稿のレイアウトに合わせて、どの両面コピー設定を選択すべきか決定します。
- (ADF(自動原稿送り装置)搭載モデルの場合) 重要な原稿や破れやすい原稿には、ADF（自動原稿送り装置）ではなく、本製品の原稿台ガラスを使用してください。
- (ADF(自動原稿送り装置)搭載モデルの場合) 自動両面コピー機能を使用するには、ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする必要があります。
- 手動で両面原稿から両面コピーする場合は、原稿台ガラスを使用してください。

縦向き

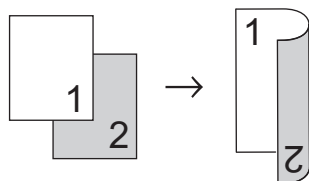
両面から両面



片面から両面（長辺とし）

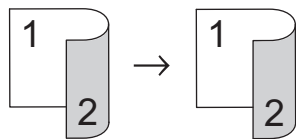


片面から両面（短辺とし）

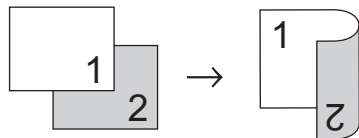


横向き

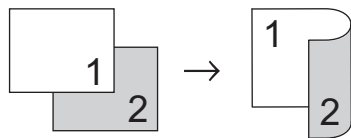
両面から両面



片面から両面（長辺とし）





片面から両面（短辺とし）



1. 原稿をセットします。

お願い

両面原稿を ADF(自動原稿送り装置)にセットしてください。両面原稿を原稿台ガラスにセットする場合、**「片面⇒両面」** オプションを選択します。

2.  [コピー] を押します。
3. 部数を入力します。
4.  [設定変更] > [両面コピー] を押します。
5. 次のいずれかを行ってください：
 - 両面原稿から両面コピーをする場合は、**「両面⇒両面」**を押します。
 - 片面原稿から両面コピーをする場合は、以下の操作を行います：
 - a. レイアウトを変更する場合には、**「とじ方向」**を押してから、**「長辺とじ」**または**「短辺とじ」**を押します。
 - b. **「片面⇒両面」**を押します。
6. 完了したら、**「OK」**を押します。(**「OK」** ボタンが表示された場合。)
7. **「カー スタート」**または**「E/カ スタート」**を押します。
ADF(自動原稿送り装置)に原稿をセットした場合、本製品は原稿をスキャンし、印刷を開始します。
8. **原稿台ガラスを使用している場合は、原稿の各ページで以下の手順を繰り返します：**



両面原稿では、長い辺に沿って原稿を裏返しにし、反対側をスキャンします。

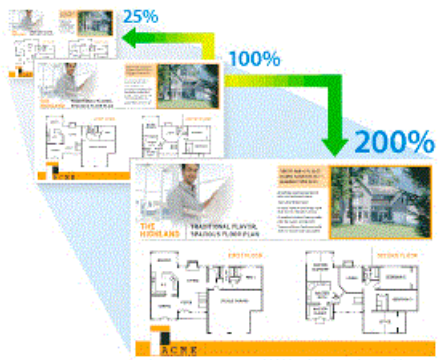
- 次のページを原稿台ガラスに置き、**「スキャン」**を押してページを読み取ります。
- すべてのページの読み取りが終わったら、**「印刷」**を押します。



✓ 関連情報

- [コピー](#)

コピー画像を拡大または縮小する

拡大率または縮小率を選択して、コピーデータの大きさを変更します。



1. 原稿をセットします。
2.  [コピー]を押します。
3. 部数を入力します。
4.  [設定変更] > [拡大/縮小]を押します。
5. 上または下にフリックするか、▲または▼を押してオプションを表示させ、使用したいオプションを押します。
6. 選択したオプションの値を設定します。
7. 完了したら、[OK]を押します。([OK] ボタンが表示された場合。)
8. [カー スタート]または[メモ加 スタート]を押します。



✓ 関連情報





- [コピー](#)

レイアウトコピー機能を使って N in 1 コピーをする

N in 1 コピー機能は、2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の用紙に並べてコピーすることで、用紙を節約します。



1. 原稿をセットします。
2.  [コピー] を押します。
3. 部数を入力します。
4.  [設定変更] > [レイアウト コピー] を押します。
5. 上または下にフリックするか、▲または▼を押してオプションを表示させ、使用したいオプションを押します。

オプション	詳細
[2in1 (縦長)]	
[2in1 (横長)]	
[4in1 (縦長)]	
[4in1 (横長)]	

6. 完了したら、[OK] を押します。([OK] ボタンが表示された場合。)
7. [カー スタート] または [メモ スタート] を押します。
ADF(自動原稿送り装置)に原稿をセットした場合、本製品は原稿をスキャンし、印刷を開始します。
8. 原稿台ガラスを使用している場合は、原稿の各ページで以下の手順を繰り返します：
 - 次のページを原稿台ガラスに置き、[スキャン] を押してページを読み取ります。
 - すべてのページの読み取りが終わったら、[印刷] を押します。

✓ 関連情報

- コピー

印刷ジョブをコピージョブで中断する


関連モデル: MFC-L8970CDW

現在の印刷ジョブを中断して、急ぎに必要なコピーを行うことができます。

お願い

受信したファクスの印刷を中断することはできません。次のジョブを中断することができます。

- パソコンやモバイル端末からの印刷ジョブ
- コピージョブ

1. 原稿をセットします。
2.  [コピー] を押します。
3. 部数を入力します。
4. [割り込み] を押します。
5. [カー スタート] または [モノ スタート] を押します。
ADF(自動原稿送り装置)に原稿をセットした場合、本製品は原稿をスキャンし、印刷を開始します。
6. **原稿台ガラスを使用している場合は、原稿の各ページで以下の手順を繰り返します：**
 - 次のページを原稿台ガラスに置き、[スキャン] を押してページを読み取ります。
 - すべてのページの読み取りが終わったら、[印刷] を押します。
7. コピーが印刷された後、[割り込み] を押して待機中の印刷ジョブを再開します。

✓ 関連情報

- [コピー](#)

ID カードをコピーする



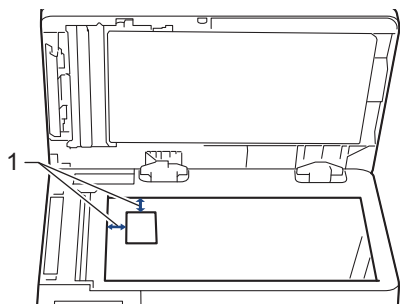
法律で認められる範囲内で、身分証明書のコピーを行ってください。詳しい説明は「安全にお使いいただくために」をご覧ください。

>> [MFC-L8730CDW](#)


>> [MFC-L8970CDW](#)

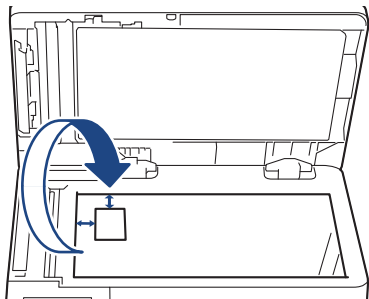
MFC-L8730CDW

1. 身分証明書の読み取りたい面を下にして、原稿台ガラスの左上近くに置きます。



1: 4.0 mm 以上（上端および左端）

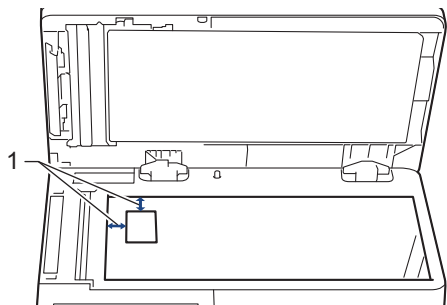
2.  [コピー]を押します。
3. [ID]を押します。
4. 部数を入力します。
5. [カー スタート]または[モノクロ スタート]を押します。
本製品が身分証明書の片面をスキャンします。
6. 製品が片面をスキャンしたら、身分証明書を裏返しにします。




7. [裏面を開始] を押し、反対側もスキャンします。

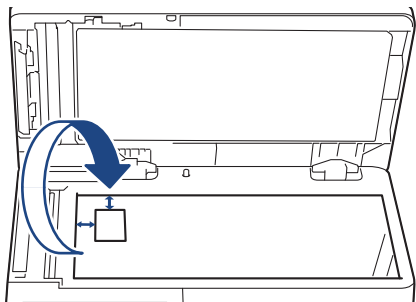
MFC-L8970CDW

1. 身分証明書の読み取りたい面を下にして、原稿台ガラスの左上近くに置きます。



1: 4.0 mm 以上（上端および左端）

2.  [コピー]を押します。
3. [身分証]を押します。
4. 部数を入力します。
5. [カー スタート]または[モノ スタート]を押します。
本製品が身分証明書の片面をスキャンします。
6. 製品が片面をスキャンしたら、身分証明書を裏返しにします。



7. [裏面を開始] を押し、反対側もスキャンします。

✓ 関連情報

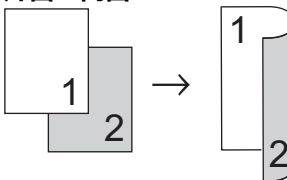
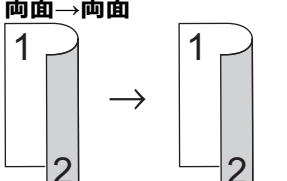
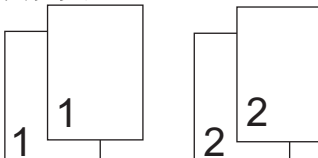
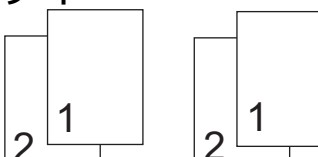
- [コピー](#)

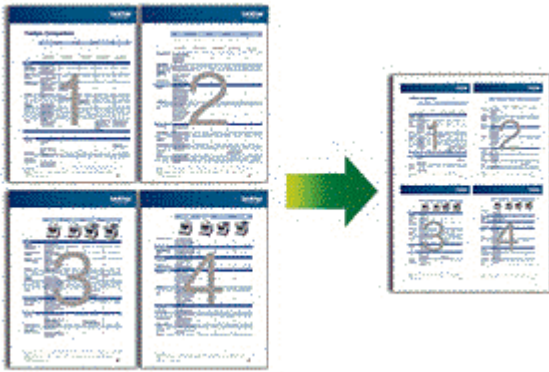
コピーオプション

コピー設定を変更するには、 [設定変更] を押します。



お使いのモデルや設定によって使用可能なオプションは異なる場合があります。

オプション	詳細	
[コピー画質]	原稿の種類に応じて、コピー画質を選択します。	
[用紙トレイ選択]	次のコピーで使用するトレイを選択します。	
[拡大/縮小]	[等倍 100%]	-
	[拡大]	次のコピーで使用する拡大率を選択します。
	[縮小]	次のコピーで使用する縮小率を選択します。
	[カスタム (25-400%)]	拡大率または縮小率を入力します。
[コピー濃度]	濃度を高くして、文字を濃くします。 濃度を低くして、文字を薄くします。	
[地色除去コピー]	コピー時、原稿の地色を除去する場合に選択します。	
[両面コピー]	両面コピーを選択します。 片面→両面  両面→両面  使用できるオプションは、お使いのモデルによって異なります。	
[両面レイアウトコピー] (特定設定でのみ対応)	長辺とじまたは短辺とじを選択します。	
[コントラスト]	コントラストを上げて、画像を鮮明にします。 コントラストを下げて、画像を落ち着いた印象にします。	
[スタック/ソート]	スタックまたはソートコピーを選択します。 スタック  ソート 	

オプション	詳細
[レイアウト コピー]	<p>N in 1 コピーをします。</p> <p>4 in 1</p> 
[傾き補正]	コピーの傾きを自動的に補正するように本製品を設定します。
[カラー調整]	色の彩度の初期設定を変更します。

✓ 関連情報

- [コピー](#)

ファクス


- [ファクスの初期設定と電話サービス](#)
- [ファクスを送信する](#)
- [ファクスを受信する](#)
- [ファクス番号](#)
- [ファクスレポート](#)
- [外付け機器](#)
- [PC-FAX](#)
- [I-Fax \(インターネットを使用したファクス\)](#)

ファクスの初期設定と電話サービス

- 発信元を登録する
- プッシュ回線またはダイヤル回線を設定する
- 各ファクス番号に接頭番号を追加する
- ナンバー・ディスプレイとは
- 電話回線の種類を設定する

発信元を登録する

ファクスを送信するたびに、相手側の用紙に日付と時刻を印刷するには、製品の発信元登録をします。


1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [発信元登録] > [ファクス] を押します。






本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。


2. 液晶ディスプレイでファクス番号（最大 20 桁）を入力し、[OK] を押します。
3. [電話] を押します。
4. 液晶ディスプレイで電話番号（最大 20 桁）を入力し、[OK] を押します。
5. [名前] を押します。
6. 画面で名前（最大 16 文字または 20 文字）を入力し、[OK] を押します。



-  を押して文字、数字、特殊記号を切り替えます。（使用できる文字は、国によって異なる場合があります。）

本製品に  が表示された場合は、  を押します。

- 誤った文字を入力した場合は、◀または▶を押し、カーソルを動かし、 を押します。正しい文字を押します。
- スペースを入力するには、[スペース] または▶を押します。
- 詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。

7.  を押します。

✓ 関連情報

- [ファクスの初期設定と電話サービス](#)


関連トピック：

- [本製品にテキストを入力するには](#)

プッシュ回線またはダイヤル回線を設定する


本製品はプッシュ回線に設定されています。ダイヤル回線をご利用の場合は、ダイヤル種別を設定する必要があります。

この機能は、国によっては利用できない場合があります。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [回線種別設定] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. [プッシュ回線]、[ダイヤル 10pps]、[ダイヤル 20pps]、または [自動設定] を押します。
3.  を押します。



関連情報


- [ファクスの初期設定と電話サービス](#)

各ファクス番号に接頭番号を追加する

接頭番号設定は、ダイヤルする各ファクス番号の前に、あらかじめ決められた番号を自動的にダイヤルする機能です。例：外線発信に9をダイヤルしなければならない電話システムの場合、この設定を使って、送信する各ファクスに自動的に9をダイヤルします。




- 0から9、!の番号と記号を使います。(他の番号、記号は使えません。)
- 電話システムでタイムブレイクリコール（フックフラッシュ）が必要な場合は、画面で!を押します。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [外線番号]を押します。




本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. [オン]または[オフ]を押します。

オプション	詳細
[オン]	接頭番号設定を有効にするには、[オン]を選択します。 [オン]を選択したら、次の手順に移動して接頭番号を設定します。
[オフ]	接頭番号設定を無効にするには、[オフ]を選択します。 [オフ]を選択したら、  を押して終了します。

3. [外線番号]を押します。
4. 画面で接頭番号（最大5桁）を入力し、[OK]を押します。



番号を変更するには、◀または▶を押して修正したい番号にカーソルを合わせて反転表示し、を押します。新しい番号を入力します。

希望の接頭番号になるまでこの操作を続け、[OK]を押します。

5. を押します。

✓ 関連情報

- [ファクスの初期設定と電話サービス](#)

ナンバー・ディスプレイとは

電話やファクスがかかってきたときに相手の電話番号が、電話に出る前に画面に表示されるサービスです。サービスの詳細については、ご利用されている電話会社にお問い合わせください。

本製品ではナンバー・ディスプレイサービスで以下の機能が利用できます。

- 電話番号表示機能
電話がかかってくると、相手の電話番号が画面に表示されます。
- 名前表示機能
電話帳に名前が登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前と電話番号が画面に表示されます。
- 着信履歴機能
電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。30件まで記録できます。31件以上になると、古い順に削除されます。

お願い

- 本製品はキャッチホン・ディスプレイサービスには対応していません。
- ISDN回線を利用されているときは、ターミナルアダプターの設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、ナンバー・ディスプレイサービスを利用できません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているとナンバー・ディスプレイは正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やホームセキュリティ装置などが接続されている場合は、ナンバー・ディスプレイ機能が正常に動作しないことがあります。

✓ 関連情報

- [ファクスの初期設定と電話サービス](#)
 - [ナンバー・ディスプレイを利用する](#)

ナンバー・ディスプレイを利用する

本製品では、ご利用の電話会社との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [ナンバーディスプレイ]を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. 設定したい項目を選択します。

オプション	詳細
[オン]	本体の画面に相手の電話番号または名前が表示されます。 ナンバー・ディスプレイサービスを本製品で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を [オン]、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定をオフにしてください。
[オフ]	相手の電話番号または名前が表示されません。 ナンバー・ディスプレイサービスを利用するには、電話会社との契約が必要です。契約していない場合は [オフ] にしてください。
[外付け電話優先]	本製品に接続されている電話機に相手の電話番号または名前が表示されます。 ナンバー・ディスプレイサービスを本製品と接続されている電話機で利用したいときは、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を [外付け電話優先]、本製品と接続されている電話機のナンバー・ディスプレイの設定をオンにしてください。



[外付け電話優先] で使用する場合、本製品の受信モードを [F/T=自動切換え] に設定すると、本製品と接続されている電話機の仕様により、ナンバー・ディスプレイの表示時間が短くなる電話機があります。


3.  を押します。


✓ 関連情報

- ・ [ナンバー・ディスプレイとは](#)


電話回線の種類を設定する

ファクス送受信用に PBX または ISDN の回線を本製品に接続する場合、お使いの回線に合わせて電話回線種類を選択します。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [特別回線対応] を押します。

 本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. [一般]、[PBX]、または [光・ISDN] を押します。

 [PBX] を選択すると、自動的にナンバー・ディスプレイの設定が解除されます。引き続きナンバー・ディスプレイを利用するには、[一般] を選択してください。


3.  を押します。

関連情報

- [ファクスの初期設定と電話サービス](#)
 - [安心通信モードを設定する](#)

安心通信モードを設定する

通信エラーが発生しやすい相手や回線で、ファクスをより確実に送受信したいときに設定します。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [安心通信モード] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. [高速]、[標準]、[安心 (VoIP)] のいずれかを選択します。



- 送受信時間は [高速]、[標準]、[安心 (VoIP)] の順で遅くなりますが、[標準] または [安心 (VoIP)] に設定することによって送受信できる可能性が高くなります。[標準]、[安心 (VoIP)] の順にお試しください。
- IP フォンで送信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロを 4 つ）を付けておかけください。この場合、通信料金は NTT などのお客様がご利用になっている電話会社からの請求となります。

3.  を押します。



関連情報


- [電話回線の種類を設定する](#)

ファクスを送信する


- ファクスを送信する
- 手動でファクスを送信する
- 複数の相手先に同じファクスを送る（同報送信）
- IP ファクスの設定をする
- ファクスオプション

ファクスを送信する

1. 原稿をセットします。

2.  [ファクス] を押します。




みただけ受信が[オン]に設定されている場合は、 [ファクス] > [ファクス送信] を押します。

3. ファクス番号を入力します。


• **ダイヤルパッドを使用する**

数字を押して、ファクス番号を入力します。

• **アドレス帳を使用する**


 [電話帳] を押して、以下のいずれかを実行します。

- 上または下にフリックするか、▲または▼を押して使用する番号を表示し、表示された番号を押します。

-  [検索:] を押し、名前または名前の最初の文字を入力して、[OK] を押します。ダイヤルしたい名前を押します。

完了したら、[送信先に設定] を押します。


• **通話履歴を使用する**

 [履歴] を押してから、[発信履歴] を押します。

上または下にフリックするか、▲または▼を押して希望のファクス番号を表示させ、それを押します。

ファクスを送信するには、[送信先に設定] を押します。



ファクス送信設定を変更するには、 [設定変更] を押します。

詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。

4. [スタート] を押します。

本製品は原稿をスキャンし、送信します。

原稿台ガラスに原稿をセットする場合、表の指示に従ってください。

オプション	詳細
[はい]	次のページをスキャンするには、[はい] を押し、原稿台ガラスに次のページをセットします。 [OK] を押して、ページをスキャンします。
[いいえ]	最後のページまでスキャンしたら、[いいえ] を押します。 本製品が原稿を送信します。

ファクスを停止するには、 を押してから、 を押します。

画面に[停止しますか?]が表示されたら、[はい] を押します。

✓ 関連情報


• [ファクスを送信する](#)

関連トピック:

• [ファクスオプション](#)

手動でファクスを送信する

手動送信を使用すると、ダイヤルトーン（ツーという音）、呼出音、またファクス受信音（ピーヒョロヒョロという音）を確認してファクスを送信することができます。

1. 原稿をセットします。
2.  [ファクス] を押します。



みるだけ受信が「オン」に設定されている場合は、 [ファクス] > [ファクス送信] を押します。

3. [ワフク] を押して、ダイヤルトーンを聞きます。
4. 呼び出したいファクス番号をダイヤルします。
5. ファクス音が聞こえたら、[スタート] を押します。
原稿台ガラスを使用している場合は、[送信] を押します。


✓ 関連情報

- [ファクスを送信する](#)


複数の相手先に同じファクスを送る（同報送信）



同じ原稿を複数のファクス番号に同時に送信する場合は、同報送信機能を使用します。


- 同一の同報送信には、グループ、電話帳の番号、手動で発信した番号（最大 50 件）を含めることができます。
- 電話帳の番号を同報送信で使用するには、事前に電話帳を製品のメモリーに登録する必要があります。
- グループダイヤルを同報送信で使用する場合も、事前にグループダイヤルを製品のメモリーに登録する必要があります。グループに電話帳の番号を多数登録すると、簡単にダイヤルすることができます。

 電話帳にグループダイヤルを使用していない場合、本製品でサポートされている最大数の宛先にファクスを同報送信することができます。同報送信先については「関連情報」をご覧ください：仕様

1. 原稿をセットします。

2.  [ファクス] を押します。

 みるだけ受信が [オン] に設定されている場合は、 [ファクス] > [ファクス送信] を押します。

3.  [設定変更] > [同報送信] を押します。

4. [番号追加] を押します。

以下の方法で、同報送信に番号を追加できます。



- [手動入力] を押し、画面から番号を入力します。
[OK] を押します。

 E メールアドレスを使用して同報送信する場合、 を押して E メールアドレスを入力し、[OK] を押します。


(機種によっては、インターネットファクス機能とスキャン to E メールを使用するために、インターネットファクスをダウンロードする必要があります。)

- [電話帳から選択] を押します。上または下にフリックするか、▲または▼を押して、同報送信に追加する番号を表示します。同報送信のチェックボックスを選択します。対象のすべての番号を選択したら、[OK] を押します。
- [検索して選択] を押します。名前または名前の最初の文字を押し、[OK] を押します。名前を押したあと、追加する番号を押します。

5. 完了したら、[OK] を押します。

 本製品に  が表示された場合は、それを押します。

6. [スタート] を押します。

- 本製品の利用可能なメモリーは、メモリー内のジョブの種類や、同報送信に使用される番号により異なります。利用可能な最大数の番号に同報送信する場合は、動作中の送信やタイマー送信は利用できません。
- [メモリがいっぱいです] メッセージが表示されたら、 または [中止する] を押してジョブを停止してください。複数のページをスキャンする場合、[読み取り分送信] を押して本製品のメモリーに保存されている内容を送信します。

✓ 関連情報

- [ファクスを送信する](#)

関連トピック：

- [仕様](#)
-

IP ファクスの設定をする

- IP ファクスとは
- IP ファクスを設定する
- 通信速度を設定する

IP ファクスとは

IP ファクスとは、IP ネットワークを使って送信するファクスです。IP ファクス (T.38 準拠) を使うことにより、今までよりスピーディかつ安価にファクスを送信できます。IP ファクスを使ってのファクス送信の操作は、通常のファクス送信の操作と同じです。

IP ファクスをご利用いただくには、NTT のフレッツ光ネクストに契約する必要があります。フレッツ光ネクストについてのご質問は、NTT にお問い合わせください。

IP ファクスを使ってファクス送信するには、以下の2つの条件を満たす必要があります。

- 送信先の機器が次世代ネットワーク (NGN) に接続している。
- TCP/IP 設定の IP 取得方法が、Auto または DHCP に設定されている。

次世代ネットワーク (NGN) とは

次世代ネットワーク (NGN) とは、電話やインターネット、放送など、目的ごとに異なるさまざまなネットワークを、IP 技術を用いて統合した新しい情報通信ネットワークです。この次世代ネットワーク (NGN) を通じてのみ、IP ファクスが利用できます。



- 次世代ネットワーク (NGN) に接続するには、NTT のフレッツ光ネクストに契約のうえ、専用のホームゲートウェイを設置する必要があります。
- 次世代ネットワーク (NGN) についてのご質問は、NTT にお問い合わせください。
- ホームゲートウェイに設定するデータは、NTT から送付される資料をご覧ください。
- ホームゲートウェイの接続方法や不具合は、NTT にお問い合わせください。
- お住まいの環境により、配線方法や接続する機器が異なる場合があります。

データコネクトとは

お使いの市外局番 (「03」など) から始まる電話番号を利用して、セキュアで安定した帯域確保型データ通信を実現するサービスです。送信先の機器が次世代ネットワーク (NGN) に接続していれば、データコネクトで IP ファクスを使うことにより、今までよりスピーディかつ安価にファクスを送信できます。

データコネクトは、NTT のフレッツ光ネクストを契約している場合のみ利用できます。



- データコネクトの設定は、設定内容リストで確認することができます。
- 「データコネクト」「フレッツ光ネクスト」は、NTT 東日本/NTT 西日本のサービスです。




関連情報

- [IP ファクスの設定をする](#)

IP ファクスを設定する

次世代ネットワーク（NGN）で IP ファクスを使用する場合、データコネクタの設定を変更する必要があります。

IP ファクスを使用する場合、TCP/IP の IP 取得方法を Auto または DHCP に設定してください。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [データコネクタ設定] > [IP ファクス] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. 設定したい項目を選択します。


オプション	詳細
[専用]	ファクス送信が IP ファクスのみとなります。ただし、手動送信の場合は、通常のファクス送信となります。
[優先]	相手先が IP ファクスに対応しているかを自動的に確認し、対応していない場合には通常のファクス送信を行います。
[オフ]	通常のファクス送信のみとなります。お買い上げ時は、[オフ] に設定されています。


3.  を押します。

✓ 関連情報

- [IP ファクスの設定をする](#)


通信速度を設定する

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [データコネクト設定] > [送信速度] を押します。

 本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. 通信速度を選択します。

オプション	詳細
[自動]	お買い上げ時は、[自動] に設定されています。
[標準]	64kbps
[高速]	512kbps
[最高速]	1000kbps


 各通信速度の利用料金については、NTT のホームページでご確認ください。


3.  を押します。

✓ 関連情報


- [IP ファクスの設定をする](#)

ファクスオプション

ファクス送信設定を変更するには、 [設定変更] を押します。

 お使いのモデルや設定によって使用可能なオプションは異なる場合があります。

オプション	詳細
[ファクス画質]	送信ファクスの解像度を設定します。 ファクス画質を変更することで、ファクスの画質が改善されます。
[メール タイトル]	送信ファクスの件名を編集します。
[原稿濃度]	コントラストを設定します。 原稿が明る過ぎたり、暗過ぎたりする場合は、原稿濃度を変更することで、ファクスの画質が改善される場合があります。
[両面ファクス] (自動両面スキャンモデル用)	両面読み取りの形式を設定します。
[原稿台スキャンサイズ]	原稿台ガラスの読み取り範囲を、原稿のサイズに合わせます。
[同報送信]	1回の操作で複数の相手先に同じ原稿を送ります。
[みてから送信]	送信前にファクス内容を確認します。
[タイマー送信]	タイマー送信でファクスを送信する時刻を指定します。
[リアルタイム送信]	製品のメモリーからデータが読み取られるのを待たずに、すぐにファクスを送信します。
[送付書]	あらかじめプログラムした表紙を自動的に送信するように本製品を設定します。
[海外送信モード]	海外へのファクス送信がうまくいかない場合、オンに設定します。
[履歴]	履歴から番号を選択します。
[電話帳]	電話帳から番号を選択します。
[設定を保持する]	設定を初期値として保存します。
[設定をリセットする]	すべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

 [ショートカット登録] を押して、現在の設定を保存できます。

✓ 関連情報

- [ファクスを送信する](#)

ファクスを受信する

- 受信モードの設定
- メモリー受信オプション

受信モードの設定

- 受信モードの概要
- 正しい受信モードを選択する
- 本製品が着信応答するまでの着信音の回数を設定する（呼出ベル回数）
- 再呼出ベル回数を設定する
- 親切受信を設定する
- 受信ファクスを制限する

受信モードの概要

一部の受信モードは自動的に応答します（ファクス専用モード、F/T=自動切換えモード）。これらのモードを使用する前に、呼出ベル回数を変更してください。

ファクス専用モード

（製品のメニューでは[FAX=ファクス専用]）

ファクス専用モードでは、すべての着信をファクスとして自動的に応答します。

F/T=自動切換えモード

（製品のメニューでは[F/T=自動切換え]）

F/T=自動切換えモードを使うと、ファクスか音声通話かを認識し、次の方法で応答するので、着信の管理に便利です。

- ・ ファクスの場合は自動的に受信します。
- ・ 音声通話の場合は、再呼出ベルで電話に出るようお知らせします。再呼出ベルは、本製品で作られた高速の擬似呼出音/二重呼び出し音です。

手動モード

（製品のメニューでは[TEL=電話]）

手動モードでファクスを受信するには、本製品に接続されている外付け電話の受話器を取るか、表のボタンを押します。

対象モデル	受話器を取る別の方法
MFC-L8730CDW/MFC-L8970CDW	[オンフック]

ファクス受信音（「ポーポー」という音）が聞こえたら表のボタンを押し、ファクスを受信します。親切受信機能を使い、本製品と接続している電話機の受話器を取ることでファクスを受信することもできます。

対象モデル	ファクスを受信するには
MFC-L8730CDW/MFC-L8970CDW	[ファクス送受信] > [受信]

外付け留守番電話機モード

（製品のメニューでは[留守=外付け留守電]）

外付け留守番電話機モードでは外付け留守番電話機が着信を管理します。

着信は下記のように判別されます。

- ・ ファクスの場合は自動的に受信します。
- ・ 音声通話の場合は、外付け留守番電話機にメッセージを録音します。

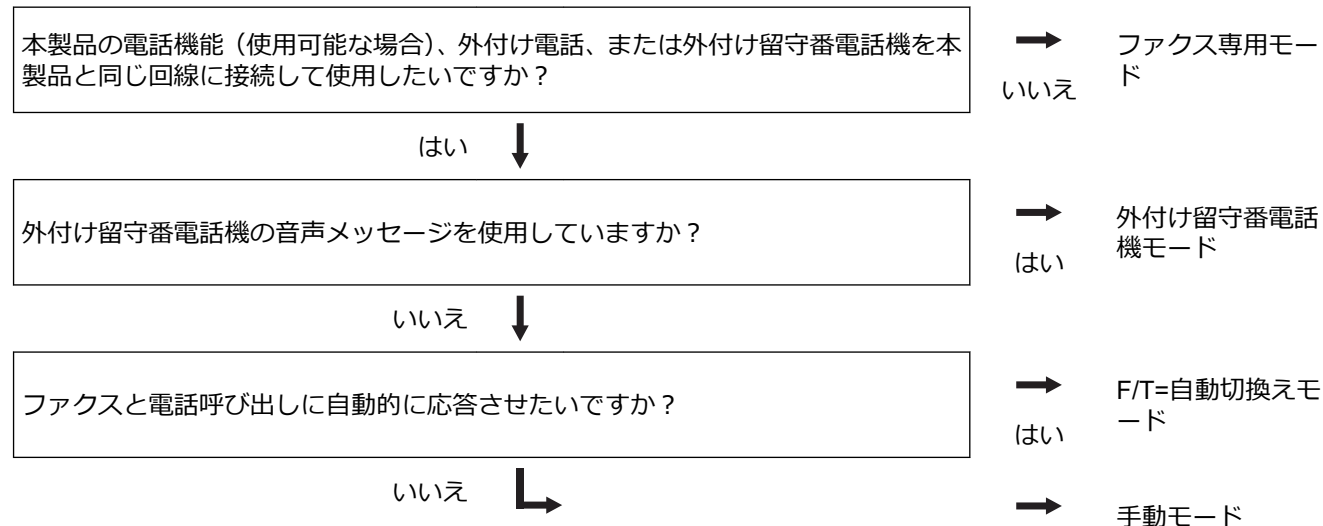
✓ 関連情報


- ・ [受信モードの設定](#)

正しい受信モードを選択する

お使いの回線で使用している外部機器および電話サービスに合わせて、受信モードを選択する必要があります。


お買い上げ時の設定では、本製品は送られてきたファクスを自動的にすべて受信します。下記を参考に、正しいモードを選択してください。



1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [受信モード]を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. [FAX=ファクス専用]、[F/T=自動切換え]、[留守=外付け留守電]、または[TEL=電話]を押します。
3.  を押します。


✓ 関連情報


- [受信モードの設定](#)

本製品が着信応答するまでの着信音の回数を設定する（呼出ベル回数）


本製品に着信があると、通常の着信音が鳴ります。着信音の回数は、呼出ベル回数オプションで設定します。

呼出ベル回数設定で、ファクス専用モードと F/T=自動切換えモードのときに自動受信するまでの着信音の回数を設定します。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [呼出ベル回数] を押します。

 本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. 呼び出し音を鳴らす回数を押します。

 [0] を選択した場合、着信音は鳴らず、自動受信します（一部の地域でのみ利用可能）。

3.  を押します。


関連情報

- [受信モードの設定](#)

再呼出ベル回数を設定する

受信モードが F/T=自動切換えモードに設定されていると、着信がファクスの場合に、本製品は自動的にファクスを受信します。しかし、着信が音声通話の場合は、本製品は再呼出ベル回数オプションで設定した回数だけ再呼出ベル（疑似／二重呼び出し音）を鳴らします。再呼出ベルが聞こえた場合、音声通話の着信が入っているということが分かります。

再呼出ベル回数機能は、F/T=自動切換えモードを受信モードにしている場合にご利用になれます。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [再呼出ベル回数]を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. 音声通話の呼出しベルが鳴る希望の回数を押します。

3.  を押します。



再呼出ベルが鳴っている間に発信者が電話を切った場合でも、製品は設定されている回数だけ鳴らします。



関連情報

- [受信モードの設定](#)

親切受信を設定する

親切受信がオンの場合：本製品に接続されている電話機の受話器を上げて、「ポーポー」という音が聞こえた場合は、約7秒間待つと自動的にファクス受信を始めます。画面に「受信中」と表示されたら受話器を戻します。

親切受信がオフの場合：本製品に接続されている電話機の受話器を上げて、「ポーポー」という音が聞こえた場合は相手がファクスですので、下の表のボタンを押して、ファクスを受信します。本製品に接続されている電話機から、リモート起動番号（#51）を押して、リモート受信することもできます。

対象モデル	ファクスを受信するには
MFC-L8730CDW/MFC-L8970CDW	[ファクス送受信] > [受信]




この機能が「オン」に設定されていても、自動的にファクスに切り替わらないときは、本製品に接続されている電話機から、リモート起動番号（#51）を押して受信します。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [受信設定] > [親切受信] を押します。



本製品にホーム画面の「全てのメニュー」が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. [オン] または [オフ] を押します。
3.  を押します。

✓ 関連情報

- [受信モードの設定](#)


受信ファクスを制限する


- 受信ファクス制限の方法を選択する
- 登録番号からのみ受信ファクスを受け付ける
- 特定の番号からのファクス受信を拒否する

受信ファクス制限の方法を選択する

本製品には、受信ファクスを制限する方法が2つあります。特定の番号からのファクス受信のみを受け付けるには、許可リストを使用します。特定の番号からのファクスを受信しないようにするには、拒否リストを使用します。

許可リスト機能と拒否リスト機能を使用するには、ご利用の電話会社でナンバー・ディスプレイサービスの利用を申し込む必要があります。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [着信制限] > [制限方法] を押します。

 本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. 以下のオプションのいずれかを押します。

オプション	詳細
[許可リスト]	登録済みの番号からのファクスのみを受信する場合は、[許可リスト] を選択します。
[拒否リスト]	登録済みの番号からのファクスを受信しないようにする場合は、[拒否リスト] を選択します。
[オフ]	受信ファクス機能を使用しない場合は、[オフ] を選択します。

3.  を押します。

✓ 関連情報

- [受信ファクスを制限する](#)

▲ホーム > ファクス > ファクスを受信する > 受信モードの設定 > 受信ファクスを制限する > 登録番号からのみ受信ファクスを受け付ける


登録番号からのみ受信ファクスを受け付ける

- 受信許可リストに番号を登録する
- 許可リストから番号を削除する
- 許可リストを印刷する

受信許可リストに番号を登録する

知っている番号からのファクス受信のみを許可したい場合は、番号を受信許可リストに登録します。

- ご利用の電話会社で、ナンバー・ディスプレイサービスの利用を申し込む必要があります。
- この機能では、着信電話や受信ファクスがブロックされます。
- 着信履歴機能は、一部の国ではご利用いただけません。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [着信制限] > [許可リスト] > [登録] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. 以下のオプションのいずれかを押します。

オプション	詳細
[電話帳と連動]	許可リストと電話帳を連動させる場合は、[電話帳と連動] を選択します。 画面の指示に従って、連動機能を有効/無効にします。
[手動入力]	番号を許可リストに手動で追加する場合は、[手動入力] を選択します。 画面の指示に従って、番号を許可リストに登録します。
[発信履歴]	発信履歴から番号を追加する場合は、[発信履歴] を選択します。 画面の指示に従って、番号を許可リストに登録します。
[着信履歴]	着信履歴から番号を追加する場合は、[着信履歴] を選択します。 画面の指示に従って、番号を許可リストに登録します。


3.  を押します。

✓ 関連情報

- [登録番号からのみ受信ファクスを受け付ける](#)

▲ホーム > ファクス > ファクスを受信する > 受信モードの設定 > 受信ファクスを制限する > 登録番号からのみ受信ファクスを受け付ける > 許可リストから番号を削除する

許可リストから番号を削除する

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [着信制限] > [許可リスト] > [消去]を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して削除する番号を表示し、表示された番号を押します。

3. [はい]を押します。

4.  を押します。




関連情報

- 登録番号からのみ受信ファクスを受け付ける


▲ホーム > ファクス > ファクスを受信する > 受信モードの設定 > 受信ファクスを制限する > 登録番号からのみ受信ファクスを受け付ける > 許可リストを印刷する

許可リストを印刷する

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [着信制限] > [許可リスト] > [レポート印刷] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. [はい] を押します。
3.  を押します。



関連情報

- 登録番号からのみ受信ファクスを受け付ける


特定の番号からのファクス受信を拒否する

- 受信拒否リストに番号を登録する
- 拒否リストから番号を削除する
- 拒否リストを印刷する

受信拒否リストに番号を登録する

特定の番号からファクスや通話を受信したくない場合は、この番号を受信拒否リストに登録します。本製品は着信履歴メモリーから 100 件までファクスまたは電話番号を登録できます。


- ご利用の電話会社で、ナンバー・ディスプレイサービスの利用を申し込む必要があります。
- 登録する番号は、着信履歴メモリーに登録されている必要があります。
- 着信履歴機能は、一部の国ではご利用いただけません。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [着信制限] > [拒否リスト] > [登録] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

本製品は着信履歴メモリーの番号を表示します。

2. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して登録する番号を表示し、表示された番号を押します。
3. [はい] を押します。
4.  を押します。




関連情報

- [特定の番号からのファクス受信を拒否する](#)


▲ホーム > ファクス > ファクスを受信する > 受信モードの設定 > 受信ファクスを制限する > 特定の番号からのファクス受信を拒否する > 拒否リストから番号を削除する

拒否リストから番号を削除する

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [着信制限] > [拒否リスト] > [消去]を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して削除する番号を表示し、表示された番号を押します。
3. [はい]を押します。
4. を押します。




関連情報

- 特定の番号からのファクス受信を拒否する


▲ホーム > ファクス > ファクスを受信する > 受信モードの設定 > 受信ファクスを制限する > 特定の番号からのファクス受信を拒否する > 拒否リストを印刷する

拒否リストを印刷する

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [着信制限] > [拒否リスト] > [レポート印刷] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. [はい] を押します。
3.  を押します。



関連情報

- 特定の番号からのファクス受信を拒否する

メモリー受信オプション

本製品から離れているときは、メモリー受信を使って受信ファクスを管理することができます。メモリー受信オプションは一度につき1つのみ使用可能です。

メモリー受信は下記のオプションに設定できます：

- PC ファクス受信
- ファクス転送
- メモリ保持のみ
- ファクスクラウド転送（受信ファクスはオンラインサービスに転送されます。）
- ファクスネットワーク転送（受信ファクスはネットワーク上の保存先に転送されます。）
- オフ

詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。

✓ 関連情報

- [ファクスを受信する](#)

関連トピック：

- [設定一覧（MFC-L8730CDW）](#)
- [設定一覧（MFC-L8970CDW）](#)
- [受信ファクスをネットワーク上の保存先に転送する](#)


ファクス番号



- ファクス/電話番号を登録する
- 同報送信のグループダイヤルを設定する

ファクス/電話番号を登録する


- 電話帳に登録する
- 電話帳の名前や番号を変更、または削除する

電話帳に登録する

1.  [ファクス] > [電話帳] を押します。
2. 次の手順を行います。
 - a. [設定] を押します。
 - b. [電話帳登録] を押します。
 - c. [名前] を押します。
 - d. 液晶ディスプレイを使用し名前を入力し（最大 16 字）、[OK] を押します。
名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。登録したい読みがながない場合は、[ヨミガナ]を押して、再入力してください。
 - e. [宛先] を押します。
 - f. 液晶ディスプレイを使用しファクス/電話番号を入力し（最大 20 桁）、[OK] を押します。

 インターネットファクスまたはスキャン to E メールサーバー機能を使うために E メールアドレスを登録するには、 を押して E メールアドレスを入力し、[OK] を押します。


(機種によっては、インターネットファクス機能とスキャン to E メールを使用するために、インターネットファクスをダウンロードする必要があります。)

- g. [OK] を押します。
別の相手先の番号を電話帳に登録する場合は、これらの手順を繰り返します。
3.  を押します。

✓ 関連情報


- [ファクス/電話番号を登録する](#)

電話帳の名前や番号を変更、または削除する

1.  [ファクス] > [電話帳] > [設定] を押します。
2. 次のいずれかを行ってください：
[変更] を押して、名前、ファクス番号、または電話番号を編集します。
上または下にフリックするか、▲または▼を押して変更する番号を表示し、表示された番号を押します。
 - 名前を変更するには、[名前] を押します。画面で新しい名前（最大 16 文字）を入力し、[OK] を押します。
名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。登録したい読みがなになっていない場合は、[ヨミガナ] を押して、再入力してください。
 - ファクスまたは電話番号を変更するには、[宛先] を押します。画面で新しいファクス番号または電話番号（最大 20 桁）を入力し、[OK] を押します。[OK] を押して操作を終了します。



テキストの入力方法：

文字を変更するには、◀または▶を押して修正したい文字にカーソルを合わせて反転表示し、 を押します。

新しい文字を入力します。

番号を削除するには、[消去] を押します。

削除するファクスまたは電話番号を押してチェックマークが表示されたら、[OK] を押します。

3.  を押します。

✓ 関連情報



- [ファクス/電話番号を登録する](#)

同報送信のグループダイヤルを設定する

同報送信グループは電話帳に登録することができます。登録すると、同じファクスを複数のファクス番号に送信することができます。

電話帳にファクス番号を登録し、必要に応じて同報送信グループに追加します。

対象モデル	グループ登録最大数	グループ登録最大数
MFC-L8730CDW/MFC-L8970CDW	20	299

-  [ファクス] > [電話帳] を押します。
- 次の手順を行います。
 - [設定] > [グループ登録] > [名前] を押します。
 - 液晶ディスプレイを使用しグループ名（最大 16 文字）を入力し、[OK] を押します。
名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。登録したい読みがながない場合は、[ヨミガナ] を押して、再入力してください。
 - [追加/消去] を押します。
 - グループに追加するアドレス帳の番号を押してチェックマークが表示されたら、[OK] を押します。
 - 表示された選択済みの名前と番号のリストを確認し、[OK] を押してグループに保存します。
同報送信用に別のグループダイヤルも登録するには、これらの手順を繰り返します。
-  を押します。

✓ 関連情報

- [ファクス番号](#)

■ ファクスレポート


- 送信結果レポートを印刷する
- 通信管理レポートを印刷する

送信結果レポートを印刷する

送信結果レポートでファクス送信したことを確認できます。送信結果レポートには、送信相手の名前やファクス番号、送信日時、通信時間、送信したページ数、送信が成功したかどうかが一覧で印刷されます。


送信結果レポートには複数の設定があります：

[送信毎に印刷]	ファクスを送信するたびにレポートを印刷します。
[送信毎に印刷 (+画像)]	ファクスを送信するたびにレポートを印刷します。 送信したファクスの最初のページの一部が、レポートに表示されます。
[エラー時のみ]	送信エラーによりファクスが送信できなかった場合にレポートを印刷します。
[エラー時のみ (+画像)]	送信エラーによりファクスが送信できなかった場合にレポートを印刷します。 送信したファクスの最初のページの一部が、レポートに表示されます。
[印刷しない]	お使いの製品では、ファクス送信後のレポートは印刷されません。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [レポート設定] > [送信結果レポート] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。


2. セットしたいオプションを押します。
[送信毎に印刷 (+画像)] または [エラー時のみ (+画像)] を選択し、リアルタイム送信が [オン] に設定されている場合送信結果レポートに画像は表示されません。
3.  を押します。
送信が成功した場合、送信結果レポートの「結果」の横に「OK」が表示されます。送信が成功しなかった場合、「結果」の横に「エラー」が表示されます。

✓ 関連情報

- [ファクスレポート](#)



通信管理レポートを印刷する

通信管理レポートの印刷間隔を設定できます。(50 件ごと、6 時間ごと、12 時間ごと、24 時間ごと、2 日ごと、7 日ごと)

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ファクス] > [レポート設定] > [通信管理レポート] > [通信管理レポート] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して希望の印刷間隔を選択し、それを押します。
 - 6 時間ごと、12 時間ごと、24 時間ごと、2 日ごと、7 日ごと
通信管理レポートは指定した時刻に印刷され、通信結果の記録はメモリーから全て消去されます。印刷指定時刻より前にログ件数が 200 件を超えると、自動的に通信管理レポートが印刷され、メモリーから全てのジョブが消去されます。印刷指定時刻より先に通信管理レポートが必要な場合は、メモリーから通信結果を削除することなく印刷することができます。
 - 50 件ごと
通信結果が 50 件に達すると、自動的に通信管理レポートが印刷されます。
3. 6 時間、12 時間、24 時間、2 日、または 7 日に 1 度を選択した場合、印刷開始時間を入力するために、次のいずれかの作業を行います。
 - [時計表示] 設定で [12 時間表示] を選択している場合は、[印刷時刻指定] を押し、画面を使用して印刷開始時刻 (12 時間形式) を入力します。  を押して、[AM] または [PM] を選択します。
[OK] を押します。
 - [時計表示] 設定で [24 時間表示] を選択している場合は、[印刷時刻指定] を押し、画面を使用して印刷開始時刻 (24 時間形式) を入力します。
[OK] を押します。
(例：午後 7:45 の場合、19:45 と入力します。)
4. [7 日ごと] を選択した場合、[曜日指定] を押します。
5. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して [月曜日ごと]、[火曜日ごと]、[水曜日ごと]、[木曜日ごと]、[金曜日ごと]、[土曜日ごと]、または [日曜日ごと] を表示し、7 日間のタイマーの最初の日を押します。
6.  を押します。



関連情報

- [ファクスレポート](#)

外付け機器

外部機器接続の詳細については、サポートサイトにアクセスし、お使いのモデルの「外部機器接続ガイド」をご覧ください。 support.brother.co.jp/j/s/support/html/exdevs_laser_jpn/doc/index.html。

PC-FAX

PC-FAX 機能の詳細については、サポートサイトにアクセスし、お使いのモデルの「PC-FAX ガイド」をご覧ください。 support.brother.co.jp/j/s/support/html/pcfax_jpn/doc/index.html。

▲ ホーム > ファクス > I-Fax (インターネットを使用したファクス)

I-Fax (インターネットを使用したファクス)

インターネットファクス (I-Fax) 機能の詳細については、サポートサイトにアクセスし、お使いのモデルの「I-FAX ガイド」をご覧ください。 support.brother.co.jp/j/s/support/html/ifax_laser_jpn/doc/index.html。

ネットワーク

- [対応している基本ネットワーク機能について](#)
- [ネットワークを設定する](#)
- [無線ネットワーク設定](#)
- [ネットワーク機能](#)
- [ブラザー管理ツール](#)

対応している基本ネットワーク機能について

本製品は、使用される OS に合わせて、さまざまな機能をサポートしています。この表で、各 OS でサポートされるネットワーク機能と接続を確認してください。

オペレーティングシステム	Windows	Windows Server	macOS
印刷	○	○	○
スキャン	○		○
PC ファクス送信（特定のモデルのみ対応）	○		○
PC ファクス受信（特定のモデルのみ対応）	○		
Web Based Management ¹	○	○	○

¹ 本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。本製品への不正なアクセスを防ぐために、お買い上げ時のパスワードをすぐに変更することをお勧めします。



- 本製品の有線・無線 LAN インターフェースは、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダー等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。
本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーター等を経由し接続してください。
- 本製品がグローバルネットワークに接続された場合、警告が表示されます。この警告が表示された場合は、ネットワークの設定を確認し、安全なネットワークに再接続することを強くお勧めします。
- 本製品のグローバルネットワーク通信のフィルタリング機能を有効にすると、グローバルネットワークからのアクセスが遮断されます。グローバルネットワーク通信のフィルタリング機能を有効にすると、グローバル IP アドレスを使用しているパソコンやモバイル端末から、特定の印刷やスキャンのジョブを受信できない場合があります。

✓ 関連情報

- ネットワーク

関連トピック：

- Web Based Management を使用しログインパスワードを変更する

ネットワークを設定する


- 操作パネルを使用してネットワークの詳細を設定する
- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

操作パネルを使用してネットワークの詳細を設定する

本製品のネットワークの設定をするには、操作パネルの[ネットワーク]メニューの項目を使用します。



- 操作パネルを使用して設定できるネットワーク設定については「関連情報」をご覧ください：設定一覧
- Web Based Management を使用して、本製品のネットワークの設定や変更を行うこともできます。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク]を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して希望のネットワークオプションを表示させ、それを押します。この手順を繰り返して設定したいメニューにアクセスし、画面の指示に従ってください。



関連情報

- [ネットワークを設定する](#)

関連トピック：

- [設定一覧 \(MFC-L8730CDW\)](#)
- [対応している基本ネットワーク機能について](#)

無線ネットワーク設定

- 無線ネットワークを使用する
- Wi-Fi Direct[®]を使用する
- 無線 LAN を有効/無効にする
- WLAN レポートを印刷する

無線ネットワークを使用する

- 無線ネットワークに本製品を設定する前に
- パソコンからセットアップウィザードを使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- 本製品の操作パネルからセットアップウィザードを使用して無線ネットワークを設定する
- Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) のワンプッシュ方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) のPIN方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する
- SSID が隠ぺいされている場合に、本製品に無線ネットワークを設定する
- エンタープライズ無線ネットワーク用に本製品を設定する

無線ネットワークに本製品を設定する前に

無線 LAN ネットワークを設定する前に、以下の点を確認してください。

- エンタープライズ無線ネットワークを使用している場合、ユーザー ID とパスワードを知っておく必要があります。
- 常に文書を快適に印刷するために、本製品を無線 LAN アクセスポイントルーターの近くに設置し、無線通信に支障のないようにしてください。本製品と無線 LAN アクセスポイントまたはルーターとの間に大きな障害物や壁があったり、他の電子機器からの電磁干渉があると、印刷する文書のデータ転送速度に影響を与える可能性があります。

無線 LAN 接続は必ずしもすべてのタイプの文書やアプリケーションに最適な接続方法とは限りません。複雑で文字数の多い文書や写真などの大きいサイズのデータを印刷する場合は、データ転送速度のより速い有線 LAN 接続（サポート対象モデルのみ）、または最速で処理可能な USB 接続で印刷することをお勧めします。

- 本製品は有線 LAN と無線 LAN のネットワークで使用できますが（サポート対象モデルのみ）、両方のネットワークを同時に使用することはできません。ただし、無線 LAN 接続と Wi-Fi Direct 接続、または有線 LAN 接続（サポート対象モデルのみ）と Wi-Fi Direct 接続は同時に使用できます。
- 電波の届く範囲であれば、自由に無線 LAN 接続が可能になります。ただし、セキュリティ設定を正しく行わないと、悪意のある第三者によって電波が傍受され、次のような結果を招く可能性があります。
 - 個人情報または機密情報の盗用
 - 特定の個人になりすました者への不適切な情報送信
 - 傍受され、改ざんされた通信内容の拡散



無線 LAN ルーター/アクセスポイントのネットワーク名（SSID）とネットワークキー（パスワード）を確認してください。この情報が見つからない場合は、無線 LAN ルーター/アクセスポイントの製造元、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。弊社がこの情報を提供することはできません。

✓ 関連情報

- [無線ネットワークを使用する](#)

▲ ホーム > ネットワーク > 無線ネットワーク設定 > 無線ネットワークを使用する > パソコンからセットアップウィザードを使用して本製品に無線ネットワークを設定する

パソコンからセットアップウィザードを使用して本製品に無線ネットワークを設定する

1. support.brother.com/downloads で、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページからインストーラーをダウンロードします。
2. インストーラーを起動し、画面の指示に従います。
3. **無線 LAN (Wi-Fi)**を選択してから**次の項目へ**をクリックします。
4. 画面の指示に従います。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。

✓ 関連情報

- [無線ネットワークを使用する](#)

本製品の操作パネルからセットアップウィザードを使用して無線ネットワークを設定する

本製品を設定する前に、無線ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在接続しているパソコンの無線ネットワーク設定を確認して記録します。

ネットワーク名 (SSID)	ネットワークキー (パスワード)


例：

ネットワーク名 (SSID)	ネットワークキー (パスワード)
HELLO	12345

- ご使用の無線 LAN アクセスポイントルーターが複数の WEP キーに対応している場合でも、本製品で使用できるのは 1 番目の WEP キーのみです。
- セットアップできないなど、ブラザーコールセンターにお問い合わせいただく場合は、あらかじめ SSID (ネットワーク名) とネットワークキー (パスワード) を調べ、お手元にご用意ください。弊社がこの情報を提供することはできません。
- SSID (ネットワーク名) およびネットワークキーがわからない場合、無線ネットワークのセットアップを行うことはできません。

SSID (ネットワーク名) およびネットワークキーの見つけ方

- a. お使いの無線 LAN アクセスポイントルーターの取扱説明書を調べてください。
- b. 初期 SSID は、製造メーカー名またはモデル名の可能性があります。
- c. セキュリティ情報がわからない場合は、ルーターの製造業者、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。


2.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN (Wi-Fi)] > [ネットワーク選択 (SSID)] を押します。

● 本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

3. [無線に切替えますか?] が表示されたら、[はい] を押します。
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。キャンセルするには、[いいえ] を押します。
4. ネットワークの検索が行われた後、利用可能な SSID の一覧が表示されます。
SSID のリストが表示されたら、上下にフリックするか、▲または▼を押して接続する SSID を表示し、表示した SSID を押します。

● 目的の SSID が表示されない場合は、[SSID 再検索] を押してネットワークを再検索してください。

5. [OK] を押します。
6. 必要に応じて、最初のステップで書き留めたネットワークキーを入力し、[OK] を押します。
7. 製品は、選択された無線機器に接続しようとします。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。[OK] を押し、 を押します。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。ご使用の製品の操作に必要なドライバーやアプリケーションをインストールするには、support.brother.com/downloads でお使いのモデルのソフトウェアダウンロードページをご覧ください。

✓ 関連情報


- 無線ネットワークを使用する

関連トピック：

- 本製品にテキストを入力するには
 - 無線 LAN レポートのエラーコードについて
-

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) のワンプッシュ方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する


お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターが WPS (PBC : プッシュボタン設定) をサポートしている場合、本製品の操作パネルメニューから WPS を使用して無線ネットワークを設定することができます。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN (Wi-Fi)] > [WPS (プッシュボタン)] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. [無線に切替えますか?] が表示されたら、[はい] を押します。
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。キャンセルするには、[いいえ] を押します。
3. タッチパネルに [アクセスポイントの WPS ボタンを押してください 操作ができたなら [OK] を押してください] と表示されたら、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの WPS ボタンを押します。本製品の [OK] を押します。本製品は、お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターを自動的に検出し、無線ネットワークへの接続を試みます。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。[OK] を押し、 を押します。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。ご使用の製品の操作に必要なドライバーやアプリケーションをインストールするには、support.brother.com/downloads でお使いのモデルのソフトウェアダウンロードページをご覧ください。



関連情報

- [無線ネットワークを使用する](#)

関連トピック :

- [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)

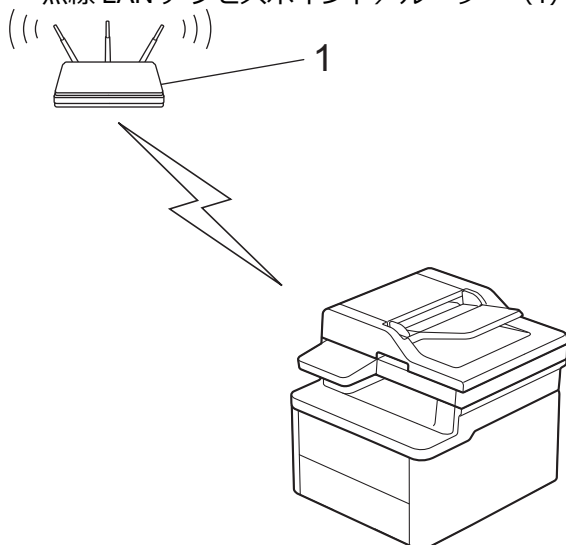
Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する

お使いの無線 LAN のアクセスポイント/ルーターが、WPS をサポートしている場合、暗証番号 (PIN : Personal Identification Number) 方式を使用して無線ネットワークを設定できます。

PIN 方式は、Wi-Fi Alliance®により開発された接続方式の一つです。本製品で作成された PIN コードを、レジストラー (無線 LAN を管理する機器) に送信することで、無線ネットワークとセキュリティの設定を行うことができます。WPS モードへのアクセス方法の詳細については、お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの説明書を参照してください。

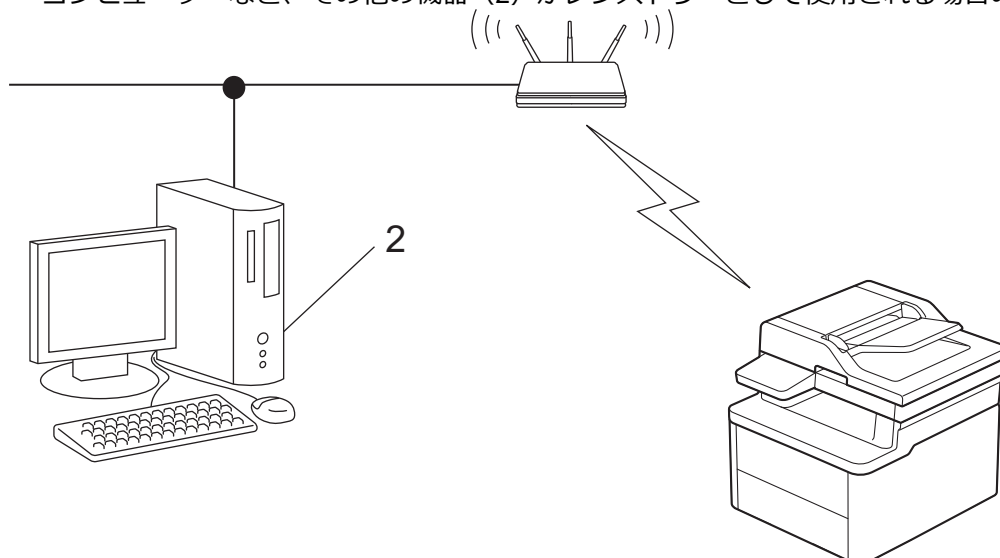
使用例 A


無線 LAN アクセスポイント/ルーター (1) がレジストラーを兼ねている場合の接続 :



使用例 B

コンピューターなど、その他の機器 (2) がレジストラーとして使用される場合の接続 :



1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN (Wi-Fi)] > [WPS (PIN コード)] を押します。




本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. [無線に切替えますか?] が表示されたら、[はい] を押します。
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。キャンセルするには、[いいえ] を押します。



3. 本製品の画面に 8 桁の PIN が表示され、製品は無線 LAN アクセスポイント/ルーターの検索を開始します。
4. ネットワークに接続したパソコンを使って、レジストラーとして使用している機器の IP アドレスをブラウザのアドレスバーに入力します（例：http://192.168.1.2）。
5. WPS の設定ページを表示して PIN を入力したあと、画面の指示に従います。

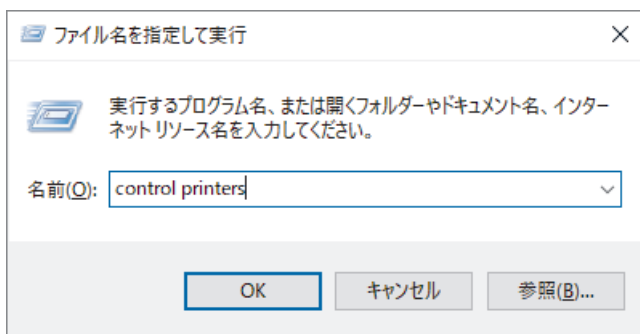


- レジストラーは通常、無線 LAN アクセスポイント/ルーターです。
- 設定画面は、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの種類によって異なる場合があります。詳細については、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの取扱説明書をご覧ください。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に「接続しました」と表示されます。[OK] を押し、 を押します。

Windows 10 または Windows 11 のパソコンをレジストラーとして使用している場合、以下の手順をすべて行ってください。

6. パソコンのキーボードで、 キーを長押ししながら  キーを押して、**ファイル名を指定して実行**を起動します。
7. **"control printers"**を**名前:**欄に入力し、**OK** をクリックします。



デバイスとプリンター画面が表示されます。




デバイスとプリンター画面が表示されない場合、**デバイス > その他のデバイスとプリンターの設定**をクリックします。

8. **デバイスの追加**をクリックします。



- Windows 10 または Windows 11 のパソコンをレジストラーとして使用する場合、使用するパソコンをネットワークに事前に登録する必要があります。詳細については、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの取扱説明書をご覧ください。
- Windows 10 または Windows 11 のパソコンをレジストラーとして使用する場合は、画面の指示に従って無線設定を行ったあと、プリンタドライバをインストールできます。本製品の使用に必要なドライバとソフトウェアをインストールするには、support.brother.com/downloads で、お使いのモデルの**ソフトウェアダウンロードページ**をご覧ください。

9. 本製品を選択し、**次へ**をクリックします。
10. 製品の画面に表示された PIN を入力し、**次へ**をクリックします。
11. **閉じる**をクリックします。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に「接続しました」と表示されます。[OK] を押し、 を押します。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。ご使用の製品の操作に必要なドライバやアプリケーションをインストールするには、support.brother.com/downloads でお使いのモデルの**ソフトウェアダウンロードページ**をご覧ください。



関連情報

- [無線ネットワークを使用する](#)

関連トピック：

- [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)
-

SSID が隠ぺいされている場合に、本製品に無線ネットワークを設定する

本製品を設定する前に、無線ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。


1. 現在の無線ネットワークの設定を調べて書き留めてください。


ネットワーク名 (SSID)		
認証方式	暗号化方式	ネットワークキー
オープンシステム	なし	-
	WEP ¹	
共有キー	WEP ¹	
WPA/WPA2-PSK	AES	
	TKIP	
WPA3-SAE	AES	

¹ コントロールパネルから WEP オプションを選択することはできません。暗号化モードに WEP オプションを選択するには、Web Based Management を使用してください。


例：

ネットワーク名 (SSID)		
HELLO		
認証方式	暗号化方式	ネットワークキー
WPA3-SAE	AES	12345678

2.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN (Wi-Fi)] > [ネットワーク選択 (SSID)] を押します。

 本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

3. [無線に切替えますか?] が表示されたら、[はい] を押します。
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。キャンセルするには、[いいえ] を押します。
4. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。上下にフリックするか、▲または▼を押して [SSID 追加] を表示します。[SSID 追加] を押し、[OK] を押します。
5. SSID 名を入力し、[OK] を押します。
6. 認証方式を選択します。
7. 画面の指示に従って設定を行います。
8. 製品は、選択された無線機器に接続しようとしています。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。[OK] を押し、 を押します。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。ご使用の製品の操作に必要なドライバーやアプリケーションをインストールするには、support.brother.com/downloads でお使いのモデルのソフトウェアダウンロードページをご覧ください。



関連情報

- 無線ネットワークを使用する

関連トピック：

- [Web Based Management にアクセスする](#)
- [本製品にテキストを入力するには](#)
- [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)

エンタープライズ無線ネットワーク用に本製品を設定する

本製品を設定する前に、無線ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

- 現在の無線ネットワークの設定を調べて書き留めてください。

ネットワーク名 (SSID)

認証方式	暗号化方式	ユーザー ID	パスワード
EAP-FAST/NONE	AES		
	TKIP		
EAP-FAST/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
EAP-FAST/GTC	AES		
	TKIP		
PEAP/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
PEAP/GTC	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/CHAP	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/MS-CHAP	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/PAP	AES		
	TKIP		
EAP-TLS	AES		-
	TKIP		-


例：

ネットワーク名 (SSID)
HELLO

認証方式	暗号化方式	ユーザー ID	パスワード
EAP-FAST/MS-CHAPv2	AES	Brother	12345678




- EAP-TLS 認証を使用して本製品を設定する場合、設定の開始前に、CA により発行されたクライアント証明書を必ずインストールしてください。クライアント証明書については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。複数の証明書をインストールした場合、使用する証明書の名前を書き留めておくことをお勧めします。
- サーバー証明書の共通名を使用して本製品を確認する場合、設定の開始前に、使用する共通名を書き留めておくことをお勧めします。サーバー証明書の共通名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

2.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN (Wi-Fi)] > [ネットワーク選択 (SSID)] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

3. [無線に切替えますか?] が表示されたら、[はい] を押します。
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。キャンセルするには、[いいえ] を押します。
4. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。上下にフリックするか、▲または▼を押して [SSID 追加] を表示します。[SSID 追加] を押し、[OK] を押します。
5. SSID 名を入力し、[OK] を押します。
6. 認証方式を選択します。
7. 画面の指示に従って設定を行います。
8. 製品は、選択された無線機器に接続しようとしています。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。[OK] を押し、 を押します。

無線ネットワークのセットアップが完了しました。ご使用の製品の操作に必要なドライバーやアプリケーションをインストールするには、support.brother.com/downloads でお使いのモデルのソフトウェアダウンロードページをご覧ください。



関連情報

- [無線ネットワークを使用する](#)

関連トピック：

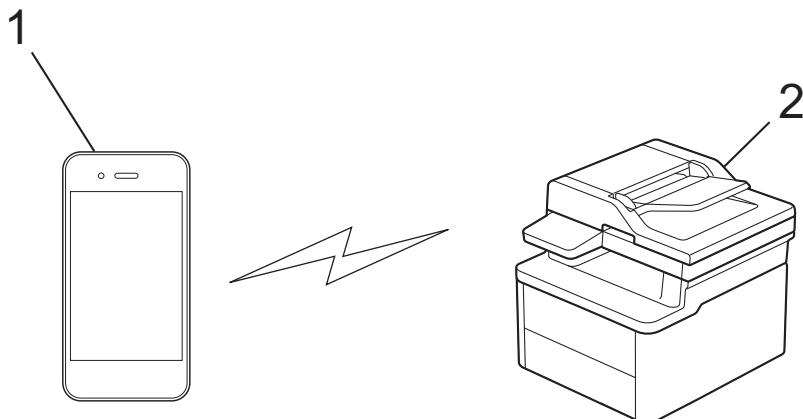
- [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)

Wi-Fi Direct[®]を使用する

- [Wi-Fi Direct の概要](#)
- [Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する](#)
- [プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する](#)

Wi-Fi Direct の概要

Wi-Fi Direct は、Wi-Fi Alliance®により開発された無線設定方法の一つです。無線 LAN ルーター/アクセスポイントを使用せずに、モバイル端末を本製品に安全に接続できます。



1. モバイル端末
2. 本製品



- Wi-Fi Direct は、有線または無線のネットワーク接続と同時に使用できます。
- Wi-Fi Direct に対応している機器は、グループオーナーになります。Wi-Fi Direct ネットワークを設定する場合、グループオーナーはアクセスポイントとして機能します。



関連情報

- [Wi-Fi Direct®を使用する](#)


関連トピック：


- [Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する](#)
- [プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する](#)


Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する

機器によっては、Wi-Fi Direct ネットワークに手動で接続すると、モバイル端末が接続中の無線ネットワークから切断され、モバイルデータ通信に自動的に切り替わる場合があります。必要に応じて、使用後は元の無線ネットワークに再接続してください。お使いの機器が自動的に Wi-Fi Direct ネットワークに切り替わる場合は、モバイル端末で本製品への自動接続設定をオフにしてください。


本製品の操作パネルから Wi-Fi Direct を設定します。

 本製品がモバイル端末から Wi-Fi Direct 要求を受信すると、画面に「Wi-Fi Direct の接続リクエストがきています 通信を開始するには [OK] を押してください」というメッセージが表示されます。[OK] を押して接続します。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [Wi-Fi Direct] > [手動接続] を押します。

 本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. 本製品に SSID (ネットワーク名) とパスワード (ネットワークキー) が表示されます。ご使用のモバイル端末の無線ネットワーク設定画面で、SSID を選択して、パスワードを入力します。

 以下は、画面に表示された QR コードを使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定することもできます。

- QR コードをスキャンし、画面の指示に従ってください。
- QR コードは、iOS 11 以降の標準カメラアプリ、または Android™ 10 以降の Wi-Fi 設定メニューまたは標準カメラアプリから読み取ってください。QR コードが読み取れない場合は、ネットワーク名 (SSID) とネットワークキー (パスワード) を手動で入力して接続してください。

3. モバイル端末が正常に接続されると、本製品の画面に「接続しました」と表示されます。

関連情報

- [Wi-Fi Direct®を使用する](#)

関連トピック：


- [Wi-Fi Direct の概要](#)
- [プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する](#)

プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する



Android™端末で Wi-Fi Direct のネットワーク設定を実行するには、Brother Mobile Connect をインストールし、本製品への接続方法として Wi-Fi Direct を選択し、画面の指示に従ってください。

本製品がモバイル端末から Wi-Fi Direct 要求を受信すると、画面に [Wi-Fi Direct の接続リクエストがきています 通信を開始するには [OK] を押してください] というメッセージが表示されます。[OK] を押して接続します。

1. 本製品の画面で  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [Wi-Fi Direct] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. お使いのモバイル端末が Wi-Fi Direct に対応していない場合は、[グループ オーナー] > [オン] を押します。



機器によっては、[グループ オーナー] を [オン] に設定した状態で接続すると、モバイル端末が接続中の無線ネットワークから切断され、モバイルデータ通信に自動的に切り替わる場合があります。必要に応じて、使用後は元の無線ネットワークに再接続してください。お使いの機器が自動的に Wi-Fi Direct ネットワークに切り替わる場合は、モバイル端末で本製品への自動接続設定をオフにしてください。

3. [プッシュボタン接続] を押します。
4. [相手側デバイスの Wi-Fi Direct 設定を有効にして [OK] ボタンを押してください] と表示されたら、モバイル端末の Wi-Fi Direct 機能を有効にします (詳細は、モバイル端末の取扱説明書を参照してください)。製品の [OK] を押します。
5. 次のいずれかを行ってください：
 - モバイル端末に Wi-Fi Direct が有効になっている製品のリストが表示される場合は、本製品を選択します。
 - 本製品に Wi-Fi Direct が有効になっているモバイル端末のリストが表示される場合は、お使いのモバイル端末を選択します。利用可能な機器を再検索するには、[再検索] を押します。
6. モバイル端末が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。




関連情報

- [Wi-Fi Direct®を使用する](#)

関連トピック：


- [Wi-Fi Direct の概要](#)
- [Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する](#)

無線 LAN を有効/無効にする

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [無線 LAN (Wi-Fi)] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して [無線 LAN 有効] オプションを選択します。 [無線 LAN 有効] を押します。
3. 次のいずれかを行ってください：
 - Wi-Fi を有効にするには、 [オン] を選択します。
 - Wi-Fi を無効にするには、 [オフ] を選択します。
4.  を押します。



関連情報

- [無線ネットワーク設定](#)


WLAN レポートを印刷する

無線 LAN レポートには、本製品の無線の状態が表示されます。無線接続に失敗した場合は、印刷されたレポートのエラーコードを確認してください。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [レポート印刷] > [無線 LAN レポート] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. [はい] を押します。
製品は無線 LAN レポートを印刷します。
3.  を押します。

無線 LAN レポートが印刷されない場合、製品のエラーの有無を確認します。目視できるエラーがない場合、1 分間待ったあと、もう一度レポートを印刷してみてください。



関連情報

- [無線ネットワーク設定](#)
 - [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)

無線 LAN レポートのエラーコードについて

無線 LAN レポート機能により接続の失敗が示された場合、印刷したレポートでエラーコードを確認し、表を参照してエラーコードに対応する指示に従います。

エラーコード	問題と推奨される解決方法
TS-01	<p>無線 LAN (Wi-Fi) 設定が有効になっていません。</p> <p>以下を確認し、接続をやりなおしてください。</p> <ul style="list-style-type: none">• 本製品の無線 LAN 設定を ON にしてください。• 本製品に LAN ケーブルがつながっている場合は抜いてください。
TS-02	<p>接続する無線 LAN ルーター/アクセスポイントが見つかりません。</p> <p>以下を確認し、接続をやりなおしてください。</p> <ul style="list-style-type: none">• ルーター/アクセスポイントの電源が入っていることを確認してください。• セットアップ時は、本製品を障害のない場所へ移動させたり、ルーター/アクセスポイントに近づけてみてください。• MAC アドレスフィルタリングなどの接続制限機能をご利用の場合は、本製品の MAC アドレスを制限がかからないようにルーター/アクセスポイントの設定をご確認ください。MAC アドレスは、ネットワーク設定リストまたはプリンター設定ページを印刷すると確認できます。• 手動で SSID を入力している場合には、セキュリティ情報 (SSID/認証方式/暗号化方式) が間違っている可能性があります。セキュリティ情報 (SSID/認証方式/暗号化方式) を再度確認し、入力をやりなおしてください。• ルーター/アクセスポイントの電源を入れなおしてください。お使いの無線 LAN アクセスポイントの情報や設定変更のやり方がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイント・ルーターのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
TS-03	<p>無線 LAN エンタープライズのセキュリティ情報が間違っています。</p> <p>以下を確認し、接続をやりなおしてください。</p> <p>以下の情報を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none">- 本製品で選択したネットワーク名 (SSID)。- 本製品で選択したセキュリティ情報 (認証方式/暗号化方式/ユーザー ID など) <p>ネットワーク名 (SSID) やセキュリティ情報が分からない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。</p>
TS-04	<p>無線アクセスポイント/ルーターで使用されている認証方式と暗号化方式を、本製品はサポートしていません。</p> <p>インフラストラクチャモードの場合 (最も一般的)</p> <p>無線 LAN ルーター/アクセスポイントの認証方式や暗号化方式を変更します。本製品は、以下の方式をサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none">• WPA-パーソナル : TKIP / AES• WPA2-パーソナル : TKIP / AES• WPA3-パーソナル : AES• OPEN : WEP / なし (認証なし)• 共有キー : WEP <p>問題が解決しない場合は、入力した SSID またはセキュリティ設定が間違っている可能性があります。ネットワーク設定を再度確認してください。</p>

エラーコード	問題と推奨される解決方法
TS-05	<p>ネットワーク名 (SSID) やネットワークキー (パスワード) が間違っています。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク名 (SSID) やネットワークキー (パスワード) を確認してください。 ネットワークキーには、大文字と小文字を正しく入力してください。 ネットワーク名 (SSID) やセキュリティ情報が見つからない場合、無線 LAN (Wi-Fi) ルーター/アクセスポイントの取扱説明書を確認するか、ルーター/アクセスポイントのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 ルーター/アクセスポイントの WEP が複数ある場合は、最初の WEP キーで接続してください。
TS-06	<p>セキュリティ情報 (SSID/認証方式/暗号化方式/ネットワークキー) が間違っています。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワークキー (パスワード) を確認してください。ネットワークキーには、大文字と小文字を正しく入力してください。 選択した認証方式を確認してください。認証方式や暗号化方式は、無線 LAN ルーター/アクセスポイントが対応しているものを選択してください。 ネットワークキー、認証方式、暗号化方式を確認したら、ルーター/アクセスポイントと本製品の電源を入れなおしてください。 無線 LAN アクセスポイントの設定で SSID を隠している (SSID ステルス) 場合、SSID は検出されません。SSID ステルスをおフにしてください。 <p>お使いの無線 LAN アクセスポイントの情報や設定変更のやり方がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイント・ルーターのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。</p>
TS-07	<p>WPS (Wi-Fi Protected Setup) 設定中の無線 LAN ルーター/アクセスポイントが見つかりませんでした。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ルーター/アクセスポイントに WPS ロゴが表示されているか確認し、WPS に対応している事を確認してください。詳しい事は、ルーター/アクセスポイントの説明書で確認してください。 WPS で接続する場合は、本製品とルーター/アクセスポイントの両方の操作が必要です。詳しい事は、本製品のユーザズガイドで確認してください。 これらの情報がわからない場合は、ルーター/アクセスポイントのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
TS-08	<p>WPS (Wi-Fi Protected Setup) 設定中の無線 LAN ルーター/アクセスポイントが、2 個以上検出されています。 以下を確認し、接続をやりなおしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本製品と接続する 1 つのルーター/アクセスポイントだけが WPS を有効にしていることを確認してください。 他のルーター/アクセスポイントからの影響を避けるため、数分後にもう一度試してください。



無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの無線セキュリティ情報（SSID／認証方式／暗号化方式／ネットワークキー）の確認方法：

1. お買い上げ時のセキュリティ設定が、無線 LAN アクセスポイント／ルーターに貼られているラベルに記載されている場合があります。または、無線 LAN アクセスポイント／ルーターのメーカー名もしくは型番番号が、お買い上げ時のセキュリティ設定として使用されている場合があります。
 2. セキュリティ設定の表示場所については、お使いの無線 LAN アクセスポイントまたはルーターに同梱の説明書をご覧ください。
- 無線 LAN アクセスポイントまたはルーターが SSID をブロードキャストするように設定されていない場合、SSID は自動的に検出されません。SSID 名を手動で入力する必要があります。
 - ネットワークキーは、パスワード、セキュリティキー、または暗号化キーとして記載されている場合もあります。

無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの SSID および無線セキュリティ設定、または設定の変更方法が分からない場合、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターに同梱の説明書をご覧ください。無線 LAN アクセスポイントまたはルーターのメーカーもしくは、ご契約のインターネットプロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。



関連情報

- [WLAN レポートを印刷する](#)

関連トピック：

- [Wi-Fi Protected Setup™（WPS）のワンタッチ方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する](#)
- [Wi-Fi Protected Setup™（WPS）の PIN 方式を使用して本製品に無線ネットワークを設定する](#)
- [本製品の操作パネルからセットアップウィザードを使用して無線ネットワークを設定する](#)
- [SSID が隠ぺいされている場合に、本製品に無線ネットワークを設定する](#)
- [エンタープライズ無線ネットワーク用に本製品を設定する](#)

ネットワーク機能

- Web Based Management を使用してプロキシサーバーを設定する
- ネットワーク設定レポートを印刷する
- LDAP 検索を設定および操作する
- Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時間を同期する
- 受信ファクスをネットワーク上の保存先に転送する
- ギガビットイーサネット（有線 LAN のみ）
- グローバルネットワーク検出機能を使う
- ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする

Web Based Management を使用してプロキシサーバーを設定する

ネットワークでプロキシサーバーを使用している場合、次のプロキシサーバーの情報を、Web Based Management 上で設定する必要があります。

- プロキシサーバーのアドレス
- ポート番号
- ユーザー名
- パスワード

1. Web Based Management を起動します。▶▶ [Web Based Management にアクセスする](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

3. **プロキシ**チェックボックスが選択されていることを確認して、**OK**をクリックします。
4. **プロキシ**欄で、**詳細設定**をクリックします。
5. プロキシサーバーの情報を入力します。
6. **OK**をクリックします。



関連情報

- [ネットワーク機能](#)

関連トピック：


- [本製品の操作パネルを使用してプロキシサーバーの設定を行う](#)
- [Web Based Management にアクセスする](#)

ネットワーク設定レポートを印刷する

ネットワーク設定リストには、ネットワークプリントサーバーの設定値を含む、ネットワーク設定が一覧表示されます。




- ノード名は、ネットワーク設定リストに表示されます。お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は「BRN123456abcdef」、無線 LAN の場合は「BRW123456abcdef」です。（「123456abcdef」は、本製品の MAC アドレス/イーサネットアドレスを示します。）
- ネットワーク設定リストに表示される IP アドレスが 0.0.0.0 の場合、1 分間待ってから、もう一度印刷してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、ノード名、および MAC アドレスなどの、本製品の設定をレポートで確認できます。以下は一例です：
 - IP アドレス : 192.168.0.5
 - サブネットマスク : 255.255.255.0
 - ノード名 : BRN000ca0000499
 - MAC アドレス : 00-0c-a0-00-04-99

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [レポート印刷] > [ネットワーク設定リスト] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. [はい] を押します。
3.  を押します。

✓ 関連情報

- [ネットワーク機能](#)

関連トピック :

- [Web Based Management にアクセスする](#)

LDAP 検索を設定および操作する

LDAP 機能を使うと、お使いのサーバー上で、ファクス番号および E メールアドレスなどの情報を検索できます。ファクス、I-Fax、またはスキャン to E メールサーバー機能を使用する場合、LDAP 検索を使用してファクス番号または E メールアドレスを取得することができます。



- LDAP 機能は、簡体字、繁体字、および韓国語はサポートしていません。
- LDAP 機能は LDAPv3 をサポートしています。



関連情報

- ネットワーク機能
 - [Web Based Management](#) を使用して LDAP 設定を変更する
 - [本製品の操作パネル](#) を使用して LDAP 検索を行う

Web Based Management を使用して LDAP 設定を変更する

Web Based Management を使用して LDAP を設定します。

1. Web Based Management を起動します。▶▶ [Web Based Management にアクセスする](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

3. **LDAP** チェックボックスを選択し、**OK** をクリックします。
4. 本製品を再起動して、設定を有効にします。
5. お使いのコンピューター上で、Web Based Management の左側のナビゲーションバーにある**アドレス帳 > LDAP** をクリックします。

- **LDAP 検索**
- **LDAP アドレス**
- **SSL/TLS**
- **ポート**
- **認証方式**
- **ユーザー名**

この選択肢を利用できるかどうかは、使用する認証方式によって異なります。

- **パスワード**

この選択肢を利用できるかどうかは、使用する認証方式によって異なります。



- LDAP サーバーが Kerberos 認証に対応している場合は、認証設定で Kerberos を選択することをお勧めします。LDAP サーバーと本製品間で、強力な認証方式を利用できます。
- Kerberos 認証の場合、SNTP プロトコル（ネットワークタイムサーバー）を設定するか、操作パネルで日時とタイムゾーンを正しく設定する必要があります。

- **Kerberos サーバーアドレス**

この選択肢を利用できるかどうかは、使用する認証方式によって異なります。

- **検索場所**
- **LDAP タイムアウト**
- **名前属性名(検索する属性)**
- **メールの属性名**
- **FAX の属性名**

6. 完了後、**OK** をクリックします。**状態**フィールドに **OK** と表示されていることを確認します。



関連情報

- [LDAP 検索を設定および操作する](#)

関連トピック：

- [Web Based Management にアクセスする](#)
- [Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時間を同期する](#)


本製品の操作パネルを使用して LDAP 検索を行う

LDAP の設定後、LDAP 検索機能を使用して、ファクス番号または E メールアドレスを取得し、以下の操作を行うことができます。

- ファクスを送信する
- インターネットファクス (I-Fax) を送信する
- E-mail サーバーにスキャン画像を送信する



- LDAP 機能は LDAPv3 をサポートしています。
- Kerberos 認証または簡単認証を使用して、お使いの LDAP サーバーに接続しなければならない場合があります。
- Kerberos 認証のために、SNTP プロトコル (ネットワークタイムサーバー) を設定するか、操作パネルで日時とタイムゾーンを正確に設定する必要があります。

1. 検索するには、 を押します。
2. 液晶ディスプレイを使用して、検索する先頭文字を入力します。
3. [OK] を押します。

LDAP 検索結果は液晶ディスプレイに表示されます。 アイコンが、ファクス番号 (ローカル) または E-mail (ローカル) の、アドレス帳検索結果の前に表示されます。

サーバーまたはローカルアドレス帳に一致する文字列が存在しない場合、画面に「検索結果がありません」が約 1 分間表示されます。

4. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して、対象の名前を表示します。
5. 対象の名前を押します。
名前の詳細を表示するには、「詳細」を押します。
6. 検索結果のファクス番号や E-mail アドレスが複数の場合は、本製品に 1 つのみを選択するよう表示されます。「送信先に設定」を押します。次のいずれかを行ってください：
 - ファクスまたはインターネットファクス (I-FAX) を送信する場合、「スタート」を押します。
 - E-mail サーバーにスキャン画像を送信する場合、原稿をセットして「次へ」を押したあと、「スタート」を押します。



関連情報

- [LDAP 検索を設定および操作する](#)

関連トピック：

- [Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時間を同期する](#)

Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時間を同期する

簡易ネットワークタイムプロトコル (SNTP) は、SNTP タイムサーバーとの認証で本製品が使用する時間を同期させるために使用されます。(これは本製品の画面に表示される時刻ではありません。) 本製品で使用される時刻を、SNTP タイムサーバーによって提供される UTC (協定世界時) と自動または手動で同期させることができます。

- Web Based Management で日時を設定する
- Web Based Management で SNTP プロトコルを設定する

Web Based Management で日時を設定する

製品で使用されている時間を SNTP タイムサーバーと同期させるように、日時を設定します。

1. Web Based Management を起動します。▶▶ [Web Based Management にアクセスする](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**管理者設定 > 時計設定**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

3. **タイムゾーン** 設定を確認します。
4. **SNTP サーバーと同期する**チェックボックスを選択します。
5. **OK** をクリックします。



日付と時刻は手動で設定することもできます。



関連情報

- [Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時間を同期する](#)

関連トピック：

- [Web Based Management にアクセスする](#)

Web Based Management で SNTP プロトコルを設定する

SNTP プロトコルを設定して、製品が認証に使用する時間と SNTP タイムサーバーが維持する時間を同期させます。

1. Web Based Management を起動します。▶▶ [Web Based Management にアクセスする](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

3. **SNTP** チェックボックスをオンにして、設定を有効にします。
4. **OK** をクリックします。
5. 本製品を再起動して、設定を有効にします。
6. SNTP チェックボックスの横にある**詳細設定**をクリックします。
7. 設定を確認します。

オプション	詳細
状態	SNTP プロトコルが有効か無効かを表示します。
同期状態	最新の同期状態を確認します。
SNTP サーバー設定の方法	AUTO または STATIC を選択します。 <ul style="list-style-type: none">• AUTO ネットワーク上に DHCP サーバーがあれば、SNTP サーバーが自動的にそのサーバーからアドレスを取得します。• STATIC 使用したいアドレスを入力します。
プライマリー SNTP サーバーアドレス セカンダリー SNTP サーバーアドレス	サーバーのアドレスを 64 文字以内で入力します。 セカンダリー SNTP サーバーのアドレスは、プライマリー SNTP サーバーのアドレスの予備として使用されます。プライマリーサーバーが利用できない場合、本製品はセカンダリー SNTP サーバーと通信します。
プライマリー SNTP サーバーポート セカンダリー SNTP サーバーポート	ポート番号を入力します (1~65535)。 セカンダリー SNTP サーバーポートは、プライマリー SNTP サーバーポートの予備として使用されます。プライマリーポートが利用できない場合、本製品はセカンダリー SNTP ポートと通信します。
同期間隔	サーバーとの同期の試行間隔 (1~168 時間) を入力します。

8. **OK** をクリックします。



関連情報

- [Web Based Management を使用して SNTP サーバーと時間を同期する](#)


関連トピック :

- [Web Based Management にアクセスする](#)


受信ファクスをネットワーク上の保存先に転送する

受信ファクスをサーバー上のフォルダーに直接転送するようにプロファイルを設定します。

1. Web Based Management を起動します。▶▶ [Web Based Management にアクセスする](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**管理者設定 > ネットワークプロファイル**をクリックします。

 左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

3. プロファイル番号の横にあるプロトコルオプションをクリックします。
4. **プロトコル**欄でサーバータイプを選択し、**OK** をクリックします。
5. 次の表のいずれかを使用して、サーバーのプロファイルを設定します。

 ？、/、\、"、:、<、>、|、*等の文字を使用すると、送信エラーが起こることがあります。

FTP

オプション	詳細
プロファイル名	このサーバープロファイルの名前を入力します（15文字以下の英数字）。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
サーバー アドレス	ホストアドレス（例：ftp.example.com、最大 64 文字）または IP アドレス（例：192.23.56.189）を入力します。
ポート番号	FTP サーバーへアクセスするための ポート番号 を設定します。お買い上げ時の設定は、ポート 21 です。ほとんどの場合この設定を変更する必要はありません。
ユーザー名	FTP サーバーへのデータの書き込みが許可されているユーザーのユーザー名（32文字以下）を入力します。
パスワード	ユーザー名 欄に入力したユーザー名のパスワード（32文字以下）を入力します。 パスワード確認 欄にパスワードを再入力します。
SSL/TLS	SSL/TLS オプションを設定して、SSL/TLS 通信を使用して受信ファクスを安全に転送します。必要に応じて CA 証明書 設定を変更します。
転送先フォルダー	受信ファクスを転送する FTP サーバーのフォルダーへのパス（255文字以下）を入力します。パスの先頭はスラッシュにしないでください。
パッシブモード	FTP サーバーおよびネットワークファイアウォール設定に応じて、 パッシブモード のオフ/オン設定を切り替えます。お買い上げ時の設定はオンです。ほとんどの場合この設定を変更する必要はありません。

SFTP

オプション	詳細
プロファイル名	このサーバープロファイルの名前を入力します（15文字以下の英数字）。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
サーバー アドレス	ホストアドレス（例：ftp.example.com、最大 64 文字）または IP アドレス（例：192.23.56.189）を入力します。
ユーザー名	SFTP サーバーへのデータの書き込みが許可されているユーザーのユーザー名（32文字以下）を入力します。
認証方法	パスワード または 公開鍵 を選択します。
パスワード	認証方法 オプションで パスワード を選択した場合は、 ユーザー名 欄に入力したユーザー名のパスワード（最大 32文字）を入力します。 パスワード確認 欄にパスワードを再入力します。
クライアント鍵ペア	認証方法 オプションで 公開鍵 を選択した場合は、認証の種類を選択します。

オプション	詳細
サーバー公開鍵	認証の種類を選択します。
転送先フォルダー	受信ファクスを転送する SFTP サーバーのフォルダーへのパス (255 文字以下) を入力します。パスの先頭はスラッシュにしないでください。
ポート番号	SFTP サーバーへアクセスするための ポート番号 を設定します。お買い上げ時の設定は、ポート 22 です。ほとんどの場合この設定を変更する必要はありません。

ネットワーク

オプション	詳細
プロファイル名	このサーバープロファイルの名前を入力します (15 文字以下の英数字)。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
ネットワークフォルダパス	受信ファクスを転送する CIFS サーバー上のフォルダーのパスを入力します。
認証方法	認証方式を設定するには、 自動 、 Kerberos 、または NTLMv2 を選択します。
ユーザー名	ネットワークフォルダパス 欄で指定したフォルダーへのデータの書き込み許可を持つユーザー名 (最大 96 文字) を入力します。ユーザー名がドメインの一部である場合、以下のいずれかの形式でユーザー名を入力します。 ユーザー名@ドメイン名 ドメイン名\ユーザー名
パスワード	ユーザー名 欄に入力したユーザー名のパスワード (32 文字以下) を入力します。 パスワード確認 欄にパスワードを再入力します。
Kerberos サーバーアドレス	認証方法 オプションで Kerberos を選択した場合は、Kerberos サーバーアドレスを入力する必要があります (例: kerberos.example.com、最大 64 文字)。



SNTP (ネットワークタイムサーバー) を設定するか、操作パネルで日付、時刻、およびタイムゾーンを正しく設定する必要があります。時刻は、Kerberos サーバーおよび CIFS サーバーで使用されるものと一致しなければなりません。

SharePoint

オプション	詳細
プロファイル名	このサーバープロファイルの名前を入力します (15 文字以下の英数字)。本製品の画面上に入力した名称が表示されます。
SharePoint サイトのアドレス	ブラウザーのアドレスバーに表示された宛先アドレス全て (例: http://SharePointSiteAddress/Shared%20Documents/Forms/AllItems.aspx)、または IP アドレス (例: http://192.168.0.1/Shared%20Documents/Forms/AllItems.aspx) をコピーアンドペーストします。
SSL/TLS	SharePoint サイトのアドレス 欄のアドレスが「https://」で始まる場合は、 サーバー証明書を検証 チェックボックスを選択してサーバー証明書を確認できます。
認証方法	認証方式を設定するには、 自動 、 NTLMv2 、 Kerberos 、または 基本 を選択します。 自動 を選択した場合、認証方式は自動的に検出されます。
ユーザー名	SharePoint サイトのアドレス 欄で指定したフォルダーへのデータの書き込みが許可されているユーザーのユーザー名 (最大 96 文字) を入力します。ユーザー名がドメインの一部である場合、以下のいずれかの形式でユーザー名を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • ユーザー名@ドメイン名 • ドメイン名\ユーザー名

オプション	詳細
パスワード	ユーザー名欄に入力したユーザー名のパスワード（32文字以下）を入力します。パスワード確認欄にパスワードを再入力します。
Kerberos サーバーアドレス	認証方法オプションで Kerberos を選択した場合は、Kerberos サーバーアドレスを入力する必要があります（例：kerberos.example.com、最大64文字）。

6. **OK** をクリックします。
7. ファクス転送機能を設定するには、左側のナビゲーションバーで**ファクス > 応用機能**をクリックします。
8. **転送/クラウド/ネットワーク**ドロップダウンリストから**ファクス ネットワーク転送**を選択します。
9. 使用するファイルの種類を選択します。
10. 受信ファクスのバックアップコピーを印刷するには、**転送ファクスの自動印字**で**オン**を選択します。
11. **ネットワークプロファイル**ドロップダウンリストから、使用するプロファイルを選択します。
12. 必要に応じて、**暗証番号**欄に3桁の暗証番号を入力します。



- 暗証番号には、0～9の数字、*、または#を使用できます。
- 暗証番号はファクス機能のリモートコードとは異なっている必要があります。

13. **OK** をクリックします。

✓ 関連情報

- [ネットワーク機能](#)

関連トピック：

- [メモリー受信オプション](#)

ギガビットイーサネット（有線 LAN のみ）

本製品は、1000BASE-T Gigabit Ethernet をサポートしています。1000BASE-T Gigabit Ethernet ネットワークに接続するには、製品の操作パネルまたは Web Based Management から、製品のイーサネットリンクモードを「自動」に設定する必要があります。



カテゴリ 5e 以上のネットワークケーブルを使用してください。本製品は、対応している最速のネットワーク速度を自動的にネゴシエートできますが、例えば、1000BASE-T のネットワーク速度を実現するには、ネットワークスイッチやケーブルなどのすべての接続インフラが 1000BASE-T の速度に対応している必要があります。それ以外の場合は、10BASE-T または 100BASE-TX で通信を行います。



関連情報

- ネットワーク機能


グローバルネットワーク検出機能を使う

プライベートネットワークで本製品を使用する場合、グローバルネットワーク検出機能を使用して、グローバルネットワークからの予期せぬ攻撃からリスクを回避します。

- [グローバル IP アドレス検出を有効にする](#)
- [グローバルネットワークからの通信をブロックする](#)

グローバル IP アドレス検出を有効にする

この機能を使用して、お使いの製品の IP アドレスを確認します。お使いの製品にグローバル IP アドレスが割り当てられている場合、警告が表示されます。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [グローバル IP 検知] > [グローバル IP 検知] > [オン] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。


2.  を押します。


✓ 関連情報


- [グローバルネットワーク検出機能を使う](#)

グローバルネットワークからの通信をブロックする

 この機能を有効にすると、グローバル IP アドレスを持つ機器からのジョブの受信が制限されます。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [グローバル IP 検知] > [アクセス拒否] > [オン] を押します。

 本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2.  を押します。

関連情報


- [グローバルネットワーク検出機能を使う](#)

ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする

本製品の操作パネルを使用して、ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットします。これにより、管理者パスワードを除きすべての情報がリセットされます。



Web Based Management を使用して、プリントサーバーをお買い上げ時の設定にリセットすることもできます。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [ネットワーク設定リセット] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. [再起動しますか?実行する場合は[OK]を2秒間押してください 実行しない場合は[キャンセル]を押してください]が表示されます。[OK]を2秒間押して、確認します。

本製品が再起動します。



関連情報

- [ネットワーク機能](#)

関連トピック：

- [本製品を初期状態に戻す](#)

ブラザー管理ツール

ブラザーの管理ツールのいずれかを使用して、本製品のネットワーク設定を構成します。

support.brother.com/downloads で、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページに移動し、ツールをダウンロードします。

✓ 関連情報

- ネットワーク

セキュリティ

お使いの製品は、以下のセキュリティ機能に対応しています。それぞれのセキュリティ機能の詳細については、サポートサイトにアクセスし、お使いのモデルの「セキュリティ機能ガイド」をご覧ください。

support.brother.co.jp/j/s/support/html/sfg_jpn/doc/index.html。

- ネットワークセキュリティ > デバイスセキュリティの証明書を設定する
- ネットワークセキュリティ > SSL/TLS を使用する
- ネットワークセキュリティ > SNMPv3 を使用する
- ネットワークセキュリティ > IPsec を使用する
- ネットワークセキュリティ > お使いのネットワークに IEEE 802.1x 認証を使用する
- ユーザー認証 > Active Directory 認証を使用する
- ユーザー認証 > LDAP 認証を使用する
- ユーザー認証 > セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する
- Eメールを安全に送受信する
- ネットワークへの印刷ログ保存機能

モバイル/クラウド接続

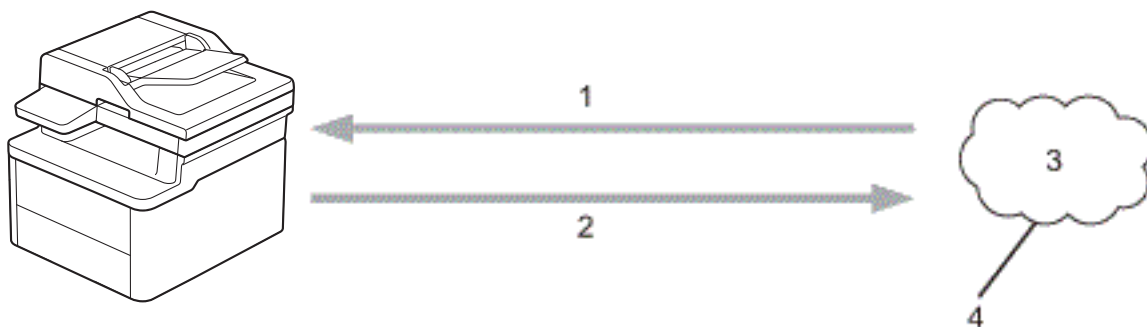
- [クラウド接続機能](#)
- [AirPrint](#)
- [Mopria™ Print Service および Mopria™ Scan](#)
- [Brother Mobile Connect](#)

クラウド接続機能

- クラウド接続機能の概要
- クラウド接続機能を使用してアクセスできるオンラインサービス
- クラウド接続機能の設定
- 写真や原稿をスキャンしてアップロードする
- 写真や文書をダウンロードして印刷する
- ファクスクラウド/Eメール転送

クラウド接続機能の概要

ユーザーが画像やファイルをアップロードしたり、ウェブサイト上でそれらを閲覧するサービスを提供しているウェブサイトがあります。本製品では、画像をスキャンしてこのようなサービスにアップロードしたり、アップロードされている画像をダウンロードして印刷することができます。



1. 印刷
2. スキャン
3. 写真、画像、文書、その他のファイル
4. ウェブサービス

クラウド接続機能を使用するには、有線接続または無線接続で、本製品がインターネットにアクセスできるネットワーク環境が必要です。

プロキシサーバーを使用するネットワーク環境の場合は、お使いの製品でプロキシサーバーの設定をする必要があります。お使いのネットワークの設定が不明な場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。



プロキシサーバーとは、直接インターネットに接続していない複数のパソコンとインターネットとの間を仲介するコンピューターのことです。

✓ 関連情報

- [クラウド接続機能](#)
 - [本製品の操作パネルを使用してプロキシサーバーの設定を行う](#)


関連トピック：

- [Web Based Management](#) を使用してプロキシサーバーを設定する

本製品の操作パネルを使用してプロキシサーバーの設定を行う


ネットワークでプロキシサーバーを使用している場合、次のプロキシサーバーの情報を、お使いの製品で設定する必要があります。

- プロキシサーバーのアドレス
- ポート番号
- ユーザー名
- パスワード

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [Web 接続設定] > [プロキシ設定] > [プロキシ経由接続] > [オン]を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. 設定したいオプションを押して、プロキシサーバーの情報を入力します。
3. [OK]を押します。
4.  を押します。



関連情報

- [クラウド接続機能の概要](#)

関連トピック：

- [Web Based Management](#) を使用してプロキシサーバーを設定する

クラウド接続機能を使用してアクセスできるオンラインサービス

Brother Web Connect を使用すると、お使いの製品からサービスにアクセスできます。

ブラウザークラウド接続機能を使用するためには、利用するオンラインサービスについてご自分のアカウントを持っている必要があります。

- Google Drive™
- Evernote®
- Dropbox
- OneDrive
- Box
- OneNote
- SharePoint Online

これらのサービスについて、詳しくは各サービスのウェブサイトを参照してください。

次の表は、クラウド接続機能で使用できるファイルの種類について説明しています。

アクセス可能なウェブサービス	Google Drive™ Evernote® Dropbox OneDrive Box OneNote SharePoint Online
スキャンした画像のアップロード	JPEG PDF ¹ DOCX XLSX PPTX TIFF
画像のダウンロードと印刷 ²	JPEG PDF DOCX XLSX PPTX
オンラインサービスへのファクス転送 (特定モデルのみ対応)	JPEG PDF TIFF

¹ スキャンした画像をアップロードする場合、PDF には、検索可能な PDF、署名済み PDF、セキュア PDF、PDF/A および高圧縮 PDF が含まれます。

² 画像は DOC/XLS/PPT 形式でもダウンロードまたは印刷できます。

✓ 関連情報

- [クラウド接続機能](#)

クラウド接続機能の設定

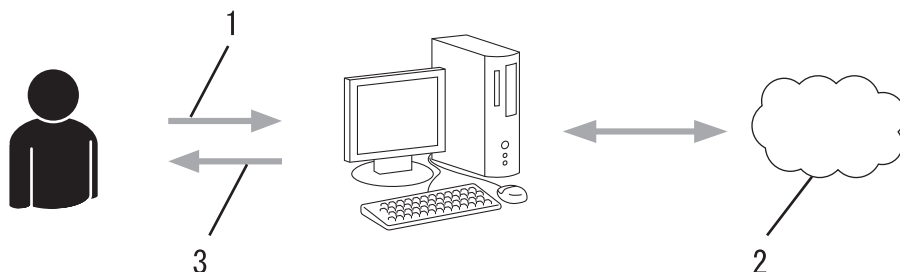
- クラウド接続機能設定の概要について
- クラウド接続機能の利用申請を行う
- 本製品にクラウド接続機能を使用するためのアカウントを登録する

クラウド接続機能設定の概要について

下記の手順に従ってクラウド接続機能を設定します：

手順 1：利用するサービスのアカウントを作成する。

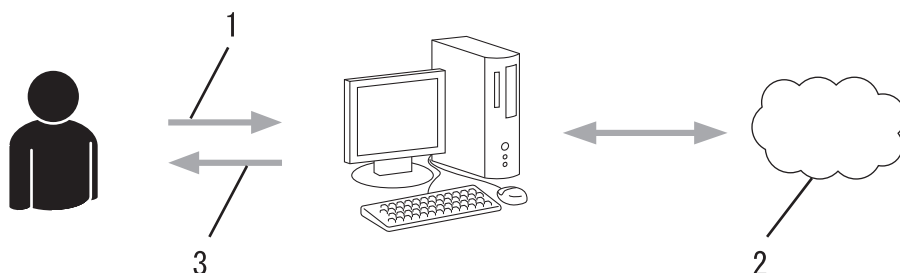
パソコンを使用してサービスのウェブサイトへアクセスし、アカウントを作成します。（既にアカウントをお持ちの場合は、追加のアカウントを作成する必要はありません。）



1. ユーザー登録
2. Web サービス
3. アカウント取得

手順 2：クラウド接続機能の利用申請を行う

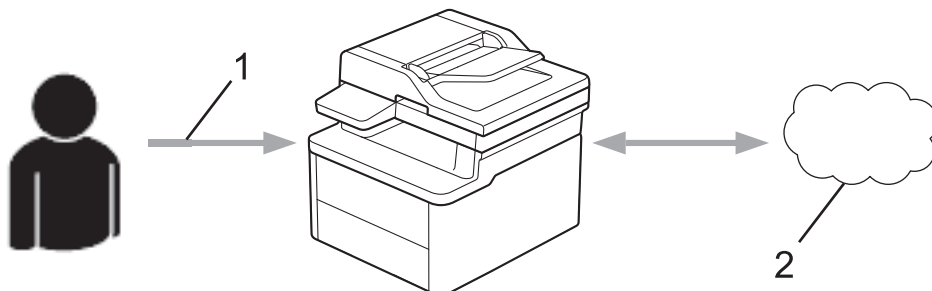
パソコンを使用してクラウド接続機能へアクセスし、仮登録 ID を取得します。



1. アカウント情報の入力
2. クラウド接続機能申請ページ
3. 仮登録 ID の取得

手順 3：利用対象のサービスにアクセスできるように、本製品にアカウント情報を登録します。

本製品でサービスを利用できるように仮登録 ID を入力します。本製品で表示したいアカウント名を指定し、必要に応じて PIN コードを入力します。



1. 仮登録 ID の入力
2. Web サービス

お使いの製品で Web サービスを利用できます。



関連情報


- クラウド接続機能の設定

クラウド接続機能の利用申請を行う

クラウド接続機能を使用してオンラインサービスが利用できるように、ソフトウェアがインストールされているパソコンを使用して、クラウド接続ページにアクセスし、クラウド接続機能の利用申請を行います。

1. クラウド接続機能のウェブページにアクセスします：

オプション 詳細

Windows  (Brother Utilities) を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します (未選択の場合)。

左ナビゲーションバーの **もっと活用する** をクリックして、**Brother Web Connect** をクリックします。



ウェブサイトに直接アクセスすることもできます。

お使いのウェブブラウザのアドレスバーに、bwc.brother.com と入力します。

Mac お使いのウェブブラウザのアドレスバーに、bwc.brother.com と入力します。

ブラウザクラウド接続機能のページが起動します。

2. 利用するサービスを選択します。
3. 画面の指示に従って、利用申請を行います。



SharePoint Online を利用する場合は、画面の指示に従ってドキュメントライブラリを登録します。

完了すると、仮登録 ID が表示されます。

クラウド接続機能

登録が完了しました

下記の仮登録IDを、本体の液晶画面で入力してアカウント登録を行ってください

仮登録ID (11桁)

XXXXXXXXXXXX

注意：この仮登録IDは24時間で失効します

4. 仮登録 ID をメモしておきます。この ID は、お使いの製品にアカウントを登録する際に必要となります。仮登録 ID は、24 時間有効です。
5. ウェブブラウザを閉じます。

次に、お使いの製品にアカウントを登録します。



関連情報

- [クラウド接続機能の設定](#)

関連トピック：

- [本製品にクラウド接続機能を使用するためのアカウントを登録する](#)
-

本製品にクラウド接続機能を使用するためのアカウントを登録する

クラウド接続機能を使用するために、お使いの製品にアカウント情報を入力し設定します。

- 利用するサービスのウェブサイトにアクセスし、アカウントを作成してください。
- アカウントを登録する前に、本製品の日時が正しく設定されていることを確認します。

1. フリックし、[クラウド]を表示します。
2. [クラウド]を押します。




- 本製品の液晶ディスプレイにインターネット接続に関する情報が表示された場合、その情報をお読みになり、[OK]を押してください。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報をお読みになり、[OK]を押します。

3. ライセンス契約に関する情報が表示された場合は、同意の可否を選択して、画面の指示に従ってください。
4. 登録するサービスを選択します。
5. 対象のサービス名を押します。
6. クラウド接続機能に関する情報が表示された場合、[OK]を押します。
7. [アカウントの登録/削除]を押します。
8. [アカウント登録]を押します。
クラウド接続機能の利用申請を行ったときに取得した仮登録 ID の入力を求められます。
9. [OK]を押します。
10. 液晶画面を使って、仮登録 ID を入力します。
11. [OK]を押します。



- 入力した情報が申請時に取得した仮登録 ID と一致しない場合、または仮登録 ID の有効期限が切れている場合は、画面にエラーメッセージが表示されます。正しい仮登録 ID を入力するか、または再度申請を行って新しい仮登録 ID を取得します。

画面に表示するアカウント名の入力を求められます。

12. [OK]を押します。
13. 液晶画面に表示されているキーを使用して名前を入力します。
14. [OK]を押します。
15. 次のいずれかを行ってください：
 - アカウントの PIN コードを設定するには、[はい]を押します。(PIN コードは、アカウントへの不正アクセスを防ぎます。) 4 桁の数字を入力し、[OK]を押します。
 - PIN コードを設定しない場合は、[いいえ]を押します。
16. 入力したアカウント情報が表示されたら、正しく入力されていることを確認します。
17. [はい]を押して入力した情報を登録します。
18. [OK]を押します。
19. を押します。

登録が完了し、本製品がサービスにアクセスできるようになりました。



関連情報

- [クラウド接続機能の設定](#)

関連トピック：

- 本製品にテキストを入力するには
 - クラウド接続機能の利用申請を行う
-

写真や原稿をスキャンしてアップロードする

スキャンした写真やドキュメントを、パソコンを使用せずに、直接 Web サービスにアップロードします。

アップロードされたファイルは、**From_BrotherDevice** というアルバムに保存されます。
アップロードできるファイルサイズや数などの制限については、各サービスのウェブサイトを参照してください。
セキュリティ機能ロック（特定のモデルのみ可能）を有効にしたことでクラウド接続の利用が制限されている場合、スキャンしたデータのアップロードはできません。

1. 原稿をセットします。
2. フリックし、[クラウド]を表示します。
3. [クラウド]を押します。



- [スキャン] > [クラウド]を押すこともできます。
- 本製品の液晶ディスプレイにインターネット接続に関する情報が表示された場合、その情報をお読みになり、[OK]を押してください。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報をお読みになり、[OK]を押します。

4. アップロード先のアカウントを保持しているサービスを選択します。
5. アカウント名を選択します。
6. 画面の指示に従って、この操作を完了します。

✓ 関連情報

- [クラウド接続機能](#)

写真や文書をダウンロードして印刷する

Web サービスにアップロードされている写真や文書を、本製品に直接ダウンロードして印刷することができます。他のユーザーがアップロードした共有の写真や文書は、閲覧権限を持っていれば本製品にダウンロードして印刷することができます。

1. フリックし、[クラウド]を表示します。
2. [クラウド]を押します。



- 本製品の液晶ディスプレイにインターネット接続に関する情報が表示された場合、その情報をお読みになり、[OK]を押してください。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報をお読みになり、[OK]を押します。

3. ダウンロードして印刷する文書のホストサービスを選択します。
4. PIN 入力画面が表示された場合は、4桁のPINを入力して、[OK]を押します。



サービスにより、リストからアカウント名を選択する必要がある場合があります。

5. [ダウンロードして印刷]を押します。
6. 使用するアルバムを選択します。アルバムに文書を保存する必要のないサービスもあります。アルバムに保存されていない文書の場合は、[未分類のファイルを表示]を選択し、文書を選択します。



アルバムは画像の集まりです。実際の用語は、利用するサービスにより異なる場合があります。Evernote®をご利用の場合は、ノートブックを選択し、次にノートを選択します。

7. 印刷する文書のサムネイルを選択します。液晶ディスプレイに表示される文書を確認して、[OK]を押します。さらに印刷する文書を選択します（最大 10 個の文書が選択可能です）。
8. 完了したら、[OK]を押します。
9. 画面の指示に従って、この操作を完了します。

✓ 関連情報

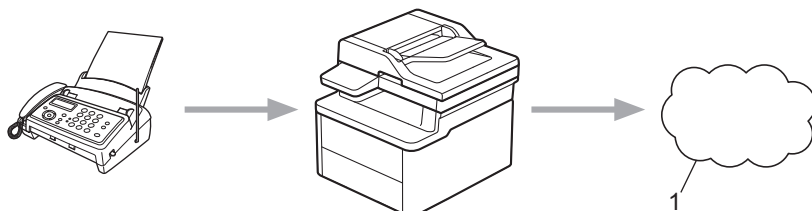
- [クラウド接続機能](#)

関連トピック：

- [本製品にテキストを入力するには](#)

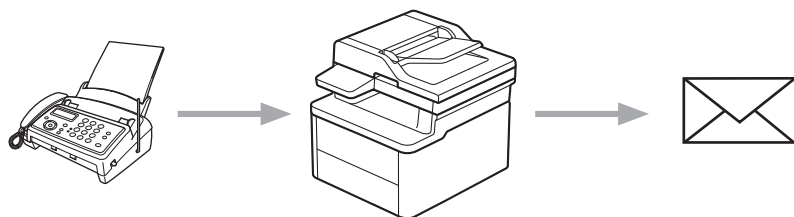
ファクスクラウド/Eメール転送

- ファクスクラウド転送機能を使用して、受信ファクスを、利用可能なオンラインサービスのアカウントへ自動的に転送します。



1. ウェブサービス

- Eメール転送機能を使用して、受信ファクスをEメールの添付ファイルとして、受信ボックスへ自動的に転送します。



- セキュリティ機能ロック（特定モデルのみ対応）を有効にしたことでアプリやファクス受信が制限されたユーザーの場合、受信ファクスのアップロードはできません。
- 転送できるのは、モノクロファクスのみです。
- ファクスクラウド転送機能をオンにする場合、以下のオプションは使用できません。
 - [ファクス転送]
 - [メモリ保持のみ]
 - [PC ファクス受信]
 - [ファクス ネットワーク転送]
- 受信したファクスが本製品のメモリーに残っている場合、ファクス転送機能をオフにできません。

- フリックし、[お役立ちツール]を表示します。
- [お役立ちツール]を押します。



- 本製品の液晶ディスプレイにインターネット接続に関する情報が表示された場合、その情報をお読みになり、[OK]を押してください。この情報を再表示する場合は、[はい]を押します。
- クラウド接続機能についての更新やお知らせが、画面に表示されることがあります。表示された情報をお読みになり、[OK]を押します。

- [ファクスクラウド転送]を選択します。



- [ファクスクラウド転送]に関する情報が表示された場合は、その情報をお読みになり、[OK]を押します。

- [オン]を押します。
- [クラウドサービスへ転送]または[メールで転送]を押します。
 - [クラウドサービスへ転送]を選択した場合は、ファクスを転送したいウェブサービスを選択して、自分のアカウント名を指定します。
 - [メールで転送]を選択した場合、ファクスを受信するEメールアドレスを入力します。
- 画面の指示に従って、この操作を完了します。



関連情報

- クラウド接続機能

AirPrint

- [AirPrint の概要](#)
- [AirPrint を使用する前に \(macOS\)](#)
- [AirPrint を使用して印刷する](#)
- [AirPrint を使用してスキャンを行う \(macOS\)](#)
- [AirPrint を使用してファクス送信を行う \(macOS\)](#)

AirPrint の概要

AirPrint は、ドライバーをインストールすることなく、お使いの iPad、iPhone、iPod touch、および Mac パソコンから写真、E メール、ウェブページ、および文書をワイヤレスで印刷することを可能にする、Apple 社の OS 用の印刷ソリューションです。

AirPrint ではさらに、原稿を印刷せずに、お使いの Mac パソコンから直接ファクスを送信したり、お使いの Mac パソコンに原稿をスキャンしたりすることができます。

詳細については、Apple のウェブサイト参照してください。

Works with Apple バッジを使用するということは、その機能が、バッジで特定された技術で動作するように設計され、Apple のパフォーマンス基準を満たすように開発者に認定されていることを意味します。



✓ 関連情報

- [AirPrint](#)

AirPrint を使用する前に (macOS)

macOS を使用して印刷を行う前に、本製品を Mac パソコンのプリンター一覧に追加してください。

1. アップルメニューから**システム設定**を選択します。
2. **プリンタとスキャナ**を選択します。
3. **プリンタ、スキャナ、またはファクスを追加...**をクリックします。
プリンタを追加画面が表示されます。
4. 本製品を選択して、**ドライバポップアップメニュー**から、お使いのモデル名を選択します。
5. **追加**をクリックします。

✓ 関連情報



- [AirPrint](#)

AirPrint を使用して印刷する

- iPad、iPhone、または iPod touch から印刷する
- AirPrint を使用して印刷を行う (macOS)

iPad、iPhone、または iPod touch から印刷する

印刷手順はアプリケーションによって異なる場合があります。以下の例では Safari を使用します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. 用紙トレイに用紙をセットし、本製品の用紙トレイ設定を変更します。
3. 印刷するページを Safari で開きます。
4.  または  をタップします。
5. **プリント** をタップします。
6. 本製品が選択されていることを確認します。
7. 別の製品が選択されている場合や、本製品が選択されていない場合は、**プリンタ** をタップします。利用可能な製品の一覧が表示されます。
8. 一覧で本製品の名前をタップします。
9. 印刷枚数、両面印刷（本製品が対応している場合）など、必要なオプションを選択します。
10. **プリント** をタップします。

関連情報

- [AirPrint を使用して印刷する](#)

AirPrint を使用して印刷を行う (macOS)

印刷の手順は、アプリケーションによって異なります。ここでは、Safari で閲覧しているウェブページの印刷手順を例にして説明します。印刷する前に、Mac のプリンターリストに本製品が追加されていることを確認してください。

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. 用紙トレイに用紙をセットし、本製品の用紙トレイ設定を変更します。
3. お使いの Mac で、印刷するページを Safari で開きます。
4. **ファイル**メニューをクリックし、**プリント**を選択します。
5. 本製品が選択されていることを確認します。別の製品が選択されている場合や、本製品が選択されていない場合は、**プリンタ**のポップアップメニューをクリックし、本製品を選択します。
6. 印刷枚数や両面印刷（本製品が対応している場合）などを必要に応じて設定します。
7. **プリント** をクリックします。

✓ 関連情報

- [AirPrint を使用して印刷する](#)

関連トピック：

- [AirPrint を使用する前に \(macOS\)](#)

AirPrint を使用してスキャンを行う (macOS)

スキャンする前に、Mac のスキャナーリストに本製品が追加されていることを確認してください。

1. 原稿をセットします。
2. アップルメニューから**システム設定**を選択します。
3. **プリンタとスキャナ**を選択します。
4. スキャナーリストから本製品を選択します。
5. **スキャナを開く...ボタン**をクリックします。
スキャナー画面が表示されます。
6. ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットした場合は、**書類フィーダを使用**チェックボックスを選択し、ポップアップメニューからスキャンサイズを選択します。
7. 保存先設定ポップアップメニューで、保存先フォルダーまたはアプリケーションを選択します。
8. 必要に応じて、**詳細情報を表示**をクリックし、スキャン設定を変更します。
原稿台ガラスからスキャンした場合は、スキャンしたい部分にマウスポインタをドラッグして、画像をトリミングすることができます。
9. **スキャン**をクリックします。

✓ 関連情報

- [AirPrint](#)

関連トピック :

- [AirPrint を使用する前に \(macOS\)](#)

AirPrint を使用してファクス送信を行う (macOS)

本製品がお使いの Mac のプリンターリストに表示されていることを確認してください。以下の手順は、テキストエディットを例にして説明しています。



AirPrint はモノクロのファクス原稿のみに対応しています。

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. Mac で、ファクスとして送信したいファイルを開きます。
3. **ファイル**をクリックして、**プリント**を選択します。
4. **プリンタ**のポップアップメニューをクリックして、名前に **Fax** が含まれるお使いのモデルを選択します。
5. 宛先などのファクス情報を入力します。
6. **ファクス** をクリックします。



関連情報

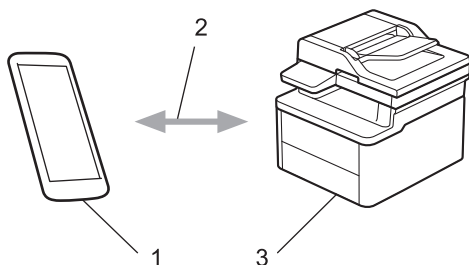
- [AirPrint](#)

関連トピック :

- [AirPrint を使用する前に \(macOS\)](#)

Mopria™ Print Service および Mopria™ Scan

Mopria™ Print Service と Mopria™ Scan はそれぞれ、Mopria Alliance™が開発した Android™モバイル端末用の印刷機能とスキャン機能です。このサービスを使うことによって、追加の設定をしなくても本製品と同じネットワークに接続し、印刷やスキャンを行うことができます。



1. Android™モバイル端末
2. Wi-Fi®接続
3. 本製品

Google Play™から Mopria™ Print Service または Mopria™ Scan をダウンロードして、お使いの Android™端末にインストールする必要があります。これらの Mopria™機能を使用する前に、お使いのモバイル端末でこれらの機能が有効になっていることを確認してください。

Mopria™ Print Service と Mopria™ Scan の詳細については、<https://www.mopria.org> をご覧ください。

✓ 関連情報

- モバイルクラウド接続

Brother Mobile Connect

Brother Mobile Connect を使用して、モバイル端末から印刷とスキャンを行います。

- Android™ 端末の場合：

Brother Mobile Connect を使用すると、お使いの Android™ 端末から直接本製品の機能を使用できます。

Google Play™ から Brother Mobile Connect をダウンロードしてインストールします。

- iPhone、iPad、iPod touch を含む iOS または iPadOS 対応のすべての機器の場合：

Brother Mobile Connect を使用すると、お使いの iOS または iPadOS 機器から直接本製品の機能を使用できます。

App Store から、Brother Mobile Connect をダウンロードしてインストールします。

✓ 関連情報

- [モバイルクラウド接続](#)

関連トピック：

- [Brother iPrint&Scan へのアクセス \(Windows/Mac\)](#)

▲ホーム > トラブルシューティング

■ トラブルシューティング

最新のよくある質問とトラブルシューティングのヒントについては、support.brother.co.jp でご確認ください。

日常のお手入れ

- 消耗品を交換する
- 製品の清掃
- 画質を補正する
- 部品の残りの寿命を確認する
- Brother iPrint&Scan を使用して本製品の状態を確認する (Windows/Mac)
- 本製品の情報を確認する
- 本製品のファームウェアをアップデートする
- 本製品を初期状態に戻す
- 本製品を梱包して輸送する

消耗品を交換する

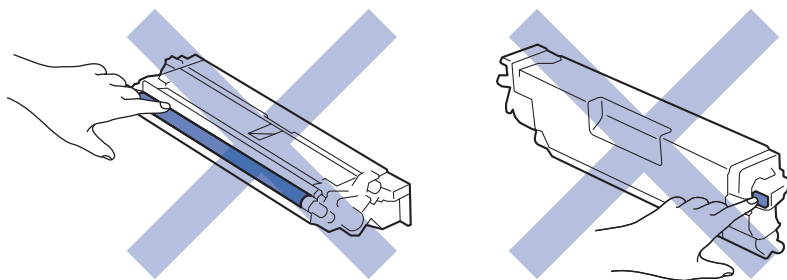
本製品が消耗品の寿命が来たことを示している場合、消耗品を交換しなければなりません。

トナーカートリッジとドラムユニットは、それぞれ別の消耗品となります。これらは1つのセットとして取り付けてください。消耗品の型番は国により異なります。

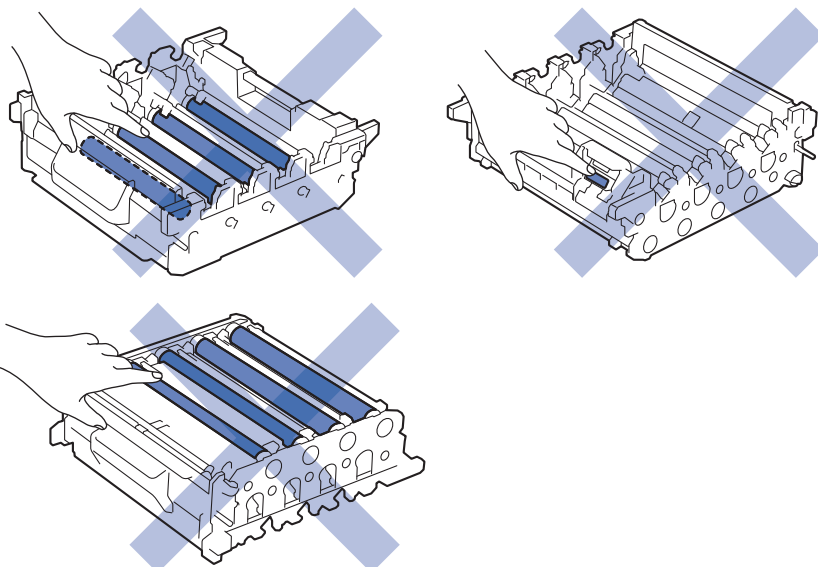
重要

印刷品質の問題を回避するため、イラストで色のついている部分には絶対に触れないでください。

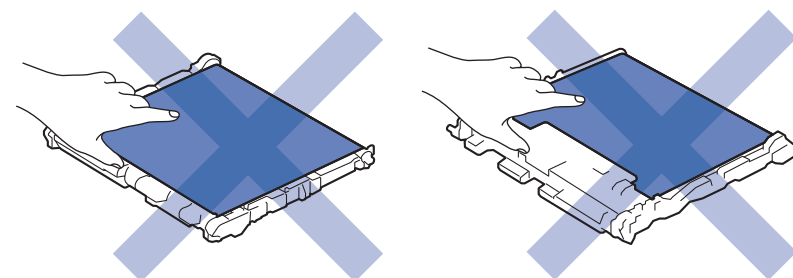
トナーカートリッジ



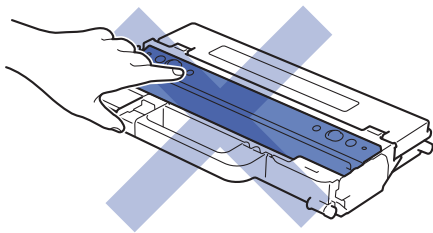
ドラムユニット



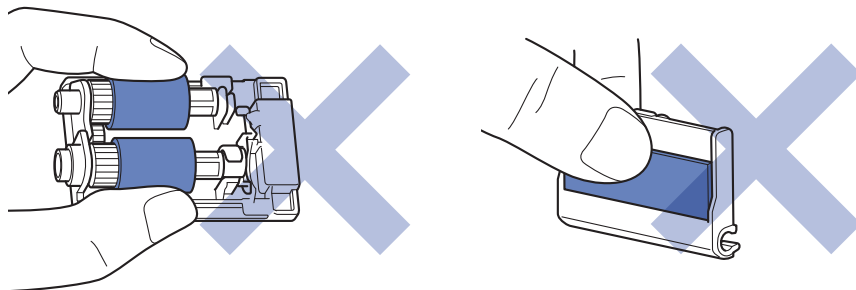
ベルトユニット



廃トナーボックス



多目的 (MP) トレイの PF キット



お願い

- 必ず、使用済みの消耗品を袋に入れ、しっかりと封をして、トナーの粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。
- 誤って中身をこぼしたりまき散らしたりしてしまうことがないように、新品の消耗品と使用済み消耗品にはそれぞれ紙を貼付して保管することをお勧めしています。
- 推奨される印刷メディア以外の用紙を使用すると、消耗品や本体部品の寿命が短くなることがあります。
- 各トナーカートリッジの一般的な寿命は、ISO/IEC 19798 に準拠しています。交換頻度は印刷量、印刷範囲、使用している印刷メディア、製品電源をオン/オフする回数により異なります。
- トナーカートリッジ以外の消耗品の交換頻度は、印刷量、使用している印刷メディア、製品電源をオン/オフする回数により異なります。
- トナーカートリッジは慎重にお取り扱いください。トナーが手や洋服に付着した場合は、直ちに拭き取るか、冷水で洗い流してください。



- 廃トナーボックスは逆さまにしないでください。トナーがこぼれることがあります。
- トナーカートリッジやドラムユニットの IC チップ表面には触れないでください。汚れや傷がつくと、各ユニットの検出に支障をきたすことがあります。



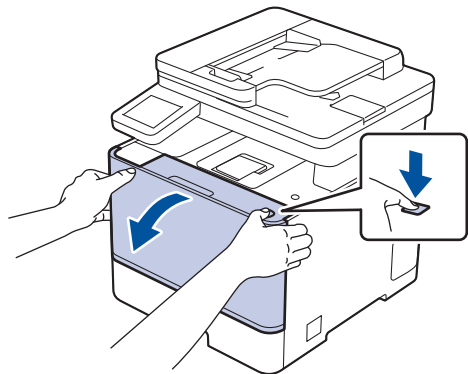
関連情報

- 日常のお手入れ
 - トナーカートリッジを交換する
 - ドラムユニットを交換する
 - ベルトユニットを交換する
 - 廃トナーボックスを交換する
 - 定着ユニットを交換する
 - 多目的 (MP) トレイの PF キットを交換する

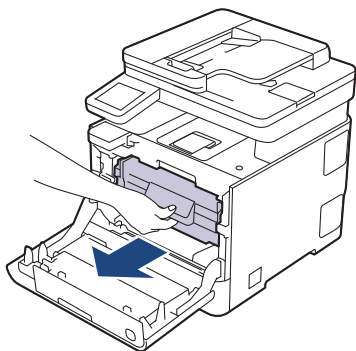
トナーカートリッジを交換する

交換手順を開始する前に「関連情報」をご覧ください：消耗品を交換する

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開きます。



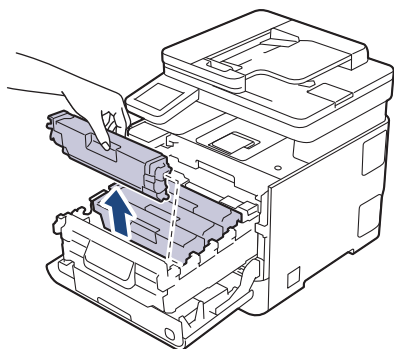
3. ドラムユニットの緑色のハンドルを持ちます。ドラムユニットを止まるまで引き出します。



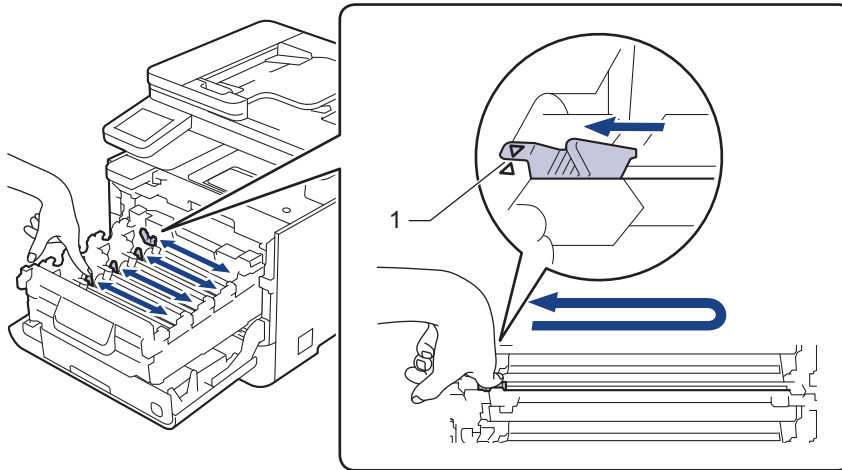
重要

誤ってトナーがこぼれたり飛び散ったりする可能性があるため、トナーカートリッジとドラムユニットは、何も無い平らな場所に使い捨ての紙を敷き、その上に置くことをお勧めします。

4. トナーカートリッジのハンドルを持ち、トナーカートリッジをドラムユニットから引き出します。すべてのトナーカートリッジに対してこの手順を繰り返します。

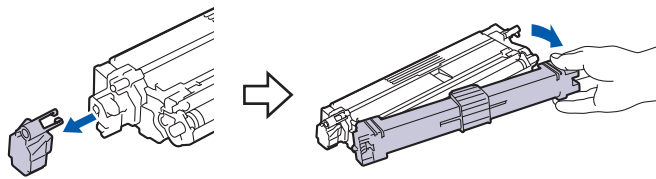


5. 緑色のタブを左右に数回ゆっくりと滑らせて、ドラムユニット内側のコロナワイヤーを清掃します。すべてのコロナワイヤーに対してこの手順を繰り返します。

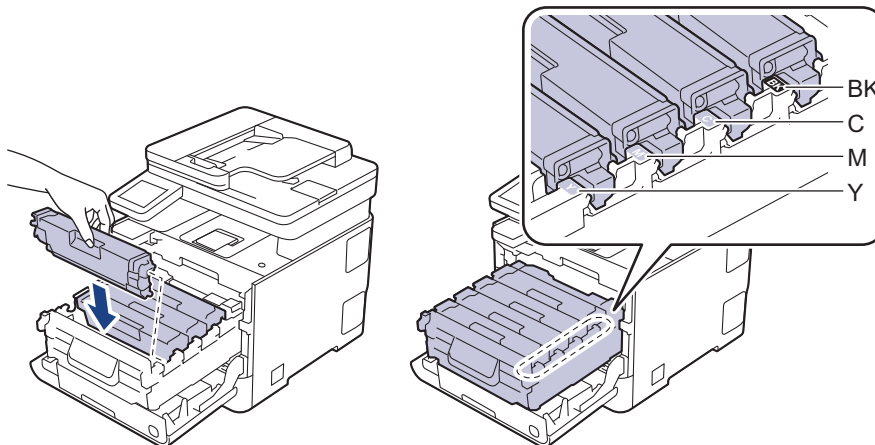


印刷品質が低下するのを防ぐため、緑色のタブをホームポジション(1)にロックし、タブの左側がドラムユニットの左側と揃うように合わせます。

6. 新しいトナーカートリッジを開封します。
7. 保護資材を取り除きます。



8. トナーカートリッジをドラムユニットに差し込みます。トナーカートリッジの色をドラムユニットの同じ色のラベルと合わせてください。すべてのトナーカートリッジに対してこの手順を繰り返します。

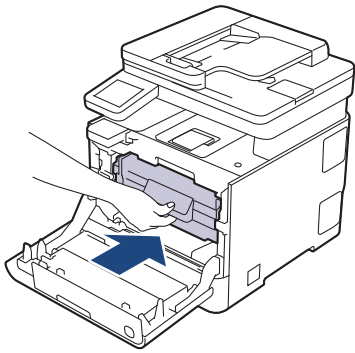


- BK: ブラック
- C: シアン
- M: マゼンタ
- Y: イエロー



トナーカートリッジが正しく差し込まれたことを確認しないと、ドラムユニットから外れる場合があります。

9. 緑色のハンドルを使用して、ドラムユニットを所定の位置にロックされるまで押し込みます。



10. 本製品のフロントカバーを閉じます。



- トナーカートリッジの交換後は、本製品の表示が待機モードに戻るまで、本製品の電源を切ったりフロントカバーを開けたりしないでください。
- 本製品に付属するトナーカートリッジはスタータートナーカートリッジです。
- トナー残量が少ないことを知らせる警告が表示されたら、新しいトナーカートリッジを用意しておくことをお勧めします。
- 必ず、装着する準備が完了してから新しいトナーカートリッジを開封してください。
- トナーカートリッジを長期間開封したまま置いておくと、トナーの使用可能期間が短くなります。
- 安定した印刷品質と性能を確保するために、ブラザー純正品のご使用をお勧めします。すべての非純正品が品質の問題を引き起こすわけではありませんが、一部の非純正品が印刷品質に悪影響を与えたり、製品の故障の原因になったりする可能性があります。非純正品による故障が証明された場合、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。



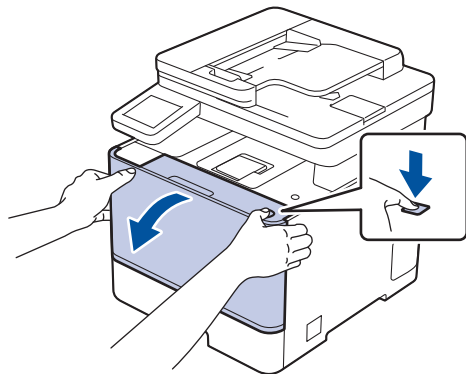
関連情報

- [消耗品を交換する](#)

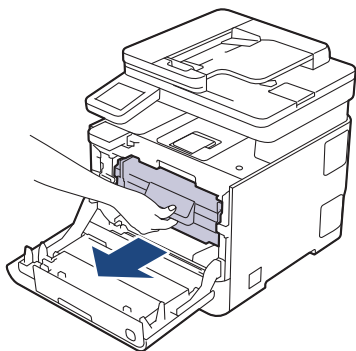
ドラムユニットを交換する

交換手順を開始する前に「関連情報」をご覧ください：消耗品を交換する

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開きます。



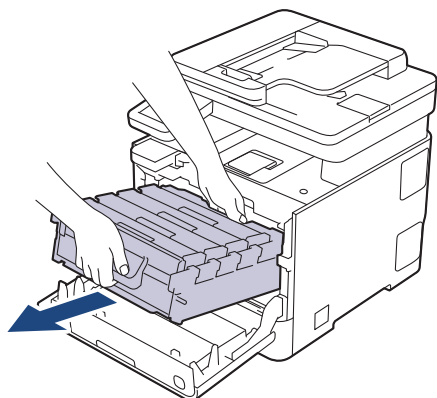
3. ドラムユニットの緑色のハンドルを持ちます。ドラムユニットを止まるまで引き出します。



重要

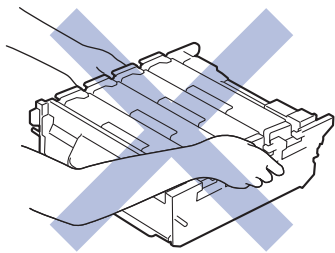
誤ってトナーがこぼれたり飛び散ったりする可能性があるため、トナーカートリッジとドラムユニットは、何も無い平らな場所に使い捨ての紙を敷き、その上に置くことをお勧めします。

4. ドラムユニットの緑色のハンドルを持ち、ドラムユニットの前面を持ち上げ、本製品から取り外します。

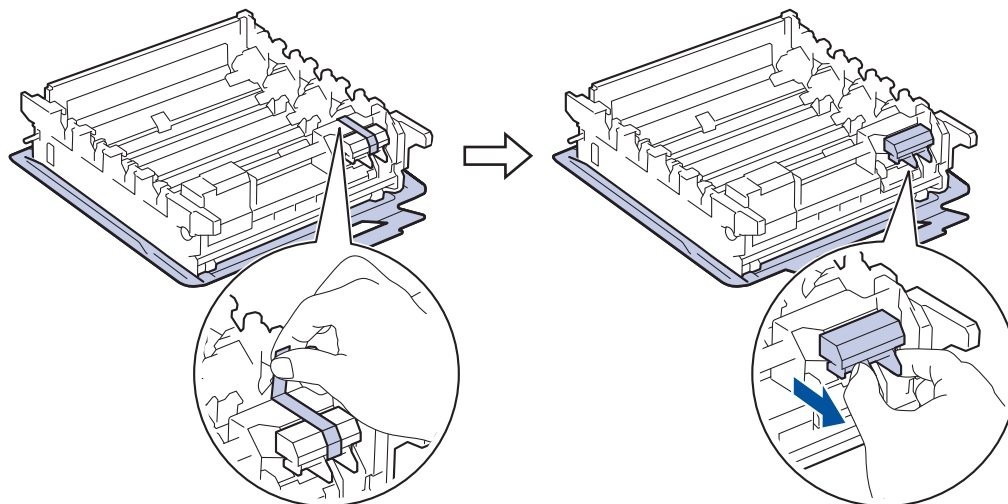


重要

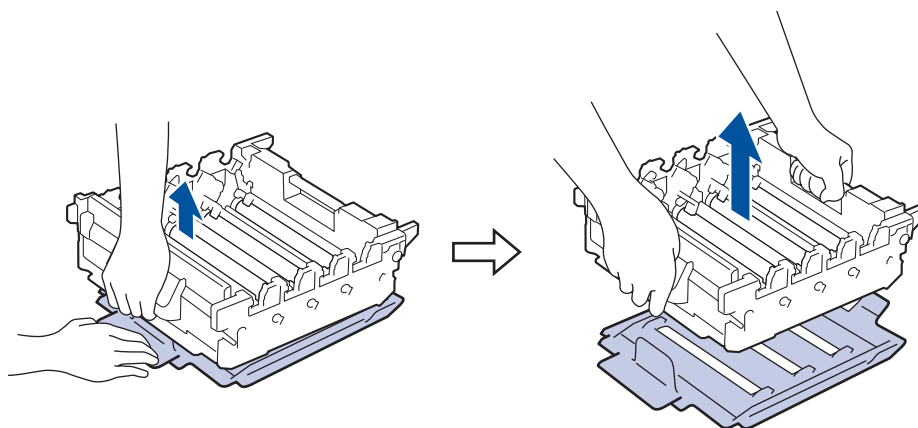
持ち運ぶときはドラムユニットのハンドルを持ちます。ドラムユニットの側面を持たないでください。



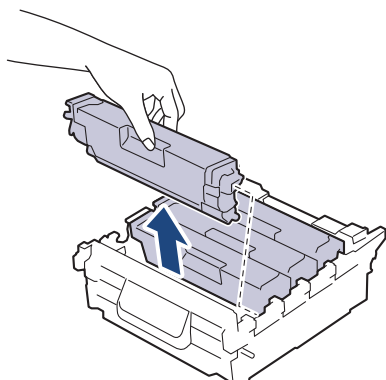
5. 新しいドラムユニットを開封します。
6. ドラムユニットの背面から青色のテープを剥がし、保護カバーを取り外します。



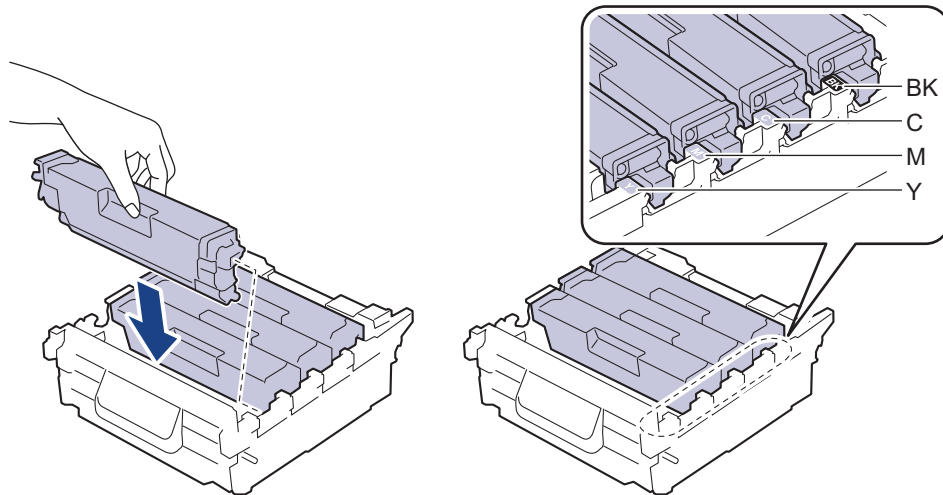
7. ドラムユニットの下にある保護カバーを取り外します。



8. トナーカートリッジのハンドルを持ち、トナーカートリッジをドラムユニットから引き出します。すべてのトナーカートリッジに対してこの手順を繰り返します。



9. トナーカートリッジを新しいドラムユニットに取り付けます。トナーカートリッジの色をドラムユニットの同じ色のラベルと合わせてください。すべてのトナーカートリッジに対してこの手順を繰り返します。

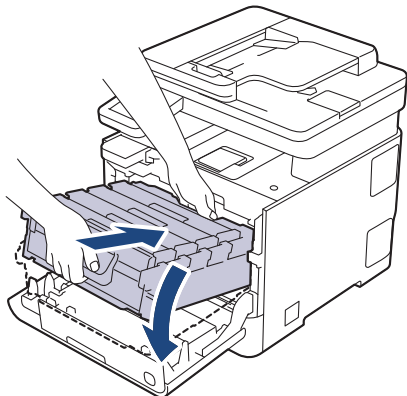


- BK: ブラック
- C: シアン
- M: マゼンタ
- Y: イエロー

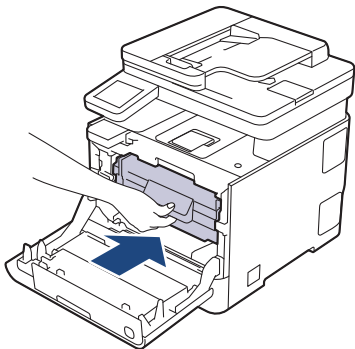


トナーカートリッジが正しく差し込まれたことを確認しないと、ドラムユニットから外れる場合があります。

10. ドラムユニットを止まるまでゆっくりと本製品にスライドさせます。



11. 緑色のハンドルを使用して、ドラムユニットを所定の位置にロックされるまで押し込みます。



12. 本製品のフロントカバーを閉じます。

お願い

- ドラムは回転や、紙やトナー、その他の排紙で使用される資材との摩擦などにより磨耗します。本製品を設計する際に、ドラムの寿命決定要因の1つであるドラム回転数を決定しました。ドラムが工場の設定し

た最大回転数（印刷枚数に対応）に達すると、液晶ディスプレイにドラムを交換することを促すメッセージが表示されます。製品は引き続き動作しますが、印字品質が落ちる可能性があります。

- ドラムユニットを開封したまま直射日光の当たる場所（または人工照明の当たる場所に長期間）置いておくと、ユニットが損傷する可能性があります。
- 実際のドラム寿命は製品が使用されている環境の温度や湿度、用紙やトナーの種類などさまざまな原因により異なります。理想的な条件下では、平均的なドラム寿命は次のようになります。
 - 1回に1ページ印刷する場合：約 30,000 ページ（A4 またはレターの片面ページ）
 - 1回に3ページ印刷する場合：約 50,000 ページ（A4 またはレターの片面ページ）

印刷可能枚数は、用紙の種類やサイズなどによって異なります。

弊社は実際のドラムの寿命を決定するこれらの原因を特定できないため、ドラムにより印刷される最低枚数を保証することはできません。

- 本製品は十分な換気設備のある、清潔で埃のない環境でのみ使用してください。

安定した印刷品質と性能を確保するために、ブラザー純正品のご使用をお勧めします。すべての非純正品が品質の問題を引き起こすわけではありませんが、一部の非純正品が印刷品質に悪影響を与えたり、製品の故障の原因になったりする可能性があります。非純正品による故障が証明された場合、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。

関連情報

- [消耗品を交換する](#)
-

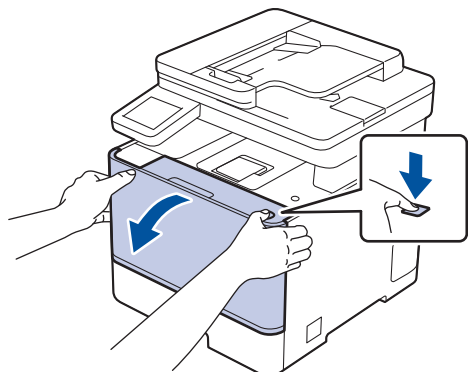
ベルトユニットを交換する

交換手順を開始する前に「関連情報」をご覧ください：消耗品を交換する

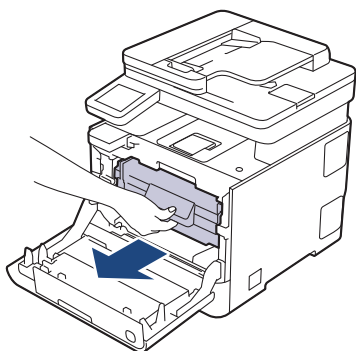
- >> ベルトユニットを交換する
- >> ベルトユニットカウンターをリセットする

ベルトユニットを交換する

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開きます。



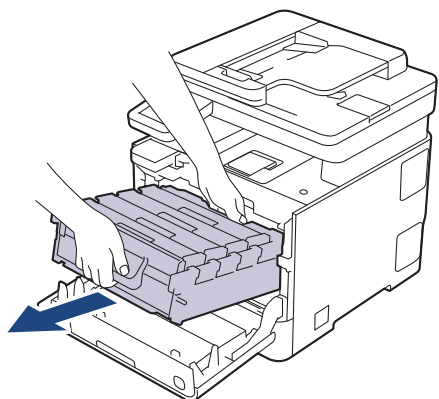
3. ドラムユニットの緑色のハンドルを持ちます。ドラムユニットを止まるまで引き出します。



重要

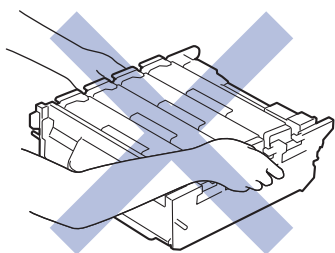
誤ってトナーがこぼれたり飛び散ったりする可能性があるため、トナーカートリッジとドラムユニットは、何も無い平らな場所に使い捨ての紙を敷き、その上に置くことをお勧めします。

4. ドラムユニットの緑色のハンドルを持ち、ドラムユニットの前面を持ち上げ、本製品から取り外します。

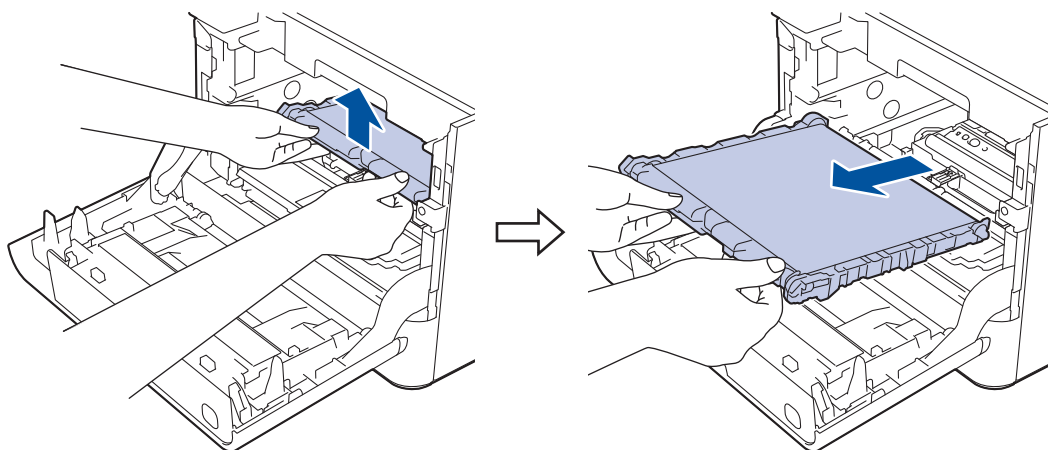


重要

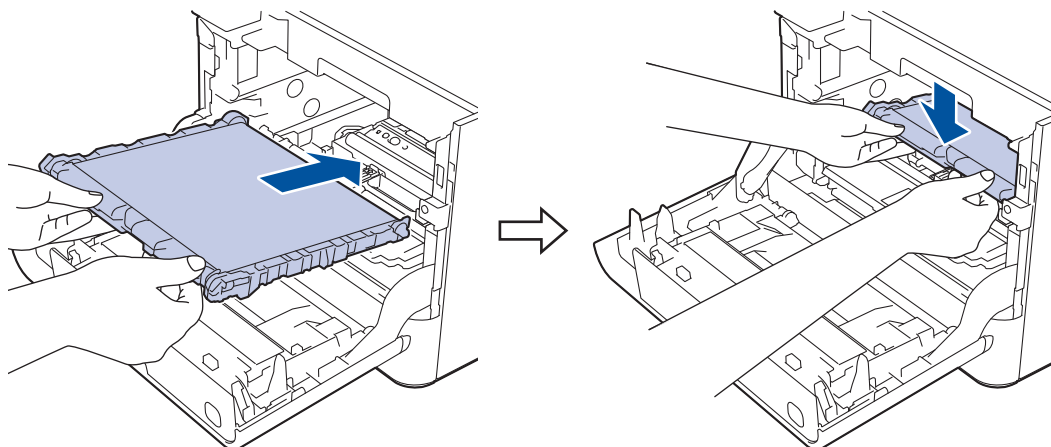
持ち運ぶときはドラムユニットのハンドルを持ちます。ドラムユニットの側面を持たないでください。



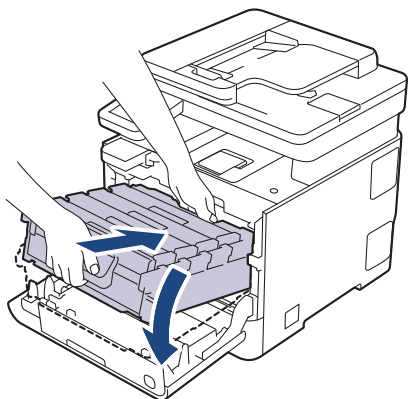
5. ベルトユニットのハンドルを両手で持ち、ベルトユニットを持ち上げて引き出します。



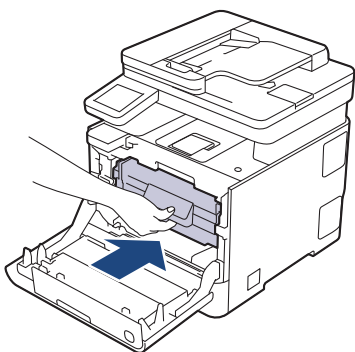
6. 新しいベルトユニットを開梱し、本製品に取り付けます。ベルトユニットが水平で、しっかりと所定の位置に収まっていることを確認します。



7. ドラムユニットを止まるまでゆっくりと本製品にスライドさせます。




8. 緑色のハンドルを使用して、ドラムユニットを所定の位置にロックされるまで押し込みます。



9. 本製品のフロントカバーを閉じます。

ベルトユニットカウンターをリセットする

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2.  (トナー) を約 5 秒間長押しします。
3. [ベルト 寿命] を押します。
4. [はい] を押します。

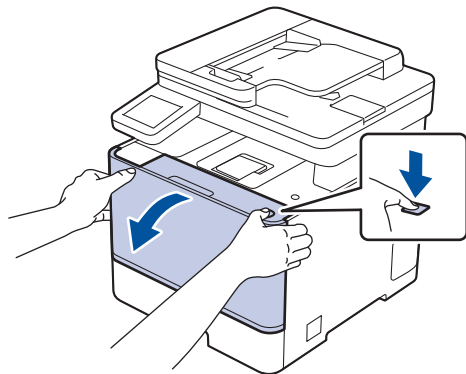
✓ 関連情報

- [消耗品を交換する](#)

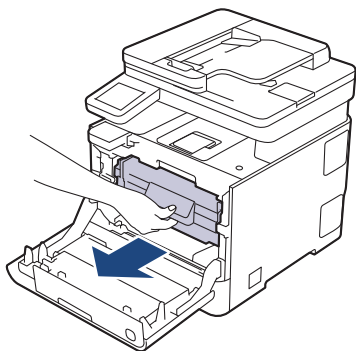
廃トナーボックスを交換する

交換手順を開始する前に「関連情報」をご覧ください：消耗品を交換する

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開きます。



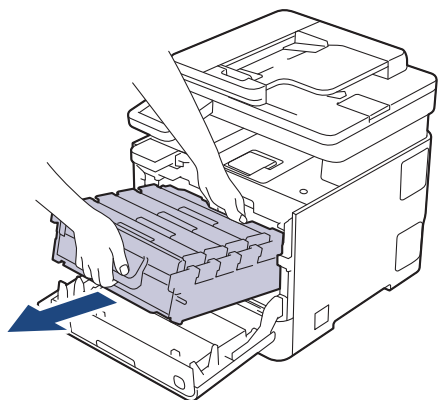
3. ドラムユニットの緑色のハンドルを持ちます。ドラムユニットを止まるまで引き出します。



重要

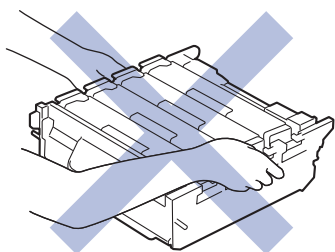
誤ってトナーがこぼれたり飛び散ったりする可能性があるため、トナーカートリッジとドラムユニットは、何も無い平らな場所に使い捨ての紙を敷き、その上に置くことをお勧めします。

4. ドラムユニットの緑色のハンドルを持ち、ドラムユニットの前面を持ち上げ、本製品から取り外します。

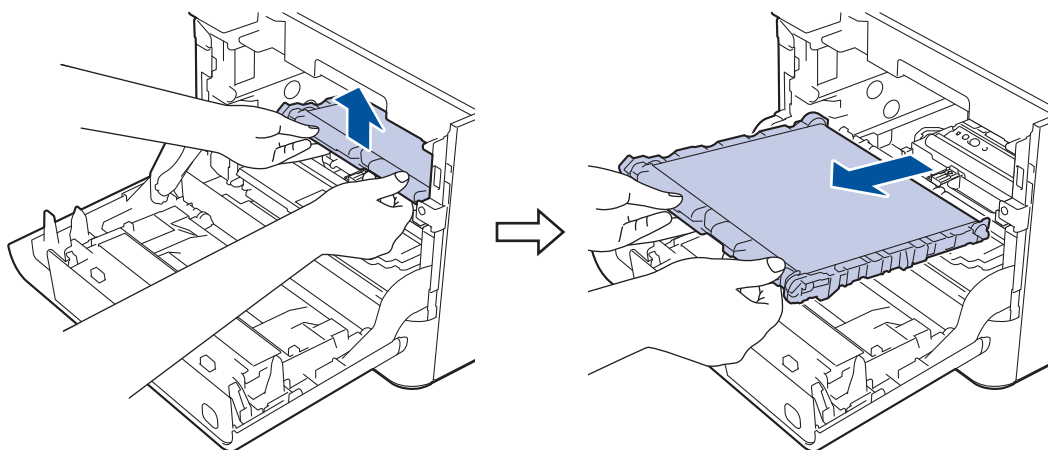


重要

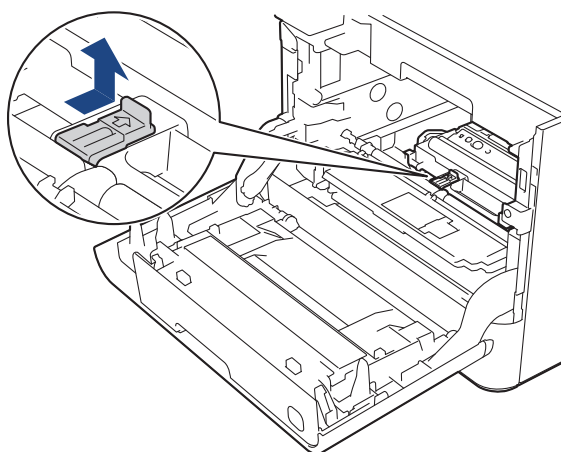
持ち運ぶときはドラムユニットのハンドルを持ちます。ドラムユニットの側面を持たないでください。



5. ベルトユニットのハンドルを両手で持ち、ベルトユニットを持ち上げて引き出します。

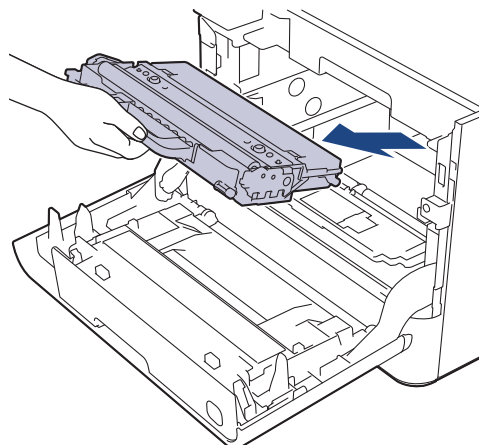


6. オレンジ色の梱包材を取り外します。



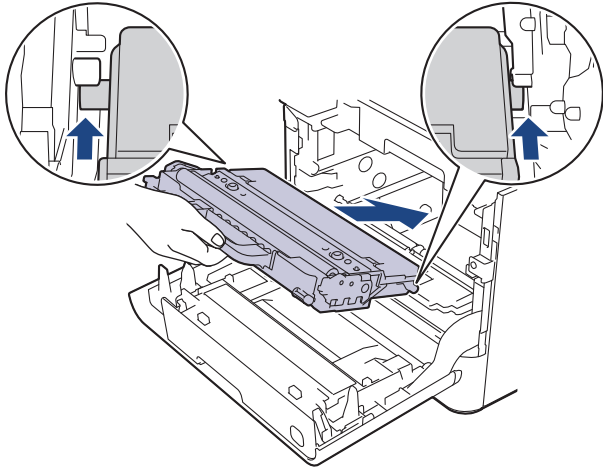
この手順は、廃トナーボックスを初めて交換する場合のみ必要です。

7. 廃トナーボックスの緑色のハンドルを持ち、廃トナーボックスを本製品から取り外します。



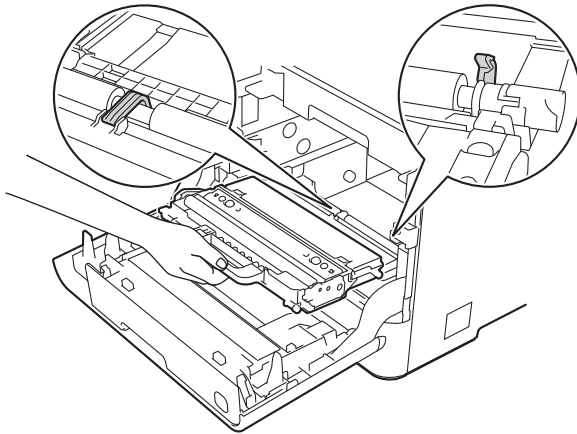
廃トナーボックスを再利用しないでください。

8. 新しい廃トナーボックスを開梱し、緑色のハンドルを使用して新しい廃トナーボックスを本製品に取り付けます。廃トナーボックスが水平で、しっかりと所定の位置に収まっていることを確認します。



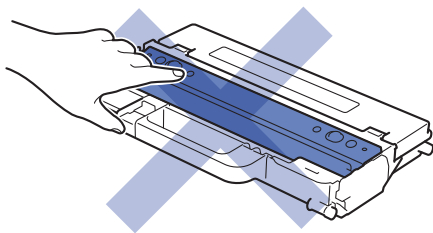
重要

クリップを破損しないように、廃トナーボックスをクリップに当たらないように差し込んでください。

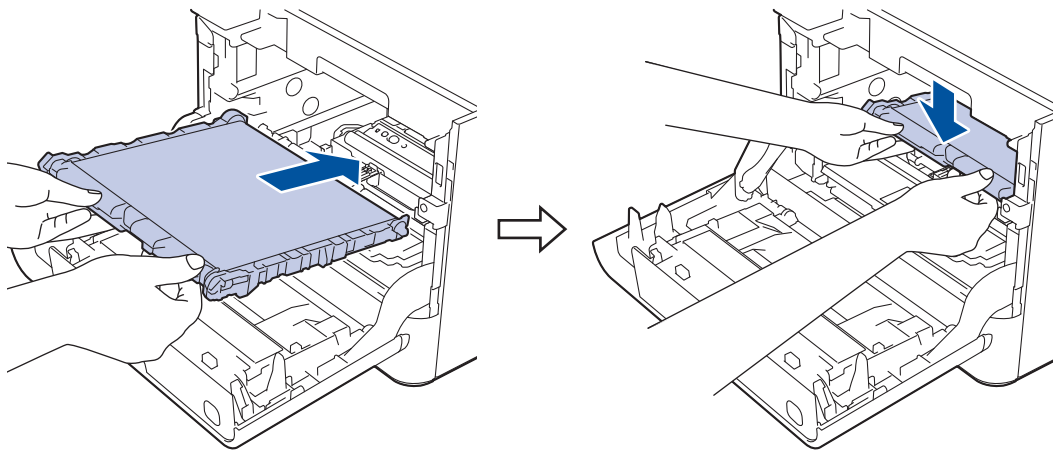


お願い

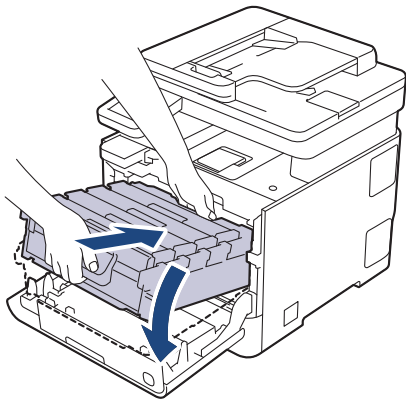
印刷品質の問題を回避するため、イラストで色のついている部分には絶対に触れないでください。



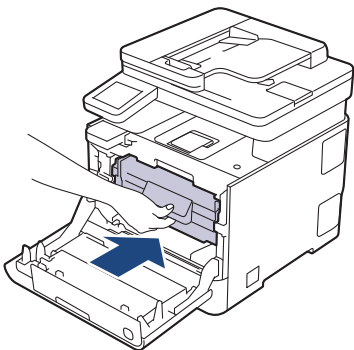
9. ベルトユニットを製品に戻してスライドさせます。ベルトユニットが水平で、しっかりと所定の位置に収まっていることを確認します。



10. ドラムユニットを止まるまでゆっくりと本製品にスライドさせます。



11. 緑色のハンドルを使用して、ドラムユニットを所定の位置にロックされるまで押し込みます。



12. 本製品のフロントカバーを閉じます。

✓ 関連情報


- [消耗品を交換する](#)

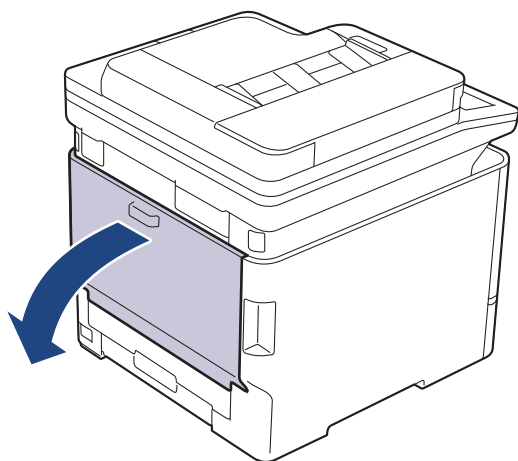
定着ユニットを交換する

交換手順を開始する前に「関連情報」をご覧ください：消耗品を交換する

- >> 定着ユニットを交換する
- >> 定着ユニットカウンターをリセットする

定着ユニットを交換する

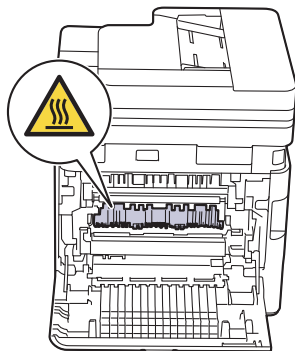
1.  を長押しして本製品の電源を切ります。
2. 電源コードを電源コンセントから抜きます。
3. バックカバーを開きます。



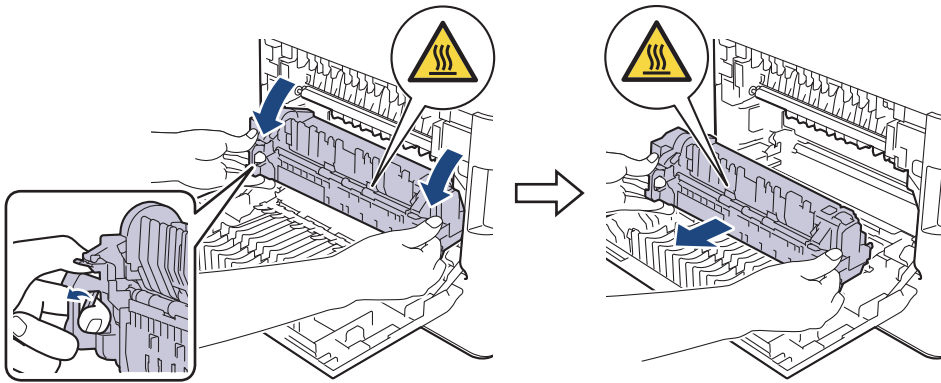
警告

高温注意

本製品の内部部品は非常に高温になります。本製品の温度が下がるまで手を触れないでください。

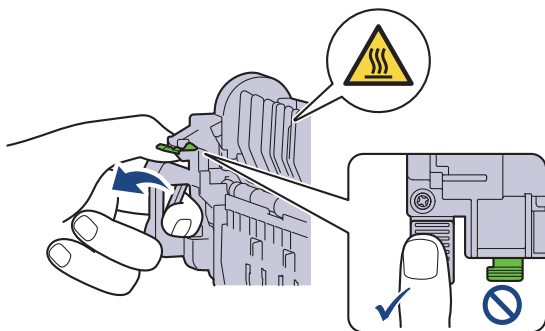


4. 両側のハンドルを持ち、定着ユニットの灰色のレバーを握り、下方向に引きます。定着ユニットを下方向に押し、本体から引き出します。

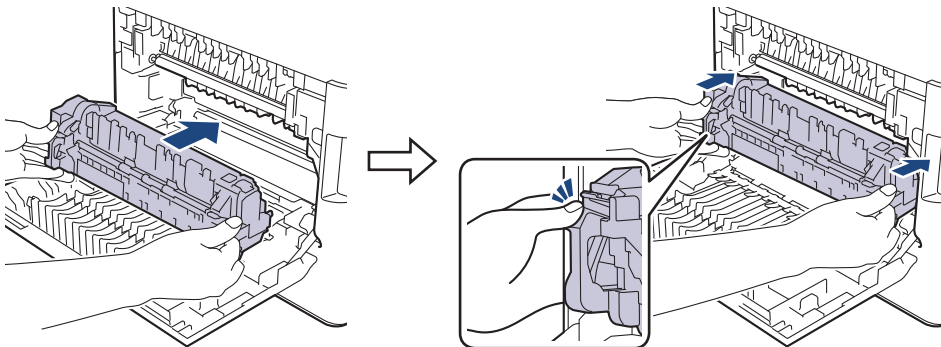


お願い

緑色のタブを下方向に引かないでください。




5. 新しい定着ユニットを袋から取り出します。
6. 新しい定着ユニットを本体にしっかりと押し込みます。定着ユニットを本体に完全に差し込んでください。




重要

定着ユニットを落とした場合は使用しないでください。

7. バックカバーが閉位置に固定されるまで完全に閉じます。
8. 電源コードを接続し、を押して本製品の電源を入れます。

定着ユニットカウンターをリセットする

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2.  (トナー) を約5秒間長押しします。
3. [ヒーター 寿命]を押します。
4. [はい]を押します。



関連情報

- 消耗品を交換する


多目的 (MP) トレイの PF キットを交換する

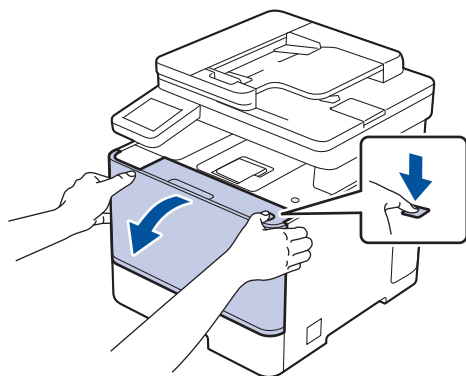
交換手順を開始する前に「関連情報」をご覧ください：消耗品を交換する

>> 多目的 (MP) トレイの PF キットを交換する

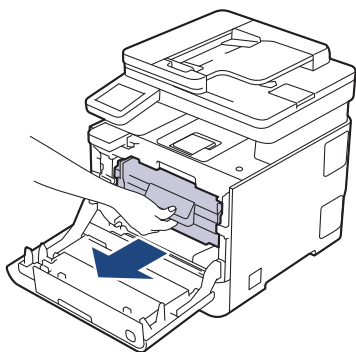
>> 多目的 (MP) トレイカウンターの PF キットをリセットする

多目的 (MP) トレイの PF キットを交換する

1.  を長押しして本製品の電源を切ります。
2. 電源コードを電源コンセントから抜きます。
3. フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開きます。



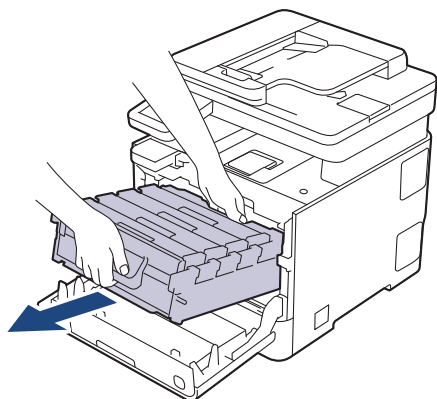
4. ドラムユニットの緑色のハンドルを持ちます。ドラムユニットを止まるまで引き出します。



重要

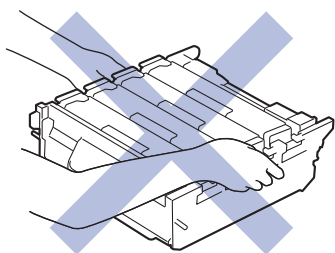
誤ってトナーがこぼれたり飛び散ったりする可能性があるため、トナーカートリッジとドラムユニットは、何もない平らな場所に使い捨ての紙を敷き、その上に置くことをお勧めします。

5. ドラムユニットの緑色のハンドルを持ち、ドラムユニットの前面を持ち上げ、本製品から取り外します。

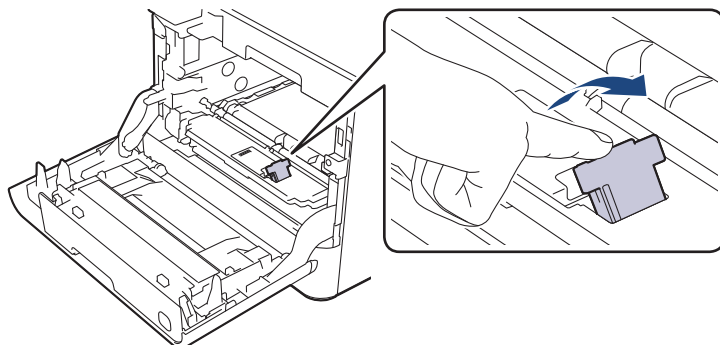


重要

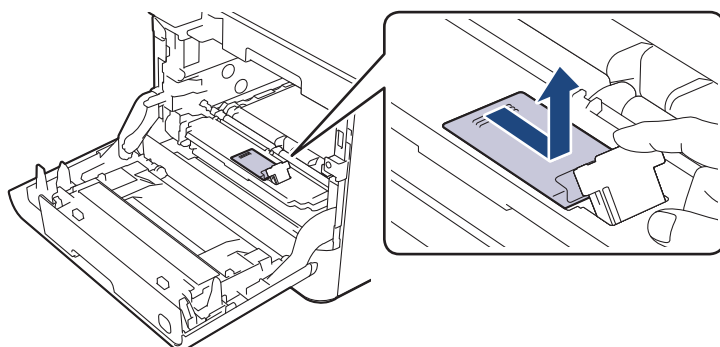
持ち運ぶときはドラムユニットのハンドルを持ちます。ドラムユニットの側面を持たないでください。



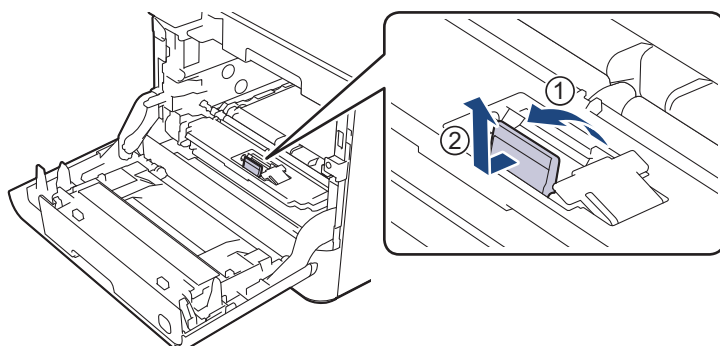
6. MP ローラーホルダーストッパーを上げます。



7. MP ローラーホルダーを右にスライドさせてから取り外します。

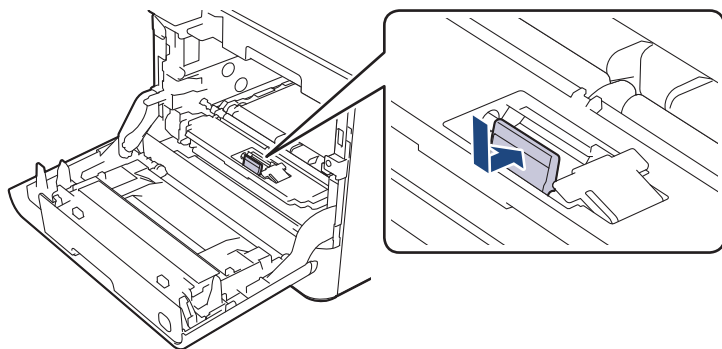


8. MP 分離パッドを起こしてから、まっすぐ上に引き抜いて本体から取り外します。

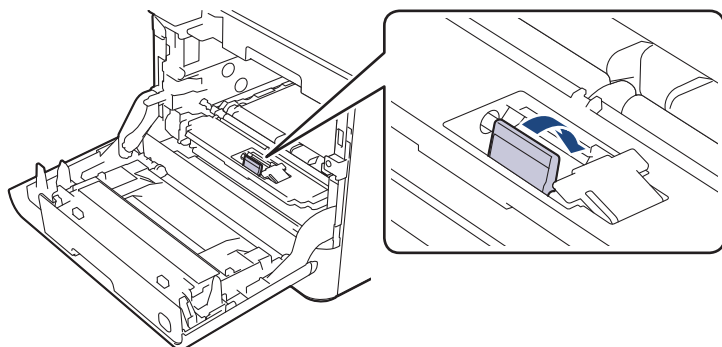


9. 多目的トレイ (MP) 用の新しい PF キットを開封します。

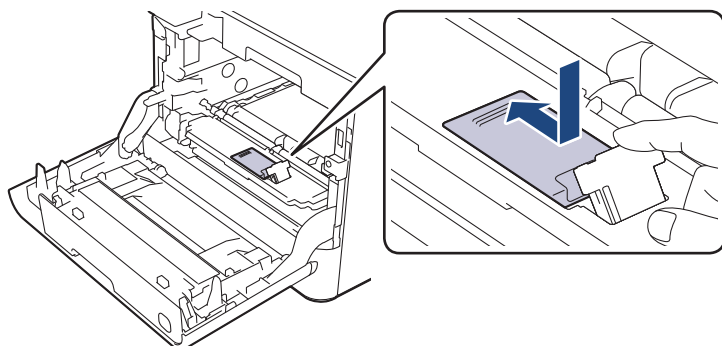
10. 灰色のパッドを手前にして、新しい MP 分離パッドを差し込みます。



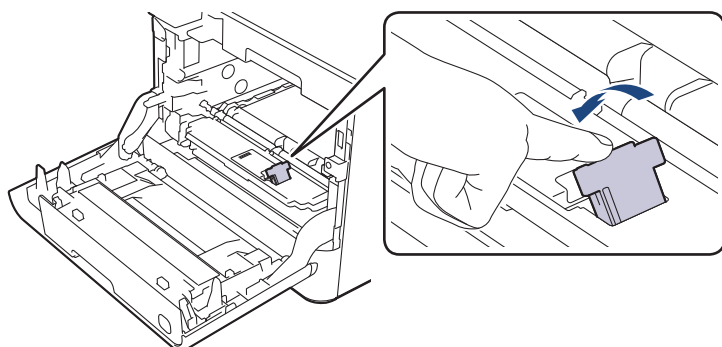
11. カチッと音がするまで MP 分離パッドを前方に押し込みます。



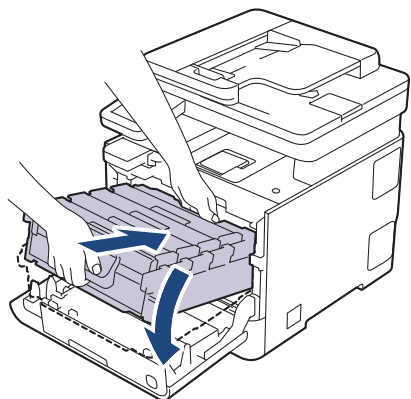
12. MP ローラーホルダーを挿入し、左にスライドさせます。



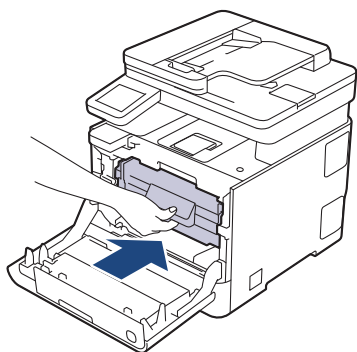
13. MP ローラーホルダーストッパーを押し下げて閉じます。




14. ドラムユニットを止まるまでゆっくりと本製品にスライドさせます。




15. 緑色のハンドルを使用して、ドラムユニットを所定の位置にロックされるまで押し込みます。



16. 本製品のフロントカバーを閉じます。

17. 電源コードを接続し、を押して本製品の電源を入れます。

多目的 (MP) トレイカウンターの PF キットをリセットする

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2.  (トナー) を約 5 秒間長押しします。
3. [PF キット MP 寿命] を押します。
4. [はい] を押します。

関連情報

- [消耗品を交換する](#)

製品の清掃

本製品の外側と内側は、乾いた、柔らかくて繊維の出ない布で定期的に清掃してください。

トナーカートリッジまたはドラムユニットを交換した場合は、本製品の内部を必ず清掃してください。印刷したページにトナーの汚れが付着している場合は、乾いた柔らかくて繊維の出ない布で本製品の内部を清掃します。

警告

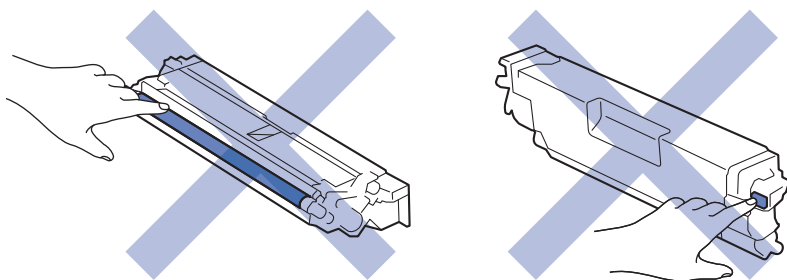
本製品の内側または外側を清掃する場合、可燃性物質、スプレー類、有機溶剤、アルコールを含む液体、アンモニアなどを絶対に使用しないでください。火災の原因になります。乾いた、柔らかくて繊維の出ない布をお使いください。



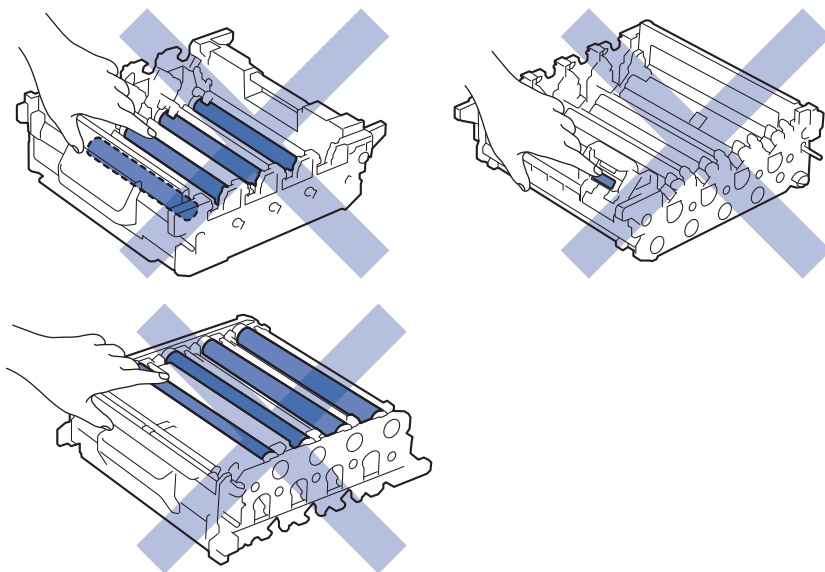
重要

- ・ イソプロピルアルコールで操作パネルを拭かないでください。操作パネルにひびが入るおそれがあります。
- ・ 印刷品質の問題を回避するため、イラストで色のついた部分には絶対に触れないでください。

トナーカートリッジ



ドラムユニット



トナーカートリッジやドラムユニットのICチップ表面には触れないでください。汚れや傷がつくと、各ユニットの検出に支障をきたすことがあります。




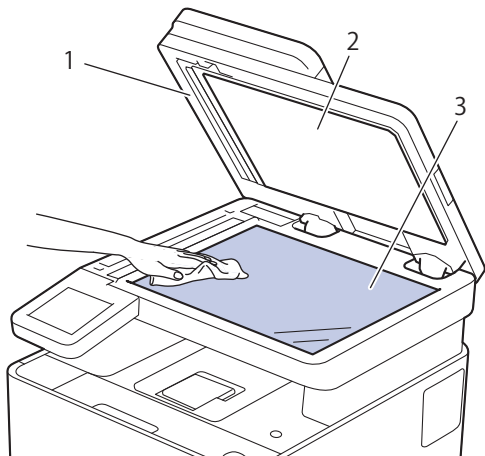
関連情報

- 日常のお手入れ
 - スキャナーを清掃する
 - 画面を清掃する
 - コロナワイヤーを清掃する
 - ドラムユニットを清掃する
 - 給紙ローラーを清掃する

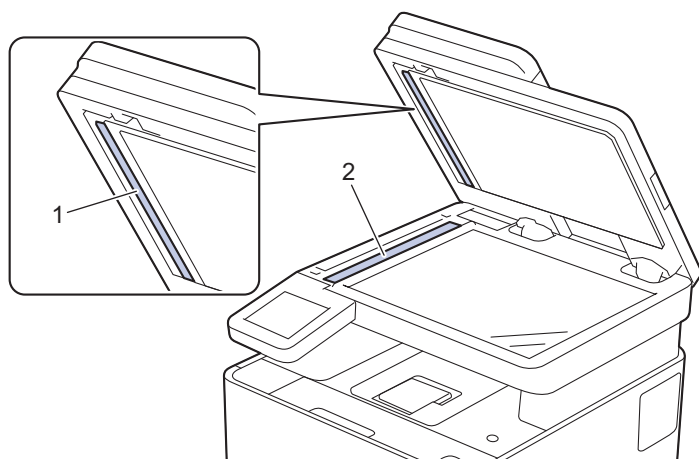
スキャナーを清掃する

清掃手順を開始する前に「関連情報」をご覧ください：製品の清掃

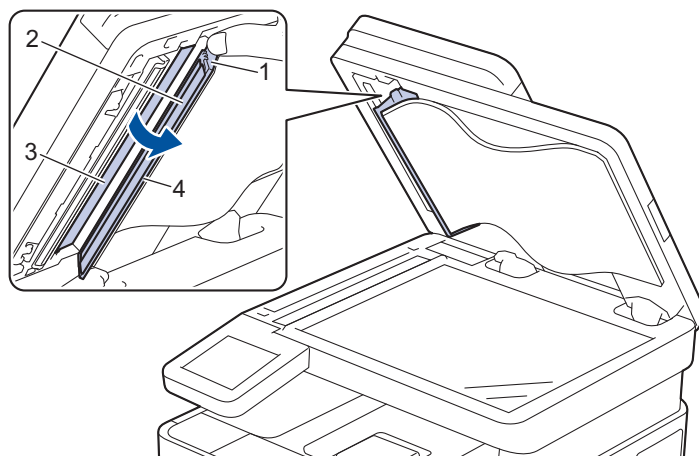
1.  を長押しして本製品の電源を切ります。
2. 原稿台カバー（1）を持ち上げます。白いプラスチック部分（2）とその下の原稿台ガラス（3）を、水を含ませて固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で拭きます。



3. ADF(自動原稿送り装置)の内部は、白い部分（1）とその下のスキャナーの読み取り部（2）を、水を含ませて固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で拭きます。




4. (自動両面スキャンモード用) 原稿台ガラスを開き（1）、白色のバーと（2）とスキャナーの読み取り部（3）を清掃します。



重要

フィルム（4）には触らないでください。

5. 原稿台カバーを閉じます。
6. を押して本製品の電源を入れます。

✓ 関連情報


- [製品の清掃](#)

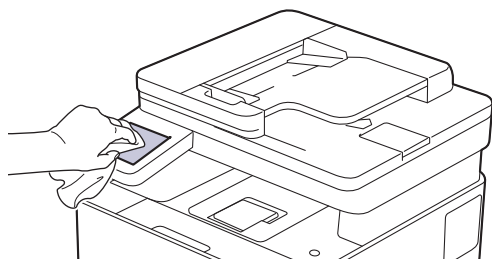
画面を清掃する


清掃手順を開始する前に「関連情報」をご覧ください：製品の清掃

重要

(エタノールなどの) 液体クリーナーは絶対に使用しないでください。

1.  を長押しして本製品の電源を切ります。
2. 柔らかくて繊維の出ない乾いた布で画面を拭きます。



3.  を押して本製品の電源を入れます。

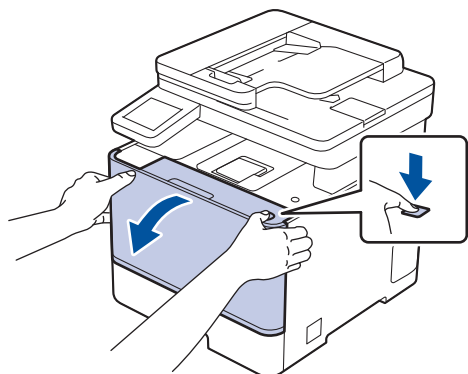
✓ 関連情報

- [製品の清掃](#)

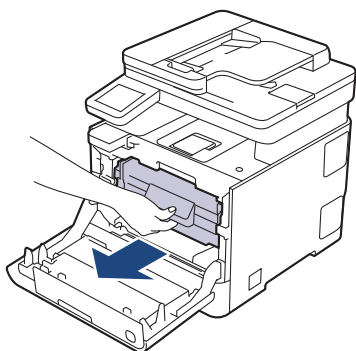
コロナワイヤーを清掃する

清掃手順を開始する前に「関連情報」をご覧ください：製品の清掃

1. フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開きます。



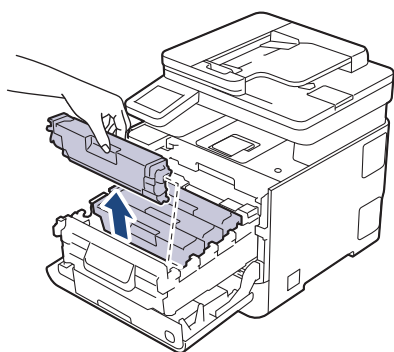
2. ドラムユニットの緑色のハンドルを持ちます。ドラムユニットを止まるまで引き出します。



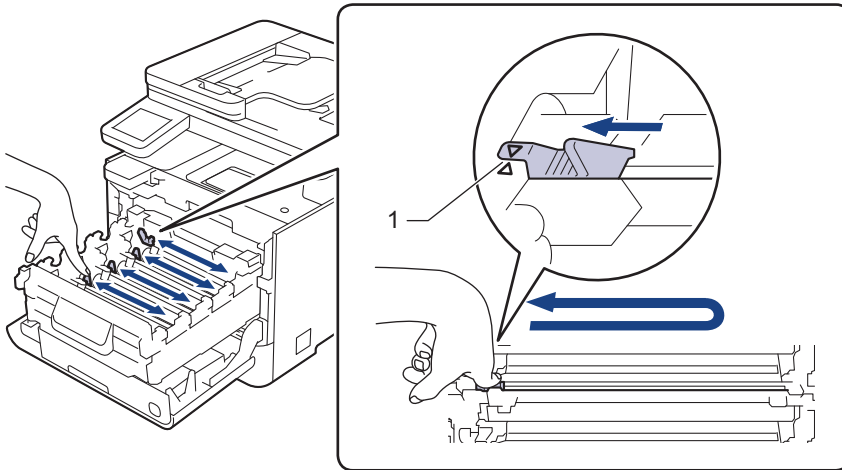
重要


誤ってトナーがこぼれたり飛び散ったりする可能性があるため、トナーカートリッジとドラムユニットは、何も無い平らな場所に使い捨ての紙を敷き、その上に置くことをお勧めします。

3. トナーカートリッジのハンドルを持ち、トナーカートリッジをドラムユニットから引き出します。すべてのトナーカートリッジに対してこの手順を繰り返します。

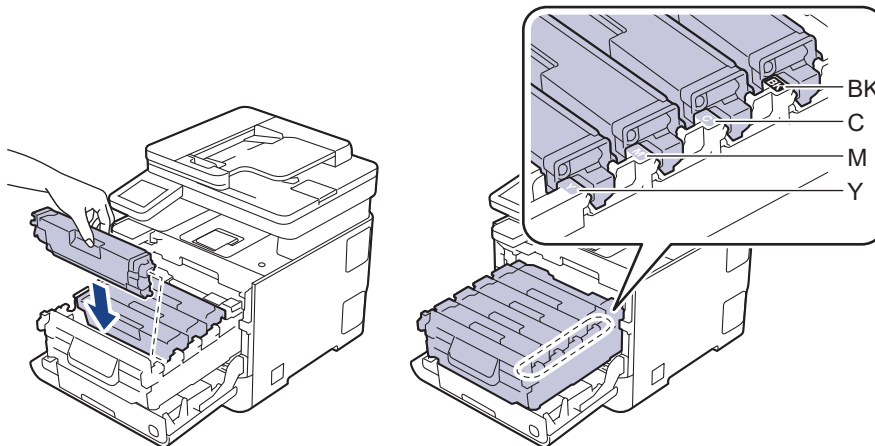


4. 緑色のタブを左右に数回ゆっくりと滑らせて、ドラムユニット内側のコロナワイヤーを清掃します。すべてのコロナワイヤーに対してこの手順を繰り返します。




 印刷品質が低下するのを防ぐため、緑色のタブをホームポジション(1)にロックし、タブの左側がドラムユニットの左側と揃うように合わせます。

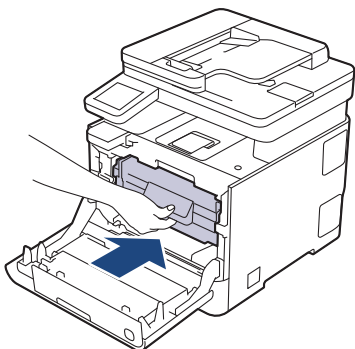
5. トナーカートリッジをドラムユニットに差し込みます。トナーカートリッジの色をドラムユニットの同じ色のラベルと合わせてください。すべてのトナーカートリッジに対してこの手順を繰り返します。



- BK: ブラック
- C: シアン
- M: マゼンタ
- Y: イエロー

 トナーカートリッジが正しく差し込まれたことを確認しないと、ドラムユニットから外れる場合があります。

6. 緑色のハンドルを使用して、ドラムユニットを所定の位置にロックされるまで押し込みます。



7. 本製品のフロントカバーを閉じます。




関連情報

- 製品の清掃



ドラムユニットを清掃する

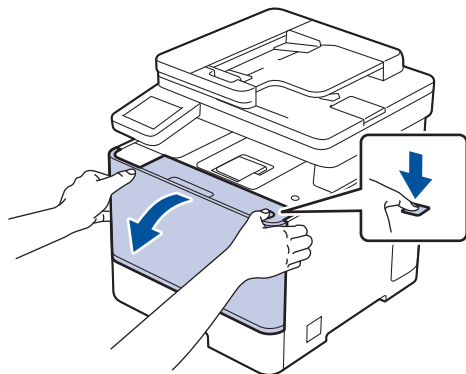
- 印刷したものにドット状などのしみが複数箇所にわたり 75 mm 間隔で付着している場合、ドラムに異物（ドラムの表面に付着したラベルの接着剤など）が付いていることがあります。
- 清掃手順を開始する前に「関連情報」をご覧ください：製品の清掃

1. 本製品が待機モードになっていることを確認します。
2.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [レポート印刷] > [ドラム汚れ印刷] を押します。

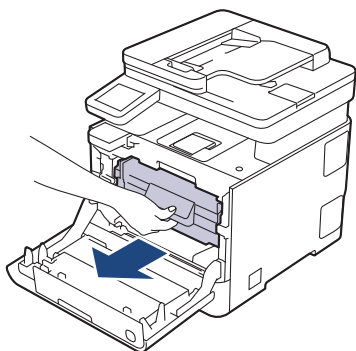


本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

3. [はい] を押します。
本製品がドラムチェックシートを印刷します。
4.  を押します。
5.  を長押しして本製品の電源を切ります。
6. フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開きます。



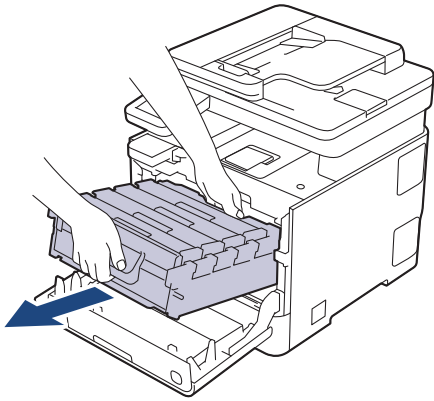
7. ドラムユニットの緑色のハンドルを持ちます。ドラムユニットを止まるまで引き出します。



重要

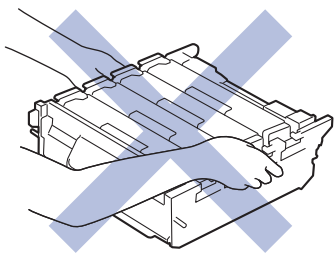
誤ってトナーがこぼれたり飛び散ったりする可能性があるため、トナーカートリッジとドラムユニットは、何も無い平らな場所に使い捨ての紙を敷き、その上に置くことをお勧めします。

8. ドラムユニットの緑色のハンドルを持ち、ドラムユニットの前面を持ち上げ、本製品から取り外します。

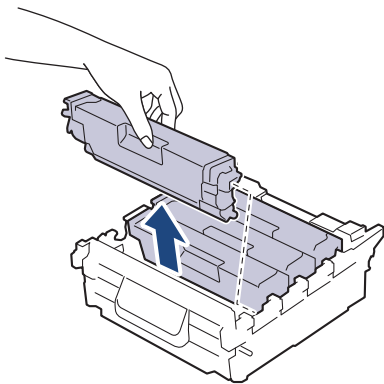


重要

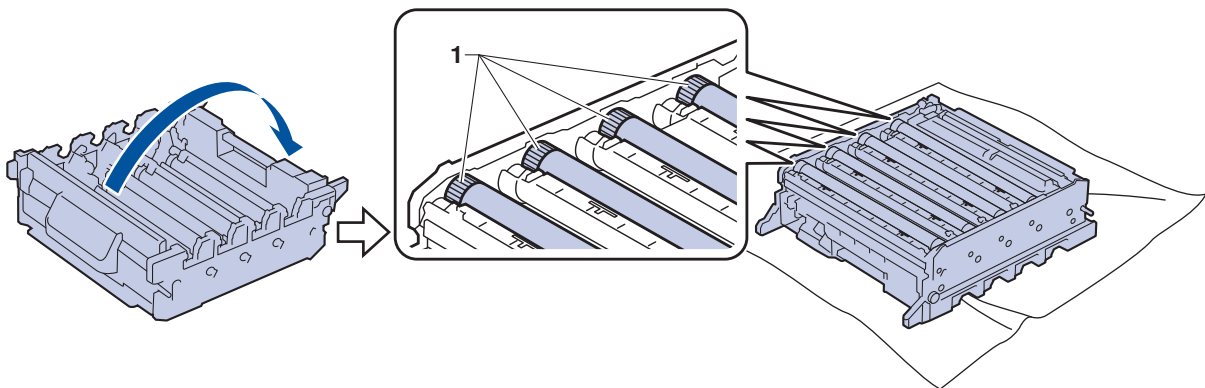
持ち運ぶときはドラムユニットのハンドルを持ちます。ドラムユニットの側面を持たないでください。



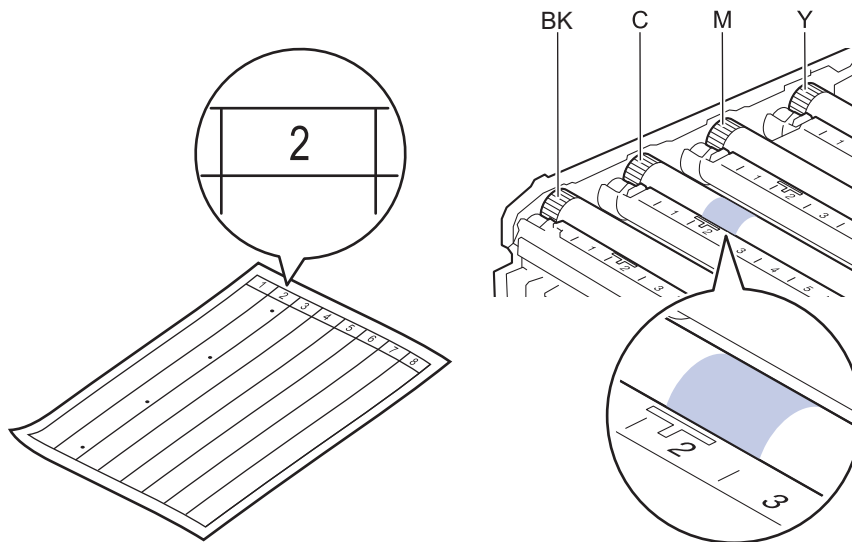
9. トナーカートリッジのハンドルを持ち、トナーカートリッジをドラムユニットから引き出します。すべてのトナーカートリッジに対してこの手順を繰り返します。



10. 緑色のハンドルを持ってドラムユニットを回します。ドラムユニットギア (1) が図に示す側にあることを確認してください。

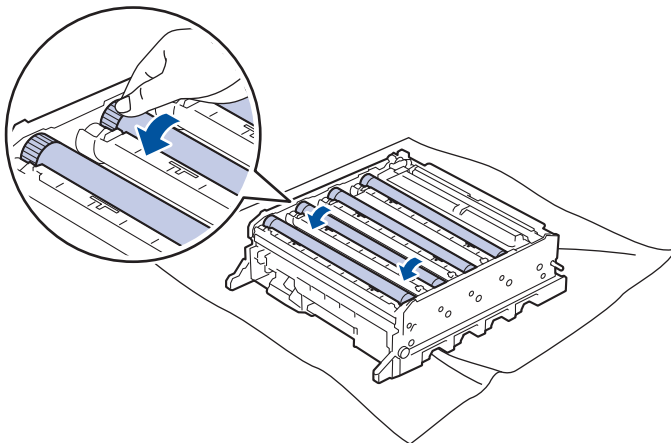


11. ドラムローラーの隣にある列番号で、汚れの場所を探します。例えば、チェックシートの2列目にシアン色の汚れが付着している場合は、シアンドラムの「2」領域が汚れている可能性があります。



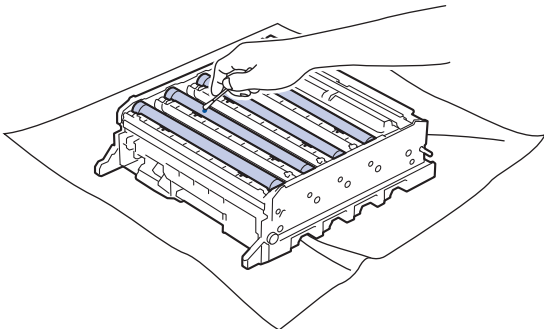
- BK: ブラック
- C: シアン
- M: マゼンタ
- Y: イエロー

12. ドラムユニットフレームを両手で持ち、親指をドラムユニットのギアに置き、手でドラムを手前に回転させながら、ドラム表面の汚れが付着している可能性のある場所を探します。



印刷品質の問題を回避するため、ドラムローラーの表面（ドラムユニットギアを除く）には絶対に触れないでください。

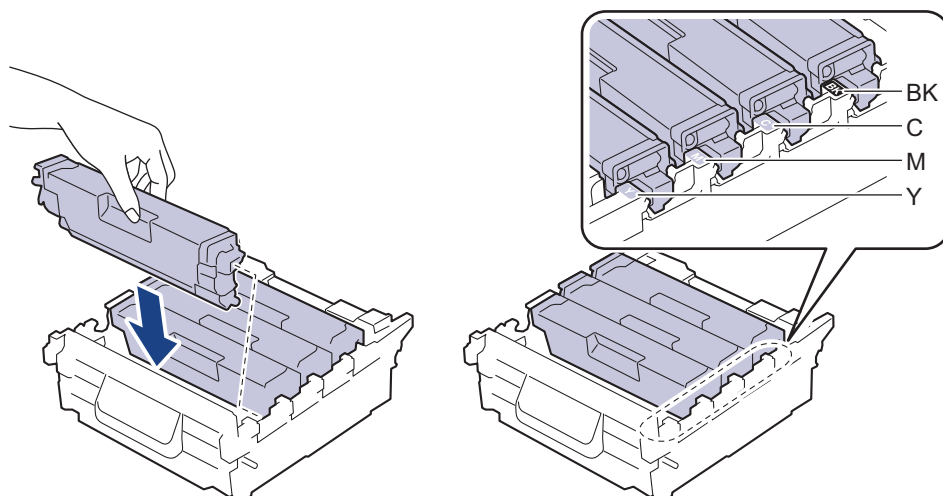
13. ドラムの表面がきれいになるまで、汚れや付着物を乾いた綿棒で優しく拭き取ります。



お願い

尖ったものや液体を使用して感光ドラムの表面を清掃しないでください。

14. 緑色のハンドルを持ってドラムユニットを回します。
15. トナーカートリッジをドラムユニットに再度差し込みます。トナーカートリッジの色をドラムユニットの同じ色のラベルと合わせてください。すべてのトナーカートリッジに対してこの手順を繰り返します。

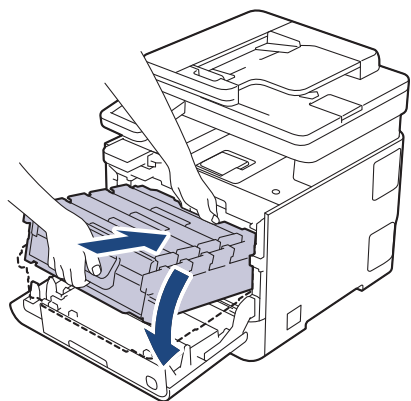


- BK: ブラック
- C: シアン
- M: マゼンタ
- Y: イエロー

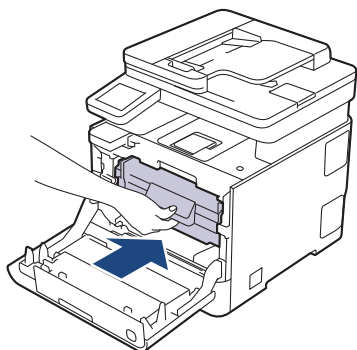


トナーカートリッジが正しく差し込まれたことを確認しないと、ドラムユニットから外れる場合があります。


16. ドラムユニットを止まるまでゆっくりと本製品にスライドさせます。




17. 緑色のハンドルを使用して、ドラムユニットを所定の位置にロックされるまで押し込みます。



18. 本製品のフロントカバーを閉じます。

19. を押して本製品の電源を入れます。

 **関連情報**


- [製品の清掃](#)
-

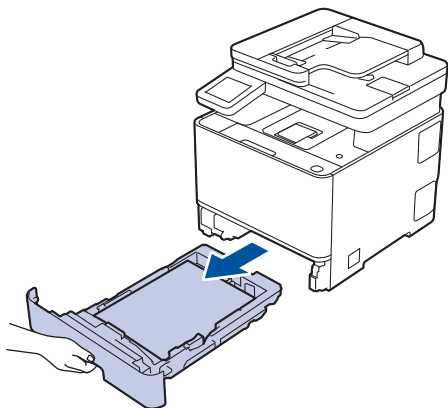
給紙ローラーを清掃する

給紙ローラーの清掃を定期的に行うことで、給紙が適切に行われるようになり、紙詰まりを防ぎます。

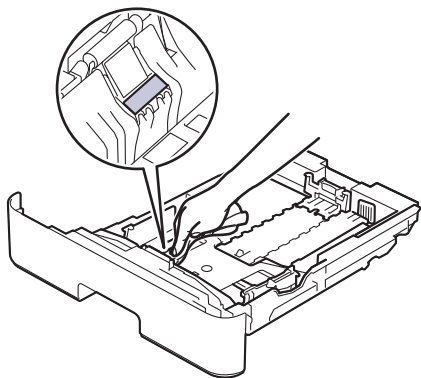
清掃手順を開始する前に「関連情報」をご覧ください：製品の清掃

給紙の問題がある場合は、以下の手順で給紙ローラーを清掃してください。

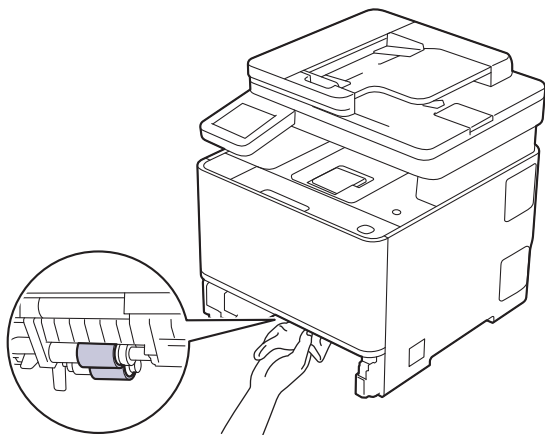
1.  を長押しして本製品の電源を切ります。
2. 用紙トレイを本製品から完全に引き出します。




3. 用紙がセットされている場合、または用紙トレイの内側にはさまれているものがある場合は取り除いてください。
4. むるま湯を含ませた柔らかくて繊維の出ない布をしっかりと絞り、用紙トレイの分離パッドを拭いてほこりを取り除きます。




5. 本製品内部の給紙ローラーを拭いてほこりを取り除きます。



6. 用紙をもう一度セットし、用紙トレイを本製品へしっかりと戻します。

7. を押して本製品の電源を入れます。

 **関連情報**


- [製品の清掃](#)
-

画質を補正する

カラー印刷の品質が悪い場合は、各色の出力濃度を補正してから、色調整を実行してください。



各色の出力濃度の補正と色調整を順番に実行するには、自動補正機能をオンに設定します。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [プリンター] > [画質補正] > [補正実施] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. [はい] を押します。



色補正は自動的に開始され、数分かかります。

3.  を押します。




関連情報

- 日常のお手入れ
 - 自動補正機能を設定する
 - 製品の画質補正設定をリセットする

自動補正機能を設定する

色補正を行った後、自動的に色調整を行う場合は、自動補正機能をオンにします。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [プリンター] > [画質補正] > [定期色ずれ補正] > [オン]を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2.  を押します。




関連情報

- [画質を補正する](#)


製品の画質補正設定をリセットする

出力される色が画面に表示される色と異なる場合は、本製品の色補正設定をリセットしてみてください。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [プリンター] > [画質補正] > [リセット]を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。


2. [はい]を押します。
3.  を押します。




関連情報

- [画質を補正する](#)



部品の残りの寿命を確認する

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [製品情報] > [消耗品寿命] を押します。

 本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. 確認したい本製品の部品を押します。
画面に部品の大まかな残りの寿命が表示されます。

3.  を押します。

 トナーカートリッジの大まかな交換時期を表示するには、 [トナー] > [トナー残量] を押します。

関連情報

- [日常のお手入れ](#)

Brother iPrint&Scan を使用して本製品の状態を確認する (Windows/Mac)

Brother iPrint&Scan では、本製品の状態を確認できます。

1. Brother iPrint&Scan を起動します。

- Windows



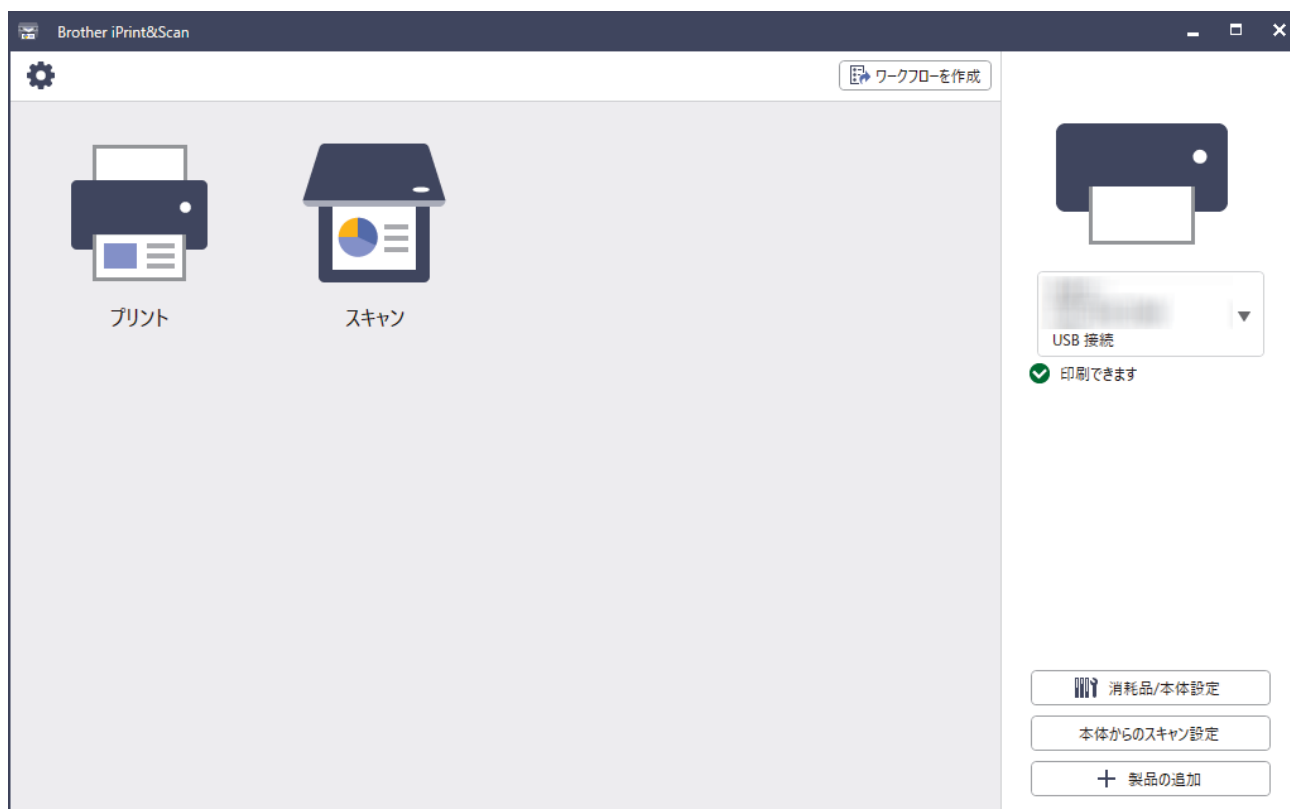
(Brother iPrint&Scan) アイコンをダブルクリックします。

- Mac

Finder メニューバーで移動 > アプリケーションをクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。


Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。

2. 本製品が選択されていない場合は、製品の追加 / 製品を選択 ボタンをクリックし、一覧から本製品のモデル名を選択します。OK をクリックします。





ステータスアイコン

アイコン	詳細
	緑色のアイコンは、正常な待機状態を表します。
	黄色のアイコンは、警告を表します。
	赤色のアイコンは、エラーが発生していることを表します。

アイコン	詳細
	グレーのアイコンは、本製品がオフラインであることを表します。

エラーアイコン

アイコン	詳細
	トナーの残量が少なくなっています。
	トナーカートリッジの交換が必要です。



- アプリケーションのバージョンによって、実際の画面と異なる場合があります。
- トナー残量は目安であり、実際のトナー残量とは異なる場合があります。
- Web Based Management を使用してトナー残量を確認することもできます。




関連情報

- [日常のお手入れ](#)

本製品の情報を確認する

以下の指示に従って、本製品のシリアル番号とファームウェアバージョンを確認してください。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [製品情報] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. 以下のオプションのいずれかを押します。

オプション	詳細
[シリアル No.]	製品のシリアルナンバーを確認します。
[ファームウェアバージョン]	製品のファームウェアバージョンを確認します。
[ファームウェア更新]	製品を最新のファームウェアに更新します。
[ファームウェア設定]	ファームウェアの自動更新の日時を設定します。
[印刷枚数表示]	製品が印刷した合計ページ数を確認します。
[消耗品寿命]	消耗品の使用可能な寿命の割合を確認します。

3.  を押します。


✓ 関連情報

- 日常のお手入れ

本製品のファームウェアをアップデートする

- ファームウェアを更新するには、インターネット接続が必要です。
- ファームウェアの更新中は、電源コードを抜かないでください。

本製品を最新の状態に保つため、最新のファームウェアがないか support.brother.com/downloads を定期的にご確認ください。最新のファームウェアをご使用でない場合、製品の機能の一部が利用できなくなることがあります。以下の手順に従って、本製品からファームウェアを直接手動で更新するか、または定期的に更新するように設定することもできます。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [製品情報] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. 次のいずれかを行ってください：

オプション	詳細
ファームウェアを手動で更新します。	[ファームウェア更新] を押します。
ファームウェアを自動的に更新するように設定します。 (特定のモデルのみ対応)	[ファームウェア設定] > [更新方法] > [更新通知] を押して、ファームウェアを更新する曜日を選択し、時間帯を入力します。

3.  を押します。

✓ 関連情報

- [日常のお手入れ](#)

関連トピック：

- [製品のパスワードを確認する](#)

本製品を初期状態に戻す

- [リセット機能の概要](#)
- [本製品を初期状態に戻す](#)

リセット機能の概要

以下のリセット機能があります。



インターフェースケーブルを外してからネットワーク設定リセット機能、全設定リセット機能、または出荷状態リセット機能を選択してください。

1. 機能設定リセット

日時設定や呼出ベル回数などの設定など変更した全ての機能設定をリセットします。

以下の設定は維持されます。

- 電話帳、ファクスデータ、および通話履歴（ファクス機能付きモデルのみ）
- 管理者パスワード
- ネットワーク設定

2. ネットワーク設定リセット（ネットワークモデルの場合）

管理者パスワードを除いたすべての IP アドレス情報を含め、プリントサーバーをお買い上げ時の設定にリセットします。



全設定リセットオプションを使用して、管理者パスワードをリセットできます。

3. 電話帳とファクス設定のリセット

この機能では以下の設定をリセットします。



以下の設定は、電話帳と設定ロックパスワードを除き、ファクス機能付きモデルに適用されます。

- 電話帳
（アドレスとグループ）
- メモリー内のファクスジョブ
（タイマー送信）
- 発信元登録
（名前と番号）
- 表紙コメント
- ファクス受信設定
（リモート暗証番号、メモリ保持、ファクス転送、PC-FAX 受信（Windows のみ））
- レポート
（送信結果レポート/電話帳/通信管理レポート）
- 設定ロックパスワード（利用可能なモデルのみ）

4. 全設定リセット

製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

全設定リセットは出荷状態リセットよりも短時間で実行できます。

5. 出荷状態リセット

本製品のすべての設定をお買い上げ時の設定に戻すには、全設定リセット機能を使用します。

出荷状態リセットは全設定リセットよりも時間がかかります。


本製品を廃棄するときにこの操作を実行することを強くお勧めします。




関連情報


- [本製品を初期状態に戻す](#)

本製品を初期状態に戻す

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [設定リセット] を押します。



 本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. 使用したいリセット機能を押します。

 本製品のパスワードをリセットする方法については「関連情報」をご覧ください：リセット機能の概要

- ネットワーク設定、セキュリティ設定、および電話帳データは [機能設定リセット] ではリセットされません。
- 本製品を廃棄または処分する場合は、 [出荷状態リセット] を実行し、本製品内の個人データを抹消することを推奨します。

3. [再起動しますか?実行する場合は [OK] を 2 秒間押してください 実行しない場合は [キャンセル] を押してください] が表示されます。 [OK] を 2 秒間押して、確認します。

  [メニュー] > [全てのメニュー] > [ネットワーク] > [ネットワーク設定リセット] を押してネットワーク設定をリセットすることもできます。

本製品が再起動します。

✓ 関連情報

- [本製品を初期状態に戻す](#)

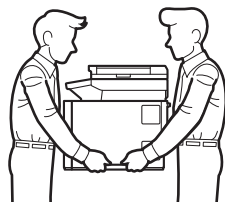
関連トピック：

- [ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする](#)
- [リセット機能の概要](#)

本製品を梱包して輸送する

⚠ 警告


- 怪我を防ぐため、少なくとも 2 人で前後を持って持ち上げてください。
- 本製品を移動するときは、イラストのように運んでください。

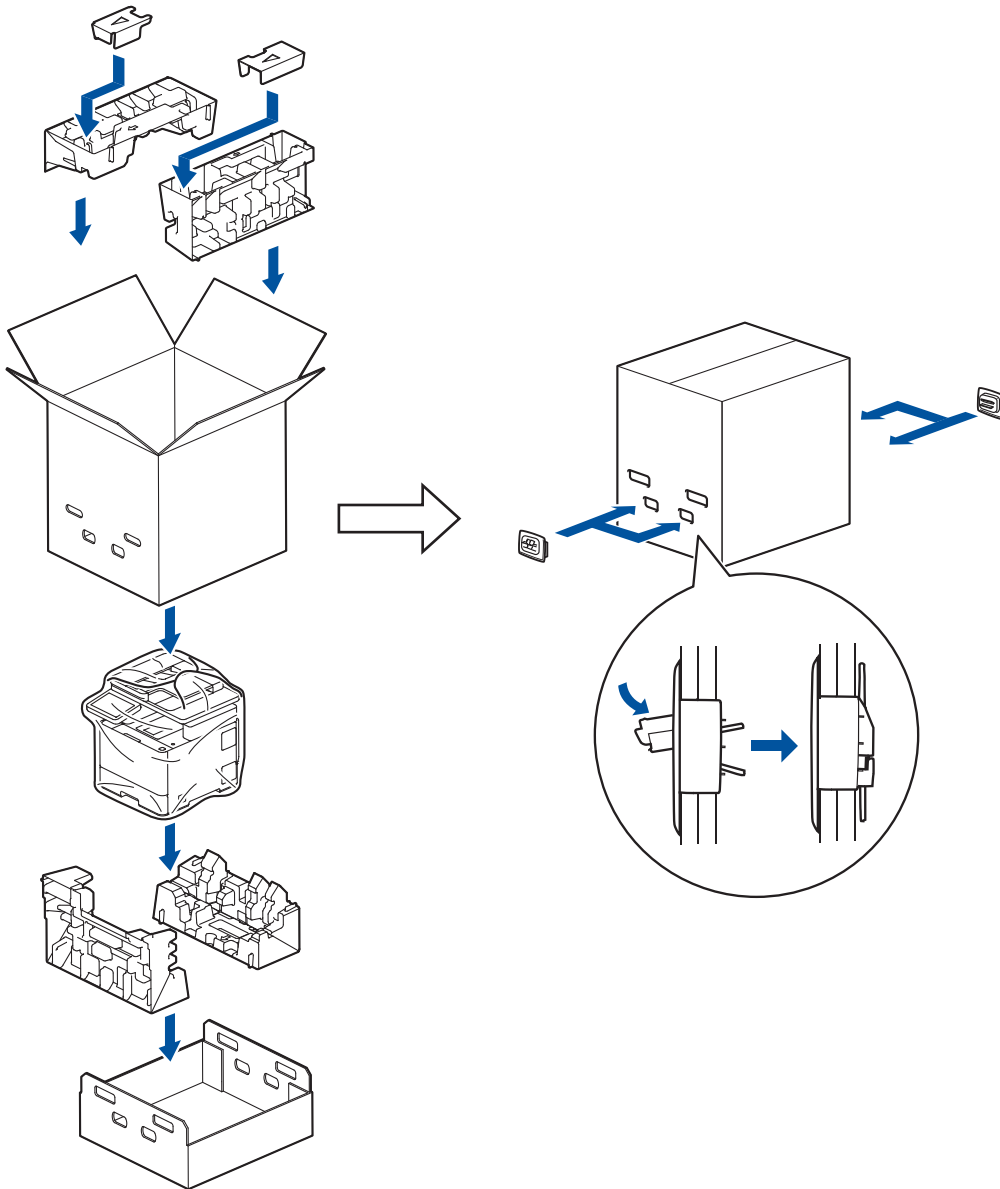


- 本製品に増設トレイが取り付けられている場合は、移動する前に取り外します。増設トレイを取り外さずに本製品を移動しようとすると、怪我や故障の原因となります。
- 増設トレイは元の梱包材を使って元の箱に別個に梱包します。

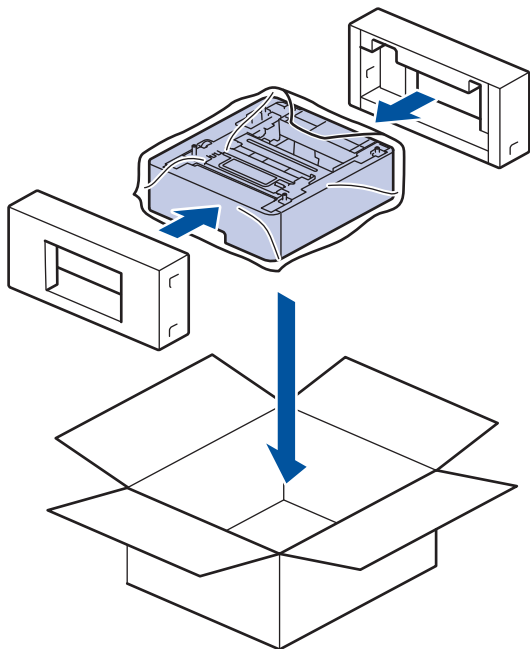


何らかの理由で本製品を輸送する必要がある場合は、輸送中の損傷を避けるために、本製品を元の包装に慎重に再梱包してください。適切な保険をかけて本製品を輸送してください。

1.  を長押しして本製品の電源を切ります。本製品を冷却するために、少なくとも 10 分間オフの状態にしておきます。
2. すべてのケーブルを外し、AC 電源コンセントから電源コードを抜きます。
3. 最初に入っていた袋に本製品を入れます。
4. 下図のように、同梱されていた梱包材を使用して購入時の箱に梱包します。



5. 箱を閉めて封をします。
6. 下トレイがある場合は、イラストのように再梱包します。





関連情報

- 日常のお手入れ

製品の設定

設定と機能をカスタマイズして、本製品をより効率的にご使用いただけます。

- [製品のパスワードを確認する](#)
- [操作パネルから製品の設定を変更する](#)
- [Web Based Management を使用して製品の設定を変更する](#)

製品のパスワードを確認する

パスワードの入力を求められた場合、以下の情報を確認します。

>> お買い上げ時のパスワードの確認

>> パスワードの変更

>> パスワードのリセット

お買い上げ時のパスワードの確認

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。

パスワードの変更

本製品への不正なアクセスを防ぐために、お買い上げ時のパスワードをすぐに変更することをお勧めします。

Web Based Management を使用してパスワードを変更してください。

詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。

パスワードのリセット

パスワードを忘れてしまった場合は、製品をお買い上げ時の設定にリセットします。パスワードもお買い上げ時のパスワードにリセットされます。

詳しい説明は「関連情報」をご覧ください。

✓ 関連情報

- [製品の設定](#)

関連トピック：

- [本製品を初期状態に戻す](#)
- [Web Based Management を使用しログインパスワードを変更する](#)

操作パネルから製品の設定を変更する

- 停電になったときは（メモリー保存）
- 基本設定
- お好みの設定をショートカットとして登録する
- レポートを印刷する
- 設定と機能一覧

停電になったときは（メモリー保存）

メニュー設定は永久に保存され、停電時も消去されません。一時的な設定（例：コントラストや海外送信モード）は消去されます。

停電中、本製品は日付と時刻、プログラム済みのファクスタイマージョブ（タイマー送信など）を約 60 時間保持します。製品のメモリーに保存された他のファクスジョブは消去されません。


✓ 関連情報

- [操作パネルから製品の設定を変更する](#)

基本設定


- 製品の音量を調整する
- スリープモードに入る時間を設定する
- ディープスリープモードについて
- 自動電源オフモードを設定する
- 日時を設定する
- トナー消費量の削減
- 印刷音を軽減する
- 本製品の設定をロックする
- 画面に表示される言語を変更する

製品の音量を調整する

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [音量] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. 以下のオプションのいずれかを押します：
(このオプションはお使いの製品によって異なります。)
 - [着信音量]
着信音量を調整します。
 - [ボタン確認音量]
ボタンを押したとき、操作を誤ったとき、またはファクスを送受信した後に鳴るボタン確認音量を調整します。
 - [スピーカー音量]
スピーカーの音量を調整します。
3. [切]、[小]、[中] または [大] を選択して、使用したいオプションを押します。
4.  を押します。




関連情報


- [基本設定](#)


スリープモードに入る時間を設定する

スリープモード（または省電力モード）に設定すると、消費電力を節約することができます。製品がスリープモードに入ると、電源がオフになったように見えます。印刷ジョブまたはファクスを受信すると、起動し印刷を開始します。以下の手順で、製品がスリープモードに入るまでの時間を設定します。

- スリープモードに入るまでに、製品が待機状態である時間を選択できます。
- 製品で印刷ジョブを受信するなど、何らかの操作が行われると、タイマーが再度始動します。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [省エネモード] > [スリープモード]を押します。

 本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. 本製品がスリープモードに入る前に、待機状態を維持する時間の長さ（最大 50 分）を入力し、[OK]を押します。
3.  を押します。

✓ 関連情報

- [基本設定](#)



ディープスリープモードについて

製品がスリープモードに入り、一定の時間ジョブを受信しないと、自動的にディープスリープモードに入ります。時間の長さは、製品と設定に基づきます。

ディープスリープモードはスリープモードよりも消費電力を節約できます。



ディープスリープモードの設定は、環境への配慮を考慮して、無効にすることはできません。

対象モデル	ディープスリープモード時の本製品の操作パネル	本製品が起動する条件
MFC-L8730CDW/ MFC-L8970CDW	画面のバックライトがオフになり、LED電源ランプが点滅します。	<ul style="list-style-type: none">製品がジョブを受信した場合。、、または画面が押された場合。




関連情報

- [基本設定](#)

自動電源オフモードを設定する


本製品が一定時間（モデルや設定により異なります）ジョブを受信しない場合、自動的にパワーオフモードになります。ネットワーク、USB ケーブル、NFC、Wi-Fi Direct、電話回線に接続されている場合、またはメモリーにセキュリティ印刷のデータが保存されている場合は、本製品はパワーオフモードにはなりません。お使いのモデルによって、使用可能な機能やインターフェースは異なります。

印刷を開始するには、操作パネルで  を押し、印刷ジョブを送信します。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [省エネモード] > [自動電源オフ] を押します。




本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. [オフ]、[20 分]、[1 時間]、[2 時間]、[4 時間] または [8 時間] を押します。
3.  を押します。

✓ 関連情報



- [基本設定](#)

日時を設定する

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [時計セット] > [日付]を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. 液晶ディスプレイを使用して西暦の最後の2桁を入力し、[OK]を押します。
3. 液晶ディスプレイを使用して月を2桁で入力し、[OK]を押します。
4. 液晶ディスプレイを使用して日を2桁で入力し、[OK]を押します。
5. [時計表示]を押します。
6. [12 時間表示] または [24 時間表示]を押します。
7. [時刻]を押します。
8. 時刻を入力するには、以下のいずれかを行います。
 - [時計表示] 設定で [12 時間表示] を選択している場合は、液晶ディスプレイを使い時刻（12 時間形式）を入力します。
 を押して、[AM] または [PM] を選択します。
[OK]を押します。
 - [時計表示] 設定で [24 時間表示] を選択している場合は、液晶ディスプレイを使い時刻（24 時間形式）を入力します。
[OK]を押します。
(例：午後 7:45 の場合、19:45 と入力します。)
9.  を押します。


✓ 関連情報

- [基本設定](#)

トナー消費量の削減


トナー節約機能を使うと、トナーの消費量が節約できます。トナー節約機能がオンになっていると、文書の印字が薄く見えます。

写真やグレースケールイメージでは、トナー節約機能の使用をお勧めしていません。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [省エネモード] > [トナー節約モード]を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。


2. [オン]または[オフ]を押します。
3.  を押します。

✓ 関連情報

- [基本設定](#)


印刷音を軽減する

静音モードでは、印刷時の音を軽減することができます。静音モードがオンのときは、印刷速度が遅くなります。お買い上げ時の設定はオフです。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [省エネモード] > [静音モード]を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. [オン]または[オフ]を押します。
3.  を押します。



関連情報

- [基本設定](#)

本製品の設定をロックする

設定ロック機能を使用して、製品への不正アクセスを防ぎます。設定ロックがオンに設定されていると、本製品の設定にアクセスするにはパスワードの入力が必要になります。

本製品の設定ロックをオンにする前に、パスワードをメモして保存してください。パスワードを忘れた場合は、管理者またはブラザーコールセンターに問い合わせ、本製品に保存されているパスワードをすべてリセットする必要があります。



- [設定ロックパスワードを設定する](#)
- [設定ロックパスワードを変更する](#)
- [設定ロックをオンにする](#)
- [本製品の特定の設定を制限する](#)

設定ロックパスワードを設定する


>> MFC-L8730CDW

>> MFC-L8970CDW

MFC-L8730CDW


1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [セキュリティ設定ロック]を押します。
2. パスワードに4桁の数値を入力します。
3. [OK]を押します。
4. 画面に[パスワード確認:]と表示されたら、パスワードを再入力します。
5. [OK]を押します。
6.  を押します。

MFC-L8970CDW

1.  [管理者メニュー]を押します。
2. お買い上げ時のパスワードを入力し、[OK]を押します。
3. [ログインパスワード設定]を押します。
4. お買い上げ時のパスワードをもう一度入力し、[OK]を押します。
5. 使用するパスワード(8~32文字)を入力し、[OK]を押します。



このパスワードは、他の[管理者メニュー]機能やWeb Based Managementへのログインでも有効です。

6. 画面に[パスワード確認]と表示されたら、パスワードを再入力し、[OK]を押します。
7.  を押します。

✓ 関連情報



- [本製品の設定をロックする](#)

設定ロックパスワードを変更する



>> [MFC-L8730CDW](#)

>> [MFC-L8970CDW](#)

MFC-L8730CDW

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [セキュリティ設定ロック] > [パスワード設定] を押します。
2. 現在の4桁のパスワードを入力します。
3. [OK]を押します。
4. 新しい4桁のパスワードを入力します。
5. [OK]を押します。
6. 画面に [パスワード確認:] と表示されたら、パスワードを再入力します。
7. [OK]を押します。
8.  を押します。

MFC-L8970CDW

1.  [管理者メニュー] を押します。
2. 現在のパスワードを入力し、 [OK] を押します。
3. [ログインパスワード設定] を押します。
4. 現在のパスワードをもう一度入力し、 [OK] を押します。
5. 使用するパスワード (8~32文字) を入力し、 [OK] を押します。
6. 画面に [パスワード確認] と表示されたら、パスワードを再入力し、 [OK] を押します。
7.  を押します。

✓ 関連情報


- [本製品の設定をロックする](#)

設定ロックをオンにする


>> MFC-L8730CDW


>> MFC-L8970CDW

MFC-L8730CDW


1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [セキュリティ設定ロック] > [ロック オフ⇒オン] を押します。
2. 現在の4桁のパスワードを入力します。
3. [OK]を押します。



設定ロックをオフにするには、液晶ディスプレイの  を押し、現在の4桁のパスワードを入力して、[OK]を押します。

設定後、 [メニュー] > [全てのメニュー] > [基本設定] > [セキュリティ設定ロック] > [ロック オン⇒オフ] を押し、手順2と3を繰り返します。

MFC-L8970CDW

1.  [管理者メニュー] を押します。
2. 現在のパスワードを入力し、[OK]を押します。
3. [制限管理] > [セキュリティ設定ロック] > [オン] を押します。
4. 設定ロックの詳細が表示されたら、項目を選択して、[OK]を押します。



設定ロックをオフにするには、手順1と2を繰り返し、[制限管理] > [セキュリティ設定ロック] > [オフ] を押します。

5.  を押します。


✓ 関連情報

- 本製品の設定をロックする

▲ ホーム > 製品の設定 > 操作パネルから製品の設定を変更する > 基本設定 > 本製品の設定をロックする > 本製品の特定の設定を制限する

本製品の特定の設定を制限する

関連モデル: MFC-L8970CDW

1.  [管理者メニュー] を押します。
2. 現在の管理者パスワードを入力し、[OK] を押します。
3. [制限管理] > [セキュリティ設定ロック 詳細] を押します。
4. 設定ロックの詳細が表示されたら、項目を選択して、[OK] を押します。



設定ロックをオフにするには、手順 1 と 2 を繰り返し、[制限管理] > [セキュリティ設定ロック] > [オフ] を押します。

5.  を押します。


✓ 関連情報

- [本製品の設定をロックする](#)

画面に表示される言語を変更する


必要な場合は画面の言語を変更します。

この機能は、国によっては利用できない場合があります。

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [初期設定] > [表示言語設定] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、 [メニュー] をスキップします。

2. 設定したい言語を押します。
3.  を押します。



関連情報

- [基本設定](#)

お好みの設定をショートカットとして登録する

- ショートカットを登録する
- ショートカットを変更、または削除する
- NFC を使用して IC カードにショートカットを割り当てる

ショートカットを登録する

ファクス、コピー、スキャン、クラウド接続、お役立ちツールのメニューでよく使う設定条件をショートカットとして登録することができます。手動で毎回入力しなくても、ショートカットを呼び出して使うことができます。




モデルにより、ショートカット登録できるメニューは異なります。

ここではコピーのショートカットを登録する方法を説明しています。ファクスやスキャン、クラウド接続、お役立ちツールのショートカットの登録も同じように行えます。

>> [MFC-L8730CDW](#)

>> [MFC-L8970CDW](#)

MFC-L8730CDW

1. **+** [ショートカット]を押します。(**+** [ショートカット]が表示された場合。)
2. タブを押します。
3. **+** を押して新しいショートカットを追加します。
4. [コピー]を押します。
5. 使用するコピープリセットを押します。
6.  [設定変更]を押します。
7. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して利用可能な設定を表示し、変更したい設定を押します。
8. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して利用可能なオプションを表示し、設定したいオプションを押します。
設定したい設定とオプションをすべて選択するまで、この2つの手順を繰り返します。
9. 設定の変更が終了したら、[OK]を押します。([OK] ボタンが表示された場合。)
10. [OK]を押します。
11. 選択した設定の一覧が表示されたら、内容を確認して、[OK]を押します。
12. 画面でショートカットの名前を入力し、[OK]を押します。

MFC-L8970CDW


1. **+** [ショートカット]を押します。(**+** [ショートカット]が表示された場合。)
2. [コピー]を押します。
3. >を押してあらかじめ設定されたコピー設定を確認します。
4. 上または下にフリックするか、▲または▼を押してコピープリセットを表示させ、使用するコピープリセットを押します。
5. [設定変更]を押します。
6. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して利用可能な設定を表示し、変更したい設定を押します。
7. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して利用可能なオプションを表示し、設定したいオプションを押します。
設定したい設定とオプションをすべて選択するまで、この2つの手順を繰り返します。
8. [ショートカット登録]を押します。
9. 選択した設定の一覧が表示されたら、内容を確認して、[OK]を押します。
10. 画面でショートカットの名前を入力し、[OK]を押します。




関連情報

- お好みの設定をショートカットとして登録する


ショートカットを変更、または削除する


 クラウド接続やお役立ちツールのショートカットは変更できません。変更する場合は、一度削除し、新たにショートカットを登録してください。

1. **+** [ショートカット] を押します。(**+** [ショートカット] が表示された場合。)
2. タブを押して変更したいショートカットを表示させます。

 必要に応じてフリックしてタブを表示します。



3. 変更したいショートカットを押します。
選択したショートカットの設定が表示されます。

 ショートカットを削除または名前を編集するには、オプションが表示されるまでショートカットを押し続け、画面に表示されるメニューに従います。

4.  [設定変更] を押します。
5. 必要な場合は、ショートカットの設定を編集します。
6. [OK] を押します (必要な場合)。
7. 完了したら、[ショートカット登録] を押します。
8. 選択した設定の一覧が表示されたら、内容を確認して、[OK] を押します。
9. 次のいずれかを行ってください：
 - ショートカットを上書きするには、[はい(上書き)] を押します。
 - ショートカットを上書きしたくない場合は、[いいえ(新規作成)] を押して新しいショートカット名を入力します。

+ を押して新しいショートカットを追加します。

画面で新しい名前を入力し、[OK] を押します。

 名前を編集するには、 を長押しして既存の名前を削除します。

✓ 関連情報

- [お好みの設定をショートカットとして登録する](#)

NFC を使用して IC カードにショートカットを割り当てる

IC カードにショートカットを割り当てることができます。本製品の NFC タッチ部分に IC カードをタッチすると、画面に個人用ショートカットが自動的に表示されます。



- 複数の異なるショートカットに同じ IC カードを使用することはできません。
- IC カードを別のショートカットに使用するには、まずカードの登録を解除してから、新しいショートカットに登録します。

>> [MFC-L8730CDW](#)

>> [MFC-L8970CDW](#)

MFC-L8730CDW

1. ホーム画面が表示されたら、**+** [ショートカット] を押します。
2. IC カードに割り当てるショートカットが含まれたタブを押します。
3. オプションが表示されるまで、ショートカットを長押しします。
4. ▲または▼を押して [NFC カードの登録] を表示させ、それを押します。
5. IC カードを NFC タッチ部分にタッチします。
6. [登録] を押します。
ショートカットが IC カードに割り当てられます。

MFC-L8970CDW

1. IC カードに割り当てるショートカットが含まれたタブを押します。
2. オプションが表示されるまで、ショートカットを長押しします。
3. [NFC カードの登録] を押します。
4. IC カードを NFC タッチ部分にタッチします。
5. [登録] を押します。
ショートカットが IC カードに割り当てられます。



関連情報

- [お好みの設定をショートカットとして登録する](#)

レポートを印刷する

- レポート種類
- レポートを印刷する

レポート種類

以下のレポートを印刷できます：

送信結果レポート

送信結果レポートでは、最後に送ったファクスの送信結果が印刷されます。

電話帳リスト

電話帳リストでは、電話帳メモリーに保存されている名前と番号の一覧が印刷されます。

通信管理レポート

最近送受信した、200 件分の通信結果を印刷します。(TX は送信、RX は受信を指します。)

設定内容リスト

本製品の現在の設定内容を印刷します。

プリンター設定

プリンターの設定レポートでは、現在のプリンター設定の一覧が印刷されます。

ネットワーク設定リスト (ネットワーク機能を搭載した機種)

ネットワークの設定状況を印刷します。

ファイルリスト印刷 (特定のモデルのみ対応)

ファイルリストの印刷機能は、本製品に保管されたフォントや印刷マクロ/ストリーム設定の一覧を印刷します。

ドラム汚れ印刷

ドラムドット印刷は、ドラムユニットを清掃するのに役立つドラムドットシートを印刷します。

無線 LAN レポート (無線ネットワーク機能を搭載した機種)

無線 LAN の接続状態や無線 LAN 情報を一覧にします。


着信履歴リスト (ファクス機能付きモデルのみ)

着信履歴リストでは、最新 30 件の受信ファクスおよび電話の着信履歴の一覧が印刷されます。

✓ 関連情報


- ・ [レポートを印刷する](#)

レポートを印刷する

1.  [メニュー] > [全てのメニュー] > [レポート印刷] を押します。



本製品にホーム画面の [全てのメニュー] が表示された場合は、[メニュー] をスキップします。

2. 上または下にフリックするか、▲または▼を押して印刷するレポートを表示させ、押します。
3. 次のいずれかを行ってください：
 - [送信結果レポート] を選択する場合、次のいずれかの作業を行います。
 - 送信結果レポートを見るには、[表示] を押します。
 - 送信結果レポートを印刷するには、[印刷] を押します。
 - その他のレポートを選択する場合、次の手順に進みます。
4. [はい] を押します。
5.  を押します。



関連情報

- [レポートを印刷する](#)

設定と機能一覧

この設定一覧では、本製品のメニュー設定とオプションについて説明しています。

- [設定一覧 \(MFC-L8730CDW\)](#)
- [設定一覧 \(MFC-L8970CDW\)](#)
- [機能一覧 \(MFC-L8730CDW\)](#)
- [機能一覧 \(MFC-L8970CDW\)](#)

設定一覧 (MFC-L8730CDW)


関連モデル: MFC-L8730CDW

- >> [メニュー]
- >> [基本設定]
- >> [ショートカット設定]
- >> [ファクス]
- >> [プリンター]
- >> [ネットワーク]
- >> [レポート印刷]
- >> [製品情報]
- >> [初期設定]

[メニュー]



[メニュー]

設定項目 1	設定項目 2	設定項目 3	説明	
 ([時計セット])	-	-	日付と時刻設定メニューにアクセスします。	
[トナー]	[トナー残量]	-	トナーの各色ごとにおおよその寿命を見ます。	
	[テストプリント]	-	テストページを印刷します。	
	[画質補正]	[補正実施]	-	色補正を開始して、色を確認し補正します。
		[リセット]	-	補正パラメーターの設定をリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。
[トナーカートリッジ純正情報]	[ブラック] [シアン] [マゼンタ] [イエロー]	-	トナーカートリッジが純正品であるかどうかなど、装着されているトナーカートリッジの情報を画面で確認します。	
[ネットワーク]	[有線 LAN]	-	有線 LAN 設定メニューにアクセスします。	
	[無線 LAN (Wi-Fi)]	-	無線 LAN 設定メニューにアクセスします。	
[トレイ設定]	-	-	トレイ設定メニューにアクセスします。	
[みるだけ受信]	-	-	受信したファクスを画面に表示します。	
[エコモード]	-	-	以下の本体の設定を有効にします。: <ul style="list-style-type: none"> • [両面印刷] : [長辺とじ]¹ • [スリープモード] : [0] [分] • [照明ダウンタイマー] : [10] [秒] • [静音モード] : [オン]¹ • [トナー節約モード] : [オン]¹ 	
[全てのメニュー]	-	-	詳細設定を行います。	

1 この設定の変更は、Web Based Management で特定の製品設定を変更した後でのみ使用できます。

[基本設定]

[全てのメニュー] > [基本設定]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明	
[用紙トレイ設定]	[用紙タイプ]	[多目的トレイ]	-	多目的トレイ内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。	
		[トレイ 1]	-	標準用紙トレイ内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。	
		[トレイ 2] ¹	-	増設トレイ (トレイ 2) 内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。	
		[トレイ 3] ¹	-	増設トレイ (トレイ 3) 内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。	
	[用紙サイズ]	[多目的トレイ]	-	多目的トレイにセットした用紙サイズを選択します。	
		[トレイ 1]	-	標準用紙トレイにセットした用紙サイズを選択します。	
		[トレイ 2] ¹	-	増設トレイ (トレイ 2) にセットした用紙サイズを選択します。	
		[トレイ 3] ¹	-	増設トレイ (トレイ 3) にセットした用紙サイズを選択します。	
	[コピー]	-	-	コピーに使用するトレイを選択します。	
	[ファクス]	-	-	ファクスの印刷に使用するトレイを選択します。	
	[プリント]	-	-	印刷に使用するトレイを選択します。	
	[印字位置]	[多目的トレイ]	[x オフセット]		300dpi で印刷する場合、多目的トレイにセットした用紙の印刷開始位置 (通常はページの左上端) を左右方向に-500 ドット (左) ~+500 ドット (右) の範囲で調整します。
			[y オフセット]		300dpi で印刷する場合、多目的トレイにセットした用紙の印刷開始位置 (通常はページの左上端) を上下方向に-500 ドット (上) ~+500 ドット (下) の範囲で調整します。
		[トレイ 1]	[x オフセット]		300dpi で印刷する場合、標準用紙トレイにセットした用紙の印刷開始位置 (通常はページの左上端) を左右方向に-500 ドット (左) ~+500 ドット (右) の範囲で調整します。
			[y オフセット]		300dpi で印刷する場合、標準用紙トレイにセットした用紙の印刷開始位置 (通常はページの左上端) を上下方向に-500 ドット (上) ~+500 ドット (下) の範囲で調整します。
		[トレイ 2] ¹	[x オフセット]		300dpi で印刷する場合、増設トレイ (トレイ 2) にセットした用紙の印刷開始位置 (通常はページの左上端) を左右方向に-500 ドット (左) ~+500 ドット (右) の範囲で調整します。
			[y オフセット]		300dpi で印刷する場合、増設トレイ (トレイ 2) にセットした用紙の印刷開始位置 (通常はページの左上端) を上下方向に-500 ドット (上) ~+500 ドット (下) の範囲で調整します。
		[トレイ 3] ¹	[x オフセット]		300dpi で印刷する場合、増設トレイ (トレイ 3) にセットした用紙の印刷開始位置 (通常はページの左上端) を左右方向に-500 ドット (左) ~+500 ドット (右) の範囲で調整します。
			[y オフセット]		300dpi で印刷する場合、増設トレイ (トレイ 3) にセットした用紙の印刷開始位置 (通常はページの左上端) を上下方向に-500 ドット (上) ~+500 ドット (下) の範囲で調整します。
		[除外トレイ設定] ¹	-	-	誤ったサイズ of 用紙がセットされていることが分かっている場合、特定のトレイを選択してスキップします。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[用紙トレイ設定]	[合紙トレイ設定] ¹	-	-	各印刷ジョブ間に挿入されるセパレート紙として使用する用紙を含むトレイを選択します。
	[用紙残量通知]	[用紙残量通知]	-	用紙トレイがもうすぐ用紙切れになることを示すメッセージを表示するかどうかを選択します。
		[通知レベル]	-	メッセージを表示させる残り用紙枚数を選択します。
	[トレイ確認]	-	-	用紙のタイプとサイズを確認するメッセージを表示するかどうかを選択します。
[音量]	[着信音量]	-	-	着信音量を調整します。
	[ボタン確認音量]	-	-	ボタン確認音量を調整します。
	[スピーカー音量]	-	-	スピーカー音量を調整します。
[画面の明るさ]	[画面の明るさ]	-	-	画面のバックライトの明るさを調整します。
	[照明ダウンタイマー]	-	-	メインホーム画面やその他の機能に戻った後に画面のバックライトが点灯する時間の長さを設定します。
	[パネルオフタイマー]	-	-	メインホーム画面やその他の機能に戻った後に画面のバックライトが消灯するまでの時間の長さを設定します。
[画面設定]	[待機画面]	-	-	メインホーム画面の設定を行います。
	[スキャン画面]	-	-	スキャン画面の初期値を設定します。
	[情報表示]	[IP アドレス]	-	製品の IP アドレスをホーム画面に表示するかどうかを選択します。
[通知画面設定]	[スキャン結果(白紙除去)]	-	-	スキャン後に、スキャンしたページの総数とスキップしたページを表示します。
[省エネモード]	[エコモード]	-	-	以下の本体の設定を有効にします。: <ul style="list-style-type: none"> • [両面印刷]: [長辺とじ]² • [スリープモード]: [0][分] • [照明ダウンタイマー]: [10][秒] • [静音モード]: [オン]² • [トナー節約モード]: [オン]²
	[トナー節約モード]	-	-	トナーカートリッジの印刷可能ページ枚数を増加させます。
	[スリープモード]	-	-	本製品が節電モードに入るまでの待機時間を設定します。
	[静音モード]	-	-	印刷音を軽減します。
	[自動電源オフ]	-	-	パワーオフモードに入るまでの分数または時間を設定します。
[セキュリティ設定ロック]	-	-	-	権限のないユーザーが製品の設定を変更するのを制限します。
[記憶消去]	[マクロ ID]	-	-	登録されたマクロデータを削除します。
	[ストリーム ID]	-	-	登録されたストリームデータを削除します。
	[フォント ID]	-	-	登録されたフォントデータを削除します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[記憶消去]	[一括消去]	-	-	本製品のマクロ/ストリームとフォントのデータをお買い上げ時の状態に戻します。

1 増設トレイが取り付けられているときのみ使用できます。

2 この設定の変更は、Web Based Management で特定の製品設定を変更した後でのみ使用できます。

[ショートカット設定]

[全てのメニュー] > [ショートカット設定]

設定項目 3	設定項目 4	説明
(ショートカットを選択します)	[名前の変更]	ショートカット名を変更します。
	[編集]	ショートカット設定を編集します。
	[消去]	ショートカットを削除します。
	[NFC カードの登録]	IC カードにショートカットを割り当てます。
	[NFC カード削除]	IC カードからショートカットを削除します。

[ファクス]

[全てのメニュー] > [ファクス]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明	
[受信設定]	[ファクス無鳴動受信]	-	受信モードが電話とファクス自動切り替えに設定されている場合、電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。	
	[呼出ベル回数]	-	ファクスまたは F/T=自動切換えモードのときに、本製品が応答するまでに鳴る呼び出し音の回数を設定します。	
	[受信モード]	-	最適な受信モードを選択します。	
	[電話機の接続]	-	外付け電話を接続している場合に、外付け電話を使用するための設定をします。	
	[再呼出ベル回数]	-	F/T=自動切換えモードでの、再呼出ベル回数を設定します。	
	[みるだけ受信]	-	受信したファクスを画面に表示します。	
	[親切受信]	-	着信応答時にファクス受信音を聞くと、自動的にファクスを受信します。	
	[リモート受信]	[リモート受信] [起動番号]	内線電話または外付け電話で着信に应答し、暗証番号を使ってリモートコードをオンまたはオフにします。好きな暗証番号を設定することができます。	
	[自動縮小]	-	受信ファクスの各ページを縮小して、用紙に収まるようにします。	
	[PC ファクス受信]	-	パソコンにファクスを送信するように設定します。 本製品で印刷する/しないを設定できます。	
	[メモリ受信]	[オフ]	-	
		[ファクス転送]	-	ファクスメッセージを転送したり、(製品から離れている間も取り出すことができるように) 受信ファクスをメモリーに保存したりするように設定します。
		[メモリ保持のみ]	-	ファクス転送またはメモリ保持のみを選択している場合は、本製品で印刷するセーフティー機能をオンにできます。
	[ファクスクラ	-	オンラインサービスに受信ファクスを転送します。	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[受信設定]	[メモリ受信]	ウド転送]	
		[ファクスネットワーク転送]	受信ファクスをネットワークの宛先に転送します。
	[受信スタンプ]	-	受信ファクスの上部に受信日時を印刷します。
	[両面印刷]	-	受信ファクスを用紙の両面に印刷します。
[送信設定]	[とりまとめ送信]	-	ファクス番号と予約時刻が同じファクスを、1回のタイマー送信にまとめます。
	[送付書コメント]	-	1つまたは2つのカスタム表紙メッセージを設定して送信ファクスに印刷します。
	[自動再ダイヤル]	-	回線が混雑してファクス通信ができなかった場合は、最後に送信したファクス番号を5分後にかけ直すように製品を設定します。 ファクスを自動送信中に回線が混み合っている場合、本製品は3回まで5分間隔で再ダイヤルします。
	[送信先表示]	-	ファクスダイヤル中に、製品の画面に宛先の情報を表示するように設定します。
[電話回線診断]	-	-	本製品が現在の回線状態を診断し、結果をレポートに印刷します。
[着信制限]	[制限方法]	-	受信ファクス制限機能を有効にし、制限機能の方法を選択します。
	[許可リスト] ([制限方法]で選択した場合)	[登録]	特定のファクス番号をファクス受信許可リストに登録し、その番号からのファクスを受信できるようにします。
		[消去]	許可リストから番号を削除します。
		[レポート印刷]	許可リストに登録されているファクス番号の一覧を印刷します。
	[拒否リスト] ([制限方法]で選択した場合)	[登録]	特定のファクス番号をファクス受信禁止リストに登録し、その番号からのファクスを受信しないようにします。
		[消去]	禁止リストから番号を削除します。
[レポート印刷]		禁止リストに登録されているファクス番号の一覧を印刷します。	
[レポート設定]	[送信結果レポート]	-	送信結果レポートの初期設定を選択します。
	[通信管理レポート]	[通信管理レポート]	通信管理レポートの自動印刷の間隔を設定します。
		[印刷時刻指定]	レポート出力しない、または50件ごと、以外を選択すると、時間を設定できます。
		[曜日指定]	7日ごとを選択した場合は曜日を指定できます。
[ファクス出力]	-	-	製品のメモリー内に保存された受信ファクスを印刷します。印刷後、ファクスはすべて製品のメモリーから消去されます。
[暗証番号]	-	-	リモコン機能の暗証番号を設定します。
[ダイヤル制限機能]	[直接入力]	-	選択した方式を使用している際に、誤って間違った番号にダイヤルすることを防いだり、ダイヤルを制限します。
	[電話帳]	-	
	[ショートカット]	-	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[ダイヤル制限機能]	[LDAP サーバー]	-	選択した方式を使用している際に、誤って間違った番号にダイヤルすることを防いだり、ダイヤルを制限します。
[通信待ち一覧]	-	-	製品のメモリー内の送信待ちジョブを確認したり、送信をやめたりできます。
[ナンバーディスプレイ]	-	-	ナンバー・ディスプレイサービスのオン/オフを設定します。
[データコネクト設定]	[IP ファクス]	-	IP ファクスを使ってファクスを送信するときに設定します。
	[送信速度]	-	IP ファクスを使ってファクスを送信するときの通信速度を設定します。

[プリンター]

[全てのメニュー] > [プリンター]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[エミュレーション]	-	-	エミュレーションモードを設定します。
[画質]	-	-	印刷品質を選択します。
[プリンター オプション]	[フォント リスト]	[HP LaserJet]	製品の内部フォントの一覧を印刷します。
		[BR-Script 3]	
	[テストプリント]	-	テストページを印刷します。
[両面印刷]	[両面印刷]	-	両面印刷をするかどうかを設定します。また、とじ方向を長辺または短辺から選びます。
	[片面データ搬送方式]	-	最終ページが片面だけの印刷ジョブとなる場合、[片面搬送経路] オプションを選択して印刷時間を短縮します。 印刷済みの用紙を使用する場合は、必ず [両面搬送経路] オプションを選択してください。印刷済みの用紙に対して [片面搬送経路] を選択すると、最後のページは裏面に印刷されます。
[エラー解除]	-	-	用紙サイズエラーや用紙タイプエラーを自動的に解除し、他のトレイの用紙を使って印刷したい場合はこの設定を選択します。
[印刷カラー]	-	-	出力の色を設定します。
[用紙タイプ]	-	-	用紙タイプを設定します。
[用紙サイズ]	-	-	用紙サイズを設定します。
[部数]	-	-	印刷するページ数を設定します。
[印刷の向き]	-	-	ページを縦向きと横向きのどちらで印刷するかを設定します。
[文字強調]	-	-	文字をよりシャープに表示します。
[印字位置]	-	-	印刷位置設定メニューにアクセスします。
[オートフォームフィード]	-	-	本製品に残っているデータを自動的にすべて印刷できるようにします。
[HP LaserJet]	[フォント No.]	[フォント No.]	フォント番号を設定します。 このメニューは、本製品にソフトフォントがインストールされているときに表示されます。
		[ダウンロードフォント]	ソフトフォント番号を設定します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[HP LaserJet]	[フォント No.]		このメニューは、本製品にソフトフォントがインストールされているときに表示されます。
	[フォントピッチ]	-	フォントピッチを設定します。 (特定のフォントのみ対応)
	[フォントポイント]	-	フォントサイズを設定します。 (特定のフォントのみ対応)
	[コードテーブル]	-	記号または文字セットを選択します。
	[コードテーブル印刷]	-	文字コード表を印刷します。
	[オート LF]	-	ON: CR -> CR+LF、OFF: CR -> CR
	[オート CR]	-	ON: LF -> LF+CR、FF -> FF+CR、または VT -> VT+CR OFF: LF -> LF、FF -> FF、または VT -> VT
	[オート WRAP]	-	キャリッジ位置が右マージンに到達したときに、ラインフィードとキャリッジリターンを行うかどうかを選択します。
	[オート SKIP]	-	キャリッジ位置が下部マージンに到達したときに、ラインフィードとキャリッジリターンを行うかどうかを選択します。
	[左マージン]	-	1 インチ 1 文字ピッチで左マージンを 0 列～70 列に設定します。
	[右マージン]	-	1 インチ 1 文字ピッチで右マージンを 10 列～80 列に設定します。
	[上マージン]	-	用紙の上端から、上部マージンの長さを設定します。
	[下マージン]	-	用紙の下端から、下部マージンの長さを設定します。
	[行数]	-	各ページの行数を設定します。
[トレイ コマンド]	-	HP 社のドライバーを使用したとき、トレイ不一致メッセージが表示される場合はこの設定を選択します。	
[BR-Script 3]	[エラー印刷]	-	エラーが発生したときに本製品でエラー情報を印刷するかどうかを選択します。
	[高画質モード]	-	ブラザー製以外の PS ドライバーで作成された PS ファイルを印刷する場合は、CAPT (Color Advanced Printing Technology) を使用して最適な印刷品質を確保します。 カラーと写真がより鮮明で正確に印刷されます。印刷速度が遅くなります。
[PDF]	[レイアウト]	-	複数ページを印刷するときのページレイアウトを設定します。
	[PDF 印刷オプション]	-	PDF ファイル内のテキストと一緒に、コメント (マークアップ) またはスタンプを印刷するかどうか、PDF 印刷設定を行います。
	[用紙に合わせた PDF 印刷]	-	PDF ファイルのページを選択した用紙サイズに合わせて拡大または縮小するかどうかを選択します。
[カーボン メニュー]	[カーボン コピー]	-	カーボンコピー機能を有効または無効にします。
	[部数]	-	印刷するページ数を設定します。
	[コピー 1 トレイ]	-	コピー 1 に使用するトレイを選択します。
	[コピー 1 ストリーム]	-	コピー 1 に使用するストリームを選択します。
	[コピー 2 トレイ] ...	-	コピー 2～コピー 8 に使用するトレイを選択します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明	
[カーボン メニュー]	[コピー 8 トレイ]			
	[コピー 2 ストリーム] ... [コピー 8 ストリーム]	-	コピー 2~8 に使用するストリームを選択します。	
[画質補正]	[補正実施]	-	色補正を行い、色の確認と補正を行った後、登録を行い、各色の印刷位置を調整します。	
	[リセット]	-	補正パラメーターの設定をリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。	
	[定期色ずれ補正]	-	色補正と色ずれ補正が自動的に行われるように設定します。	
	[カラー設定]	[設定元]		本製品またはプリンタードライバーのカラー印刷設定を適用するかを選択します。
		[カラーモード]		カラーモードを選択します。
		[グレーの色味を改善]		オンまたはオフに設定して、グレー部分の画像品質を高めま
		[黒を強調]		黒色の図形データが正しく印刷されない場合、オンまたはオフに
		[明るさ]		明るさを調整します。
		[コントラスト]		コントラストを設定します。
		[赤]		赤の色を調整します。
[緑]			緑の色を調整します。	
[青]		青の色を調整します。		
[プリンター リセット]	-	-	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	

[ネットワーク]

[全てのメニュー] > [ネットワーク]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[有線 LAN]	[TCP/IP]	[IP 取得方法]	-	最適な IP 取得方法を選択します。
		[IP アドレス]	-	IP アドレスを入力します。
		[サブネットマスク]	-	サブネットマスクを入力します。
		[ゲートウェイ]	-	ゲートウェイアドレスを入力します。
		[ノード名]	-	ノード名を入力します。 (32 文字まで)
		[WINS 設定]	-	WINS 設定モードを選択します。
		[WINS サーバー]	[プライマリ]	
[セカンダリ]			セカンダリ WINS サーバーの IP アドレスを指定します。	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明		
[有線 LAN]	[TCP/IP]	[DNS サーバー]	[プライマリ]	プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを指定します。		
			[セカンダリ]	セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを指定します。		
		[APIPA]	-	リンクローカルアドレスの範囲から、自動的に IP アドレスを割り当てるように製品を設定します。		
		[IPv6]	-	IPv6 プロトコルをオンまたはオフにします。		
	[イーサネット]	-	-	イーサネットリンクモードを選択します。		
	[有線 LAN 状態]	-	-	現在の有線 LAN の状態を確認します。		
	[MAC アドレス]	-	-	製品の MAC アドレスを確認します。		
	[初期設定に戻す]	-	-	有線 LAN 設定をお買い上げ時の設定に戻します。		
[有線 LAN 有効]	-	-	有線 LAN インターフェースを手動でオンまたはオフにします。			
[無線 LAN (Wi-Fi)]	[ネットワーク選択 (SSID)]	-	-	無線ネットワークを手動で設定します。		
	[WPS (プッシュボタン)]	-	-	ワンプッシュボタン方式を使って無線ネットワークを設定します。		
	[WPS (PIN コード)]	-	-	WPS の PIN を使って無線ネットワークの設定をします。		
	[接続修復]	-	-	リセットして無線ネットワークを再起動します。		
	[無線状態]	[接続状態]	-	-	現在の無線ネットワークの状態を確認します。	
		[電波状態]	-	-	現在の無線ネットワークの信号強度を確認します。	
		[SSID]	-	-	現在の SSID を確認します。	
		[通信モード]	-	-	現在の通信モードを確認します。	
	[TCP/IP]	[IP 取得方法]	-	-	最適な IP 取得方法を選択します。	
		[IP アドレス]	-	-	IP アドレスを入力します。	
		[サブネットマスク]	-	-	サブネットマスクを入力します。	
		[ゲートウェイ]	-	-	ゲートウェイアドレスを入力します。	
		[ノード名]	-	-	ノード名を入力します。 (32 文字まで)	
		[WINS 設定]	-	-	WINS 設定モードを選択します。	
		[WINS サーバー]	[プライマリ]	-	-	プライマリ WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	-	-	セカンダリ WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[DNS サーバー]	[プライマリ]	-	-	プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	-	-	セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[APIPA]	-	-	リンクローカルアドレスの範囲から、自動的に IP アドレスを割り当てるように製品を設定します。	
		[IPv6]	-	-	IPv6 プロトコルをオンまたはオフにします。	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明	
[無線 LAN (Wi-Fi)]	[MAC アドレス]	-	-	製品の MAC アドレスを確認します。	
	[初期設定に戻す]	-	-	無線ネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。	
	[無線 LAN 有効]	-	-	無線インターフェースをオンまたはオフにします。	
[Wi-Fi Direct]	[手動接続]	-	-	Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定します。	
	[グループ オーナー]	-	-	お使いの製品をグループオーナーに設定します。	
	[プッシュボタン接続]	-	-	ワンプッシュ方式を使用して、Wi-Fi Direct ネットワークを設定します。	
	[PIN コード接続]	-	-	WPS の PIN コードを使って Wi-Fi Direct ネットワークの設定をします。	
	[デバイス情報]	[デバイス名]	-	-	お使いの製品のデバイス名を確認します。
		[SSID]	-	-	グループオーナーの SSID を確認します。
		[IP アドレス]	-	-	製品の現在の IP アドレスを確認します。
	[接続情報]	[接続状態]	-	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワークの状態を確認します。
		[電波状態]	-	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワークの信号強度を確認します。 製品がグループオーナーとして動作しているときは、画面には常に強い信号が表示されます。
[インターフェース有効]	-	-	Wi-Fi Direct 接続をオンまたはオフにします。		
[NFC]	-	-	-	NFC 機能をオン、またはオフに切り替えます。	
[E メール/IFAX]	[メール アドレス]	-	-	本製品のメールアドレスを設定します。	
	[サーバー設定]	[SMTP]	[サーバー]	SMTP サーバーの名前とアドレスを入力します。	
			[ポート]	SMTP ポート番号を入力します。	
			[SMTP 認証]	E メール通知のセキュリティ方式を選択します。	
			[SSL/TLS]	安全な SSL/TLS 通信を必要とする E メールサーバーを経由して、E メールを送受信します。	
			[証明書の検証]	SMTP サーバー認証を自動的に確認します。	
		[POP3/IMAP4]	[プロトコル]	サーバーから E メールを受信するためのプロトコルを選択します。	
			[サーバー]	サーバーの名前とアドレスを入力します。	
			[ポート]	ポート番号を入力します。	
			[アカウント名]	アカウント名を入力します。 (255 文字まで)	
			[パスワード]	サーバーにログインするパスワードを入力します。 (128 文字まで)	
	[フォルダ選択]	IMAP4 プロトコルを使用する場合にメールボックス内で指定するフォルダを選択します。			
	[SSL/TLS]	安全な SSL/TLS 通信を必要とする E メールサーバーを経由して、E メールを送受信します。			

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明	
[Eメール/IFAX]	[サーバー設定]	[POP3/IMAP4]	[証明書の検証]	SMTP サーバー認証を自動的に確認します。	
			[POP3/IMAP4 認証]	Eメール通知のセキュリティ方式を選択します。	
	[メール 受信設定]	[自動受信]	[自動受信]	自動的にサーバーの新しいメッセージを確認します。	
			[ポーリング間隔]	サーバーの新しいメッセージを確認する間隔を設定します。	
		[ヘッダー印刷]	-	印刷する Eメールヘッダーの内容を選択します。	
		[エラーメール削除/閲覧]	-	POP3 サーバーが自動的にエラーメールを消去します。お客様が読み終わった後に、IMAP4 サーバーが自動的にエラーメールを削除します。	
		[受信確認]	-	通知メッセージを受信します。	
	[メール 送信設定]	[サイズ制限]	[サイズ制限]	Eメール文書のサイズを制限します。	
			[最大サイズ (MB)]		
	[リレー 設定]	[リレー 許可]	[受信確認要求]	-	通知メッセージを送信します。
			[許可 ドメイン]	[リレー] [##]	ドメイン名を登録します。
			[リレー レポート]	-	リレー配信レポートを印刷します。
	[レポート設定]	[Eメール]	[送信結果レポート]	送信結果レポートの初期設定を選択します。	
		[インターネット ファクス]	[送信結果レポート]		
	[手動受信]	-	-	-	POP3 または IMAP4 サーバーの新しいメッセージが届いているかを手動で確認します。
[Web 接続設定]	[プロキシ設定]	[プロキシ経由接続]	-	Web 接続設定を変更します。	
		[アドレス]	-		
		[ポート]	-		
		[ユーザー名]	-		
		[パスワード]	-		
[Web Based Mgmt]	-	-	-	Web Based Management を有効または無効にします。 この機能を有効にした場合は、Web Based Management を使用する接続方法を必ず指定してください。	
[IPsec]	-	-	-	IPsec は、IP プロトコルの任意のセキュリティ機能であり、認証と暗号化のサービスを提供します。ネットワーク管理者に問い合わせからこの設定を変更することを推奨します。	
[IP フィルター]	-	-	-	IP フィルターを有効にして、本製品へのアクセスを制限します。	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[グローバル IP 検知]	[グローバル IP 検知]	-	-	ユーザーが意図せずにグローバルネットワークに接続した場合に、それを検知して通知する機能「グローバル IP 検知」の有効または無効を設定します。
	[アクセス拒否]	-	-	グローバルネットワークへの接続を無効にします。
[ネットワーク設定リセット]	-	-	-	すべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。

[レポート印刷]

[全てのメニュー] > [レポート印刷]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[送信結果レポート]	[表示]	送信済みファクスの送信結果レポートを表示します。
	[印刷]	最後の送信についての送信結果レポートを印刷します。
[電話帳リスト]	-	電話帳に登録されている受信者の一覧を印刷します。
[通信管理レポート]	-	最新 200 件の受信および送信ファクス情報の一覧を印刷します。 (TX は送信を意味します。RX は受信を意味します。)
[設定内容リスト]	-	設定の一覧を印刷します。
[プリンター設定]	-	プリンター設定の一覧を印刷します。
[ネットワーク設定リスト]	-	ネットワーク設定の一覧を印刷します。
[ファイルリスト印刷]	-	本製品のメモリーに保存されているデータの一覧を印刷します。
[ドラム汚れ印刷]	-	ドラムチェックシートを印刷します。
[無線 LAN レポート]	-	無線ネットワーク接続結果を印刷します。
[着信履歴リスト]	-	ファクス・電話の最新 30 件の着信履歴の一覧を印刷します。

[製品情報]

[全てのメニュー] > [製品情報]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[シリアル No.]	-	-	製品のシリアルナンバーを確認します。
[ファームウェアバージョン]	[Main バージョン]	-	製品のファームウェアバージョンを確認します。
	[Security バージョン]	-	
[ファームウェア更新]	-	-	製品を最新のファームウェアに更新します。
[ファームウェア設定]	[更新方法]	-	ファームウェアの自動更新の日時を設定します。
	[更新曜日]	-	
	[更新時間]	-	
[印刷枚数表示]	[合計]	[カラー]	製品が印刷した合計ページ数を確認します。
		[モノクロ]	
	[ファクス]	-	
	[コピー]	[カラー]	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[印刷枚数表示]	[コピー]	[モノクロ]	製品が印刷した合計ページ数を確認します。
	[プリンター]	[カラー]	
		[モノクロ]	
	[その他]	[カラー]	
		[モノクロ]	
[消耗品寿命] ¹	[ドラム 寿命]	-	ドラムユニットの寿命を表示します。
	[ベルト 寿命]	-	ベルトユニットの寿命を表示します。
	[ヒーター 寿命]	-	定着ユニットの寿命を表示します。
	[レーザー 寿命]	-	レーザーユニットの寿命を表示します。
	[PF キット MP 寿命]	-	PF キット (多目的トレイ) の寿命を表示します。
	[PF キット 1 寿命]	-	PF キット 1 の寿命を表示します。
	[PF キット 2 寿命] ²	-	PF キット 2 の寿命を表示します。
	[PF キット 3 寿命] ²	-	PF キット 3 の寿命を表示します。

¹ 部品の交換時期は大まかなものであり、使用方法によって異なります。

² 増設トレイが取り付けられているときのみ使用できます。

[初期設定]

[全てのメニュー] > [初期設定]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[時計セット]	[日付]	画面および送信ファクスの見出しに日付と時刻を追加します。
	[時刻]	
	[時計表示]	時刻の形式 (12 時間または 24 時間) を選択します。
	[タイムゾーン]	タイムゾーンを設定します。
[発信元登録]	[ファクス]	送信ファクスに表示する名前とファクス番号を入力します。
	[電話]	
	[名前]	
[回線種別設定]	-	回線種別を選択します。
[ダイヤルトーン設定]	-	ダイヤルトーン検出ポーズを短くします。
[外線番号]	-	ダイヤル時に毎回ファクス番号の先頭に付ける番号を設定します。
[特別回線対応]	-	電話回線の種類を選択します。
[安心通信モード]	-	通信エラーを調整します。 VoIP サービスプロバイダーは様々な規格を使ってファクスのサポートを提供します。ファクス通信エラーがたびたび起こる場合は、安心 (VoIP) を選択します。
[設定リセット]	[機能設定リセット]	変更した製品設定を元に戻します。

設定項目 3	設定項目 4	説明
[設定リセット]	[ネットワーク設定リセット]	すべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	[電話帳&ファクスリセット]	登録されているすべての電話番号、ファクスデータ、ファクス設定を消去します。
	[全設定リセット]	製品のすべての設定を工場出荷時設定にリセットし、メモリーに保存されている個人データを削除します。本製品に保存されているデータを見ることはできません。
	[出荷状態リセット]	製品のすべての設定を工場出荷時設定にリセットし、メモリーに保存されている個人データを削除します。本製品からすべてのデータを削除したい場合は、このオプション設定を使用することをお勧めしています。
[表示言語設定] (特定の国のみ対応)	-	画面の言語を変更します。

✓ 関連情報

- [設定と機能一覧](#)

設定一覧 (MFC-L8970CDW)

関連モデル: MFC-L8970CDW

- >> [基本設定]
- >> [ショートカット設定]
- >> [ファクス]
- >> [プリンター]
- >> [ネットワーク]
- >> [レポート印刷]
- >> [製品情報]
- >> [初期設定]
- >> [管理者メニュー]

[基本設定]

[全てのメニュー] > [基本設定]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明	
[用紙トレイ設定]	[用紙タイプ]	[多目的トレイ]	-	多目的トレイ内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。	
		[用紙トレイ 1]	-	標準用紙トレイ内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。	
		[用紙トレイ 2] 1	-	増設トレイ (トレイ 2) 内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。	
		[用紙トレイ 3] 1	-	増設トレイ (トレイ 3) 内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。	
	[用紙サイズ]	[多目的トレイ]	-	多目的トレイにセットした用紙サイズを選択します。	
		[用紙トレイ 1]	-	標準用紙トレイにセットした用紙サイズを選択します。	
		[用紙トレイ 2] 1	-	増設トレイ (トレイ 2) にセットした用紙サイズを選択します。	
		[用紙トレイ 3] 1	-	増設トレイ (トレイ 3) にセットした用紙サイズを選択します。	
	[コピー]	-	-	コピーに使用するトレイを選択します。	
	[ファクス]	-	-	ファクスの印刷に使用するトレイを選択します。	
	[プリント]	-	-	印刷に使用するトレイを選択します。	
	[印字位置]	[多目的トレイ]	[x オフセット]		300dpi で印刷する場合、多目的トレイにセットした用紙の印刷開始位置 (通常はページの左上端) を左右方向に-500 ドット (左) ~+500 ドット (右) の範囲で調整します。
			[y オフセット]		300dpi で印刷する場合、多目的トレイにセットした用紙の印刷開始位置 (通常はページの左上端) を上下方向に-500 ドット (上) ~+500 ドット (下) の範囲で調整します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明	
[用紙トレイ設定]	[印字位置]	[トレイ 1]	[x オフセット]	300dpi で印刷する場合、標準用紙トレイにセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を左右方向に-500 ドット（左）～+500 ドット（右）の範囲で調整します。	
			[y オフセット]	300dpi で印刷する場合、標準用紙トレイにセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を上下方向に-500 ドット（上）～+500 ドット（下）の範囲で調整します。	
		[トレイ 2] ¹	[x オフセット]	300dpi で印刷する場合、増設トレイ（トレイ 2）にセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を左右方向に-500 ドット（左）～+500 ドット（右）の範囲で調整します。	
			[y オフセット]	300dpi で印刷する場合、増設トレイ（トレイ 2）にセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を上下方向に-500 ドット（上）～+500 ドット（下）の範囲で調整します。	
		[トレイ 3] ¹	[x オフセット]	300dpi で印刷する場合、増設トレイ（トレイ 3）にセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を左右方向に-500 ドット（左）～+500 ドット（右）の範囲で調整します。	
			[y オフセット]	300dpi で印刷する場合、増設トレイ（トレイ 3）にセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を上下方向に-500 ドット（上）～+500 ドット（下）の範囲で調整します。	
	[除外トレイ設定] ¹	-	-	誤ったサイズ of 用紙がセットされていることが分かっている場合、特定のトレイを選択してスキップします。	
	[合紙トレイ設定] ¹	-	-	各印刷ジョブ間に挿入されるセパレート紙として使用する用紙を含むトレイを選択します。	
	[用紙残量通知]	[用紙残量通知]	-	-	用紙トレイがもうすぐ用紙切れになることを示すメッセージを表示するかどうかを選択します。
		[通知レベル]	-	-	メッセージを表示させる残り用紙枚数を選択します。
[トレイ確認]	-	-	-	用紙のタイプとサイズを確認するメッセージを表示するかどうかを選択します。	
[音量]	[着信音量]	-	-	着信音量を調整します。	
	[ボタン確認音量]	-	-	ボタン確認音量を調整します。	
	[スピーカー音量]	-	-	スピーカー音量を調整します。	
[画面の明るさ]	[画面の明るさ]	-	-	画面のバックライトの明るさを調整します。	
	[照明ダウンタイマー]	-	-	メインホーム画面やその他の機能に戻った後に画面のバックライトが点灯する時間の長さを設定します。	
	[パネルオフタイマー]	-	-	メインホーム画面やその他の機能に戻った後に画面のバックライトが消灯するまでの時間の長さを設定します。	
[通知画面設定]	[原稿取り忘れ]	-	-	原稿が原稿台ガラスに残されている場合に警告をするかどうかを選択します。	
	[スキャン結果（白紙除去）]	-	-	スキャン後に、スキャンしたページの総数とスキップしたページを表示します。	
[省エネモード]	[エコモード]	-	-	以下の本体の設定を有効にします。： <ul style="list-style-type: none"> • [両面印刷]：[長辺とじ]² • [スリープモード]：0 [分] • [照明ダウンタイマー]：[10 秒] • [静音モード]：[オン]² • [トナー節約モード]：[オン]² 	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[省エネモード]	[トナー節約モード]	-	-	トナーカートリッジの印刷可能ページ枚数を増加させます。
	[スリープモード]	-	-	本製品が節電モードに入るまでの待機時間を設定します。
	[静音モード]	-	-	印刷音を軽減します。
	[自動電源オフ]	-	-	パワーオフモードに入るまでの分数または時間を設定します。
[記憶消去]	[マクロ ID]	-	-	登録されたマクロデータを削除します。
	[ストリーム ID]	-	-	登録されたストリームデータを削除します。
	[フォント ID]	-	-	登録されたフォントデータを削除します。
	[一括消去]	-	-	本製品のマクロ/ストリームとフォントのデータをお買い上げ時の状態に戻します。
	[USB メモリの初期化] (ジョブ保存場所メニューで USB フラッシュメモリーを選択した場合のみ有効)	-	-	USB ストレージプリントを行うには、USB フラッシュメモリーを初期化します。USB フラッシュメモリーの初期化には 40 分以上かかります。

1 増設トレイが取り付けられているときのみ使用できます。

2 この設定の変更は、Web Based Management で特定の製品設定を変更した後でのみ使用できます。

[ショートカット設定]

[全てのメニュー] > [ショートカット設定]

設定項目 3	設定項目 4	説明
(ショートカットを選択します)	[名前の変更]	ショートカット名を変更します。
	[編集]	ショートカット設定を編集します。
	[消去]	ショートカットを削除します。
	[NFC カードの登録]	IC カードにショートカットを割り当てます。
	[NFC カード削除]	IC カードからショートカットを削除します。

[ファクス]

[全てのメニュー] > [ファクス]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[受信設定]	[ファクス無鳴動受信]	-	受信モードが電話とファクス自動切り替えに設定されている場合、電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。
	[呼出ベル回数]	-	ファクスまたは F/T=自動切換えモードのときに、本製品が応答するまでに鳴る呼び出し音の回数を設定します。
	[受信モード]	-	最適な受信モードを選択します。
	[電話機の接続]	-	外付け電話を接続している場合に、外付け電話を使用するための設定をします。
	[再呼出ベル回数]	-	F/T=自動切換えモードでの、再呼出ベル回数を設定します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明	
[受信設定]	[みるだけ受信]	-	受信したファクスを画面に表示します。	
	[親切受信]	-	着信応答時にファクス受信音を聞くと、自動的にファクスを受信します。	
	[リモート受信]	[リモート受信]	[起動番号]	内線電話または外付け電話で着信に応答し、暗証番号を使ってリモートコードをオンまたはオフにします。好きな暗証番号を設定することができます。
		[自動縮小]		-
	[PC ファクス受信]	-	パソコンにファクスを送信するように設定します。 本製品で印刷する／しないを設定できます。	
	[メモリ受信]	[オフ]	-	
		[ファクス転送]		ファクスメッセージを転送したり、(製品から離れている間も取り出すことができるように) 受信ファクスをメモリーに保存したりするように設定します。
		[メモリ保持のみ]		ファクス転送またはメモリ保持のみを選択している場合は、本製品で印刷するセーフティー機能をオンにできます。
		[ファクスクラウド転送]		オンラインサービスに受信ファクスを転送します。
		[ファクスネットワーク転送]		受信ファクスをネットワークの宛先に転送します。
[受信スタンプ]	-	受信ファクスの上部に受信日時を印刷します。		
[両面印刷]	-	受信ファクスを用紙の両面に印刷します。		
[送信設定]	[とりまとめ送信]	-	ファクス番号と予約時刻が同じファクスを、1回のタイマー送信にまとめます。	
	[送付書コメント]	-	ファクスの表紙のコメントを設定します。	
	[自動再ダイヤル]	-	回線が混雑してファクス通信ができなかった場合は、最後に送信したファクス番号を5分後にかけ直すように製品を設定します。 ファクスを自動送信中に回線が混み合っている場合、本製品は3回まで5分間隔で再ダイヤルします。	
	[送信先表示]	-	ファクスダイヤル中に、製品の画面に宛先の情報を表示するように設定します。	
[電話回線診断]	-	-	本製品が現在の回線状態を診断し、結果をレポートに印刷します。	
[着信制限]	[制限方法]	-	受信ファクス制限機能を有効にし、制限機能の方法を選択します。	
	[許可リスト] ([制限方法]で選択した場合)	[登録]		特定のファクス番号をファクス受信許可リストに登録し、その番号からのファクスを受信できるようにします。
		[消去]		許可リストから番号を削除します。
		[レポート印刷]		許可リストに登録されているファクス番号の一覧を印刷します。
		[呼出ベル回数]		許可リスト機能が動作するまでの呼び出し回数を設定します。
	[拒否リスト] ([制限方法]で選択した場合)	[登録]		特定のファクス番号をファクス受信禁止リストに登録し、その番号からのファクスを受信ないようにします。
[消去]			禁止リストから番号を削除します。	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[着信制限]	[拒否リスト] ([制限方法]で選択した場合)	[レポート印刷]	禁止リストに登録されているファクス番号の一覧を印刷します。
[レポート設定]	[送信結果レポート]	-	送信結果レポートの初期設定を選択します。
	[通信管理レポート]	[通信管理レポート]	通信管理レポートの自動印刷の間隔を設定します。
		[印刷時刻指定]	レポート出力しない、または 50 件ごと、以外を選択すると、時間を設定できます。
		[曜日指定]	7 日ごとを選択した場合は曜日を指定できます。
[ファクス出力]	-	-	製品のメモリー内に保存された受信ファクスを印刷します。印刷後、ファクスはすべて製品のメモリーから消去されます。
[暗証番号]	-	-	リモコン機能の暗証番号を設定します。
[ダイヤル制限機能]	[直接入力]	-	選択した方式を使用している際に、誤って間違った番号にダイヤルすることを防いだり、ダイヤルを制限します。
	[電話帳]	-	
	[ショートカット]	-	
	[LDAP サーバー]	-	
[通信待ち一覧]	-	-	製品のメモリー内の送信待ちジョブを確認したり、送信をやめたりできます。
[ナンバーディスプレイ]	-	-	ナンバー・ディスプレイサービスのオン/オフを設定します。
[データコネクタ設定]	[IP ファクス]	-	IP ファクスを使ってファクスを送信するときに設定します。
	[通信速度]	-	IP ファクスを使ってファクスを送信するときの通信速度を設定します。

[プリンター]

[全てのメニュー] > [プリンター]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[エミュレーション]	-	-	エミュレーションモードを設定します。
[画質]	-	-	印刷品質を選択します。
[プリンター オプション]	[フォント リスト]	[HP LaserJet]	製品の内部フォントの一覧を印刷します。
		[BR-Script 3]	
	[テストプリント]	-	テストページを印刷します。
[両面印刷]	[両面印刷]	-	両面印刷をするかどうかを設定します。また、とじ方向を長辺または短辺から選びます。
	[片面データ搬送方式]	-	最終ページが片面だけの印刷ジョブとなる場合、[片面搬送経路] オプションを選択して印刷時間を短縮します。 レターヘッド紙や印刷済み用紙を使用する場合、必ず [両面搬送経路] オプションを選択してください。[片面搬送経路] を選択してレターヘッド紙や印刷済み用紙に印刷した場合、最終ページの印刷が裏面に行われてしまいます。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[エラー解除]	-	-	用紙サイズエラーや用紙タイプエラーを自動的に解除し、他のトレイの用紙を使って印刷したい場合はこの設定を選択します。
[印刷カラー]	-	-	出力の色を設定します。
[用紙タイプ]	-	-	用紙タイプを設定します。
[用紙サイズ]	-	-	用紙サイズを設定します。
[部数]	-	-	印刷するページ数を設定します。
[印刷の向き]	-	-	ページを縦向きと横向きのどちらで印刷するかを設定します。
[文字強調]	-	-	文字をよりシャープに表示します。
[印字位置]	-	-	印刷位置設定メニューにアクセスします。
[オートフォームフィード]	-	-	本製品に残っているデータを自動的にすべて印刷できるようにします。
[HP LaserJet]	[フォント No.]	[フォント No.]	フォント番号を設定します。 このメニューは、本製品にソフトフォントがインストールされているときに表示されます。
		[ダウンロードフォント]	ソフトフォント番号を設定します。 このメニューは、本製品にソフトフォントがインストールされているときに表示されます。
	[フォントピッチ]	-	フォントピッチを設定します。 (特定のフォントのみ対応)
	[フォントポイント]	-	フォントサイズを設定します。 (特定のフォントのみ対応)
	[コードテーブル]	-	記号または文字セットを選択します。
	[コードテーブル印刷]	-	文字コード表を印刷します。
	[オート LF]	-	ON: CR -> CR+LF、OFF: CR -> CR
	[オート CR]	-	ON: LF -> LF+CR、FF -> FF+CR、または VT -> VT+CR OFF: LF -> LF、FF -> FF、または VT -> VT
	[オート WRAP]	-	キャリッジ位置が右マージンに到達したときに、ラインフィードとキャリッジリターンを行うかどうかを選択します。
	[オート SKIP]	-	キャリッジ位置が下部マージンに到達したときに、ラインフィードとキャリッジリターンを行うかどうかを選択します。
	[左マージン]	-	1 インチ 1 文字ピッチで左マージンを 0 列~70 列に設定します。
	[右マージン]	-	1 インチ 1 文字ピッチで右マージンを 10 列~80 列に設定します。
	[上マージン]	-	用紙の上端から、上部マージンの長さを設定します。
	[下マージン]	-	用紙の下端から、下部マージンの長さを設定します。
[行数]	-	各ページの行数を設定します。	
[トレイ コマンド]	-	HP 社のドライバーを使用したとき、トレイ不一致メッセージが表示される場合はこの設定を選択します。	
[BR-Script 3]	[エラー印刷]	-	エラーが発生したときに本製品でエラー情報を印刷するかどうかを選択します。
	[高画質モード]	-	ブラザー製以外の PS ドライバーで作成された PS ファイルを印刷する場合は、CAPT (Color Advanced Printing Technology) を使用して最適な印刷品質を確保します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[BR-Script 3]			カラーと写真がより鮮明で正確に印刷されます。印刷速度が遅くなります。
[PDF]	[レイアウト]	-	複数ページを印刷するときのページレイアウトを設定します。
	[PDF 印刷オプション]	-	PDF ファイル内のテキストと一緒に、コメント（マークアップ）またはスタンプを印刷するかどうか、PDF 印刷設定を行います。
	[用紙に合わせた PDF 印刷]	-	PDF ファイルのページを選択した用紙サイズに合わせて拡大または縮小するかどうかを選択します。
[カーボン メニュー]	[カーボン コピー]	-	カーボンコピー機能を有効または無効にします。
	[部数]	-	印刷するページ数を設定します。
	[コピー 1 トレイ]	-	コピー 1 に使用するトレイを選択します。
	[コピー 1 ストリーム]	-	コピー 1 に使用するストリームを選択します。
	[コピー 2 トレイ] ... [コピー 8 トレイ]	-	コピー 2～コピー 8 に使用するトレイを選択します。
	[コピー 2 ストリーム] ... [コピー 8 ストリーム]	-	コピー 2～8 に使用するストリームを選択します。
	[画質補正]	[補正実施]	-
	[リセット]	-	補正パラメーターの設定をリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。
	[定期色ずれ補正]	-	色補正と色ずれ補正が自動的に行われるように設定します。
	[カラー設定]	[設定元]	本製品またはプリンタードライバーのカラー印刷設定を適用するかを選択します。
		[カラーモード]	カラーモードを選択します。
		[グレーの色味を改善]	オンまたはオフに設定して、グレー部分の画像品質を高めま
		[黒を強調]	黒色の図形データが正しく印刷されない場合、オンまたはオフに
		[明るさ]	明るさを調整します。
		[コントラスト]	コントラストを設定します。
		[レッド]	赤の色を調整します。
		[グリーン]	緑の色を調整します。
	[ブルー]	青の色を調整します。	
[印刷ジョブ保存先]	-	-	印刷ジョブの保存先とする場所を指定します。
[プリンター リセット]	-	-	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

[ネットワーク]

[全てのメニュー] > [ネットワーク]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明	
[有線 LAN]	[TCP/IP]	[IP 取得方法]	-	最適な IP 取得方法を選択します。	
		[IP アドレス]	-	IP アドレスを入力します。	
		[サブネットマスク]	-	サブネットマスクを入力します。	
		[ゲートウェイ]	-	ゲートウェイアドレスを入力します。	
		[ノード名]	-	ノード名を入力します。 (32 文字まで)	
		[WINS 設定]	-	WINS 設定モードを選択します。	
		[WINS サーバー]	[プライマリ]	-	プライマリ WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	-	セカンダリ WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[DNS サーバー]	[プライマリ]	-	プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	-	セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
	[APIPA]	-	リンクローカルアドレスの範囲から、自動的に IP アドレスを割り当てるように製品を設定します。		
	[IPv6]	-	IPv6 プロトコルをオンまたはオフにします。		
	[イーサネット]	-	-	イーサネットリンクモードを選択します。	
	[有線 LAN 状態]	-	-	現在の有線 LAN の状態を確認します。	
[MAC アドレス]	-	-	製品の MAC アドレスを確認します。		
[初期設定に戻す]	-	-	有線 LAN 設定をお買い上げ時の設定に戻します。		
[有線 LAN 有効]	-	-	有線 LAN インターフェースを手動でオンまたはオフにします。		
[無線 LAN (Wi-Fi)]	[ネットワーク選択 (SSID)]	-	-	無線ネットワークを手動で設定します。	
	[WPS (プッシュボタン)]	-	-	ワンプッシュボタン方式を使って無線ネットワークを設定します。	
	[WPS (PIN コード)]	-	-	WPS の PIN を使って無線ネットワークの設定をします。	
	[接続修復]	-	-	リセットして無線ネットワークを再起動します。	
	[無線状態]	[接続状態]	-	-	現在の無線ネットワークの状態を確認します。
		[電波状態]	-	-	現在の無線ネットワークの信号強度を確認します。
		[SSID]	-	-	現在の SSID を確認します。
		[通信モード]	-	-	現在の通信モードを確認します。
	[TCP/IP]	[IP 取得方法]	-	-	最適な IP 取得方法を選択します。
		[IP アドレス]	-	-	IP アドレスを入力します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明	
[無線 LAN (Wi-Fi)]	[TCP/IP]	[サブネットマスク]	-	サブネットマスクを入力します。	
		[ゲートウェイ]	-	ゲートウェイアドレスを入力します。	
		[ノード名]	-	ノード名を入力します。 (32文字まで)	
		[WINS 設定]	-	WINS 設定モードを選択します。	
		[WINS サーバー]	[プライマリ]	-	プライマリ WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	-	セカンダリ WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[DNS サーバー]	[プライマリ]	-	プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	-	セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[APIPA]	-	リンクローカルアドレスの範囲から、自動的に IP アドレスを割り当てるように製品を設定します。	
	[IPv6]	-	IPv6 プロトコルをオンまたはオフにします。		
[MAC アドレス]	-	-	製品の MAC アドレスを確認します。		
[初期設定に戻す]	-	-	無線ネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。		
[無線 LAN 有効]	-	-	無線インターフェースをオンまたはオフにします。		
[Wi-Fi Direct]	[手動接続]	-	-	Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定します。	
	[グループ オーナー]	-	-	お使いの製品をグループオーナーに設定します。	
	[プッシュボタン接続]	-	-	ワンプッシュ方式を使用して、Wi-Fi Direct ネットワークを設定します。	
	[PIN コード接続]	-	-	WPS の PIN コードを使って Wi-Fi Direct ネットワークの設定をします。	
	[デバイス情報]	[デバイス名]	-	-	お使いの製品のデバイス名を確認します。
		[SSID]	-	-	グループオーナーの SSID を確認します。
		[IP アドレス]	-	-	製品の現在の IP アドレスを確認します。
	[接続情報]	[接続状態]	-	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワークの状態を確認します。
		[電波状態]	-	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワークの信号強度を確認します。 製品がグループオーナーとして動作しているときは、画面には常に強い信号が表示されます。
	[インターフェース有効]	-	-	Wi-Fi Direct 接続をオンまたはオフにします。	
[NFC]	-	-	-	NFC 機能をオン、またはオフに切り替えます。	
[Eメール/IFAX]	[メール アドレス]	-	-	本製品のメールアドレスを設定します。	
	[サーバー設定]	[SMTP]	[サーバー]	-	SMTP サーバーの名前とアドレスを入力します。
			[ポート]	-	SMTP ポート番号を入力します。
			[SMTP 認証]	-	Eメール通知のセキュリティ方式を選択します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[Eメール/ IFAX]	[サーバー設定]	[SMTP]	[SSL/ TLS]	安全な SSL/TLS 通信を必要とする E メールサーバーを経由して、E メールを送受信します。
			[証明書の 検証]	SMTP サーバー認証を自動的に確認します。
		[POP3/ IMAP4]	[プロトコ ル]	サーバーから E メールを受信するためのプロトコルを選択します。
			[サーバー]	サーバーの名前とアドレスを入力します。
			[ポート]	ポート番号を入力します。
			[アカウン ト名]	アカウント名を入力します。 (255 文字まで)
			[パスワー ド]	サーバーにログインするパスワードを入力しま す。 (128 文字まで)
			[フォルダ 選択]	IMAP4 プロトコルを使用する場合にメールボッ クス内で指定するフォルダを選択します。
			[SSL/ TLS]	安全な SSL/TLS 通信を必要とする E メールサー バーを経由して、E メールを送受信します。
			[証明書の 検証]	SMTP サーバー認証を自動的に確認します。
	[POP3/ IMAP4 認 証]	E メール通知のセキュリティ方式を選択します。		
	[メール 受信設 定]	[自動受信]	[自動受信]	自動的にサーバーの新しいメッセージを確認し ます。
			[ポーリン グ間隔]	サーバーの新しいメッセージを確認する間隔を 設定します。
		[ヘッダー印 刷]	-	印刷する E メールヘッダーの内容を選択します。
		[エラーメー ル削除/閲覧]	-	POP3 サーバーが自動的にエラーメールを消去 します。お客様が読み終わった後に、IMAP4 サ ーバーが自動的にエラーメールを削除します。
		[受信確認]	-	通知メッセージを受信します。
	[メール 送信設 定]	[サイズ制限]	[サイズ制 限]	E メール文書のサイズを制限します。
			[最大サイ ズ(MB)]	
	[リレー 設定]	[受信確認要 求]	-	通知メッセージを送信します。
		[リレー 許 可]	-	別のファクス機にリレー配信を行います。
		[許可 ドメイ ン]	[リレー] [##]	ドメイン名を登録します。
	[レポート設定]	[リレー レポ ート]	-	リレー配信レポートを印刷します。
		[Eメール]	[送信結果 レポート]	送信結果レポートの初期設定を選択します。
[インターネ ット ファク ス]		[送信結果 レポート]		

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[Eメール/IFAX]	[手動受信]	-	-	POP3 または IMAP4 サーバーの新しいメッセージが届いているかを手動で確認します。
[Web 接続設定]	[プロキシ設定]	[プロキシ経由接続]	-	Web 接続設定を変更します。
		[アドレス]	-	
		[ポート]	-	
		[ユーザー名]	-	
		[パスワード]	-	
[Web Based Mgmt]	-	-	-	Web Based Management を有効または無効にします。 この機能を有効にした場合は、Web Based Management を使用する接続方法を必ず指定してください。
[IPsec]	-	-	-	IPsec は、IP プロトコルの任意のセキュリティ機能であり、認証と暗号化のサービスを提供します。ネットワーク管理者に問い合わせながらこの設定を変更することを推奨します。
[IP フィルター]	-	-	-	IP フィルターを有効にして、本製品へのアクセスを制限します。
[グローバル IP 検知]	[グローバル IP 検知]	-	-	ユーザーが意図せずにグローバルネットワークに接続した場合に、それを検知して通知する機能「グローバル IP 検知」の有効または無効を設定します。
	[アクセス拒否]	-	-	グローバルネットワークへの接続を無効にします。
[ネットワーク設定リセット]	-	-	-	すべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。

【レポート印刷】

【全てのメニュー】 > 【レポート印刷】

設定項目 3	設定項目 4	説明
[送信結果レポート]	[表示]	送信済みファクスの送信結果レポートを表示します。
	[レポート印刷]	最後の送信についての送信結果レポートを印刷します。
[電話帳リスト]	-	電話帳に登録されている受信者の一覧を印刷します。
[通信管理レポート]	-	最新 200 件の受信および送信ファクス情報の一覧を印刷します。 (TX は送信を意味します。RX は受信を意味します。)
[設定内容リスト]	-	設定の一覧を印刷します。
[プリンター設定]	-	プリンター設定の一覧を印刷します。
[ネットワーク設定リスト]	-	ネットワーク設定の一覧を印刷します。
[ファイルリスト印刷]	-	本製品のメモリーに保存されているデータの一覧を印刷します。
[ドラム汚れ印刷]	-	ドラムチェックシートを印刷します。
[無線 LAN レポート]	-	無線ネットワーク接続結果を印刷します。
[着信履歴リスト]	-	ファクス・電話の最新 30 件の着信履歴の一覧を印刷します。

[製品情報]

[全てのメニュー] > [製品情報]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[シリアル No.]	-	-	製品のシリアルナンバーを確認します。
[ファームウェアバージョン]	[Main バージョン]	-	製品のファームウェアバージョンを確認します。
	[Sub3 バージョン]	-	
	[Security バージョン]	-	
[ファームウェア更新]	-	-	本製品のファームウェアを最新版に更新します。
[ファームウェア設定]	[更新方法]	-	ファームウェアの自動更新の日時を設定します。
	[更新曜日]	-	
	[更新時間]	-	
[印刷枚数表示]	[合計]	[カラー]	製品が印刷した合計ページ数を確認します。
		[モノクロ]	
	[ファクス]	-	
	[コピー]	[カラー]	
		[モノクロ]	
	[プリント]	[カラー]	
		[モノクロ]	
	[その他]	[カラー]	
		[モノクロ]	
	[消耗品寿命] ¹	[ドラム 寿命]	
[ベルト 寿命]		-	ベルトユニットの寿命を表示します。
[ヒーター 寿命]		-	定着ユニットの寿命を表示します。
[レーザー 寿命]		-	レーザーユニットの寿命を表示します。
[PF キット MP 寿命]		-	PF キット (多目的トレイ) の寿命を表示します。
[PF キット 1 寿命]		-	PF キット 1 の寿命を表示します。
[PF キット 2 寿命] ²		-	PF キット 2 の寿命を表示します。
[PF キット 3 寿命] ²		-	PF キット 3 の寿命を表示します。

¹ 部品の交換時期は大まかなものであり、使用方法によって異なります。

² 増設トレイが取り付けられているときのみ使用できます。

[初期設定]

[全てのメニュー] > [初期設定]

設定項目 3	設定項目 4	説明
[時計セット]	[日付]	画面および送信ファクスの見出しに日付と時刻を追加します。
	[時刻]	
	[時計表示]	時刻の形式（12 時間または 24 時間）を選択します。
	[タイムゾーン]	タイムゾーンを設定します。
[発信元登録]	[ファクス]	送信ファクスに表示する名前とファクス番号を入力します。
	[電話]	
	[名前]	
[回線種別設定] (特定の国のみ対応)	-	回線種別を選択します。
[ダイヤルトーン設定]	-	ダイヤルトーン検出ポーズを短くします。
[外線番号]	-	ダイヤル時に毎回ファクス番号の先頭に付ける番号を設定します。
[特別回線対応]	-	電話回線の種類を選択します。
[安心通信モード]	-	通信エラーを調整します。 VoIP サービスプロバイダーは様々な規格を使ってファクスのサポートを提供します。ファクス通信エラーがたびたび起こる場合は、安心 (VoIP) を選択します。
[設定リセット]	[機能設定リセット]	変更した製品設定を元に戻します。
	[ネットワーク設定リセット]	すべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	[電話帳&ファクスリセット]	登録されているすべての電話番号、ファクスデータ、ファクス設定を消去します。
	[全設定リセット]	製品のすべての設定を工場出荷時設定にリセットし、メモリーに保存されている個人データを削除します。本製品に保存されているデータを見ることはできません。
	[出荷状態リセット]	製品のすべての設定を工場出荷時設定にリセットし、メモリーに保存されている個人データを削除します。本製品からすべてのデータを削除したい場合は、このオプション設定を使用することをお勧めしています。
[表示言語設定] (特定の国のみ対応)	-	画面の言語を変更します。

[管理者メニュー]



[管理者メニュー]

設定項目 2	設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[ホーム画面設定]	[アイコン]	-	-	アイコンの削除、アイコンの追加、またはホーム画面のほかの場所へのアイコンの移動を行います。
	[画面背景色]	-	-	タッチパネルの背景色を白または黒に変えます。

設定項目 2	設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[ホーム画面設定]	[タブ]	[タブ名編集]	[タブ 1] ... [タブ 8]	タブ名を変更します。
		[メインホーム画面]	-	メインホーム画面の設定を行います。
	[情報表示]	[IP アドレス]	-	製品の IP アドレスをホーム画面に表示するかどうかを選択します。
	[ホーム画面設定リセット]	-	-	ホーム画面設定を工場出荷時設定に戻します。
[その他画面設定]	[コピー画面]	-	-	コピー画面の初期値を設定します。
	[スキャン画面]	-	-	スキャン画面の初期値を設定します。
[制限管理]	[制限機能]	-	-	制限機能（セキュリティ機能ロックなど）を有効/無効にします。
	[セキュリティ設定ロック]	-	-	権限のないユーザーが製品の設定を変更するのを制限します。
	[セキュリティ設定ロック 詳細]	-	-	権限のないユーザーが変更できない製品の設定を選択します。
[ログインパスワード設定]	-	-	-	管理者設定メニューにログインするためのパスワードを登録したり、変更したりします。

✓ 関連情報

- 設定と機能一覧

機能一覧 (MFC-L8730CDW)

関連モデル: MFC-L8730CDW

- >> Wi-Fi 設定
- >> [トナー]
- >> [ファクス] (みるだけ受信がオフの状態)
- >> [ファクス] (みるだけ受信がオンの状態)
- >> [コピー]
- >> [スキャン]
- >> [ショートカット]
- >> [セキュリティ印刷]
- >> [クラウド]
- >> [お役立ちツール]
- >> [USB]
- >> [2 in 1 ID コピー]

Wi-Fi 設定



(Wi-Fi 設定)

設定項目 2	設定項目 3	説明
(Wi-Fi 設定)	[ネットワーク選択 (SSID)]	無線ネットワークを手動で設定します。
	[WPS (プッシュボタン)]	ワンプッシュボタン方式を使って無線ネットワークを設定します。
	[WPS (PIN コード)] ¹	WPS の PIN コードを使って無線ネットワークの設定をします。
	[接続修復] ¹	リセットして無線ネットワークを再起動します。
	[無線状態] ¹	無線ネットワーク接続の状態を表示します。
	[TCP/IP] ¹	TCP/IP 設定を変更します。
	[MAC アドレス] ¹	お使いの製品の MAC アドレスを表示します。
	[初期設定に戻す] ¹	製品の無線ネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	[無線 LAN 有効] ¹	無線インターフェースをオンまたはオフにします。

¹ Wi-Fi®接続が設定された後に使用できます。

[トナー]





[トナー]


設定項目 2	設定項目 3	説明
[トナー残量]	-	トナーの各色ごとにおおよその寿命を見ます。
[テストプリント]	-	テストページを印刷します。
[画質補正]	[補正実施]	色補正を開始して、色を確認し補正します。
	[リセット]	補正パラメーターの設定をリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。
[トナーカートリッジ純正情報]	[ブラック]	トナーカートリッジが純正品であるかどうかなど、装着されているトナーカートリッジの情報を画面で確認します。
	[シアン]	
	[マゼンタ]	

設定項目 2	設定項目 3	説明
	[イエロー]	

[ファクス] (みるだけ受信がオフの状態)

[ファクス] (みるだけ受信がオフの状態)


設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明	
[再ダイヤル] / [ポーズ]	-	-	-	最後にかけた番号に再ダイヤルします。画面でファクスまたは電話番号を入力中は、再ダイヤルがポーズに変わります。例えば暗証番号やクレジットカード番号の入力などで、ダイヤル中に待ち時間が必要なときはポーズを押します。電話帳に登録するときにもポーズを入れることができます。	
[オンフック]	-	-	-	ファクス機が応答するのを聞きたい場合は、ダイヤルする前に押して、スタートを押します。	
[電話帳]	 ([検索:])	-	-	電話帳を検索します。	
	[設定]	[電話帳登録]	[名前] [ヨミガナ] [宛先]	電話番号の登録、同報送信のグループダイヤルの設定、電話帳の番号の変更および削除をします。	
		[グループ登録]	[名前] [ヨミガナ] [追加/消去]		
		[変更]	(電話帳を選択)		
		[消去]	(電話帳を選択)		
	(電話帳を選択)	[送信先に設定]	-		電話帳を使ってファクス送信を開始します。
[履歴]	[再ダイヤル]	-	-		最後にダイヤルした番号に再ダイヤルします。
	[発信履歴]	(発信番号を選択)	[送信先に設定] [設定]	発信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。	
	[着信履歴]	(着信番号を選択)	[送信先に設定] [設定]	着信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。	
[スタート]	-	-	-	ファクスを送信します。	
 [設定変更]	[ファクス画質]	-	-	送信ファクスの解像度を設定します。	
	[メール タイトル]	-	-	送信ファクスの件名を編集します。	
	[原稿濃度]	-	-	原稿のコントラスト (色の濃度) を調整します。	
	[両面ファクス]	-	-	両面読み取りの形式を設定します。	
	[原稿台スキャンサイズ]	-	-	原稿台ガラスの読み取り範囲を、原稿のサイズに合わせます。	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明	
 [設定変更]	[同報送信]	[番号追加]	[番号追加] [電話帳から選択] [検索して選択]	複数のファクス番号に同じファクスメッセージを送信します。	
	[みてから送信]	-	-	送信前にファクス内容を確認します。	
	[タイマー送信]	[タイマー送信]	-	-	タイマー送信でファクスを送信する時刻を指定します。
		[指定時刻]	-	-	
	[リアルタイム送信]	-	-	-	メモリーを使わずにファクスを送信します。
	[送付書]	[送付書設定]	-	-	あらかじめプログラムした表紙を自動的に送信するように本製品を設定します。
		[送付書コメント]	-	-	
		[枚数]	-	-	
	[海外送信モード]	-	-	-	海外へのファクス送信がうまくいかない場合、オンに設定します。
	[履歴]	-	-	-	発信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
	[電話帳]	-	-	-	電話帳から受信者のアドレスを選択します。
[設定を保持する]	-	-	-	設定を初期値として保存します。	
[設定をリセットする]	-	-	-	すべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。	
[ショートカットとして登録]	-	-	-	現在の設定をショートカットとして保存します。	

[ファクス] (みるだけ受信がオンの状態)

[ファクス] (みるだけ受信がオンの状態)


設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[ファクス送信]	[再ダイヤル] / [ポーズ]	-	最後にかけた番号に再ダイヤルします。画面でファクスまたは電話番号を入力中は、再ダイヤルがポーズに変わります。例えば暗証番号やクレジットカード番号の入力などで、ダイヤル中に待ち時間が必要なときはポーズを押します。電話帳に登録するときにもポーズを入れることができます。
	[オンフック]	-	ファクス機が応答するのを聞きたい場合は、ダイヤルする前に押して、スタートを押します。
	[電話帳]	-	電話帳から受信者のアドレスを選択します。
	[履歴]	-	発信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
	[スタート]	-	ファクスを送信します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[ファクス送信]	 [設定変更]	-	希望の設定を選択します。
	[ショートカットとして登録]	-	現在の設定をショートカットとして保存します。
[受信ファクス]	[印刷/消去]	[全て印刷(新着ファクス)]	新着ファクスを印刷します。
		[全て印刷(既読ファクス)]	既読ファクスを印刷します。
		[全て消去(新着ファクス)]	新着ファクスを消去します。
		[全て消去(既読ファクス)]	既読ファクスを消去します。
[電話帳]	-	-	電話帳から受信者のアドレスを選択します。
[履歴]	-	-	発信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。

[コピー]



[コピー]


設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明	
[モノクロ スタート]	-	-	モノクロまたはグレースケールコピーをします。	
[カラー スタート]	-	-	カラーコピーをします。	
[ID]	-	-	身分証明書をコピーします。	
 [設定変更]	[コピー画質]	-	原稿の種類に合ったコピー解像度を選択します。	
	[用紙トレイ選択]	-	使用する用紙トレイを選択します。	
	[拡大/縮小]	[等倍 100%]	-	
		[拡大]		次のコピーで使用する拡大率を選択します。
		[縮小]		次のコピーで使用する縮小率を選択します。
		[カスタム (25-400%)]		拡大率または縮小率を入力します。
	[コピー濃度]	-	濃度を調整します。	
	[地色除去コピー]	-	除去する地色の量を変更します。	
	[両面コピー]	[とじ方向]		両面コピーのオフ/オンを設定したり、長辺とじまたは短辺とじを選択します。
	[両面レイアウトコピー]	-		両面原稿から両面 N in 1 コピーをするときに、ページレイアウトを選択します。
	[コントラスト]	-		コントラストを設定します。
	[スタック/ソート]	-		スタックまたはソートコピーを選択します。
	[2in1/1in1]	-		2 in 1 (ID) を選択すると、レイアウトオプションを選択できます。
	[レイアウト コピー]	-		N in 1 コピーをします。
[傾き補正]	-		原稿の傾きを自動的に補正するよう設定します。	
[カラー調整]	[レッド]		コピーの色を調整します。	
	[グリーン]			
	[ブルー]			

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[ショートカット登録]	-	-	現在の設定をショートカットとして保存します。


[スキャン]





[スキャン]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明		
[USB メモリ]	[スキャン機能切り替え]	-	-	原稿を USB フラッシュメモリーにスキャンします。		
	 [設定変更]	[両面スキャン]	-		-	
		[カラー設定]	-		-	
		[解像度]	-		-	
		[ファイル形式]	-		-	
		[原稿サイズ]	-		-	
		[明るさ]	-		-	
		[コントラスト]	-		-	
		[ファイル名]	-		-	
		[ファイル名項目順序]	-		-	
		[ファイルサイズ]	-		-	
		[おまかせ一括スキャン]	-		-	
		[傾き補正]	-		-	
		[白紙除去]	-		-	
		[白紙除去レベル調整]	-		-	
		[地色除去]	-		-	
		[エッジ調整]	-		-	
		[モアレ軽減]	-		-	
		[ファイル分割]	[ファイル分割]		[原稿枚数]	[ページ数]
		[カラー/グレー TIFF 圧縮]	-		-	-
[モノクロ TIFF 圧縮]	-	-	-			
[設定を保持する]	-	-	-			
[設定をリセットする]	-	-	-			
[ショートカット登録]	-	-	-			

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[USB メモリ]	[スタート]	-	-	原稿を USB フラッシュメモリーにスキャンします。
[自分宛]	-	-	-	モノクロまたはカラー原稿を、E メールアドレスにスキャンします。
[自分のフォルダ]	-	-	-	ローカルネットワークまたはインターネット上の CIFS サーバーにあるフォルダに、スキャンしたデータを送信します。
[PC]	[ファイル]	[スキャン機能切り替え]	-	原稿をスキャンし、お使いのパソコンのフォルダに保存します。
		(USB またはパソコンを選択します)	 [設定変更]	
			[ショートカット登録] [スタート]	
	[OCR]	[スキャン機能切り替え]	-	スキャンした原稿を編集可能なテキストファイルに変換します。
		(USB またはパソコンを選択します)	 [設定変更]	
			[ショートカット登録] [スタート]	
	[イメージ]	[スキャン機能切り替え]	-	画像アプリケーションに写真または画像をスキャンします。
		(USB またはパソコンを選択します)	 [設定変更]	
			[ショートカット登録] [スタート]	
	[E メール添付]	[スキャン機能切り替え]	-	スキャンした原稿を E メール添付ファイルとして送信します。
		(USB またはパソコンを選択します)	 [設定変更]	
			[ショートカット登録] [スタート]	
[E メール送信]	[スキャン機能切り替え]	-	モノクロまたはカラー原稿を、送信したい E メールアドレスにスキャンします。	
	[手動入力]	-		
	[電話帳]			-
		([検索:])		-
	[設定]	-		
	(電話帳を選択します)	-		

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[(S) FTP サーバー]	[スキャン機能切り替え]	-	-	FTP/SFTP 経由でスキャンデータを送信します。
	(プロファイル名を選択します)	[プレビュー]	-	
		 [設定変更]	[両面スキャン]	
			[カラー設定]	
			[解像度]	
			[ファイル形式]	
			[原稿サイズ]	
			[明るさ]	
			[コントラスト]	
			[ファイル名]	
			[ファイル名項目順序]	
			[ファイルサイズ]	
			[傾き補正]	
			[白紙除去]	
			[白紙除去レベル調整]	
			[地色除去]	
			[エッジ調整]	
			[モアレ軽減]	
			[ファイル分割]	
			[カラー/グレー TIFF 圧縮]	
	[モノクロ TIFF 圧縮]			
	[ユーザー名]			
	[プレビュー]			
	[ショートカット登録]	-		
	[スタート]	-		

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[ネットワーク]	[スキャン機能切り替え]	-	-	ローカルネットワークまたはインターネット上の CIFS サーバーに、スキャンしたデータを送信します。
	(プロファイル名を選択します)	[プレビュー]	-	
		 [設定変更]	[両面スキャン]	
			[カラー設定]	
			[解像度]	
			[ファイル形式]	
			[原稿サイズ]	
			[明るさ]	
			[コントラスト]	
			[ファイル名]	
			[ファイル名項目順序]	
			[ファイルサイズ]	
			[傾き補正]	
			[白紙除去]	
			[白紙除去レベル調整]	
			[地色除去]	
			[エッジ調整]	
			[モアレ軽減]	
			[ファイル分割]	
			[カラー/グレー TIFF 圧縮]	
		[モノクロ TIFF 圧縮]		
		[ユーザー名]		
		[プレビュー]		
		[ショートカット登録]	-	
		[スタート]	-	


設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[SharePoint]	[スキャン機能切り 替え]	-	-	スキャンしたデータを SharePoint サーバー経 由で送信します。
	(プロファイル名を 選択します)	[プレビュー]	-	
		 [設定変更]	[両面スキ ヤン]	
		[カラー設 定]		
		[解像度]		
		[ファイル 形式]		
		[原稿サイ ズ]		
		[明るさ]		
		[コントラ スト]		
		[ファイル 名]		
		[ファイル 名項目順 序]		
		[ファイル サイズ]		
		[傾き補 正]		
		[白紙除 去]		
		[白紙除去 レベル調 整]		
		[地色除 去]		
		[エッジ調 整]		
		[モアレ軽 減]		
		[ファイル 分割]		
		[カラー/ グレー TIFF 圧 縮]		
[モノクロ TIFF 圧 縮]				
[ユーザ 名]				
[プレビ ュー]				
[ショートカット登録]	-			
[スタート]	-			

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[クラウド]	-	-	-	スキャンしたデータをインターネットサービスにアップロードします。
[Web サービス] (パソコンのネットワークエクスプローラーに表示される、Web サービススキャナーをインストールした場合に表示されます。)	[スキャン機能切り替え]	-	-	Web サービスプロトコルを使ってデータをスキャンします。
	[スキャン]	-	-	
	[電子メール用にスキャン]	-	-	
	[FAX 用にスキャン]	-	-	
	[印刷用にスキャン]	-	-	

[ショートカット]

+ [ショートカット]

設定項目 1	設定項目 2	設定項目 3	説明
+ [ショートカット登録]	[コピー]	[コピー]	使用する設定を選択します。
		[2 in 1 ID コピー]	
	[ファクス]	-	使用する設定を選択します。
	[スキャン]	[ファイル]	モノクロまたはカラー原稿を、パソコンにスキャンします。
		[OCR]	スキャンした原稿を編集可能なテキストファイルに変換します。
		[イメージ]	カラー写真を画像アプリケーションにスキャンします。
		[USB メモリ]	原稿を USB フラッシュメモリーにスキャンします。
		[E メール添付]	モノクロまたはカラー原稿を、E メールアプリケーションにスキャンします。
		[E メール送信]	モノクロまたはカラー原稿を、送信したい E メールアドレスにスキャンします。
		[ネットワーク]	ローカルネットワークまたはインターネット上の CIFS サーバーに、スキャンしたデータを送信します。
[FTP/SFTP サーバー]	FTP/SFTP 経由でスキャンデータを送信します。		
[SharePoint]	スキャンしたデータを SharePoint サーバー経由で送信します。		
[クラウド]	-	本製品をインターネットサービスに接続します。 本書の発行後、Web サービスが追加されたり、サービス名がプロバイダーによって変更されることがあります。	
[お役立ちツール]	-	本製品をお役立ちツールに接続します。	
これらの一覧は、ショートカット名を 2 秒間押し続けると表示されます。	[名前の変更]	-	ショートカット名を変更します。
	[編集]	-	ショートカット設定を編集します。
	[消去]	-	ショートカットを削除します。

設定項目 1	設定項目 2	設定項目 3	説明
これらの一覧は、ショートカット名を 2 秒間押し続けると表示されます。	[NFC カードの登録]	-	IC カードにショートカットを割り当てます。
	[NFC カード削除]	-	IC カードからショートカットを削除します。
 [編集/消去]	(ショートカットボタンを選択します。)	[名前の変更]	ショートカット名を変更します。
		[編集]	ショートカット設定を編集します。
		[消去]	ショートカットを削除します。
		[NFC カードの登録]	IC カードにショートカットを割り当てます。
		[NFC カード削除]	IC カードからショートカットを削除します。

[セキュリティ印刷]

[セキュリティ印刷]

設定項目 1	設定項目 2	設定項目 3	説明
[セキュリティ印刷]	(ユーザーを選択)	(セキュリティで保護された印刷ジョブを選択)	4 桁のパスワードを入力すると、製品のメモリーに保存されたデータを印刷することができます。 製品にセキュリティ印刷データがあるときのみ有効です。

[クラウド]

[クラウド]

設定項目 1	説明
[クラウド]	本製品をインターネットサービスに接続します。

[お役立ちツール]

[お役立ちツール]

設定項目 1	説明
[お役立ちツール]	本製品をお役立ちツールに接続します。

[USB]

[USB]

設定項目 1	設定項目 2	説明
[USB]	[スキャン to USB]	原稿を USB フラッシュメモリーにスキャンします。
	[USB ダイレクトプリント]	USB フラッシュメモリーから直接データを印刷します。

[2 in 1 ID コピー]

[2 in 1 ID コピー]

設定項目 1	説明
[2 in 1 ID コピー]	身分証明書の両面を 1 ページにコピーします。



関連情報

- 設定と機能一覧

機能一覧 (MFC-L8970CDW)

関連モデル: MFC-L8970CDW

>> 有線 LAN セットアップ
>> Wi-Fi®セットアップ
>> [トナー]
>> [管理者メニュー]
>> [ファクス] (みるだけ受信がオフの状態)
>> [ファクス] (みるだけ受信がオンの状態)
>> [コピー]
>> [スキャン]
>> ショートカット
>> [セキュリティ印刷]
>> [クラウド]
>> [お役立ちツール]
>> [USB]
>> [2 in 1 ID Copy]

有線 LAN セットアップ

(有線 LAN セットアップ)

設定項目 3	説明
[TCP/IP]	TCP/IP 設定を変更します。
[イーサネット]	イーサネットリンクモードを選択します。
[有線 LAN 状態]	現在の有線 LAN の状態を確認します。
[MAC アドレス]	製品の MAC アドレスを確認します。
[初期設定に戻す]	有線 LAN 設定をお買い上げ時の設定に戻します。
[有線 LAN 有効]	有線 LAN インターフェースを手動でオンまたはオフにします。

Wi-Fi®セットアップ

(Wi-Fi®セットアップ)

設定項目 3	説明
[ネットワーク選択 (SSID)]	無線ネットワークを手動で設定します。
[WPS (プッシュボタン)]	ワンプッシュボタン方式を使って無線ネットワークを設定します。
[WPS (PIN コード)] ¹	WPS の PIN コードを使って無線ネットワークの設定をします。
[接続修復] ¹	リセットして無線ネットワークを再起動します。
[無線状態] ¹	無線ネットワーク接続の状態を表示します。
[TCP/IP] ¹	TCP/IP 設定を変更します。
[MAC アドレス] ¹	お使いの製品の MAC アドレスを表示します。
[初期設定に戻す] ¹	製品の無線ネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
[無線 LAN 有効] ¹	無線インターフェースをオンまたはオフにします。

¹ Wi-Fi®接続が設定された後に使用できます。

[トナー]



設定項目 3	設定項目 4	説明
[トナー残量]	-	トナーの各色ごとにおおよその寿命を見ます。
[テストプリント]	-	テストページを印刷します。
[画質補正]	[補正実施]	色補正を開始して、色を確認し補正します。
	[リセット]	補正パラメーターの設定をリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。
[トナーカートリッジ純正情報]	-	トナーカートリッジが純正品であるかどうかなど、装着されているトナーカートリッジの情報を画面で確認します。


[管理者メニュー]



設定項目 2	説明
[管理者メニュー]	画面設定を変更し、本製品の使用を制限します。

[ファクス] (みるだけ受信がオフの状態)



設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[再ダイヤル] / [ポーズ]	-	-	-	最後にかけた番号に再ダイヤルします。画面でファクスまたは電話番号を入力中は、再ダイヤルがポーズに変わります。例えば暗証番号やクレジットカード番号の入力などで、ダイヤル中に待ち時間が必要なときはポーズを押します。電話帳に登録するときにもポーズを入れることができます。
[ワック]	-	-	-	ファクス機が応答するのを聞きたい場合は、ダイヤルする前に押して、スタートを押します。
[電話帳]	 ([検索])	[電話帳登録]	[名前]	電話帳の登録、同報送信のグループダイヤルの設定、電話帳の番号の変更および削除をします。
			[ヨミガナ]	
	[宛先]			
	[グループ登録]	[名前]		
		[ヨミガナ]		
	[追加/消去]			
[変更]	(アドレスを選択します)			
[消去]	(アドレスを選択します)			

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明	
[電話帳]	(電話帳を選択)	[送信先に設定]	-	電話帳を使ってファクス送信を開始します。	
[履歴]	[発信履歴]	(発信番号を選択)	[送信先に設定] [設定]	発信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。	
	[着信履歴]	(着信番号を選択)	[送信先に設定] [設定]	着信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。	
[スタート]	-	-	-	ファクスを送信します。	
[設定変更]	[ファクス画質]	-	-	送信ファクスの解像度を設定します。	
	[メール タイトル]	-	-	送信ファクスの件名を編集します。	
	[原稿濃度]	-	-	コントラストを設定します。	
	[両面ファクス]	-	-	両面読み取りの形式を設定します。	
	[原稿台スキャンサイズ]	-	-	原稿台ガラスの読み取り範囲を、原稿のサイズに合わせます。	
	[同報送信]	[番号追加]	[手動入力]	-	複数のファクス番号に同じファクスメッセージを送信します。
			[電話帳から選択]		
			[検索して選択]		
	[みてから送信]	-	-	-	送信前にファクス内容を確認します。
	[タイマー送信]	[タイマー送信]	-	-	タイマー送信でファクスを送信する時刻を指定します。
		[指定時刻]	-		
	[リアルタイム送信]	-	-	-	メモリーを使わずにファクスを送信します。
	[送付書]	[送付書設定]	-	-	あらかじめプログラムした表紙を自動的に送信するように本製品を設定します。
[送付書コメント]		-			
[枚数]		-			
[海外送信モード]	-	-	-	海外へのファクス送信がうまくいかない場合、オンに設定します。	
[設定を保持する]	-	-	-	設定を初期値として保存します。	
[設定をリセットする]	-	-	-	すべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。	
[ショートカット登録]	-	-	-	現在の設定をショートカットとして保存します。	

[ファクス] (みるだけ受信がオンの状態)



[ファクス] (みるだけ受信がオンの状態)

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[ファクス送信]	[再ダイヤル] / [ポーズ]	-	最後にかけた番号に再ダイヤルします。画面でファクスまたは電話番号を入力中は、再ダイヤルがポーズに変わります。例えば暗証番号やクレジットカード番号の入力などで、ダイヤル中に待ち時間が必要なときはポーズを押します。電話帳に登録するときにもポーズを入れることができます。
	[ワフック]	-	ファクス機が応答するのを聞きたい場合は、ダイヤルする前に押して、スタートを押します。
	[電話帳]	-	電話帳から受信者のアドレスを選択します。
	[履歴]	-	発信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。
	[スタート]	-	ファクスを送信します。
	[設定変更]	-	希望の設定を選択します。
	[ショートカット登録]	-	現在の設定をショートカットとして保存します。
[受信ファクス]	[印刷/消去]	[全て印刷 (新着ファクス)]	新着ファクスを印刷します。
		[全て印刷 (既読ファクス)]	既読ファクスを印刷します。
		[全て消去 (新着ファクス)]	新着ファクスを消去します。
		[全て消去 (既読ファクス)]	既読ファクスを消去します。
[電話帳]	-	-	電話帳から受信者のアドレスを選択します。
[履歴]	-	-	発信履歴から番号を選び、ファクスを送信したり、電話帳に追加または削除します。

[コピー]



[コピー]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[モノクロ スタート]	-	-	モノクロまたはグレースケールコピーをします。
[カラー スタート]	-	-	カラーコピーをします。
[身分証]	-	-	身分証明書をコピーします。
[割り込み]	-	-	印刷ジョブをコピージョブで中断します。
[>] (コピーの設定項目をさらに表示)	[レシート]	[モノクロ スタート]	レシートをコピーするときのプリセットコピー設定を行います。
		[カラー スタート]	
		[身分証]	
		[割り込み]	
		[>] (コピーの設定項目をさらに表示)	
		[設定変更]	
		[ショートカット登録]	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[>] (コピーの設定項目をさらに表示)	[標準]	[モノ スタート]	通常コピーのプリセットコピー設定を行います。
		[カラー スタート]	
		[身分証]	
		[割り込み]	
		[>] (コピーの設定項目をさらに表示)	
		[設定変更]	
		[ショートカット登録]	
	[片面⇒両面]	[モノ スタート]	両面 (片面から両面) コピーのプリセットコピー設定を行います。
		[カラー スタート]	
		[身分証]	
		[割り込み]	
		[>] (コピーの設定項目をさらに表示)	
		[設定変更]	
		[ショートカット登録]	
	[両面⇒両面]	[モノ スタート]	両面 (両面から両面) コピーのプリセットコピー設定を行います。
		[カラー スタート]	
		[身分証]	
		[割り込み]	
		[>] (コピーの設定項目をさらに表示)	
		[設定変更]	
		[ショートカット登録]	
[2in1 (ID)]	[モノ スタート]	2in1 ID コピーのプリセットコピー設定を行います。	
	[カラー スタート]		
	[身分証]		
	[割り込み]		
	[>] (コピーの設定項目をさらに表示)		
	[設定変更]		
	[ショートカット登録]		
[2in1]	[モノ スタート]	2in1 コピーのプリセットコピー設定を行います。	
	[カラー スタート]		
	[身分証]		
	[割り込み]		
	[>] (コピーの設定項目をさらに表示)		
	[設定変更]		
	[ショートカット登録]		
[用紙節約]	[モノ スタート]	用紙節約のプリセットコピー設定を行います。	
	[カラー スタート]		
	[身分証]		

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
[>] (コピーの設定項目をさらに表示)	[用紙節約]	[割り込み]	用紙節約のプリセットコピー設定を行います。
		[>] (コピーの設定項目をさらに表示)	
		[設定変更]	
		[ショートカット登録]	
[設定変更]	[コピー画質]	-	原稿の種類に合ったコピー解像度を選択します。
	[用紙トレイ選択]	-	使用する用紙トレイを選択します。
	[拡大/縮小]	[等倍 100%]	-
		[拡大]	次のコピーで使用する拡大率を選択します。
		[縮小]	次のコピーで使用する縮小率を選択します。
		[カスタム (25-400%)]	拡大率または縮小率を入力します。
	[コピー濃度]	-	濃度を調整します。
	[地色除去コピー]	-	除去する地色の量を変更します。
	[両面コピー]	[とじ方向]	両面コピーのオフ/オンを設定したり、長辺とじまたは短辺とじを選択します。
	[両面レイアウトコピー]	-	両面原稿から両面 N in 1 コピーをするときに、ページレイアウトを選択します。
	[コントラスト]	-	コントラストを設定します。
	[スタック/ソート]	-	スタックまたはソートコピーを選択します。
	[2in1/1in1]	-	2 in 1 (ID) を選択すると、レイアウトオプションを選択できます。
	[レイアウト コピー]	-	N in 1 コピーをします。
[傾き補正]	-	原稿の傾きを自動的に補正するよう設定します。	
[カラー調整]	[レッド] [グリーン] [ブルー]	コピーの色を調整します。	
[ショートカット登録]	-	-	現在の設定をショートカットとして保存します。


[スキャン]



[スキャン]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[USB メモリ]	[スキャン機能切り替え]	-	-	原稿を USB フラッシュメモリーにスキャンします。
	[設定変更]	[両面スキャン]	-	
		[カラー設定]	-	
		[解像度]	-	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[USB メモリ]	[設定変更]	[ファイル形式]	-	原稿を USB フラッシュメモリーにスキャンします。
		[原稿サイズ]	-	
		[明るさ]	-	
		[コントラスト]	-	
		[ファイル名]	-	
		[ファイル名項目順序]	-	
		[ファイルサイズ]	-	
		[おまかせ一括スキャン]	-	
		[傾き補正]	-	
		[白紙除去]	-	
		[白紙除去レベル調整]	-	
		[地色除去]	-	
		[エッジ調整]	-	
		[モアレ軽減]	-	
		[ファイル分割]	[ファイル分割]	
			[原稿枚数]	
			[ページ数]	
	[カラー/グレースカラー TIFF 圧縮]	-		
	[モノクロ TIFF 圧縮]	-		
	[設定を保持する]	-		
	[設定をリセットする]	-		
	[ショートカット登録]	-		
	[スタート]	-		
[自分宛]	-	-	-	モノクロまたはカラー原稿を、E メールアドレスにスキャンします。
[自分のフォルダ]	-	-	-	ローカルネットワークまたはインターネット上の CIFS サーバーにあるフォルダに、スキャンしたデータを送信します。
[PC]	[ファイル]	[スキャン機能切り替え]	-	原稿をスキャンし、お使いのパソコンのフォルダに保存します。
		(USB またはパソコンを選択します)	[設定変更]	
			[ショートカット登録]	
		[スタート]		
	[OCR]	[スキャン機能切り替え]	-	スキャンした原稿を編集可能なテキストファイルに変換します。
		(USB またはパソコンを選択し)	[設定変更]	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明		
[PC]	[OCR]	ます)	[ショートカット登録]	スキャンした原稿を編集可能なテキストファイルに変換します。		
			[スタート]			
	[イメージ]	[スキャン機能切り替え]	(USB またはパソコンを選択します)	-	画像アプリケーションに写真または画像をスキャンします。	
				[設定変更]		
				[ショートカット登録]		
	[Eメール添付]	[スキャン機能切り替え]	(USB またはパソコンを選択します)	-	スキャンした原稿をEメールの添付ファイルとして送信します。	
[設定変更]						
[スタート]						
[Eメール送信]	[キャンセル]	-	-	モノクロまたはカラー原稿を、送信したいEメールアドレスにスキャンします。		
	[スキャン機能切り替え]	-	-			
	[手動入力]	-	-			
	[電話帳]		-		-	
		([検索])	-		-	
		[登録/編集]	-		-	
	[次へ]		(電話帳を選択)		-	
			[送信先一覧]		-	
			[プレビュー]		-	
			[設定変更]		[両面スキャン]	-
					[カラー設定]	-
					[解像度]	-
					[ファイル形式]	-
[原稿サイズ]				-		
[メール タイトル]				-		
[明るさ]				-		
[コントラスト]	-					
[ファイル名]	-					
[ファイル名項目順序]	-					
[ファイルサイズ]	-					
[傾き補正]	-					

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[E メール送信]	[次へ]	[設定変更]	[白紙除去]	モノクロまたはカラー原稿を、送信したいEメールアドレスにスキャンします。
			[白紙除去レベル調整]	
			[地色除去]	
			[エッジ調整]	
			[モアレ軽減]	
			[ファイル分割]	
			[カラー/グレースケール TIFF 圧縮]	
			[モノクロ TIFF 圧縮]	
			[プレビュー]	
			[設定を保持する]	
		[設定をリセットする]		
		[ショートカット登録]	-	
		[スタート]	-	
	[送信先一覧]	(アドレスを選択します)	-	
[(S) FTP サーバー]	[スキャン機能切り替え] (プロファイル名を選択します)	-	-	FTP/SFTP 経由でスキャンデータを送信します。
		[プレビュー]	-	
		[設定変更]	[両面スキャン]	
			[カラー設定]	
			[解像度]	
			[ファイル形式]	
			[原稿サイズ]	
			[明るさ]	
			[コントラスト]	
			[ファイル名]	
			[ファイル名項目順序]	
			[ファイルサイズ]	

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[(S)FTP サーバー]	(プロファイル名を選択します)	[設定変更]	[傾き補正]	FTP/SFTP 経由でスキャンデータを送信します。
			[白紙除去]	
			[白紙除去レベル調整]	
			[地色除去]	
			[エッジ調整]	
			[モアレ軽減]	
			[ファイル分割]	
			[カラー/グレースケール TIFF 圧縮]	
			[モノクロ TIFF 圧縮]	
			[ユーザー名]	
		[プレビュー]		
		[ショートカット登録]	-	
		[スタート]	-	
[ネットワーク]	[スキャン機能切り替え]	-	-	ローカルネットワークまたはインターネット上の CIFS サーバーに、スキャンしたデータを送信します。
	(プロファイル名を選択します)	[プレビュー]	-	
		[設定変更]	[両面スキャン]	
			[カラー設定]	
			[解像度]	
			[ファイル形式]	
			[原稿サイズ]	
			[明るさ]	
			[コントラスト]	
			[ファイル名]	
			[ファイル名項目順序]	
			[ファイルサイズ]	
			[傾き補正]	
			[白紙除去]	


設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明	
[ネットワーク]	(プロファイル名を選択します)	[設定変更]	[白紙除去レベル調整]	ローカルネットワークまたはインターネット上のCIFS サーバーに、スキャンしたデータを送信します。	
			[地色除去]		
			[エッジ調整]		
			[モアレ軽減]		
			[ファイル分割]		
			[カラー/グレースケール TIFF 圧縮]		
			[モノクロ TIFF 圧縮]		
			[ユーザー名]		
			[プレビュー]		
	[ショートカット登録]	-			
	[スタート]	-			
[SharePoint]	[スキャン機能切り替え]	-	-	スキャンしたデータを SharePoint サーバー経由で送信します。	
	(プロファイル名を選択します)	[プレビュー]	-		
		[設定変更]	[両面スキャン]		
			[カラー設定]		
			[解像度]		
			[ファイル形式]		
			[原稿サイズ]		
			[明るさ]		
			[コントラスト]		
			[ファイル名]		
			[ファイル名項目順序]		
			[ファイルサイズ]		
			[傾き補正]		
			[白紙除去]		
			[白紙除去レベル調整]		
	[地色除去]				

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	説明
[SharePoint]	(プロファイル名を選択します)	[設定変更]	[エッジ調整]	スキャンしたデータを SharePoint サーバ経由で送信します。
			[モアレ軽減]	
			[ファイル分割]	
			[カラー/グレースケール TIFF 圧縮]	
			[モノクロ TIFF 圧縮]	
			[ユーザー名]	
		[プレビュー]		
		[ショートカット登録]	-	
		[スタート]	-	
[クラウド]	-	-	-	スキャンしたデータをインターネットサービスにアップロードします。
[Web サービス] (パソコンのネットワークワークエクスプローラに表示される、Web サービススキャナをインストールした場合に表示されます。)	[スキャン]	-	-	Web サービスプロトコルを使ってデータをスキャンします。
	[電子メール用にスキャン]	-	-	
	[FAX 用にスキャン]	-	-	
	[印刷用にスキャン]	-	-	
	[スキャン機能切り替え]	-	-	

ショートカット

+ (ショートカット)

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明	
+ [ショートカット登録]	[コピー]	-	使用する設定を選択します。	
	[ファクス]	-	使用する設定を選択します。	
	[スキャン]	[ファイル]		原稿をスキャンし、お使いのパソコンのフォルダに保存します。
		[OCR]		スキャンした原稿を編集可能なテキストファイルに変換します。
		[イメージ]		画像アプリケーションに写真または画像をスキャンします。
		[USB メモリ]		原稿を USB フラッシュメモリーにスキャンします。
		[E メール添付]		スキャンした原稿を E メール添付ファイルとして送信します。
[E メール送信]		モノクロまたはカラー原稿を、送信したい E メールアドレスにスキャンします。		

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	説明
 [ショートカット登録]	[スキャン]	[ネットワーク]	ローカルネットワークまたはインターネット上の CIFS サーバーに、スキャンしたデータを送信します。
		[FTP/SFTP サーバー]	FTP/SFTP 経由でスキャンデータを送信します。
		[SharePoint]	スキャンしたデータを SharePoint サーバー経由で送信します。
	[クラウド]	-	本製品をインターネットサービスに接続します。本書の発行後、Web サービスが追加されたり、サービス名がプロバイダーによって変更されることがあります。
これらの一覧は、ショートカット名を 2 秒間押し続けると表示されます。	[お役立ちツール]	-	本製品をお役立ちツールに接続します。
	[名前の変更]	-	ショートカット名を変更します。
	[編集]	-	ショートカット設定を編集します。
	[消去]	-	ショートカットを削除します。
	[NFC カードの登録]	-	IC カードにショートカットを割り当てます。
[NFC カード削除]	-	IC カードからショートカットを削除します。	

[セキュリティ印刷]



[セキュリティ印刷]

設定項目 2	説明
[セキュリティ印刷]	パスワードを入力すると、製品のメモリーまたは USB フラッシュメモリーに保存されたデータを印刷することができます。 製品または USB フラッシュメモリーにセキュリティ印刷データがあるときのみ有効です。

[クラウド]



[クラウド]

設定項目 2	説明
[クラウド]	本製品をインターネットサービスに接続します。

[お役立ちツール]



[お役立ちツール]

設定項目 2	説明
[お役立ちツール]	本製品をお役立ちツールに接続します。

[USB]



[USB]

設定項目 2	設定項目 3	説明
[USB]	[スキャン to USB]	原稿を USB フラッシュメモリーにスキャンします。
	[USB ダイレクトプリント]	USB フラッシュメモリーから直接データを印刷します。

[2 in 1 ID Copy]



[2 in 1 ID Copy]

設定項目 2	説明
[2 in 1 ID Copy]	身分証明書の両面を 1 ページにコピーします。



関連情報

- [設定と機能一覧](#)

Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

Web Based Management は、ハイパーテキスト転送プロトコル (HTTP) またはセキュアソケットレイヤー (SSL) 上のハイパーテキスト転送プロトコル (HTTPS) を使用して本製品を管理するための標準的なウェブブラウザを使用したユーティリティです。

- [Web Based Management とは](#)
- [Web Based Management にアクセスする](#)
- [Web Based Management を使用しログインパスワードを変更する](#)
- [Web Based Management を使用して本製品のアドレス帳を設定する](#)

Web Based Management とは

Web Based Management は、ハイパーテキスト転送プロトコル (HTTP) またはセキュアソケットレイヤー (SSL) 上のハイパーテキスト転送プロトコル (HTTPS) を使用して本製品を管理するための標準的なウェブブラウザを使用するユーティリティです。



- 以下のウェブブラウザの最新バージョンのご使用をお勧めします：
 - Windows の場合：Microsoft Edge、Firefox および Google Chrome™
 - Mac の場合：Safari、Firefox および Google Chrome™
 - Android™ の場合：Google Chrome™
 - iOS の場合：Safari および Google Chrome™
- どのブラウザを使用する場合でも、JavaScript および Cookie が常に有効になっていることを確認してください。
- 本製品がオンになっており、お使いのパソコンと同じネットワークに接続されていること、またネットワークが TCP/IP プロトコルに対応していることを確認してください。

The screenshot displays the 'ステータス' (Status) page of the Brother Web Based Management interface. The page is divided into a left sidebar and a main content area. The sidebar contains navigation links: ログアウト, ホーム, ステータス (selected), 再読み込み間隔, 基本設定, アドレス帳, ファクス, コピー, 印刷, スキャン, 管理者設定, オンライン機能, and ネットワーク. The main content area shows the following information:

- ステータス**: デバイスの状態 is '印刷できます' (Ready for printing).
- 自動 再読み込み**: Set to 'オフ' (Off).
- トナー残量**: Visual indicators for BK (Black), C (Cyan), M (Magenta), and Y (Yellow).
- 言語**: Set to 'AUTO'.
- デバイスの場所**: 連絡先 and ロケーション情報 fields are present but empty.

実際に表示される画面は、上の画面とは異なる場合があります。

✓ 関連情報

- [Web Based Management を使用して製品の設定を変更する](#)

Web Based Management にアクセスする

- 以下のウェブブラウザの最新バージョンのご使用をお勧めします：
 - Windows の場合：Microsoft Edge、Firefox および Google Chrome™
 - Mac の場合：Safari、Firefox および Google Chrome™
 - Android™ の場合：Google Chrome™
 - iOS の場合：Safari および Google Chrome™
- どのブラウザを使用する場合でも、JavaScript および Cookie が常に有効になっていることを確認してください。
- Web Based Management で設定を行う場合、HTTPS セキュリティプロトコルを使用することをお勧めします。Web Based Management を使用して設定を変更するときに HTTP を使用する場合は、画面の指示に従って、安全な HTTPS 接続に切り替えてください。
- Web Based Management 設定に HTTPS を使用すると、ブラウザに警告ダイアログボックスが表示されます。警告ダイアログボックスが表示されないようにするには、自己署名証明書をインストールして SSL/TLS 通信を使用します。詳細については「セキュリティ機能ガイド」をご覧ください。
- 本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。本製品への不正なアクセスを防ぐために、お買い上げ時のパスワードをすぐに変更することをお勧めします。
お買い上げ時のパスワードは、ネットワーク設定レポートまたはプリンター設定ページでも確認できます。

>> [ウェブブラウザから Web Based Management にアクセスする](#)

>> [Brother iPrint&Scan から Web Based Management にアクセスする \(Windows/Mac\)](#)

>> [Brother ユーティリティから Web Based Management にアクセスする](#)

ウェブブラウザから Web Based Management にアクセスする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https://製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.168.1.2

本製品の IP アドレスは、ネットワーク設定レポートで確認できます。

▶▶ [ネットワーク設定レポートを印刷する](#)



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。


例：https://brn123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定レポートまたはプリンター設定ページで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。

4. 画面左側にナビゲーションバーを固定するには、☰をクリックしてからをクリックします。

これで本製品の設定の変更を行うことができます。



製品が指定された時間待機状態にある場合、ユーザーは自動的にログアウトされます。**ウェブブラウザによる設定画面のログアウト時間**メニューでログアウト設定を変更します。

Brother iPrint&Scan から Web Based Management にアクセスする (Windows/Mac)

1. Brother iPrint&Scan を起動します。

- Windows



(Brother iPrint&Scan) を起動します。

- Mac

Finder メニューバーで**移動 > アプリケーション**をクリックし、iPrint&Scan アイコンをダブルクリックします。

Brother iPrint&Scan 画面が表示されます。

2. 本製品が選択されていない場合は、**製品の追加 / 製品を選択**ボタンをクリックし、一覧から本製品のモデル名を選択します。**OK** をクリックします。

3. **消耗品/本体設定**ボタンをクリックします。



消耗品/本体設定ウィンドウが表示された場合は、**すべての設定**リンクをクリックします。

Web Based Management が表示されます。

4. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。


5. 画面左側にナビゲーションバーを固定するには、**≡**をクリックしてから**✕**をクリックします。

これで本製品の設定の変更を行うことができます。



- モバイル端末の Brother Mobile Connect から Web Based Management にアクセスすることもできます。
- 製品が指定された時間待機状態にある場合、ユーザーは自動的にログアウトされます。**ウェブブラウザによる設定画面のログアウト時間**メニューでログアウト設定を変更します。

Brother ユーティリティから Web Based Management にアクセスする

1.  (**Brother Utilities**) を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します (未選択の場合)。

2. 左側のナビゲーションバーの**ツール**をクリックして、**本体設定**をクリックします。

Web Based Management が表示されます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。

4. 画面左側にナビゲーションバーを固定するには、**≡**をクリックしてから**✕**をクリックします。


これで本製品の設定の変更を行うことができます。



製品が指定された時間待機状態にある場合、ユーザーは自動的にログアウトされます。**ウェブブラウザによる設定画面のログアウト時間**メニューでログアウト設定を変更します。

プロトコル設定を変更する場合、設定を有効にするには、**OK** をクリックした後、本製品を再起動する必要があります。

設定を変更した後、**ログアウト**をクリックします。

 **関連情報**

- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

関連トピック：

- ネットワーク設定レポートを印刷する
-

Web Based Management を使用しログインパスワードを変更する

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。最初にログインした際、画面の指示に従いお買い上げ時のパスワードを変更します。本製品への不正なアクセスを防ぐために、お買い上げ時のパスワードをすぐに変更することをお勧めします。

1. Web Based Management を起動します。▶▶ [Web Based Management にアクセスする](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**管理者設定 > ログインパスワード**をクリックします。



- 本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と表示されています。
- 左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

3. パスワードを変更するには、**変更前のパスワードの入力欄**に現在のパスワードを入力します。
4. 画面の**ログインパスワードガイドライン**に従って、**新しいパスワードの入力欄**に新しいパスワードを入力します。
5. **新しいパスワードの確認欄**に、新しいパスワードをもう一度入力します。
6. **OK** をクリックします。



ログインパスワードメニューでロックアウト設定を変更することもできます。



関連情報

- [Web Based Management を使用して製品の設定を変更する](#)

関連トピック：

- [Web Based Management にアクセスする](#)
- [製品のパスワードを確認する](#)

Web Based Management を使用して本製品のアドレス帳を設定する

- Web Based Management で設定を行う場合、HTTPS セキュリティプロトコルを使用することをお勧めします。
- Web Based Management 設定に HTTPS を使用すると、ブラウザーに警告ダイアログボックスが表示されます。

1. Web Based Management を起動します。▶▶ [Web Based Management にアクセスする](#)
2. 左側のナビゲーションバーで、**アドレス帳**をクリックします。



左側のナビゲーションバーが表示されない場合は、☰からナビゲーションを開始してください。

3. 対象のアドレス番号をクリックし、必要に応じて電話帳の情報を追加または更新します。
4. **OK** をクリックします。



関連情報

- [Web Based Management を使用して製品の設定を変更する](#)

付録

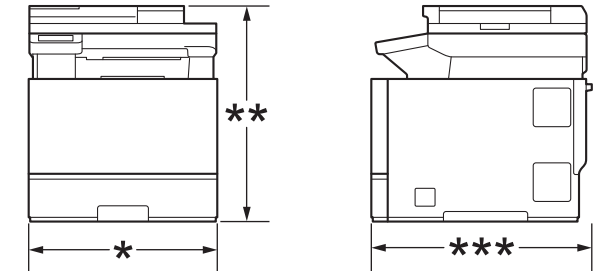
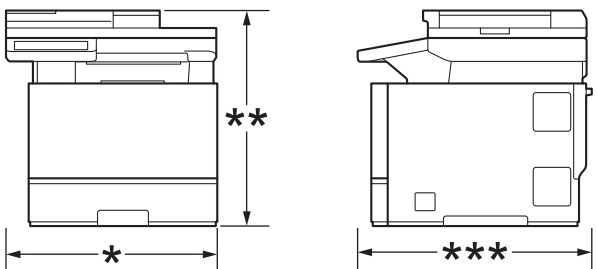
- 仕様
- 消耗品
- トナーカートリッジの交換時期に関する重要な情報
- アクセサリー
- 消耗品の購入方法
- アフターサービスのご案内

仕様

- >> 基本仕様
- >> 原稿サイズ仕様
- >> 印刷用紙
- >> ファクス
- >> コピー仕様
- >> スキャナー仕様
- >> プリンター
- >> インターフェース
- >> ダイレクトプリント機能仕様
- >> 対応プロトコルおよびセキュリティ機能
- >> パソコン使用環境

基本仕様

プリントタイプ		レーザー
プリント方式		電子写真方式レーザープリンター
メモリー容量	標準	<ul style="list-style-type: none"> • (MFC-L8730CDW) 512 MB • (MFC-L8970CDW) 1 GB
製品ディスプレイ		<ul style="list-style-type: none"> • (MFC-L8730CDW) 3.5 インチ型 (8.8 cm) TFT カラー 液晶ディスプレイ¹ • (MFC-L8970CDW) 7.0 インチ型 (17.6 cm) TFT カラー液晶ディスプレイ¹
電源		AC 100 V 50/60 Hz
ウォームアップタイム ²		13.1 秒以下 (スリープモードから) 27 秒以下 (電源投入から)
消費電力 (平均)	最大	約 880W
	印刷 ³	約 500W (25°C)
	印刷 (静音モード) ³	約 320W (25°C)
	コピー時 ³	約 500W (25°C)
	コピー時 (静音モード) ³	約 320W (25°C)
	待機時 ³	約 60W (25°C)
	スリープモード ³	約 8.4W
	ディープスリープモード ³	約 0.53W
電源オフ時 ^{3 4 5}		約 0.03W
エネルギー消費効率 ⁶		73 kWh/年 (区分: 複合機 a)
外形寸法 (代表的な外形図) (MFC-L8730CDW)		単位: mm <ul style="list-style-type: none"> • (MFC-L8730CDW) *: 404 **: 460 ***: 473 • (MFC-L8970CDW)

		* : 454 ** : 460 *** : 505	
			
本体質量（消耗品を含む）		<ul style="list-style-type: none"> • (MFC-L8730CDW) 25.6 kg • (MFC-L8970CDW) 26.7 kg 	
稼働音	音圧レベル⁸	印刷	LpAm = 49 dB (A)
		印刷 (静音モード)	LpAm = 44 dB (A)
		待機時	お買い上げ時の設定 : LpAm = 31 dB (A) ⁷
	音響レベル⁸	印刷	モノクロ LWAc = 6.47 B (A)
			カラー LWAc = 6.47 B (A)
		印刷 (静音モード)	モノクロ LWAc = 5.83 B (A)
カラー LWAc = 5.88 B (A)			
待機時	お買い上げ時の設定 : LWAc = 4.43 B (A) ⁹		
温度	動作時	10～32.5°C	
	保管時	0°C ~ 40°C	
湿度	動作時	20%～80%（結露なきこと）	
	保管時	35%～85%（結露なきこと）	
ADF（自動原稿送り装置）		最大 80 枚まで 印刷品質最適化のため、以下を推奨します。 <ul style="list-style-type: none"> • 温度 : 20°C～30°C • 湿度 : 50%～70% • 用紙 : 80 g/m² 	

1 四つ角を対角線上に測定

2 温度 23°C、湿度 50%で測定した値です。

3 ENERGY STAR Ver.3.2 試験方法と同じネットワーク接続で本製品を接続した場合の測定値です。

4 「IEC 62301 Edition 2.0」による測定値。

- 5 消費電力値は使用環境などにより若干異なることがあります。
- 6 省エネ法(平成 25 年 3 月 1 日付)で定められた複合機・ページプリンター別の測定方法による数値
- 7 ファンモーターが機能している場合 : LpAm = 35 dB (A)
- 8 ISO 7779 に記載の方法に準拠して測定。
- 9 ファンモーターが機能している場合 : LWAc = 4.98 B (A)

原稿サイズ仕様

原稿サイズ	ADF(自動原稿送り装置)幅	105 mm～215.9 mm
	ADF(自動原稿送り装置)長さ	148 mm～355.6 mm
	原稿台ガラス使用時 (幅)	最大 215.9 mm
	原稿台ガラス使用時 (長さ)	<ul style="list-style-type: none"> • (MFC-L8730CDW) 最大 297 mm • (MFC-L8970CDW) 最大 355.6 mm

印刷用紙

給紙	用紙トレイ (標準)	用紙タイプ	普通紙、薄紙、再生紙、色紙、レターヘッド、はがき
		用紙サイズ	A4、レター、B5 (JIS)、B6 (JIS)、A5、A5 (横置き)、A6、はがき
		用紙坪量	<ul style="list-style-type: none"> • 60～105 g/m² • はがき : 185 g/m²
		最大用紙容量	<ul style="list-style-type: none"> • 80 g/m² 普通紙最大 250 枚まで • はがき : 30 枚 (185 g/m²)
	多目的トレイ	用紙タイプ	普通紙、薄紙、厚紙、再生紙、ボンド紙、ラベル紙、封筒、封筒 (厚め)、封筒 (薄め)、光沢紙、色紙、レターヘッド、はがき
		用紙サイズ	<ul style="list-style-type: none"> • 幅 : 76.2～216 mm • 長さ: 116～355.6 mm • 封筒 : 封筒洋形 4 号、封筒長形 3 号、封筒長形 4 号
		用紙坪量	<ul style="list-style-type: none"> • 60～163 g/m² • はがき : 185 g/m²
		最大用紙容量	<ul style="list-style-type: none"> • 80 g/m² 普通紙最大 50 枚まで • 封筒 : 厚さ 10 mm 最大 10 枚まで • はがき : 10 枚 (185 g/m²)
	用紙トレイ 2、3 (オプション) ¹	用紙タイプ	普通紙、レターヘッド、色紙、薄紙、再生紙
		用紙サイズ	A4、レター、B5 (JIS)、A5、B6 (JIS)
		最大用紙容量	<ul style="list-style-type: none"> • LT-350CL 80 g/m² 普通紙最大 250 枚まで • LT-360CL 80 g/m² 普通紙最大 520 枚まで
	排紙 ²	上面排紙トレイ	80 g/m ² 普通紙最大 150 枚まで (上面排紙トレイへ下向きに排紙)
背面排紙トレイ		<ul style="list-style-type: none"> • 1 枚 (背面排紙トレイへ上向きに排紙) • 185 g/m² はがき最大 15 枚まで (背面排紙トレイへ上向きに排紙) 	
両面	自動両面印刷	用紙タイプ	普通紙、レターヘッド、色紙、薄紙、再生紙、光沢紙

両面	自動両面印刷	用紙サイズ	A4
		用紙坪量	60～105 g/m ²

- (MFC-L8730CDW) 下トレイの最大数：LT-350CL 下トレイ最大 2 個。
(MFC-L8970CDW) 下トレイの最大数：LT-350CL 下トレイ最大 2 個、または LT-360CL 下トレイ最大 2 個、あるいは LT-350CL1 個と LT-360CL1 個の組み合わせ。
- ラベルの場合、にじみを防ぐため、本製品から印刷済みのシートが出てきたらすぐに排紙トレイから取り除くことを推奨します。

ファクス

形式	ITU-T Super Group 3	
圧縮方式	MH / MR / MMR / JBIG	
通信速度	33,600 bps (自動フォールバック)	
両面受信	あり	
自動両面送信	あり (ADF(自動原稿送り装置)から)	
最大有効読取幅	最大 208 mm	
最大印刷幅	最大 207.4 mm	
グレースケール	8 ビット / 256 階調	
解像度	主走査	203 dpi
	副走査	標準: 98 dpi 高画質: 196 dpi 超高画質: 392 dpi フォト: 196 dpi
電話帳	300 件	
グループ	最大 20 グループ	
同報送信	350 件	
自動再ダイヤル	5 分間隔で 3 回	
メモリー送信	最大 500 枚 ¹	
メモリー代行受信	最大 500 枚 ¹	

- ITU-T テストチャート原稿#1 (一般的なビジネスレター程度の原稿、標準的画質、JBIG 圧縮) の数値です。

コピー仕様

コピー読み取り幅	最大 208 mm
自動両面コピー	あり (ADF(自動原稿送り装置)から)
ソートコピー	あり
スタックコピー	最大 999 枚
拡大縮小	25～400% (1%刻み)
解像度	最大 1200 x 600 dpi
1 部目の印刷時間 ¹	モノクロ 12.5 秒以下
	カラー 12.5 秒以下
階調	256 階調

- 待機モード、標準トレイから。

スキャナー仕様

カラー/モノクロ	Yes / Yes
TWAIN 対応	あり (Windows 10 / Windows 11)
WIA 対応	あり (Windows 10 / Windows 11)
カラー階調	<ul style="list-style-type: none"> 48 ビットカラー階調 (入力) 24 ビットカラー階調 (出力)
グレースケール	<ul style="list-style-type: none"> 16 ビットカラー階調 (入力) 8 ビットカラー階調 (出力)
解像度 ¹	<ul style="list-style-type: none"> 最大 19200×19200 dpi (補間) 最大 1200×1200dpi (原稿台ガラス) 最大 600×600dpi (ADF(自動原稿送り装置))
最大有効読取幅	最大 210 mm
自動両面読取	あり (ADF(自動原稿送り装置)から)

¹ Windows 10、Windows 11 の WIA ドライバーをご使用の場合は、最大 600×600dpi までの読み取りとなります。

プリンター

自動両面印刷	あり
エミュレーション	PCL6、BR-Script3、PDF バージョン 2.0
解像度	600 x 600 dpi、2,400 dpi (2400 x 600) 品質
印刷速度 ^{1 2}	片面印刷時
	モノクロ
	最大 33 ページ/分 (レターサイズ) 最大 31 ページ/分 (A4 サイズ)
	カラー
最大 33 ページ/分 (レターサイズ) 最大 31 ページ/分 (A4 サイズ)	
両面印刷時	モノクロ
	最大 21 面/分 (最大 10.5 枚/分) (レターサイズ) 最大 20 面/分 (最大 10 枚/分) (A4 サイズ)
	カラー
	最大 21 面/分 (最大 10.5 枚/分) (レターサイズ) 最大 20 面/分 (最大 10 枚/分) (A4 サイズ)
1 枚目印刷時間 ^{3 4 5 6}	モノクロ
	9.9 秒以下
	カラー
	9.9 秒以下

¹ 印刷速度は原稿のタイプによって変わる場合があります。

² 無線 LAN 使用時は、印刷速度が多少遅くなる場合があります。

³ 待機モードで標準給紙トレイから印刷した場合。

⁴ 本製品が起動してから用紙の出力が完了するまでの時間です (本製品の電源を入れたとき、またはエラーが修正されたときを除く)。

⁵ 補正または登録の実行中は異なる場合があります。

⁶ これは、標準トレイから A4 またはレターサイズの用紙に印刷する場合に適用されます。ただし、用紙サイズや印刷データの量によっては、最初の印刷に時間がかかる場合があります。

インターフェース

USB^{1 2}	ハイスピード USB 2.0 2メートル以下の長さの USB 2.0 インターフェースケーブル（タイプ A/B）を使用してください。
LAN	10Base-T/100Base-TX/1000Base-T ³
無線 LAN	5 GHz IEEE 802.11a/n（インフラストラクチャモード） IEEE 802.11a/n（Wi-Fi Direct） 2.4 GHz IEEE 802.11b/g/n（インフラストラクチャモード） IEEE 802.11g/n（Wi-Fi Direct）
NFC⁴	対応

- 1 USB2.0 ハイスピードインターフェースが使用できます。USB1.1 インターフェースに対応したパソコンにも接続可能です。
- 2 サードパーティ製の USB ハブ機器には対応していません。
- 3 カテゴリー 5e 以上のネットワークケーブルを使用してください。
- 4 外部 IC カードリーダーに接続する場合、HID クラスドライバー対応機器を使用してください。

ダイレクトプリント機能仕様

互換性	PDF バージョン 2.0、JPEG、TIFF（ブラザー製品でスキャン）、PRN-GDI（本製品のプリンタードライバで作成されたデータ）、PRN-PS（本製品のプリンタードライバで作成されたデータ）
インターフェース	USB 差し込み口：前面 x1、背面 x1（MFC-L8970CDW）

対応プロトコルおよびセキュリティ機能

対応するプロトコルおよびセキュリティ機能はモデルにより異なります。

イーサネット

10Base-T/100Base-TX/1000Base-T

無線 LAN（5GHz）

IEEE 802.11a/n（インフラストラクチャモード）、IEEE 802.11a/n（Wi-Fi Direct）

無線 LAN（2.4GHz）

IEEE 802.11b/g/n（インフラストラクチャモード）、IEEE 802.11g/n（Wi-Fi Direct）

プロトコル（IPv4）

ARP、RARP、BOOTP、DHCP、APIPA (Auto IP)、WINS/NetBIOS name resolution、DNS Resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port9100、POP3、SMTP Client、IPP/IPPS、FTP Client and Server、CIFS Client、TELNET Server、SNMPv1/v2c/v3、HTTP/HTTPS server、TFTP client and server、ICMP、Web Services (Print/Scan)、SNTP Client、LDAP、LDAPS、IMAP4、Syslog

プロトコル（IPv6）

NDP、RA、DNS resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port9100、IPP/IPPS、POP3、SMTP Client、FTP Client and Server、CIFS Client、TELNET Server、SNMPv1/v2c/v3、HTTP/HTTPS server、TFTP client and server、ICMPv6、Web Services (Print/Scan)、SNTP Client、LDAP、LDAPS、IMAP4、Syslog

ネットワークセキュリティ（有線）

APOP、SMTP-AUTH、SSL/TLS (IPP、HTTP、SMTP、POP3、IMAP4、FTP、LDAP)、SNMP v3、802.1x (EAP-MD5、EAP-FAST、PEAP、EAP-TLS、EAP-TTLS)、OAuth (SMTP、POP3、IMAP4)、Kerberos、IPsec

ネットワークセキュリティ（無線）

APOP、SMTP-AUTH、SSL/TLS (IPP、HTTP、SMTP、POP3、IMAP4、FTP、LDAP)、SNMP v3、802.1x (EAP-FAST、PEAP、EAP-TLS、EAP-TTLS)、OAuth (SMTP、POP3、IMAP4)、Kerberos、IPsec

無線 LAN セキュリティ

WEP 64/128 bit、WPA-PSK (TKIP/AES)、WPA2-PSK (TKIP/AES)、WPA3-SAE (AES) (Wi-Fi Direct は、WPA2-PSK (AES) のみをサポートしています)

無線 LAN 認証

Wi-Fi CERTIFIED、WPA3-Enterprise/Personal、Wi-Fi Protected Setup、Wi-Fi Direct

パソコン使用環境

対応している OS とソフトウェア機能

OS		コンピューターインターフェース			プロセッサ	必要なディスク容量 ¹	
		USB ²	有線 LAN	無線 LAN		ドライバー	その他のソフトウェア (ドライバーを含む)
Windows	Windows 10 Home / 10 Pro / 10 Education / 10 Enterprise ^{3 4}	印刷 PC Fax ⁵ スキャン			32 ビット (x86)、もしくは 64 ビット (x64) プロセッサ	80 MB	2.0 GB
	Windows 11 Home / 11 Pro / 11 Education / 11 Enterprise ^{3 4}				64 ビット (x64) プロセッサ		
	Windows Server 2016	印刷 スキャン	印刷		64 ビット (x64) プロセッサ	80 MB	80 MB
	Windows Server 2019						
	Windows Server 2022						
Mac ⁶	macOS v13	印刷			64 ビット プロセッサ	-	500 MB
	macOS v14	PC Fax (送信) ⁵					
	macOS v15	スキャン					
ChromeOS™		印刷 スキャン			-	-	-
Linux (サポートされているパッケージ管理システム：dpkg、rpm) ⁷		印刷 PC Fax (送信) ⁵ スキャン			32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) プロセッサ	20 MB	20 MB

1 ソフトウェアをインストールするにはインターネット接続が必要です。

2 サードパーティ製の USB ポートには対応していません。

3 WIA の場合、解像度は 1200x1200 となります。

4 PaperPort™ 14SE は、Windows 10 と Windows 11 をサポートしています。

5 PC Fax は、モノクロのみサポートしています。

6 macOS の免責事項

AirPrint 対応：macOS 経由の印刷、スキャン、PC ファクス (送信) には、AirPrint の使用が必要です。本製品には Mac 用ドライバーは付属していません。

7 ドライバーは、以下の Linux ディストリビューションで動作することが確認されています。

Red Hat Enterprise Linux 8.6 64bit、Red Hat Enterprise Linux 9.1 64bit、Fedora 39 64bit、Mageia 9 32bit、Mageia 9 64bit、openSUSE 15.5 64bit、SUSE Enterprise15-SP4 64bit、Debian 12.2.0 32bit、Debian 12.2.0 64bit、Ubuntu MATE 18.04 32bit、Ubuntu 22.04 64bit、Ubuntu 23.10 64bit、Linux Mint 21.2 64bit、Ubuntu 24.04 64bit。

最新のドライバーアップデートについては、support.brother.com/downloads にアクセスし、お使いのモデルの **ソフトウェアダウンロードページ** を参照してください。

最新の対応 OS については、support.brother.com/os にアクセスし、お使いのモデルの **対応 OS 一覧** ページを参照してください。

記載の商標及び、ブランド名、製品名の所有権は各社にあります。

関連情報

- [付録](#)

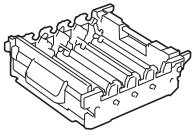
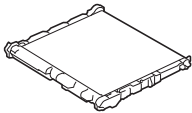
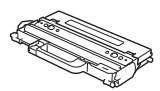
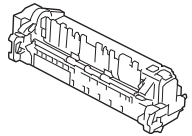
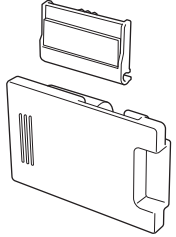
消耗品

トナーカートリッジやドラムユニットなどの消耗品が交換時期になると、本製品の操作パネルにエラーが表示されます。本製品の消耗品について、詳しくは go.brother/original を参照するか、お近くの販売店へお問い合わせください。



消耗品の型番は国や地域により異なります。

消耗品の品目	消耗品の型番	おおよその寿命 (印字可能枚数)	対象となるモデル
トナーカートリッジ 	標準トナーカートリッジ： <ul style="list-style-type: none"> ブラック： TN695BK シアン： TN695C マゼンタ： TN695M イエロー： TN695Y 	<ul style="list-style-type: none"> ブラック： 約 3,000 ページ^{1 2} シアン/マゼンタ/イエロー： 約 1,800 ページ^{1 2} 	MFC-L8730CDW/ MFC-L8970CDW
	大容量トナーカートリッジ： <ul style="list-style-type: none"> ブラック： TN695XLBK シアン： TN695XLC マゼンタ： TN695XLM イエロー： TN695XLY 	<ul style="list-style-type: none"> ブラック： 約 5,500 ページ^{1 2} シアン/マゼンタ/イエロー： 約 4,500 ページ^{1 2} 	MFC-L8730CDW/ MFC-L8970CDW
	超特大容量トナーカートリッジ： <ul style="list-style-type: none"> ブラック： TN697BK シアン： TN697C マゼンタ： TN697M イエロー： TN697Y 	<ul style="list-style-type: none"> ブラック： 約 10,000 ページ^{1 2} シアン/マゼンタ/イエロー： 約 10,000 ページ^{1 2} 	MFC-L8970CDW
	スタータートナーカートリッジ： (本製品に付属)	<ul style="list-style-type: none"> ブラック： 約 3,000 ページ^{1 2} シアン/マゼンタ/イエロー： 約 1,800 ページ^{1 2} 	MFC-L8730CDW
		<ul style="list-style-type: none"> ブラック： 約 5,500 ページ^{1 2} シアン/マゼンタ/イエロー： 約 4,500 ページ^{1 2} 	MFC-L8970CDW
ドラムユニット	DR695CL	約 30,000 ページ ³	MFC-L8730CDW/ MFC-L8970CDW

消耗品の品目	消耗品の型番	おおよその寿命 (印字可能枚数)	対象となるモデル
			
ベルトユニット 	BU635CL	約 50,000 ページ ⁴	MFC-L8730CDW/ MFC-L8970CDW
廃トナーボックス 	WT229CL	約 50,000 ページ ⁵	MFC-L8730CDW/ MFC-L8970CDW
定着ユニット 	FD-5000 100V	約 100,000 ページ ⁶	MFC-L8730CDW/ MFC-L8970CDW
多目的 (MP) ト レイの PF キット 	PF-M5000	約 50,000 ページ ⁷	MFC-L8730CDW/ MFC-L8970CDW

- 1 カートリッジのおおよその印刷可能枚数は ISO/IEC 19798 規格に基づく公表値を満たしています。
- 2 レターまたは A4 の片面ページを印刷した場合の枚数です。
- 3
 - 1 回に 1 ページ印刷する場合：約 30,000 ページ (A4 またはレターの片面ページ)
 - 1 回に 3 ページ印刷する場合：約 50,000 ページ (A4 またはレターの片面ページ)
 印刷可能枚数は、用紙の種類やサイズなどによって異なります。
- 4
 - 1 回に 1 ページ印刷する場合：約 50,000 ページ (A4 またはレターの片面ページ)
 - 1 回に 3 ページ印刷する場合：約 100,000 ページ (A4 またはレターの片面ページ)
 印刷可能枚数は、用紙の種類やサイズなどによって異なります。
- 5 1 回に 5 ページ印刷する場合：約 50,000 ページ (A4 またはレターの片面ページ)。印刷可能枚数は、用紙の種類やサイズなどによって異なります。
- 6 1 回に 5 ページ印刷する場合：約 100,000 ページ (A4 またはレターの片面ページ)。印刷可能枚数は、用紙の種類やサイズなどによって異なります。
- 7 1 回に 5 ページ印刷する場合：約 50,000 ページ (A4 またはレターの片面ページ)。印刷可能枚数は、用紙の種類やサイズなどによって異なります。

✓ 関連情報

- 付録

トナーカートリッジの交換時期に関する重要な情報

トナーカートリッジの交換時期

以下の2つの方法でトナーカートリッジの交換時期を検出します。

- 印刷に使用される各色のドット数のカウントによる検出
- 現像ローラーの回転数のカウントによる検出

このいずれかが上限値になると印刷を停止します。この上限値は、公表されている印刷可能枚数をカートリッジで印刷するために必要なドット数または回転数よりも高く設定されます。この機能により、画質劣化や製品損傷を防ぎます。

トナーカートリッジの交換時期は、[まもなくトナー交換]、または[トナー交換]のメッセージでお知らせします。

現像ローラーのドット数または回転数が最大数に近づくと、画面に[まもなくトナー交換]と表示されます。現像ローラーのドット数または回転数が最大になると、画面に[トナー交換]と表示されます。

色の修正

現像ローラーは、印刷やコピーなどの通常の操作時だけでなく、色補正、色ずれ補正など、製品の調整時も回転します。

色補正（色濃度の調整）

安定した印刷画質を保つために、各トナーカートリッジの濃度を固定値に維持する必要があります。色の中の濃度バランスが保たれていないと、色合いが不安定になり、正確な色を再現できません。トナー濃度は、電荷に影響を及ぼすトナーの化学変化、現像ユニットの劣化、および製品内の温度や湿度によって変化します。補正が実行された場合、色濃度を補正するためのテストパターンがベルトユニット上に形成されます。

この補正は主に以下の場合に行われます。

- 操作パネルから色補正を起動して、色の濃度を改善したとき
- 使用済みのトナーカートリッジやドラムユニットを新しいものに交換したとき
- 温度と湿度が変化したとき
- 印刷枚数が所定の値に達したとき

色ずれ補正（色位置の補正）

本製品では、ブラック (K)、イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C) のそれぞれに対してドラムユニットと現像ユニットが用意されています。各色を組み合わせるため、色ずれ（色位置のずれ）が発生する可能性があります。補正が実行された場合、色位置を補正するためのテストパターンがベルトユニット上に形成されます。

この補正は主に以下の場合に行われます。

- 色補正を起動して、色ずれのエラーを解除したとき
- 印刷枚数が所定の値に達したとき



関連情報

- [付録](#)

アクセサリ

アクセサリの在庫状況は、国または地域によって異なります。お使いの製品のアクセサリに関する詳細については、go.brother/original でご確認いただくか、販売店またはブラザーコールセンターまでお問い合わせください。

型番	品目	対象となるモデル
LT-350CL	ローワートレイ（下トレイ）（250枚）	MFC-L8730CDW/MFC-L8970CDW
LT-360CL	ローワートレイ（下トレイ）（520枚）	MFC-L8970CDW

✓ 関連情報

- [付録](#)

消耗品の購入方法

お近くの家電量販店で取り扱っておりますが、弊社直販サイトのダイレクトクラブでもご購入できます。インターネット、電話またはご注文シートの FAX にてご注文いただくことができます。

インターネットからのご注文

ブラザーダイレクトクラブ

direct.brother.co.jp



お電話でのご注文

フリーダイヤル： 0120-118-825

(土・日・祝日、弊社指定休日を除く 9 時～12 時、13 時～17 時)

FAX でのご注文

ご注文シートをダイレクトクラブまで FAX してください。

FAX 番号：052-825-0311

✓ 関連情報

- ・ 付録

アフターサービスのご案内

- >> 製品登録
- >> 各種サポート情報
- >> 製品に関するご質問・ご相談
- >> 修理のお申し込み

製品登録

Brother Online

お持ちのブラザー製品を「Brother Online」へご登録ください。

無償延長保証サービス「ハイブリ」や製品利用でポイントが貯まる「トク刷るポイント」など、安心でちょっとお得なサービスをご利用いただけるようになります。

<https://online.brother.co.jp>

※対象機種、登録期間は特設サイトをご覧ください。

各種サポート情報

- **サポートサイト**
最新のソフトウェアおよび製品マニュアルのダウンロードなど各種サポート情報を提供しています。
support.brother.co.jp
- **よくあるご質問**
ご利用に関するよくあるご質問とその回答を掲載しています。
[よくあるご質問 \(Q&A\) | ブラザー](#)
- **サポート動画**
ご利用方法やトラブルシューティングをサポート動画にまとめました。
[サポート動画 | 日本 | ブラザーサポート](#)
- **ブラザーサポート広場 (Q&A コミュニティ)**
ブラザー製品に関するお困りごとを、お客様同士で解決していただく Q&A コミュニティです。
[サポート広場 \(Q&A コミュニティ\) | ブラザー](#)

製品に関するご質問・ご相談

※営業日・営業時間の詳細は、サポートサイトでご確認ください。

- **お問い合わせ**
ご質問やご不明点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。
[お問い合わせ \(製品選択\)](#)
- **チャットで相談する**
[お問い合わせ \(チャット\)](#)
- **お電話で相談する (ブラザーコールセンター)**
0570-061020

修理のお申し込み

修理サービスのご案内

[修理サービスのご案内](#) | [サポート情報](#) | [ブラザー](#)

✓ 関連情報

- [付録](#)

brother



JPN
Version 0